

社会医療法人 **かりゆし会 年報** 第27 巻 2020 年度
(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.27 2020(April 1,2020-March 31,2021)

年報発刊によせて



沖縄県本島北部と西表島、そして奄美大島、徳之島がユネスコ世界自然遺産に登録され新聞の一面を賑わしました。その領域に生息する動植物の保全・保護がなされることを切望します。

同じころ、東京五輪が開催されていた日本では、金メダル 27 個、銀メダル 14 個、銅メダル 17 個を獲得する大活躍をみせ、金メダル獲得数では世界のトップ 3 に位置し日本中を沸かせていました。一方で、沖縄に長期間影響を及ぼした台風 6 号は、宮古島・八重山の農水産物や公共施設などに甚大なる被害をもたらしました。

沖縄県における新型コロナウイルス感染症は、2020 年 2 月に第 1 例が発症して以来その影響は衰えることなく、緊急事態宣言下にも拘らず第 5 波に突入し、第 4 波の 1 日感染者数 335 人、入院患者数 539 人を超える勢いです。第 4 波の時は、病床の拡大・宿泊療養施設に加え、短期滞在型酸素療法施設 20 床や在宅酸素療法訪問診療グループの活動が開始なされました。一方、コロナワクチン接種率は高齢者 1 回目 80%、2 回目 61% で、高齢者の感染・入院や死亡者数は減少しているものの、40～50 代の入院が多くなっています。

ハートライフ病院は新型コロナウイルスワクチン個別接種や中城村・西原町・与那原町の集団接種を中心に取り組み、石垣市や浦添市コンベンションセンターでの大規模広域ワクチン接種も積極的に協力しています。また、発熱外来、一般外来と救急外来を区分して運営しているのも評価できる点です。

5 月 1 日～7 月 1 日に入院した新型コロナウイルス患者 112 人を住所別に分析すると宜野湾市が 22 人、浦添市が 20 人、西原町が 15 人と全体の 51% で、通常の入院患者分布と乖離があるも、日々の診療においても同様な診療圏を保持できるよう、医療の質の向上や拡大が望まれます。

ハートライフ病院と同様にハートライフクリニックでも、感染予防対策としてサーモカメラでの検温や問診などを実施しており、地域住民から高く評価されています。また、新型コロナウイルスの個別ワクチン接種も積極的に行っています。

ハートライフ地域包括ケアセンターは入居者と職員全員が 2 回目のワクチン接種を終了しました。介護施設の定期的 PCR 検査で職員 1 名が陽性になりましたが、ワクチン接種の効果と、職員がマスクとフェイスシールドを使用し、またアクリル板も設置していたので、それ以上の拡大はありませんでした。

次期医療計画に感染症対策（実施 2024 年度）が明記されましたが、当院がどのように関与していくかは今後の課題です。

また、2022 年度にかけて脳外科医 1 名と脳卒中内科医 1 名を増やし、脳卒中センター・SCU を開設し、更に脳梗塞初期に幹細胞移植の出来る体制が出来れば素晴らしいと思います。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	2	救急総合診療部	101
ハートライフ病院 2020年度 年次報告	5	医局年度総括	104
年報発刊によせての挨拶	7	看護部	105
病院概要	8	外来	109
組織概要	8	救急外来	112
施設概要	8	人工透析室	116
診療体制	11	手術室・中央材料室	120
ハートライフ病院 2020年度事業目標	12	ICU	122
患者統計	15	東館4・5階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人 科外来	124
部署別業務実績	47	3階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科） 126	126
医 局	48	HCU	129
総合内科	57	4階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）	131
呼吸器内科	60	5階病棟（消化器内科・小児科）	133
循環器内科	61	6階病棟（血液内科・総合内科）	135
消化器内科	63	7階病棟（呼吸器内科・循環器内科）	137
肝臓内科	65	内視鏡センター	140
血液内科	67	看護部 年度総括	142
小児科	69	医療技術部	143
心療内科	71	放射線科	143
外 科	72	臨床検査科	151
整形外科	76	臨床工学科	155
形成外科	78	栄養科	162
脳神経外科	81	薬局	165
眼 科	83	リハビリテーション科	167
耳鼻咽喉科	85	医療安全管理室	173
泌尿器科	87	感染対策管理室	177
産婦人科	89	栄養サポート室	182
皮膚科	91	内視鏡センター	185
放射線科	92	予防医学センター	190
麻酔科	93	患者総合支援センター	196
血液浄化部	95	地域医療連携室	197
口腔ケア科	98		

入退院支援室	198	小児科	274
医療福祉相談室	201	附属施設	275
がん相談支援室	203	疾病予防運動施設リユーズ	275
患者サポート窓口	204	ヘルシーカフェ ohana	277
事務部	205	ハートライフ地域包括ケアセンター...	279
法人担当	206	2020 年度 年次報告	279
財務・経理課	206	年報発刊によせての挨拶	281
人事課	207	施設概要	283
診療支援室	209	はーとらいふ保育園	287
附随業務部門 食堂とまと	212	2020 年度 年次報告	287
法人事務部 年度総括	215	年報発刊によせての挨拶	289
病院担当	218	施設概要	290
医事課	218	組織概要	290
管財課	220	かりゆし会の 1 年	293
管財課用度係	220		
管財課施設管理係	222		
経営企画室	226		
電算係	229		
広報係	230		
診療情報管理室	232		
総務課	234		
事務部 年度総括	235		
委員会活動	237		
ハートライフクリニック			
2020 年度 年次報告	255		
年報発刊によせての挨拶	257		
クリニック概要	258		
施設概要	258		
患者統計	260		
ハートライフクリニック財務情報	263		
ハートライフクリニック			
部門別業務実績	265		
糖尿病内科	266		
内科	272		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 2020 年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2020



理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 安全で質の高いチーム医療を提供する
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）を実践する
3. 24 時間体制の断らない救急医療を提供する
4. 患者が満足し、納得する医療を提供する
5. 社会に認められる人材を育成する
6. 健全な医療経営を実践する
7. 社会の変化に対応できる組織作りをする

年報発刊によせての挨拶



当院は1988年に開院しましたので、2020年度は33年目に入ります。2020年度はスタート時から新型コロナウイルスが蔓延し、1年を通してコロナ患者の診療をしながら（一時的に予定手術や人間ドック等を制限しましたが）、社会医療法人として最も重要な救急医療をはじめとした通常診療をほぼ制限することなく行っていました。これも職員の皆様の頑張りによるものと感謝しています。

最近の医療は結果が求められるようになりました。アウトカムで評価する流れができています。加算はアウトカムに及ぼす病院の努力を評価したものが多くなっています。急性期病院に肺炎で入院して、肺炎は治ったが廃用症候群になったというのでは治療が成功したとは言えません。病院が目指すのは患者さんの社会復帰です。特に高齢者が多くなった現在においては患者のQOLを落とさないことが重要になります。

毎年事業計画を作成しますが、特にコメディカルの職員が病院の経営に如何に貢献できるかを考えながら計画を立案していることが分かります。経営を考慮しながら真面目に職務に取り組む姿勢は理想的な組織風土と思われます。

病院長として年報作成に当たって意識して欲しいことがいくつかあります。先ず内容についてですが、1. 質の高い医療には何が必要か、2. 努力の成果はどのように数字に反映されているか、3. 経年的な流れはどうか、4. 他の同規模急性期病院と比較して自院の成績はどうか、そのようなデータを表示して頂きたいと思います。よくPDCAサイクルという言葉を目にすると、一年の目標を立て（Plan）、それに向けて業務を遂行し（Do）、評価し（Check）、目標に達しなければ、改善点を明らかにし、実行する（Action）という流れを意識する必要があると思います。各部署の責任者はPDCAサイクルを念頭におきながら、年報を作成し、次年度の業務に反映させていただきたいと思います。

2021年度は引き続き新型コロナウイルスとの闘いになりました。厳しい状況が続きますが、個々人が健康に留意して、十分な感染対策をとりながら、より良い成果を上げるよう最善をつくすしかないと思われます。患者さんが納得し、満足してもらえる医療を提供するようこの1年全職員が力を合わせて頑張りましょう。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

病院概要

(2020 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 吉川)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里 哲 好	副院長	普天間 光 彦	医療技術部長	宮 城 竜 也
院長	佐久川 廣	副院長	秋 元 芳 典	事務部長	當 銘 秀 之
副院長	久 場 良 也	医局長	阿 嘉 裕 之		
副院長	西 原 実	看護部長	古波倉 美登利		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付き 9 階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上 5 階・地下 1 階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根 4 階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

職員数

総 数 968 名

職種別

(2020 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 吉川)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	74	クラーク	23	OMA	0	ソーシャルワーカー	6
研修医	14	臨床工学士	16	視能訓練士	3	施設技術者	5
保健師	7	臨床検査技師	42	診療放射線技師	21	保育士	1
助産師	29	理学療法士	20	管理栄養士	7	その他	42
准看護師	13	言語聴覚士	5	調理師	15		
看護師	399	作業療法士	8	事務	116		
看護補助者	54	薬剤師	21	医師事務作業補助者	27	合計	968

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(2021 年 3 月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

名称	人数
全日本病院協会医療安全管理者認定医	1
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の施設認定	1
検診マンモグラフィ読影認定医	5
小児慢性特定疾病指定医	1
精神保健指定医	1
全日本病院協会および医療安全管理者	1
日本アレルギー学会専門医 (小児科)	1
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4
日本がん治療認定医機構認定医	5
日本がん治療認定機構がん治療認定医	1
日本ペインクリニック学会認定医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本医学放射線学会診断専門医	2
日本医師会認定産業医	5
日本外科学会指導医	2
日本外科学会専門医	6
日本外科学会認定医	2
日本感染症学会インфекションコントロール ドクター	2
日本感染症学会指導医	1
日本感染症学会専門医	1
日本肝臓学会指導医	1
日本肝臓学会専門医	2
日本眼科学会専門医	2
日本救急医学会救急科専門医	1
日本形成外科学会専門医	1
日本血液学会指導医	1
日本血液学会専門医	3
日本呼吸器学会インフェクションコントロール ドクター	1
日本産婦人科学会専門医	2
日本手外科学会認定手外科専門医	1
日本集中治療医学会専門医	1
日本循環器学会専門医	6
日本小児科学会専門医	1
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	1

名称	人数
日本消化器がん検診学会認定医	4
日本消化器外科学会指導医	2
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
日本消化器外科学会消化器がん治療認定医	2
日本消化器外科学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	9
日本消化器病学会指導医	3
日本消化器病学会専門医	6
日本消化器病専門医	1
日本食道学会認定医	1
日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本神経内視鏡学会技術認定医	1
日本人間ドック学会人間ドック検診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	1
日本整形外科学会リウマチ認定医	1
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	3
日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医	1
日本整形外科学会専門医	5
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本体育協会公認スポーツドクター	3
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本東洋医学会認定医	1
日本透析医学会専門医	2
日本透析医学会認定医	1
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	6
日本内科学会総合内科認定医	1
日本内科学会認定内科医	17
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本乳癌学会認定医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本泌尿器科学会指導医	1

名称	人数
日本泌尿器科学会専門医	2
日本病理学会病理専門医	1

名称	人数
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医専門医	1
日本麻酔科学会指導医	2
日本麻酔科学会専門医	3
日本麻酔科学会認定医	1
麻酔科標榜医	5

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. （財）日本医療機能評価機構 一般病院 2 認定第 GB97-5 号
5. DPC 対象病院（標準病院群）
6. 地域災害拠点病院

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）

施設認定一覧

1. 日本脳神経外科学会認定研修施設
2. 日本内科学会認定教育関連病院
3. 日本血液学会血液研修施設
4. 日本血液学会専門研修施設
5. 日本がん治療認定医療機構認定研修施設
6. 日本感染症学会研修施設
7. 非血縁者間骨髓採取認定施設
8. 非血縁者間造血幹細胞移植認定施設
9. 日本肝臓学会認定施設
10. 日本整形外科学会専門医研修施設
11. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
12. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
13. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
14. 日本乳癌学会関連認定施設
15. 日本眼科学会専門医制度研修施設
16. 日本消化器内視鏡学会指導施設
17. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設（連携型）
18. 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
19. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
20. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
21. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
22. 日本消化器科外科学会専門医修練施設
23. 日本臨床細胞学会施設
24. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
25. 日本消化器病学会認定施設
26. 日本呼吸器学会関連施設
27. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
28. 人間ドック検診施設機能評価認定施設

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 29. 日本透析医学会教育関連施設 | 38. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
認定施設 |
| 30. マンモグラフィー検診施設画像認定 | |
| 31. エキスパンダー実施施設（二次再建） | 39. 日本心血管インターベンション治療学会認定
研修施設群 |
| 32. インプラント実施施設（一次二期再建・二次再建） | |
| 33. 日本食道学会全国登録認定施設 | 40. 日本病理学会研修登録施設 |
| 34. 日本形成外科学会認定施設 | 41. 日本小児外科学会教育関連施設 B |
| 35. 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設 | 42. 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育
研修施設 |
| 36. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定施設 | |
| 37. 日本大腸肛門病学会関連施設 | |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | | |
|--------|---------|----------|--------|--------|------|
| ●内科 | ●リウマチ科 | ●食道外科 | ●脳神経外科 | ●放射線科 | ●歯科 |
| ●呼吸器内科 | ●人工透析内科 | ●血管外科 | ●産婦人科 | ●麻酔科 | ●精神科 |
| ●循環器内科 | ●心療内科 | ●大腸・肛門外科 | ●泌尿器科 | ●リハビリ | |
| ●消化器内科 | ●小児科 | ●脾臓外科 | ●眼科 | テーション科 | |
| ●肝臓内科 | ●外科 | ●整形外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●救急科 | |
| ●血液内科 | ●乳腺外科 | ●形成外科 | ●皮膚科 | ●病理診断科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ●予防医学センター
(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●不整脈外来 |
| ●内視鏡センター | ●甲状腺外来 |
| ●人工透析センター（昼間・夜間） | ●生活習慣病外来 |
| ●無菌治療センター | ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来 |
| ●ヘルニアセンター | ●スポーツ関節鏡センター |
| ●患者総合支援センター | ●通院治療室（外来化学療法） |
| ●胸やけ外来 | ●小児アレルギー外来 |
| | ●心臓リハビリテーション |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科外科・整形外科・脳神経外科】

受付時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診 |

診療時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日 | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診 |

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

ハートライフ病院 2020年度事業目標

1. 2019 年度（令和元年度）の振り返り

2019 年度は増改築が終わり、診療を充実することに専念することができました。

病床利用は、2019 年度の目標 285 床に対して、2 月時点までの平均が 277.2 床で、目標を達成しませんでした。一方、新規入院患者数は目標の 770 人 / 月に対して、788 人 / 月（2 月時点までの平均）で、目標を達成できました。

2019 年度は外科を除く全ての診療科で収益増となりました。産婦人科は昨年に引き続き分娩数が増加しました。手術件数は全体で 273 件 / 月（2018 年度）から 289 件 / 月（2019 年度）に増加しました。特に、整形外科は 70 件 / 月（2018 年度）から 85 件 / 月（2019 年度）へと大幅に手術件数が伸びました。

2019 年 6 月から東 2 階病棟を HCU 病棟（12 床）に変更しました。

病床利用率向上対策委員会を立ち上げ、その取り組みの成果として DPC I、II の期間の入院割合が増加しました。また、入退院支援室を充実させ、入退院支援加算の算定を大幅に増やしました。

2019 年度の総収入は 94.9 億円で、事業計画の 93.9 億円を約 1 億円上回りました。入院の日当額 5.9 万円、外来の日当額は 1.45 万円で、何れも昨年度と比較して増加しました。

2. 2020 年度 事業計画の概要

2020 年度は診療報酬改定があり、急性期一般入院料 1（7 対 1）の基準がより厳しいものになりますが、急性期一般入院料 1 を死守しなければなりません。そのためには救急患者の受け入れ態勢の強化、手術件数の増加、後方連携の強化をはかる必要があります。また、国が進める働き方改革への取り組みとして医師及び医療技術職の人材の確保、更に医師事務作業補助者や看護助手を増員し、業務の効率化と時間外勤務の短縮に努めます。

①. 病棟運営の 3 指標

2020 年度は病棟運営の 3 指標を、病棟診療会議での検討をもとに下記のように設定しました。

指標	2020 年度目標	2019 年度目標	2019 年度実績（2 月迄）
新規入院患者数	810 人 / 月	770 人 / 月	788 人 / 月
病床利用数	285 床 (92.5%)	285 床 (92.5%)	277.2 (90.0%)
平均在院日数	10.7 日	11.3 日	10.6 日

この目標を達成することが黒字経営の鍵になります。3 指標の中では、新規入院患者数が最も重要です。全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

②. 2020 年度ハートライフ病院の目標

- より安全な医療とより質の高い医療を実践する
- 健全な医療経営を行い、利益率 3% 以上を達成する
- 全職員が 36 協定を順守できるよう労働環境の整備を行う
- 業務の無駄を省き、効率化を推進する
- 患者満足度の向上を図る
- 必要な人材を確保するために積極的な情報収集を行う

7. チーム医療を強化し、ワークシフト・ワークシェアリングを推進する
8. AI（人工知能）、ICT（情報通信技術）などの新しい技術を積極的に導入する
9. 初期研修医のフルマッチを達成する

③. 利益率3%以上を目指した経営戦略

2020年度の医業収入は98.6億円、当期利益3.5億円（利益率3.6%）を目指します。減価償却は5.8億円を計上しています。これから数年は同じ状況が続くと考えられます。したがって、より一層、全職員で収益増と経費節減に努力する必要があります。入院診療単価（日当額）も6.0万円を目指します。

入院診療単価を構成するのはDPC、手術料、入院料（入院基本料、特定入院料、入院料加算）です。DPC機能評価係数Ⅱを上げる取り組み（救急医療管理加算の算定数を維持する。副傷病名ありの患者を増やす等）を今年度も継続して行っています。手術症例が多く含まれる予定入院患者数を増やし（予定入院の目標：350人/月）、手術室の稼働率が上がる取り組み（看護師の確保とME及び看護助手の活用）を強化します。

入退院支援加算を始めとする各種加算が取れるように対策します。2016年より「落穂ひろい活動」を継続しています。また、加算収益を見える化し、職員のモチベーションが上がるような対策を取ります。2019年度は入退院調整を副看護部長に権限移譲し、DPCの期間Ⅰ、Ⅱのデータを見ながら退院日を決める方式を導入しました。この体制を維持強化します。

外来診療単価を上げる対策として、紹介患者を増やし、外来診療単価1,500円未満の患者の割合を減らすよう努めます。紹介患者を増やす対策として院長、副院長の病院・診療所訪問をこれまで以上に強化します。

地域医療支援病院の基準要件は、紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上です。2019年は基準をクリアしているものの、紹介率70.4%、逆紹介率68.2%と足踏み状態でした。今年度は紹介率81.2%、逆紹介率75.8%を目指し、新規入院患者増に繋がります。

④. 地域の健康増進に対する貢献

急性期病院として、死因の多くを占める癌、脳卒中、心筋梗塞の専門医療を強化します。沖縄県は、癌患者に占める割合の高い60歳以上の年齢層が今後急激に増加します。癌の早期発見のために自治体や企業と協力して検診受診勧奨に努めます。そのために市民公開講座、出前健康講話等の機会を有効に活用します。特に、男女ともに死亡率の高い大腸癌について、大腸癌対策委員会の活動を活発化させ、大腸癌患者の集患に取り組めます。

沖縄県のがん登録の資料によりますと、当院での登録癌患者の沖縄県全体に占める割合は2016年の5.7%から4.9%（2017年）、4.7%（2018年）と減少傾向にあり、今後は癌診療をより強化する必要があると思われます。脳卒中に関しては、血管内治療による発症予防とt-PAによる重症化予防の体制を強化して行きます。そのためには脳卒中専門の内科医確保が重要と思われます。心筋梗塞を主とした突然死対策として救急医療のより一層の充実を図って行きます。診療所の要請に応じてドクターカーを出動させ、新しい攻めの救急医療を実践して行きます。

高齢者の自立は健康長寿のカギになります。衰えた機能を回復させるために整形外科、泌尿器科、形成外科、眼科、耳鼻科領域の診療を充実させる必要があります。

⑤. 職員の働き方の見直し

職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組めます。医師の働き方改革は厚生労働省も

政策の中心に据えており、当院も積極的に取り組んでいきます。医師の時間外労働に関しては、月 80 時間、年間 960 時間以内の A 基準を満たすように取り組んでいきます。また、医師や看護師の業務負担を軽減させるために、医師事務補助者と看護助手の増員を行います。

⑥. 人材の確保と育成

現在、早急に確保する必要があるのは腎臓内科医、産婦人科医、救急専従医です。これらの人材を確保するために病院全体で情報収集を行っていきます。もちろん他の領域でも不足している医師の確保は重要です。

また、看護師、医療技術職員、事務系職員の確保及び育成は重要であり、病院の魅力度をアップさせ、選んでもらえる職場に変えていく必要があります。また、昨年度は初期研修医の募集定員を満たすことができませんでした。今年度はフルマッチを目指して研修医教育に力を入れます。病院にとって「人材が宝」です。5 年後、10 年後を見据えた人材育成を実現するためにより充実した職員研修を行います。

⑦. 結び

今年度は急性期一般入院料 1（7 対 1）を死守することが、経営上最も重要な課題になります。幹部職員はそれを念頭に置いて病棟運営をして頂きたいと思います。

患者さんが納得し、満足する医療を提供し、心と心を結ぶ信頼される医療を実践するとともに、地域の健康長寿に貢献できるよう皆で力を合わせて頑張りましょう。

ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

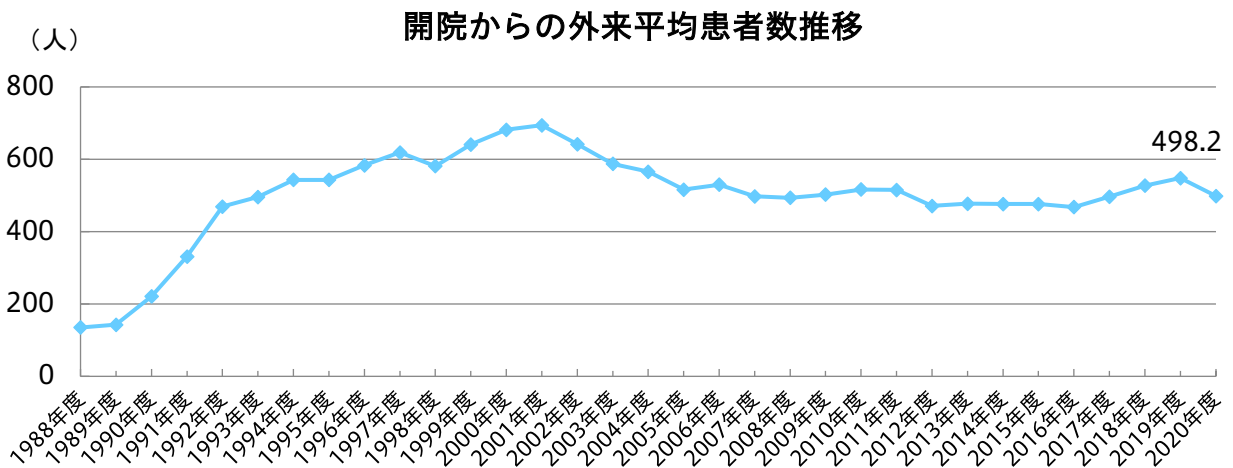
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成: 医事課 桑江)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2016年度	447.6	469.5	457.7	464.2	453.9	477.1	455.0	487.5	484.1	475.8	473.0	466.0	467.6
2017年度	465.0	498.2	474.9	494.7	492.3	485.1	504.6	505.1	514.6	511.1	505.7	504.7	496.3
2018年度	500.0	525.8	497.5	517.6	514.9	531.2	519.7	533.8	542.3	547.7	546.8	543.0	526.7
2019年度	533.1	542.5	532.0	552.6	531.2	574.8	557.7	540.1	554.3	565.5	540.0	546.6	547.5
2020年度	446.4	427.0	483.8	535.9	461.4	495.4	497.6	533.3	511.4	508.3	533.4	544.1	498.2

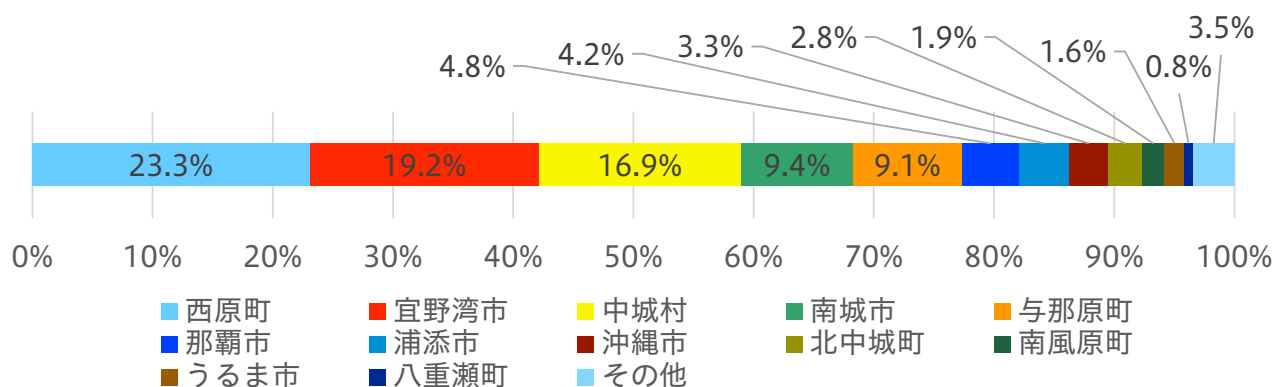


地域別外来患者数 (延べ患者数)

(データ作成: 広報係 知念)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	148,371
離島	681
県外	664
その他	403
合計	150,119

沖縄本島内 外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

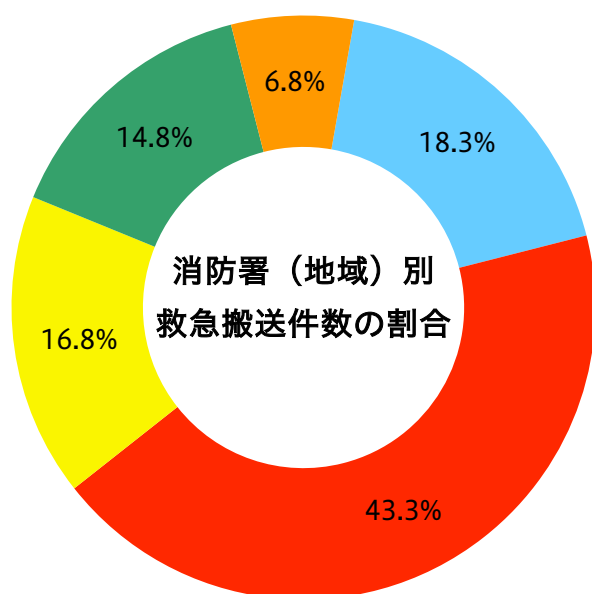
(データ作成：地域医療連携室 金城)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
2012 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
2013 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
2014 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
2015 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
2016 年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
2017 年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
2018 年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%
2019 年度	搬送人数	239	219	252	315	287	255	268	219	280	274	234	224	3,066	255.5	
	うち入院数	108	116	124	144	127	127	125	89	129	138	99	105	1,431	119.3	46.7%
2020 年度	搬送人数	226	225	212	241	254	238	233	265	283	301	232	331	3,041	253.4	
	うち入院数	96	98	94	111	107	112	107	116	144	142	115	155	1,397	116.4	45.9%

消防署（地域）別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室 新垣)

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	555	354	63.8%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,318	835	63.4%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	511	314	61.4%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	451	303	67.2%
その他消防（上記以外の市町村）	206	71	34.5%
合計	3,041	1,877	61.7%

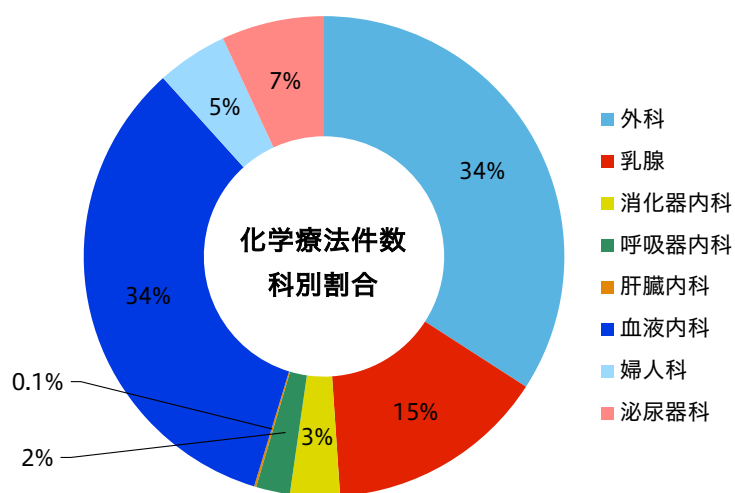


- 中城北中城消防組合
（中城村・北中城村）
- 東部消防組合消防本部
（西原町・与那原町・南風原町）
- 宜野湾市消防本部
（宜野湾市）
- 島尻消防・清掃組合
（南城市・八重瀬町）
- その他消防
（上記以外の市町村）

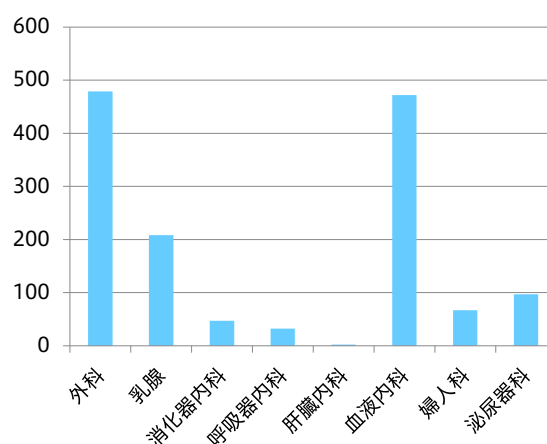
外来化学療法室施行数内訳

(データ作成：看護部 外来 山内)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	34	31	35	35	42	37	41	38	43	47	40	56	479
乳腺	19	16	23	17	16	18	19	19	13	18	11	19	208
消化器内科	4	4	7	3	3	3	2	5	2	5	5	4	47
呼吸器内科	5	5	3	3	4	5	4	1	1	1	0	0	32
肝臓内科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
血液内科	44	29	30	38	45	35	39	23	59	49	37	44	472
婦人科	8	5	7	4	5	2	8	3	8	4	7	6	67
泌尿器科	4	6	6	6	4	7	6	6	5	6	5	6	67
合計	118	96	111	106	119	107	119	96	132	130	105	135	1,374

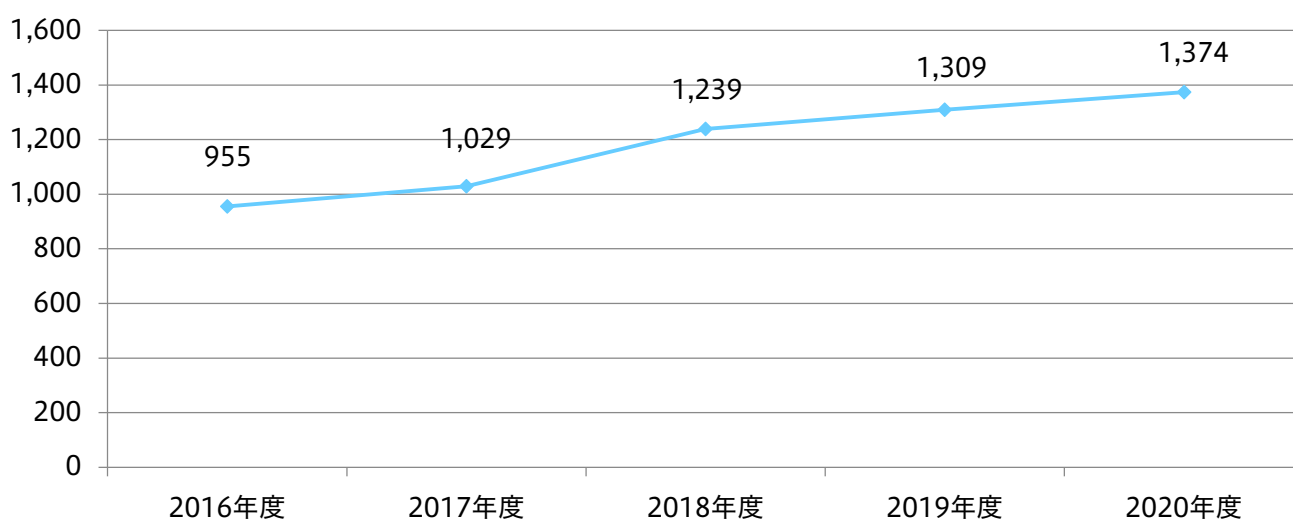


科別化学療法総件数



外来化学療法加算の件数年次推移

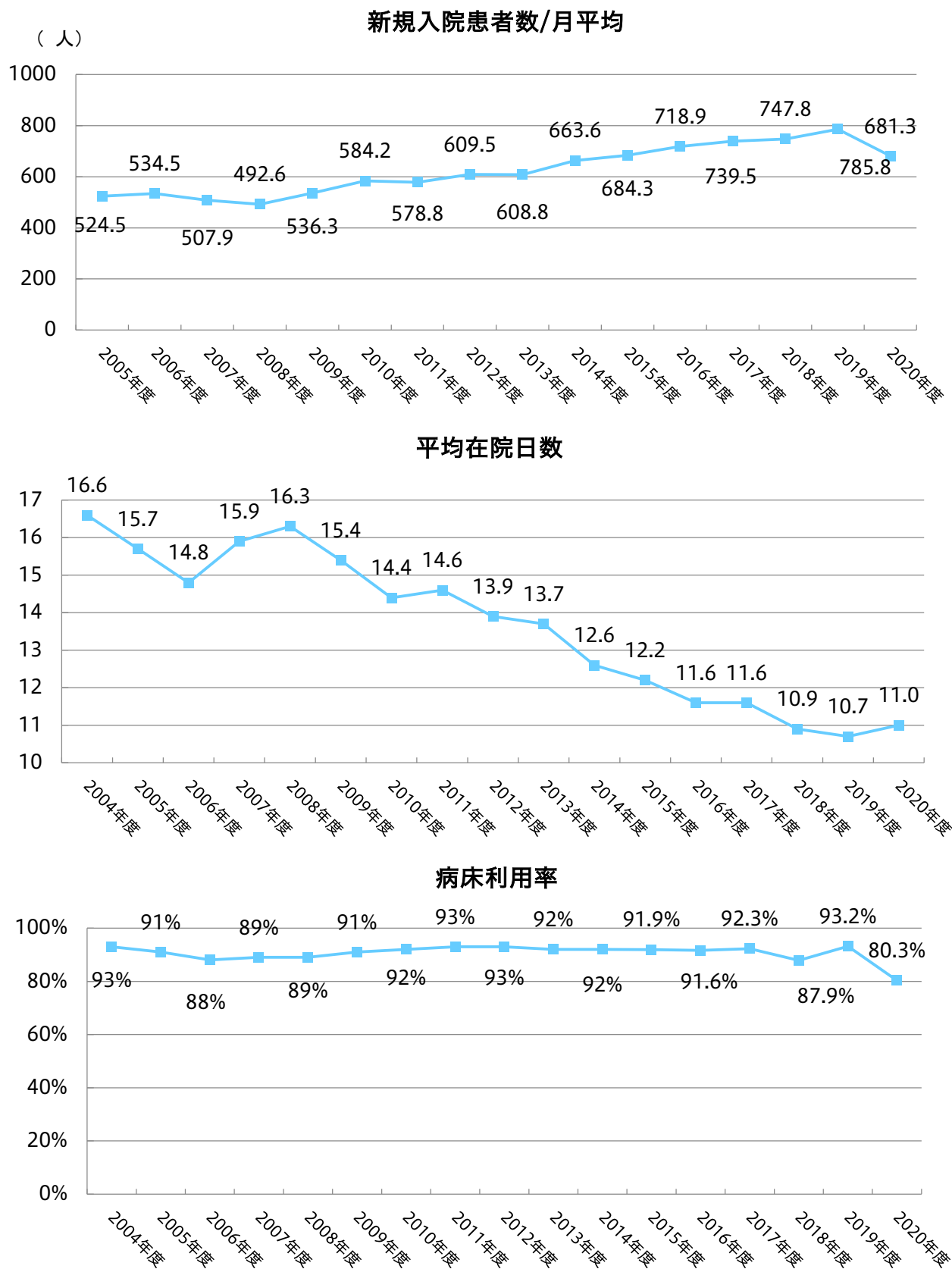
(件)



入院

3 指標

(データ作成：地域医療連携室 新垣)

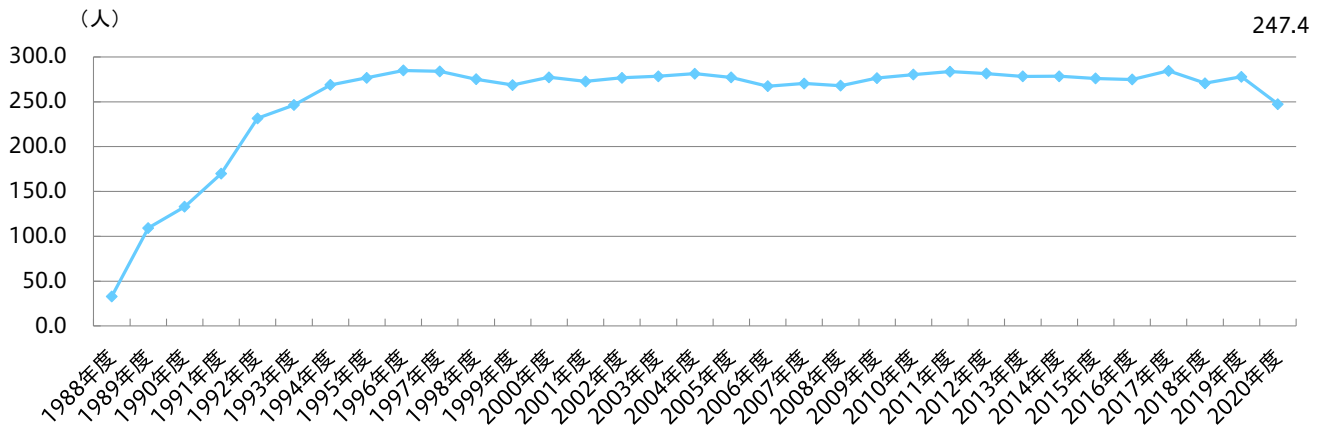


入院 1 日平均患者数推移（稼働）

（データ作成：医事課 宮城）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
2016 年度	264.8	285.0	274.7	276.7	268.7	278.4	269.8	256.4	258.9	283.1	290.1	290.9	3,297.5	274.8
2017 年度	291.7	288.9	291.5	288.3	289.9	280.1	266.9	272.8	272.0	278.9	298.8	294.1	3,414.0	284.5
2018 年度	280.0	252.7	260.8	279.1	279.6	270.0	270.2	275.0	262.5	273.0	281.2	264.3	3,248.5	270.7
2019 年度	265.1	274.3	272.8	297.4	290.2	288.6	272.6	252.4	264.4	276.3	295.9	283.6	3,333.5	277.8
2020 年度	235.8	223.5	246.5	256.9	242.4	229.7	244.3	254.1	244.9	266.0	265.8	259.2	2,969.0	247.4

開院からの入院平均患者数推移

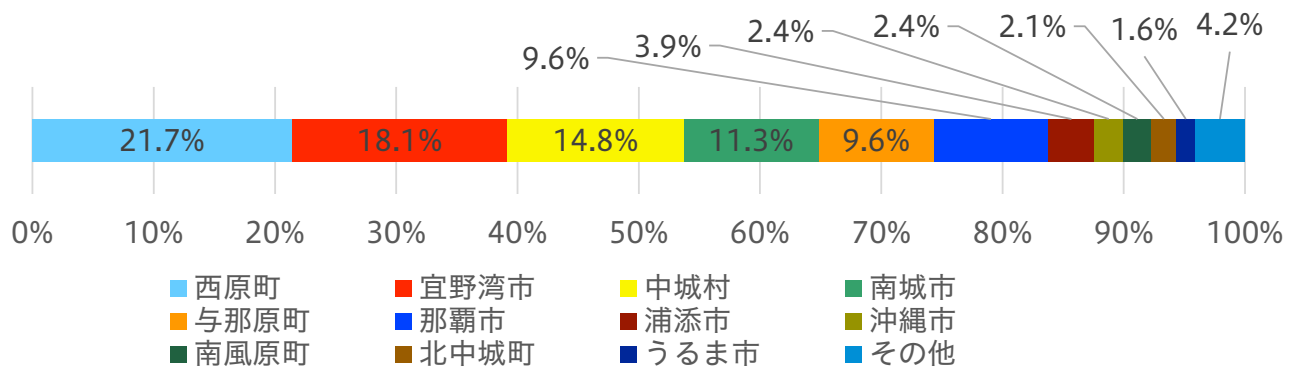


地域別入院患者数（延べ患者数）

（データ作成：広報係 知念）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	93,719
離島	992
県外	736
その他	145
合計	95,592

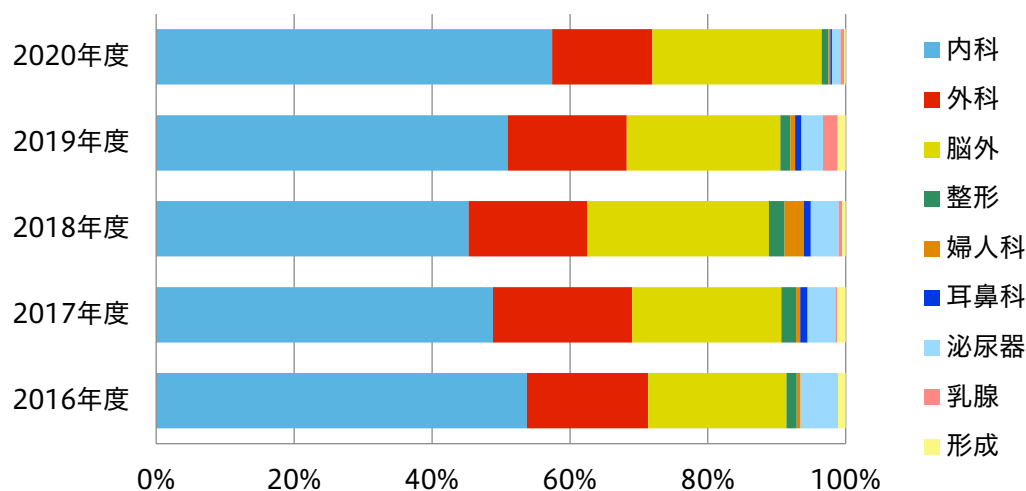
沖縄本島内 入院延べ患者構成比



ICU 患者統計

(データ作成 ICU 内間)

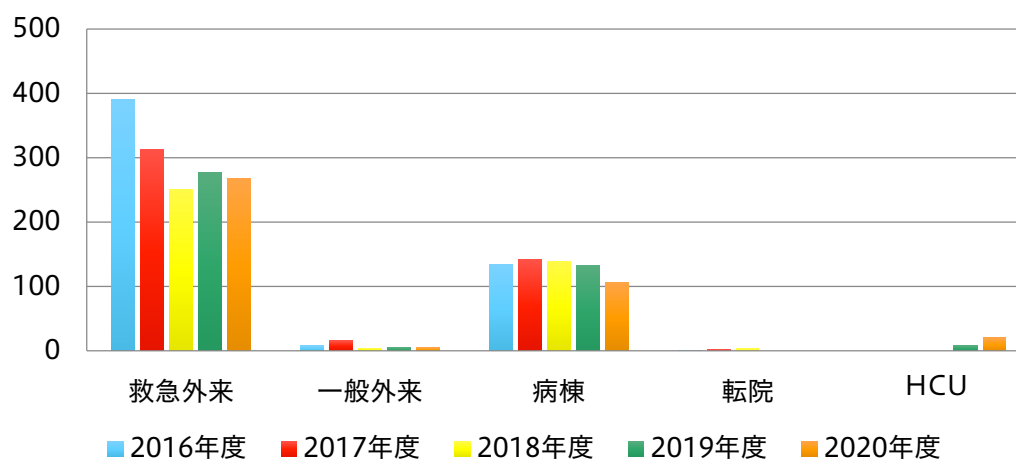
科別入院患者数



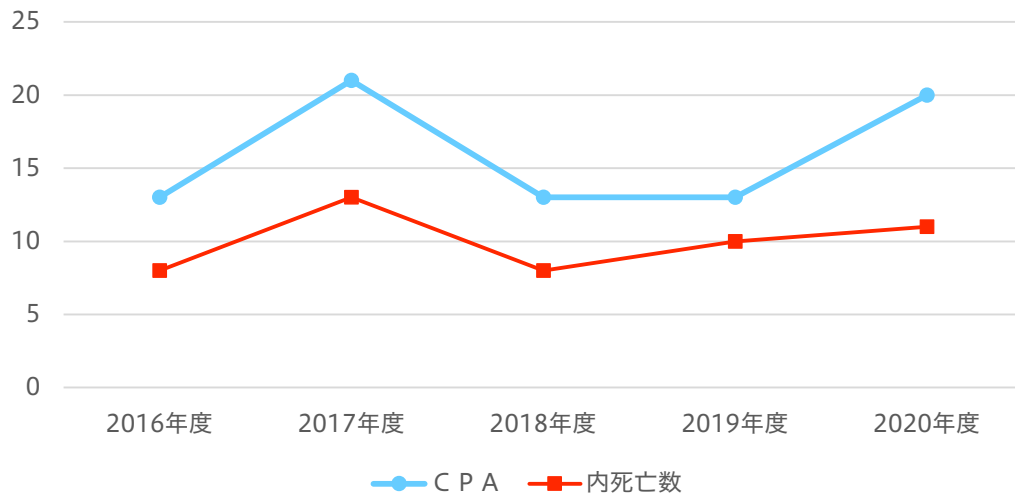
	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
内科	287	230	179	215	229
外科	94	95	68	73	58
脳外	107	102	104	94	98
整形	8	10	9	6	4
婦人科	3	3	11	3	1
耳鼻科	0	5	4	4	1
泌尿器	29	19	16	13	5
乳腺	6	6	2	9	1
形成	-	1	2	5	2
心療内科	-	1	0	0	0
総数	534	472	395	422	399

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

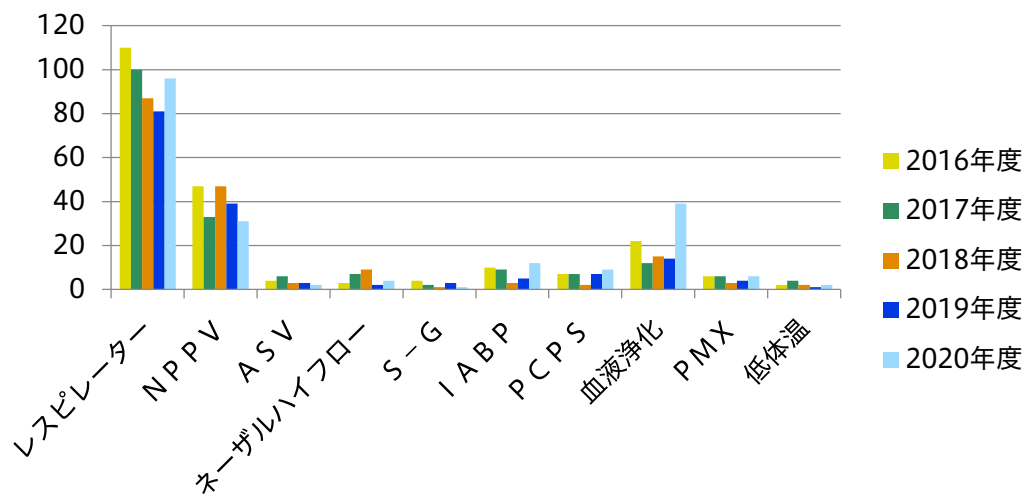
入室経路



CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室 我如古）

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	形成外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
Ⅰ．感染症及び寄生虫症（A 00- B 99）	男	74	10	0	0	1	0	0	1	7	0	0	3	96
	女	55	14	1	0	0	0	0	1	5	1	0	2	79
	計	129	24	1	0	1	0	0	2	12	1	0	5	175
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞（C 00- D 48）	男	320	218	56	6	2	8	1	17	0	0	0	0	628
	女	140	183	19		2	11	2	6	0	0	76	0	439
	計	460	401	75	6	4	19	3	23	0	0	76	0	1,067
Ⅲ．血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害（D 50- D 89）	男	20	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	25
	女	27	10	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0	43
	計	47	14	0	0	0	1	0	1	2	0	3	0	68
Ⅳ．内分泌、栄養及び代謝疾患（E 00- E 90）	男	54	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0	8	74
	女	39	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	51
	計	93	10	6	0	0	0	0	0	1	0	2	13	125
Ⅴ．精神及び行動の障害（F 00- F 99）	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	女	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6
Ⅵ．神経系の疾患（G 00- G 99）	男	45	6	0	9	10	0	0	6	0	0	0	4	80
	女	21	2	1	4	4	1	0	10	1	0	0	1	45
	計	66	8	1	13	14	1	0	16	1	0	0	5	125
Ⅶ．眼及び付属器の疾患（H 00- H 59）	男	0	2	0	0	0	9	216	0	0	0	0	0	227
	女	0	0	0	1	0	9	182	0	0	0	0	0	192
	計	0	2	0	1	0	18	398	0	0	0	0	0	419
Ⅷ．耳及び乳様突起の疾患（H 60- H 95）	男	5	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	42
	女	13	0	0	0	1	0	0	19	2	0	0	2	37
	計	18	0	0	0	1	0	0	56	2	0	0	2	79
Ⅸ．循環器系の疾患（I 00- I 99）	男	339	3	8	0	100	8	0	0	0	0	0	62	520
	女	223	12	11	0	63	7	0	0	0	0	0	45	361
	計	562	15	19	0	163	15	0	0	0	0	0	107	881
Ⅹ．呼吸器系の疾患（J 00- J 99）	男	273	8	8	1	0	0	0	32	33	0	0	7	362
	女	198	2	10	0	0	0	0	30	30	0	0	7	277
	計	471	10	18	1	0	0	0	62	63	0	0	14	639
Ⅺ．消化器系の疾患（K 00- K 93）	男	350	350	1		0	0	0	3	1	0	0	1	706
	女	291	232	1	1	0	1	0	1	0	1	2	0	530
	計	641	582	2	1	0	1	0	4	1	1	2	1	1,236

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	形成外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	16	10	4	14	0	37	0	4	5	0	0	1	91
	女	14	5	0	1	0	28	0	0	4	0	0	0	52
	計	30	15	4	15	0	65	0	4	9	0	0	1	143
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00-M99)	男	12	1	1	142	0	13	0	0	4	0	0	2	175
	女	17	2	0	170	0	11	0	0	3	0	0	3	206
	計	29	3	1	312	0	24	0	0	7	0	0	5	381
XIV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患 (N00-N99)	男	80	3	100	0	0	15	0	3	4	0	0	10	215
	女	158	7	59	0	1	2	0	2	4	1	66	10	310
	計	238	10	159	0	1	17	0	5	8	1	66	20	525
XV. 妊娠、分娩及び産じょく<褥> (O00-O99)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	2	0	0	0	0	0	0	0	766	0	0	767
	計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	766	0	0	769
XVI. 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	29
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00-Q99)	男	0	5	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	10
	女	0	0	0	0	1	3	0	3		0	0	0	7
	計	0	5	0	0	1	5	1	4	1	0	0	0	17
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	6
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	男	21	22	4	234	37	42	1	1	55	0	0	4	421
	女	26	11		304	21	11	0	0	57	1	4	5	440
	計	47	33	4	538	58	53	1	1	112	1	4	9	861
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	122	79	3	58	0	1	0	0	304	0	0	0	567
	女	65	99	1	54	0	0	0	1	311	5	29	0	565
	計	187	178	4	112	0	1	0	1	615	5	29	0	1,132
XXII. 特殊目的用コード (U00-U89)	男	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
	女	40	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	計	94	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	95
総 計		3,117	1,312	294	1,001	243	220	403	180	867	774	183	184	8,778

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：診療情報管理室 柳)

当院では、2013 年 4 月から日本病院会主催の「QI プロジェクト」へ参加しています。「QI プロジェクト 2019」では、日本病院会が指定する 40 の指標について、全国の参加病院 355 病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し常に医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

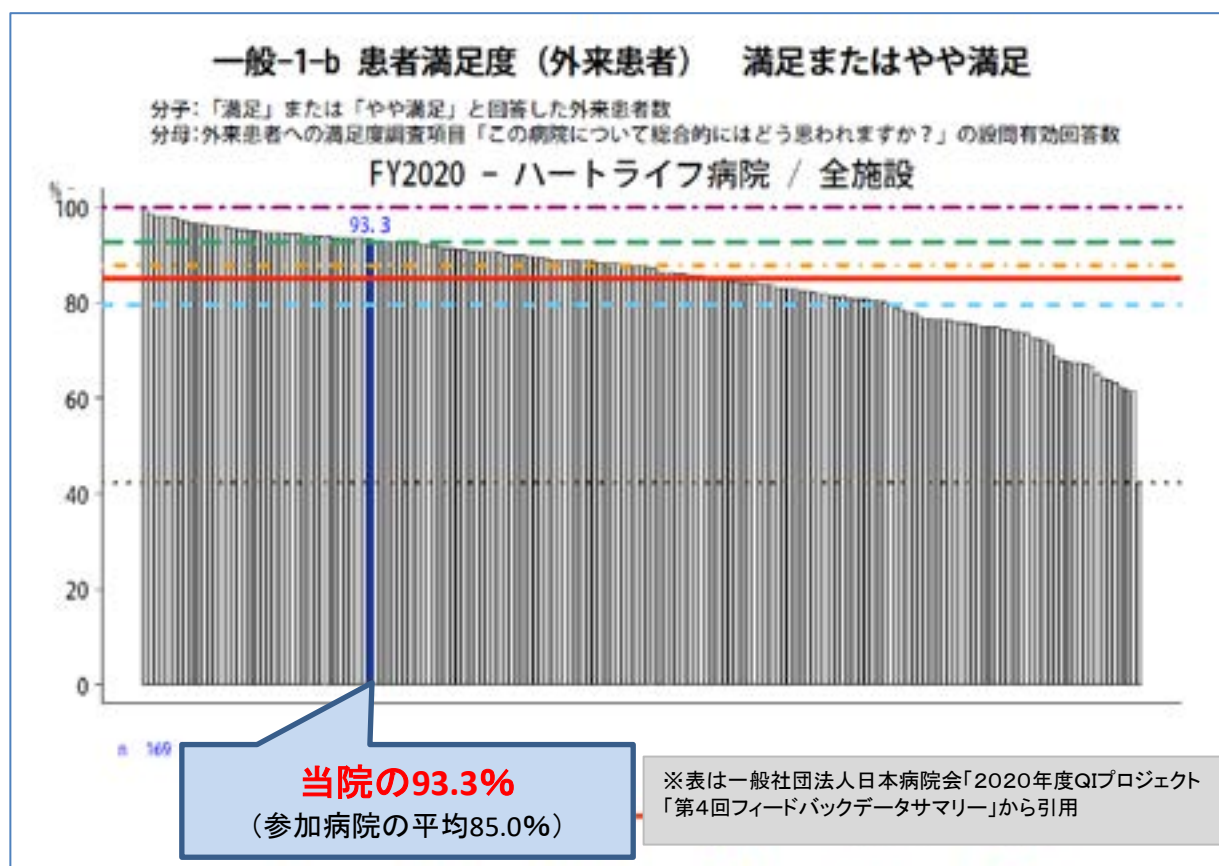
Q. この病院について総合的にはどう思われますか? の設問に、「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階評価をして頂き、満足またはやや満足とご回答頂いた外来患者及び入院患者の割合

外来調査期間：2020 年 10 月 5・6 日の 2 日間 回答者数:193 名

外来における患者満足度の「満足またはやや満足」は、9 割を超える高い満足度をおります。昨年度と比較し「満足またはやや満足」の割合が僅かではありますが 1.4% 増加しました。引き続き患者満足度の向上に努めてまいります。

外来

	2016	2017	2018	2019	2020
満足のみ	36.8%	36.0%	35.6%	37.6%	35.8%
満足 + やや満足	88.3%	93.0%	91.5%	91.9%	93.3%

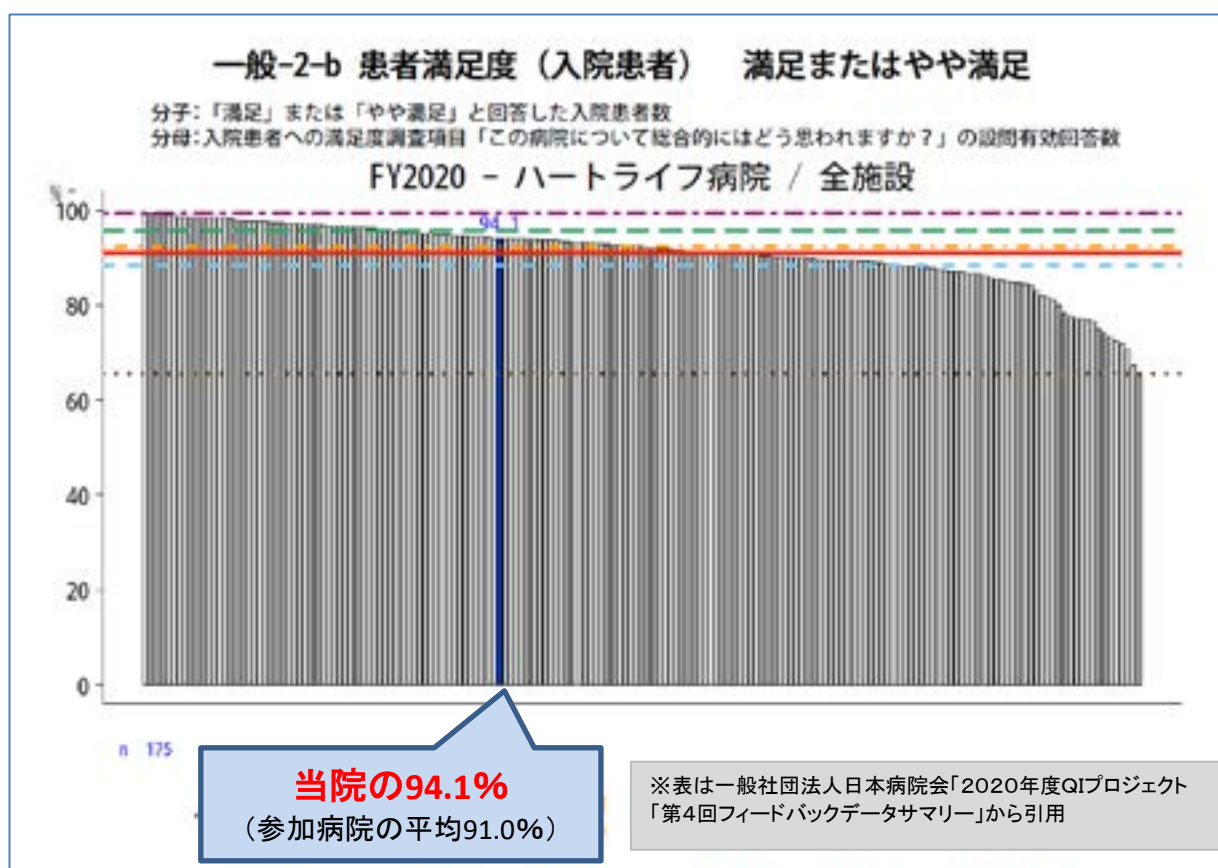


昨年度に比べ「満足またはやや満足」は3.3%のダウンとなる結果になってしまいました。
アンケート調査から得られた内容を元に、引き続き患者満足度の向上に努めてまいります。

入院調査期間:2020年10月5～10日の6日間 回答者数:102名

入院

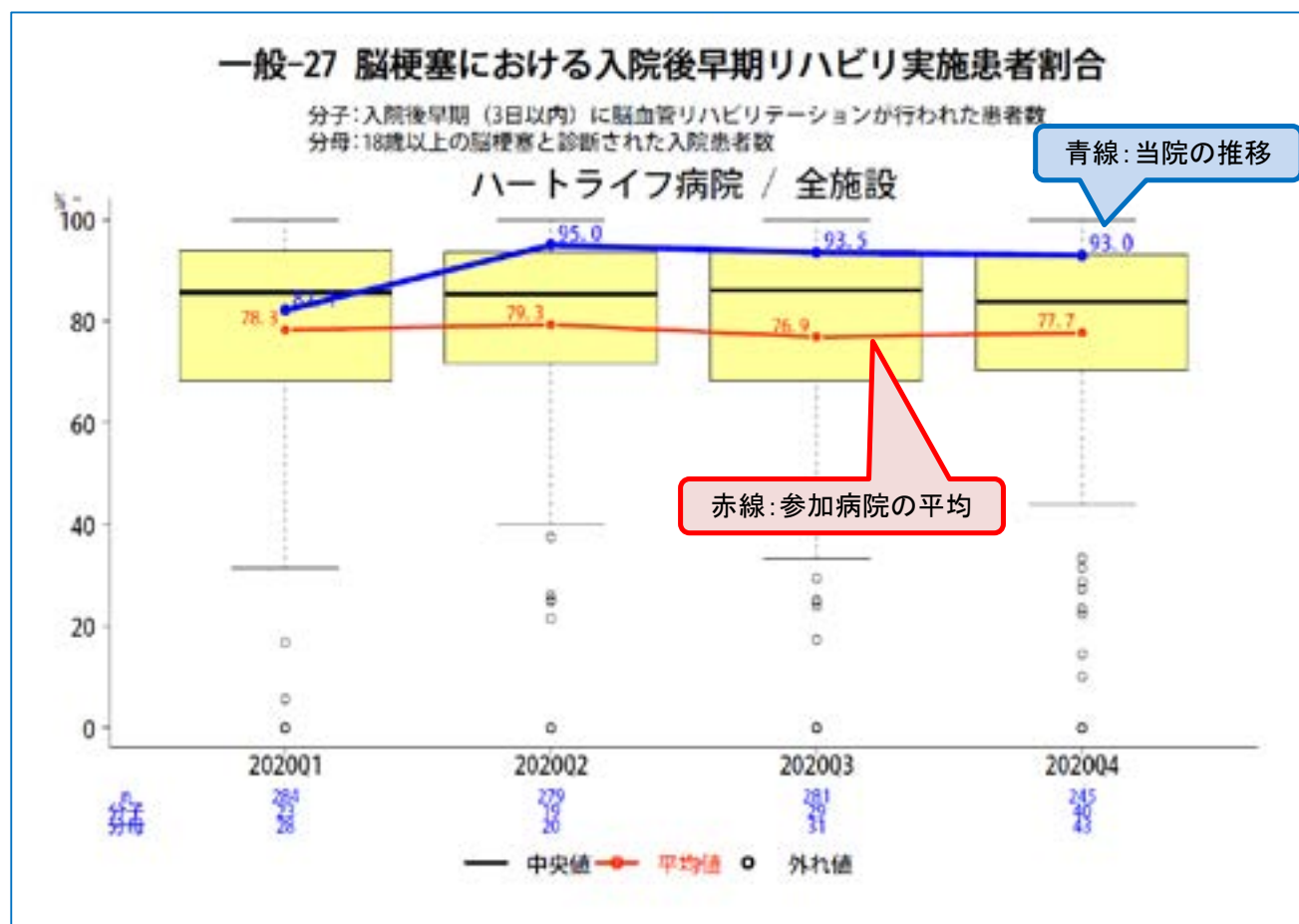
	2016	2017	2018	2019	2020
満足のみ	46.8%	53.0%	44.4%	51.3%	51.0%
満足+やや満足	94.9%	92.5%	96.5%	97.4%	94.1%



脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

この図は脳梗塞の診断で入院し、入院後 3 日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例の割合を示しております。脳卒中の診断後できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながります。

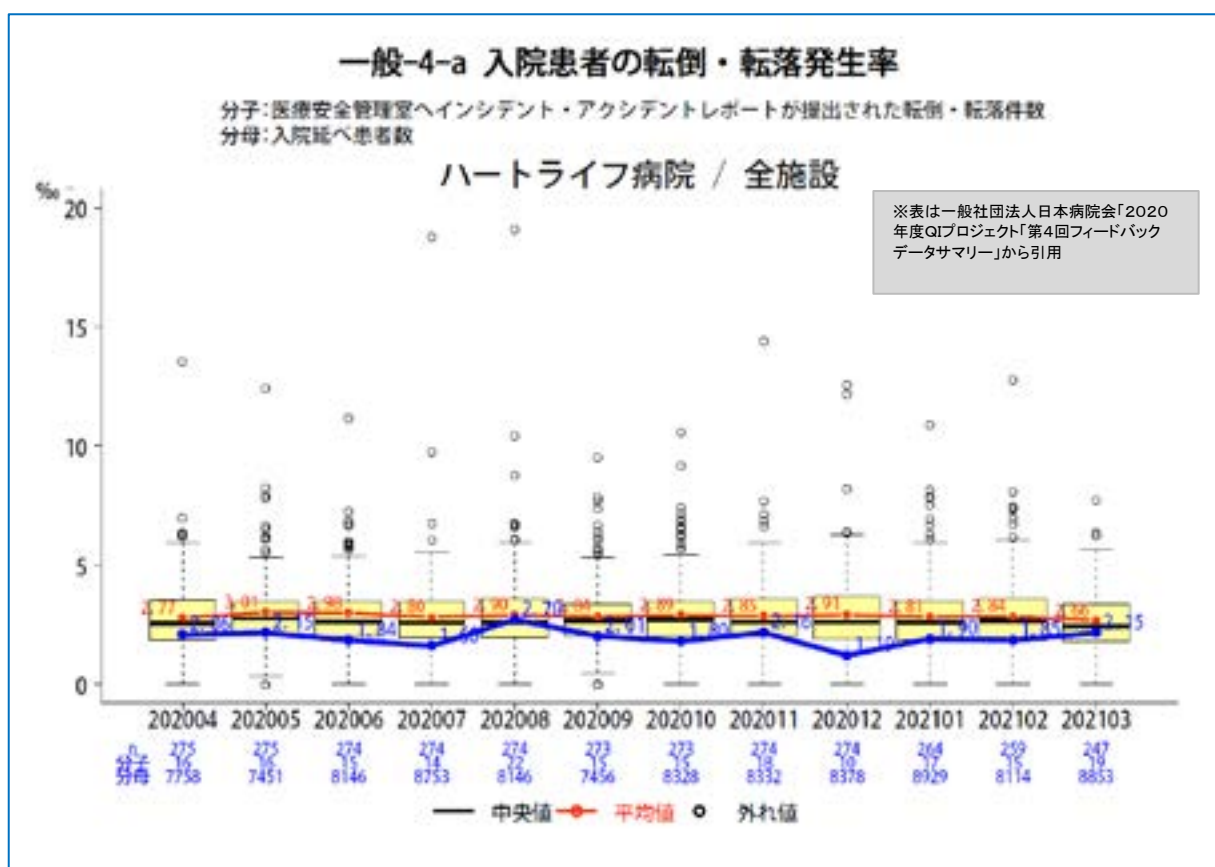
近年、脳卒中患者における急性期リハビリテーションの有効性が明らかになっています。急性脳梗塞では、急性期治療を行いつつ、出来る限り早くリハビリテーションを開始する必要があります。当院の「脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合」は、昨年度と比較し 6.5% 上昇し 91.0% と Q1 プロジェクト参加病院参加病院の平均値を大きく上回っていました。（診療情報管理室）



入院患者の転倒・転落発生率

- ①自立患者、認知機能低下・せん妄など事象発生時の患者状態を安全管理室として分析しています。その上で、部署の判断と照合し、要因と対策の適性話し合っています。
- ②発生時間、排泄に関連しているかなど患者行動を分析しています。分析から、事前のトイレ誘導など転倒防止策について検討する場を部署と設けています。
- ③看護部を中心に転倒、転落事象低減を目標に環境管理強化に取り組んでいます。
- ④高齢化に伴い、履物選択指導を継続しています。

高齢化に伴い事象レベルが高くなる傾向もあり、継続して転倒転落防止における教育を行なっています。



地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率

地域医療支援病院承認条件：紹介率 65% 以上かつ逆紹介率 40% 以上

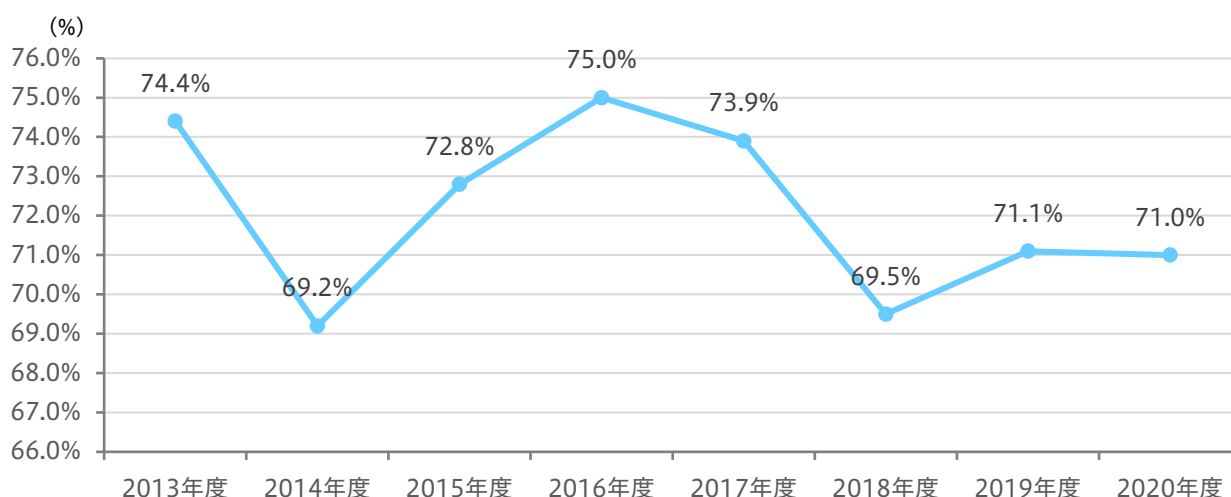
ハートライフ病院目標 紹介率 81.2% / 逆紹介率 75.8%

(データ作成 地域医療連携室 金城)

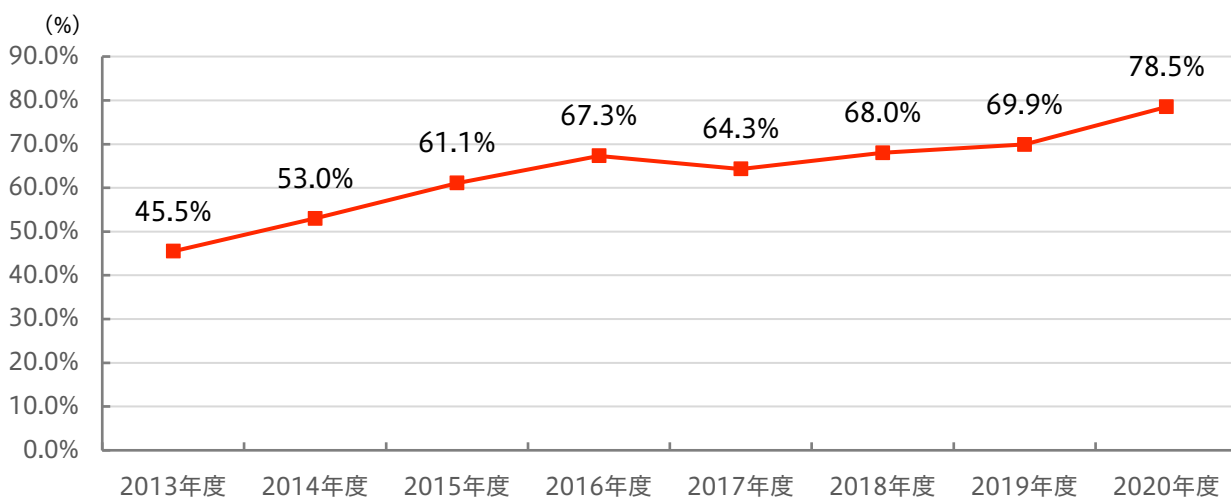
紹介患者状況

	2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	8,596	716	8,645	720	8,402	700	8,872	739	7,636	636
初診患者数	18,157	1,513	18,703	1,559	18,816	1,568	19,828	1,652	15,564	1,297
救急初診患者数	6,761	563	7,149	596	6,506	542	7,032	586	4,394	366
時間内初診救急搬送件数	623	52	624	52	658	55	772	64	749	62
逆紹介患者数	7,716	643	7,528	627	8,214	685	8,711	726	8,442	704
紹介率	75.0%	-	73.9%	-	69.5%	-	71.1%	-	71.0%	-
逆紹介率	67.3%	-	64.3%	-	68.0%	-	69.9%	-	78.5%	-

地域医療支援病院紹介率の実績 (月平均紹介率 / 基準値 65% 目標値 81.2%)



地域医療支援病院逆紹介率の実績 (基準値 40% 目標値 75.8%)



共同利用

(データ作成 地域医療連携室 金城)

年度別 登録医状況

	登録医数	備考
2009 年度 3 月	292	
2010 年度 3 月	303	
2011 年度 3 月	307	登録医療機関は 303
2012 年度 3 月	304	登録医療機関は 300
2013 年度 3 月	299	登録医療機関は 294
2014 年度 3 月	297	登録医療機関は 290
2015 年度 3 月	300	登録医療機関は 292

	登録医数	備考
2016 年度 3 月	322	登録医療機関は 313
2017 年度 3 月	323	登録医療機関は 314
2018 年度 3 月	324	登録医療機関は 315
2019 年度 3 月	322	登録医療機関は 313
2020 年度 3 月	313	登録医療機関は 304

2020 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	11
中部医療圏	102
南部医療圏	171
宮古医療圏	12

医療圏	件数
八重山医療圏	7
その他医療圏	1
合計	304

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2014 年度	8,950	115.1%
2015 年度	8,843	110.0%
2016 年度	10,521	131.2%
2017 年度	9,172	114.4%

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2018 年度	9,352	117.4%
2019 年度	8,919	110.4%
2020 年度	7,551	94.2%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
2011 年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
2012 年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
2013 年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
2014 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
2015 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%

		MRI	CT	RI	超音波
2016 年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%
2017 年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%
2018 年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%
2019 年度	総件数	4,758	13,667	285	12,248
	紹介件数	965	1,513	49	2,881
	利用率	20.2%	11.1%	17.1%	23.5%
2020 年度	総件数	4,581	14,708	285	11,623
	紹介件数	849	1,505	45	2,953
	利用率	18.6%	10.2%	15.8%	25.4%

救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

気管挿管病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	3
中城北中城消防本部	2
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	1
沖縄市消防本部	1
合 計	7

薬剤投与病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
島尻消防組合消防本部	2
合 計	3

就業前病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
中城北中城消防本部	1
島尻消防組合消防本部	2
合 計	4

気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	3
合 計	3

ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	3
合 計	3

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT は、大規模災害や多数傷病者事案など防ぎ得た災害死を減らすため、厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加、実績を残し、平成 26 年にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も各種訓練や講習会に参加しつつ、救急総合診療部・災害対策委員会・経営企画室・臨床工学科・管財課用度係・薬局と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成 28 年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、令和 2 年の熊本豪雨災害にも出動し、本部活動を含め被災地の復興のために活動してきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部 救急部長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科 医長	医師（外科系）
竹本 健太	透析室	看護師
兼本 愛美	救急外来 主任（救急看護認定看護師）	看護師
山田 義長	救急外来 副主任	看護師
野原 剛	臨床工学科 技師長	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 健二	事務部企画室電算係 副主任	ロジスティクス（事務・調整役）
森元 一晟	救急外来 ER-Aide（救急救命士）	ロジスティクス（事務・調整役）

活動報告

種別	名称・参加者
災害派遣	令和 2 年 7 月豪雨（活動期間：2020/ 7/ 7 ～ 2020/ 7/11・熊本県） 派遣メンバー：三戸正人、兼本愛美、山田義長、野原剛、森本一晟、安里健二
県庁派遣	沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部総括情報部への職員派遣
事務局活動	C19 災害対策本部会議 ハートライフ DMAT 委員会 (DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課)

令和 2 年 7 月豪雨 活動写真①

資器材準備作業



ドクターカーをフェリーへ積み込み



本部ミーティング



避難所支援指揮所リーダー活動



本部駐車場



避難所までの道路状況



令和2年7月豪雨 活動写真②

避難所内救護所立ち上げ



避難所サーベイランス



自衛隊車両



芦北町役場ミーティング



避難所までの道路状況

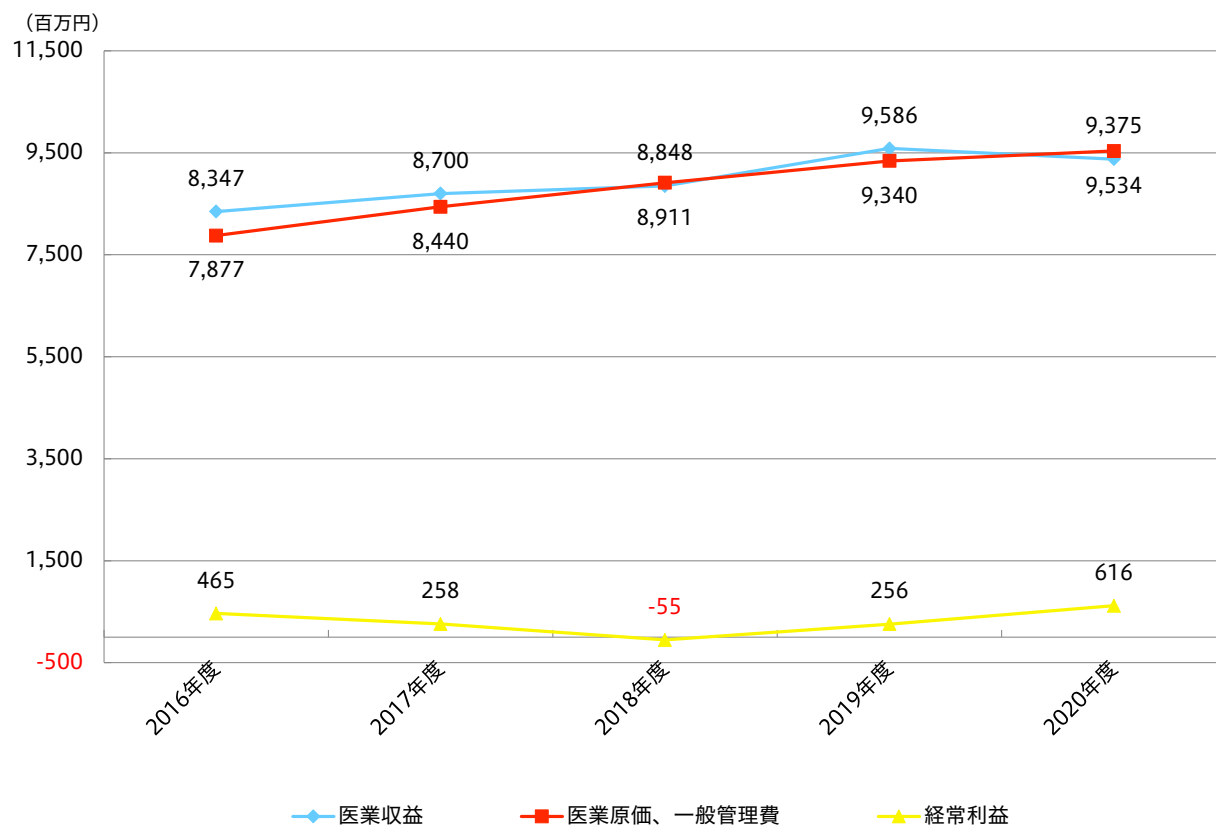


避難所内救護所駐車場



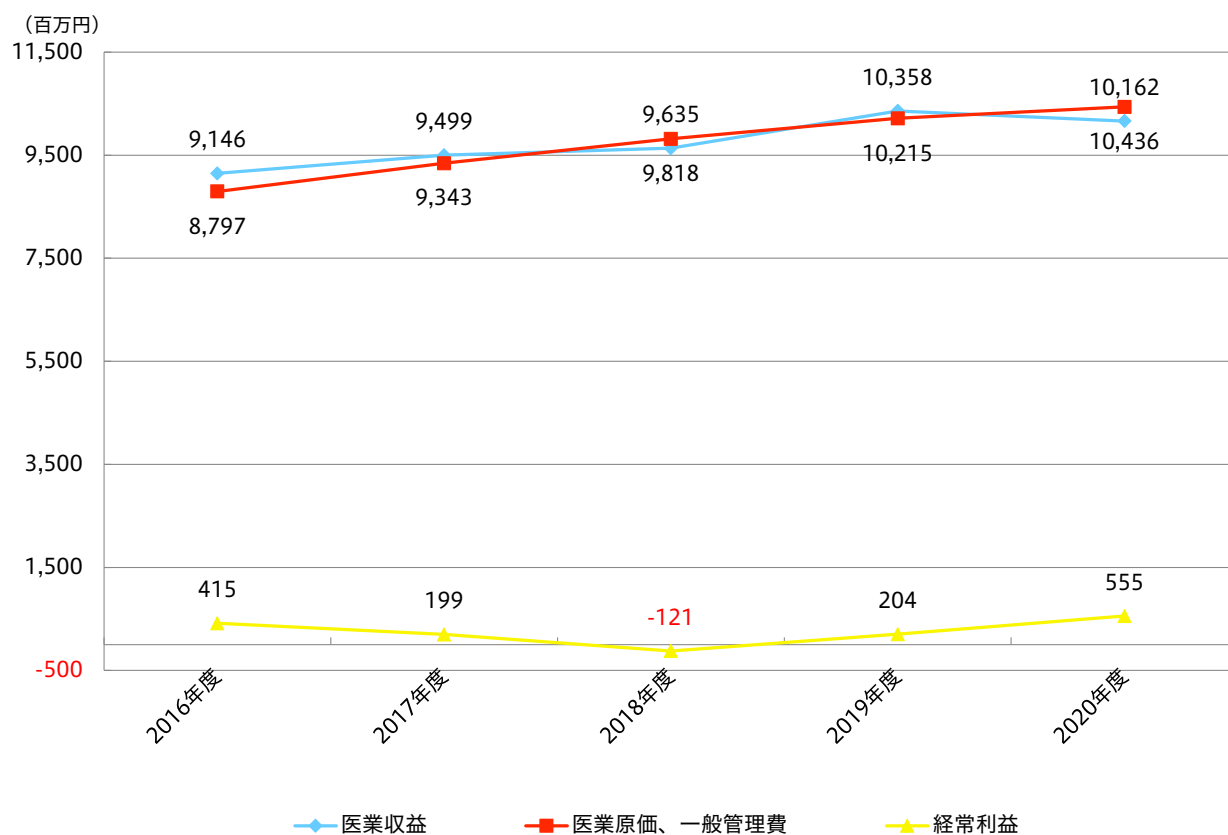
ハートライフ病院財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



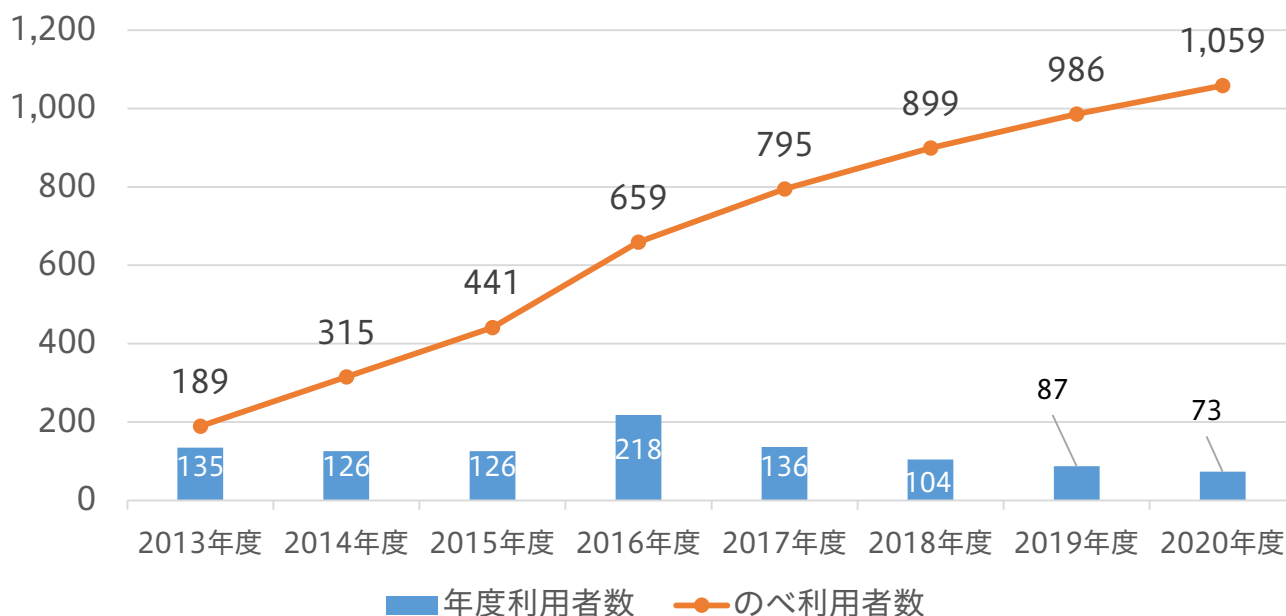
社会医療法人かりゆし会 2020 年度の活動実績

(データ作成 総務課 吉川)

年月日	名称
2020 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション (1 日目)
2020 年 4 月 1 日	春季 職員健診 (35 歳未満: 4 月 1 日～10 日、35 歳以上: 4 月 1 日～30 日)
2020 年 4 月 17 日	第 1 回 C19 災害対策本部会議 (1 回 / 週 開催)
2020 年 7 月 6 日	院内献血
2020 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 32 周年
2020 年 9 月 1 日	新職員駐車場 (病院道向かい) の運用開始
2020 年 10 月 5 日	患者満足度調査 (外来部門、透析室、予防医学センター、内視鏡センター:10 月 5 日～6 日入院部門:10 月 5 日～10 月 10 日)
2020 年 11 月 5 日	科別実績報告会 (1 日目)
2020 年 11 月 6 日	科別実績報告会 (2 日目)
2021 年 1 月 18 日	院内献血
2021 年 2 月 1 日	感染対策 WEB 講習会 (2 月 1 日～3 月 31 日)
2021 年 2 月 13 日	第 5 回 沖縄県緩和ケア研修会 2020
2021 年 3 月 8 日	職員満足度調査 (3 月 8 日～26 日)
2021 年 3 月 17 日	第 1 弾 職員対象 新型コロナワクチン接種 (3 月 17 日～19 日)

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



2020 年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 富里)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。

2020 年度に実施されました調査結果をご報告致します。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

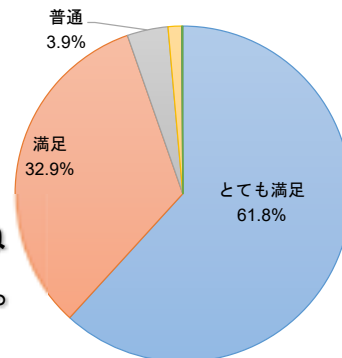
調査場所：2020 年 10 月 5 日（月）から 10 月 6 日（火）の 2 日間（病棟のみ 10/5～10/10 までの 6 日間）

※調査場所：ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・予防医学センター・内視鏡センター

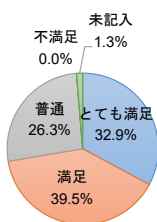


【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

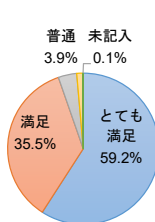
満足以上が94.7%と概ね
良い評価となっています。



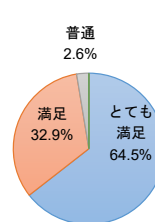
内視鏡での待ち時間



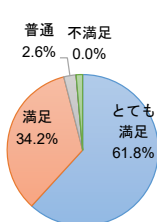
医師の言葉遣いや態度



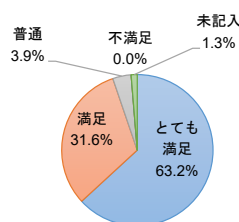
看護師の言葉遣いや態度



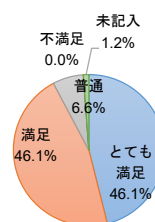
受付事務の言葉遣いや態度



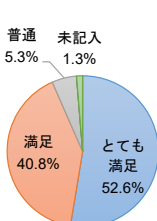
看護師の対応



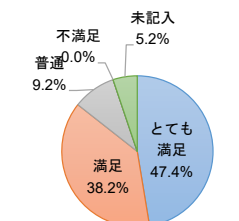
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



＜コメント＞

不安なく検査を受けることができました。ありがとうございました。

施設も以前と比べて完備され、満足しています。ありがとうございます。

今年は去年に比べてとても楽でした。スタッフの皆さんありがとうございました。来年も宜しくお願いします。

スタッフの皆さん親切で声かけもよく、気持ちが良い。

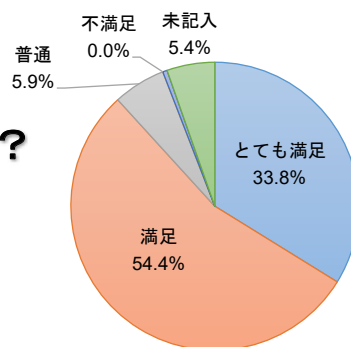
待ち時間がもう少し短いといいと思います。

外来

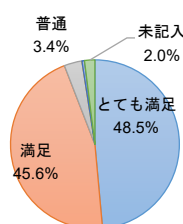
アンケート回答数
204件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

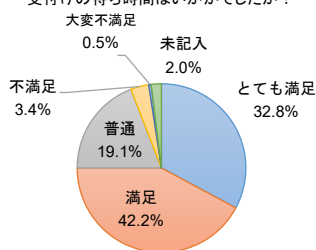
満足以上が88.2%と
概ね良い評価と
なっています。



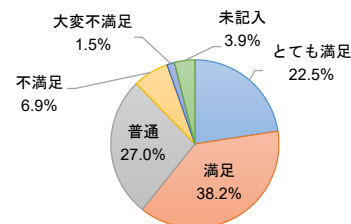
医師による診察内容は分かり易かったですか？



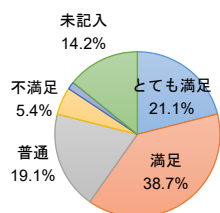
受付待ち時間はいかがでしたか？



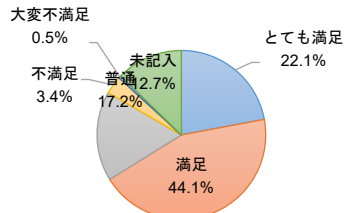
診察の待ち時間はいかがでしたか？



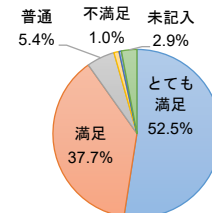
検査の待ち時間はいかがでしたか？



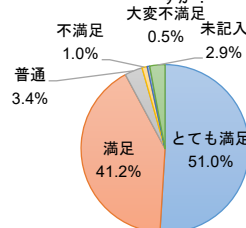
会計の待ち時間はいかがでしたか？



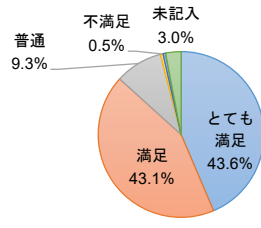
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



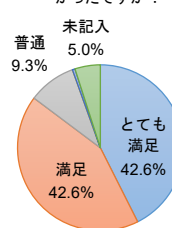
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



<コメント>

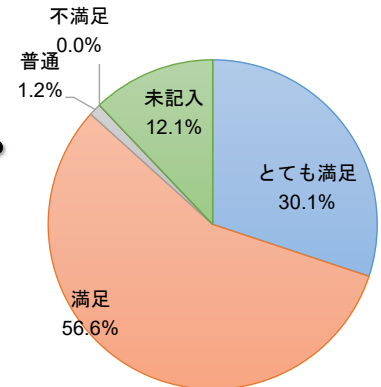
医師、看護師、その他業務の職員の対応が丁寧。一定レベル以上あることをいつも感じています。
去年今年と手術して1か月程入院しましたが、看護の皆さんの対応はとっても良かったです。主治医の新垣和伸先生の技術も最高です。感謝しています。
だんだん良くなっています。駐車場も広くなって良かったです。
コロナで我慢していましたが、久しぶりの受診になり、大きな病院が近くにあることはとても心強いです。みなさんのおかげで安心して受診できます。ありがとう。頑張って下さい。私たちも協力できる限り頑張ります。
医師の診察終了後の会計に行くまでの待ち時間が長い。看護師のチェックなく会計に移りたい。
受付終了してから診察の待ち時間がとても長いです(予約時間より1時間半遅れた)
駐車場満車の場合、入り口で分かるようにしてほしい。
診療費支払機でクレジットカードを使えるようにしてほしい。思ったより高額診療費の場合、再度会計に声かけするのが大変。

予防医学 センター

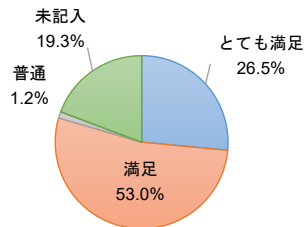
アンケート回答数
83件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

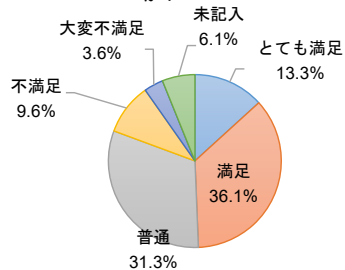
86.7%が満足以上の
評価となっています。



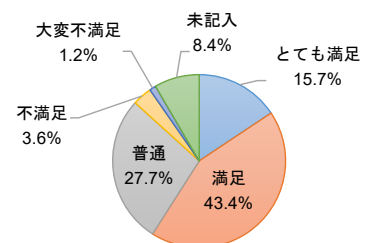
医師による診察内容は分かり易かったですか？



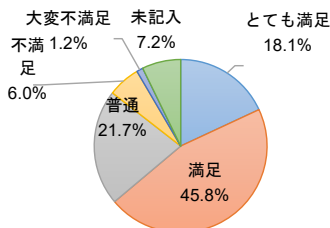
受付の待ち時間はいかがでしたか？



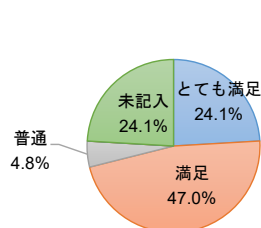
診察の待ち時間はいかがでしたか？



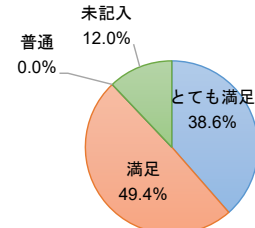
検査の待ち時間はいかがでしたか？



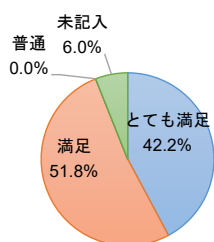
会計の待ち時間はいかがでしたか？



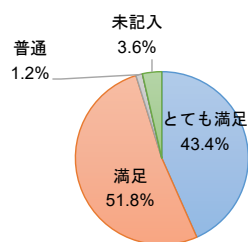
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



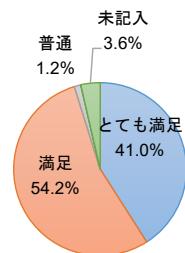
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



＜コメント＞

毎年お世話になっています。今年はコロナで大変な中、いろいろ対策・工夫してドックを続けてくださってありがとうございました。

毎年利用させていただいています。年々対応が親切になっていて、気持ち良く受けることができます。ありがとうございます。

7時から8Fへ案内となりますが、1Fで整理番号を配布してほしい。内視鏡での待ち時間が長くPMまでくいこんだ。AMで終わるのが理想です。

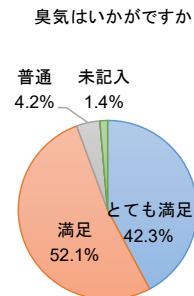
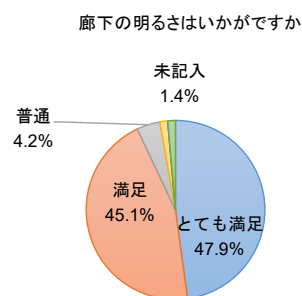
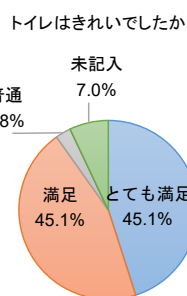
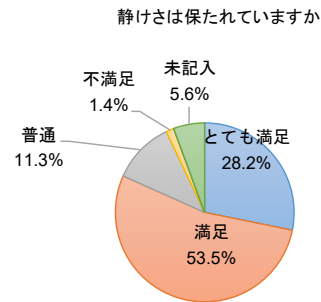
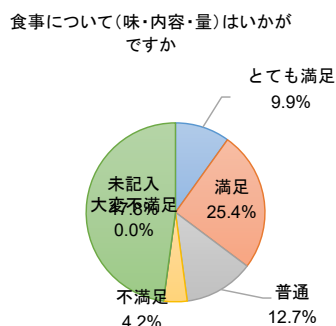
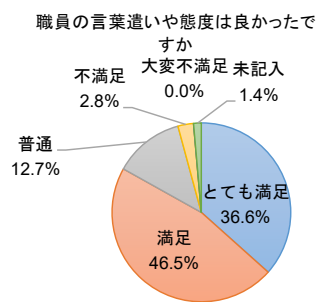
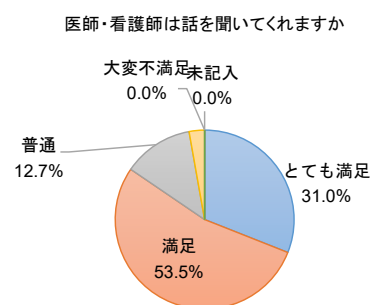
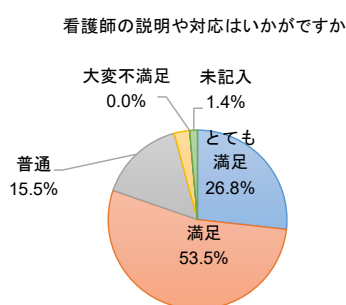
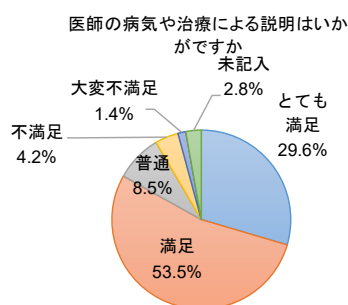
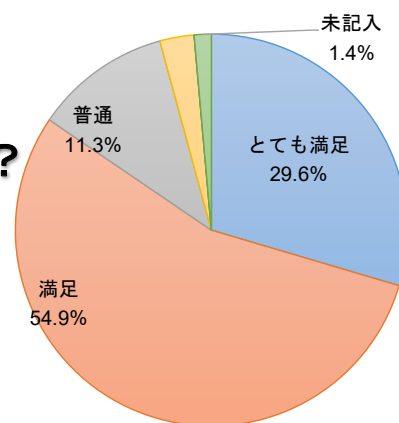
今回健康相談がなかったので何か物足りなかった。

透析室

アンケート回答数
71件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

84.5%が満足以上の
評価となっています。



＜コメント＞

お世話いただき感謝いたしております。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

日頃より大感謝です。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

名前を覚えるのが苦手です。すみませんが名札が見えるようにつけてもらいたい。

開始時間を8時にしてほしい。お願いします。スタッフを増やして欲しい。

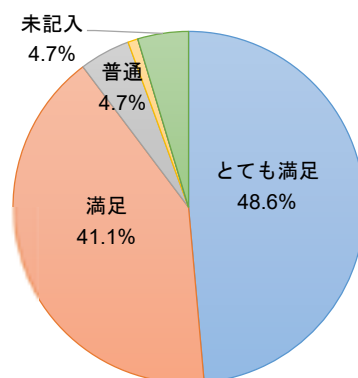
送迎についてですが、コロナの件もあると思いますが、又復活して送迎してほしいです。よろしくお願いします。

病棟

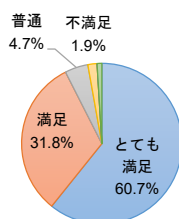
アンケート回答数
107件

【総合評価】 この病院での診療に 満足していますか

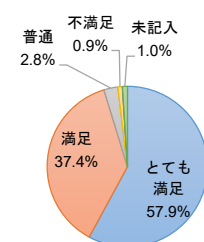
満足以上が89.7%と概ね
良い評価となっています。



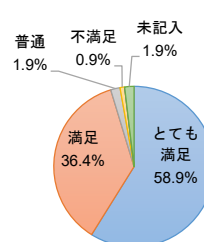
医師の病気や治療による説明はいいですか



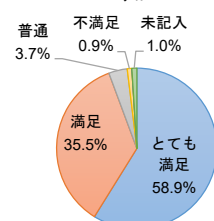
看護師の説明や対応はいいですか



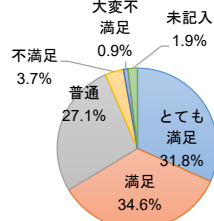
医師・看護師は話を聞いてくれますか



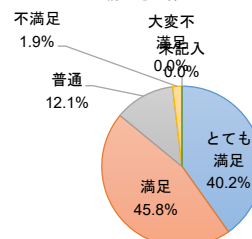
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



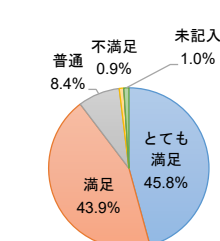
食事について(味・内容・量)はいいですか



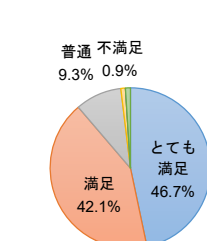
静けさは保たれていますか



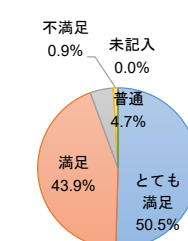
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいいですか



室内の温度調整はいいですか



＜コメント＞

何よりも毎日2回見回りし様子を聴いて下さる事が心強かったです。男子・女子職員共にしっかりと話を聞いていただき丁寧なアドバイスを下さいました。安心して入院できました。リハビリの先生方もアドバイス丁寧でした。すべてに心から感謝して大変満足でした。

皆さん優しい方々でとても助かっています。初めての入院で不安がいっぱいでしたが看護師さんや先生など気軽に声をかけてくれたり、話したりして楽しかったり少しずつ不安がなくなって気持ち(精神的)に楽しくなっているので感謝しています。

コロナ禍の中笑顔でお仕事している看護師さんたちには本当に感謝です。また、ハートライフ病院の医師の先生方には日頃からお世話になってます。ありがとうございます。今年は(5月ごろ)命にかかわる病気を治療していただき感謝、感謝です。コロナ対策もされていて良かったです。

先生たちの説明もとても丁寧で分かりやすく、安心して治療できました。看護師さんたちもいつも明るく優しく、声をかけてくれて息子が吐いてしまった時も付き添いの私にも気遣いお風呂に入っているよと言ってくれたり、安心して入院生活が過ごせました。本当にありがとうございました。

分娩中、入院中と面会禁止の中、1人で知らない周りの人達(先生・看護師)に支えてもらうとはいえとても不安だったし、苦しいと感じた。でも入院2日目？3日目のとき、助産師さんとたくさん話してきて気持ちがとても楽になった。また、分娩中も話し相手になってくれたり、気持ちに共感してくれて安心して出産に挑めたと思う。入院4日目からは、赤ちゃんと一緒に向き合ってきたと感じていた。

コロナで無痛分娩やつきそいがなくなり、転院も考えたが、そのままハートライフさんをお願いすることにした。不安な面もあったが、全体的に良かった。総合病院なので職員が多く、朝晩・日ごとに違うので名前を覚えていませんが、皆さんありがとうございました。

食事が美味しくて、毎食楽しみにしています。妊娠中～出産で長期入院中ですが、家で待っている上の子のことを先生や助産師さんみんなが気にかけてくれて、本当に感謝しています。無痛分娩を休止したので他の産院に転院することも考えましたが、ハートライフ病院で出産出来て良かったです。いろいろあったからこそ東4F・5F病棟のスタッフのみなさんのやさしさに支えられてすてきな出産をすることができました。本当にありがとうございました。

2020 年度職員満足度調査

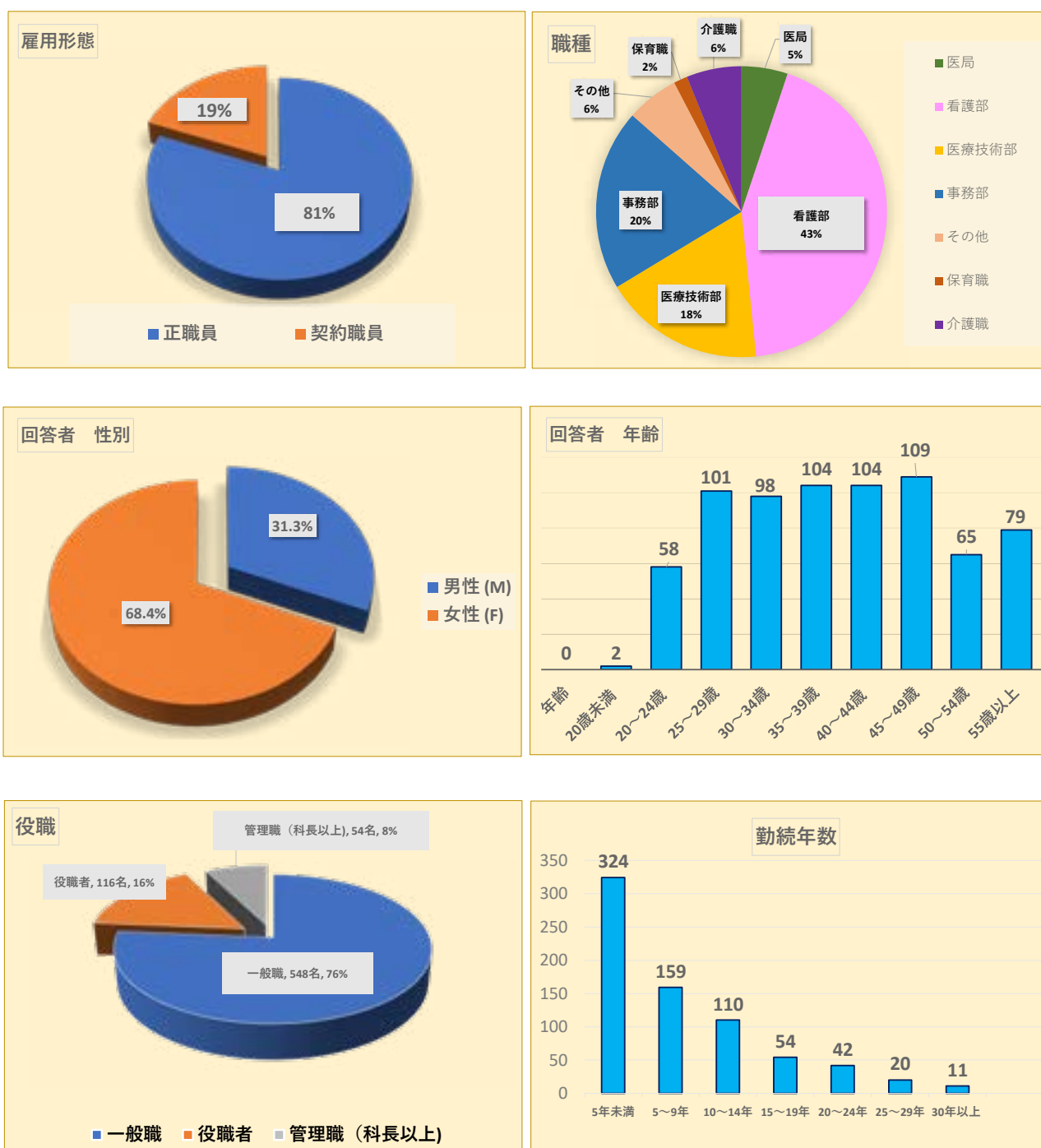
(データ作成 事務部 比嘉)

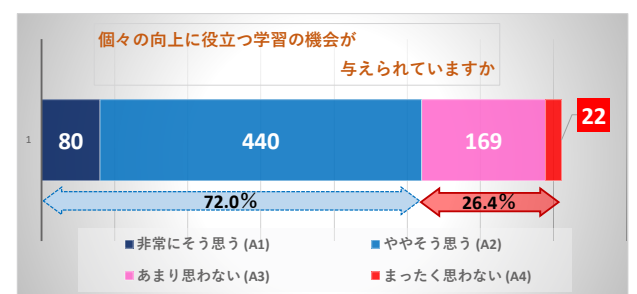
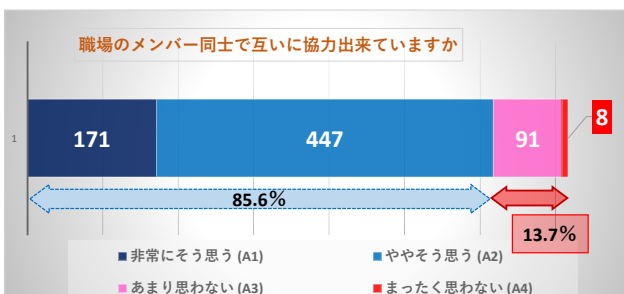
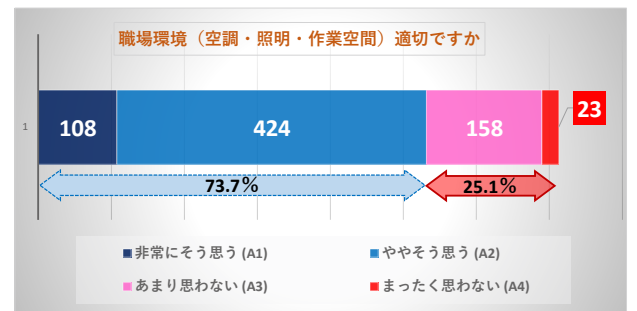
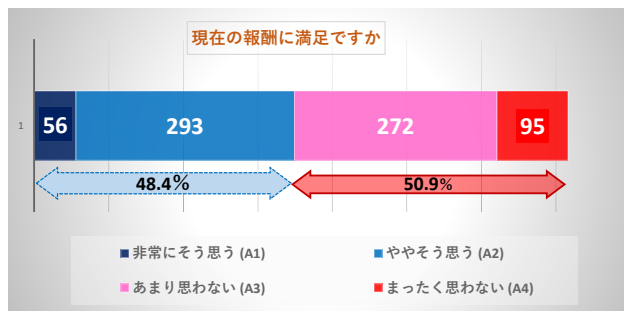
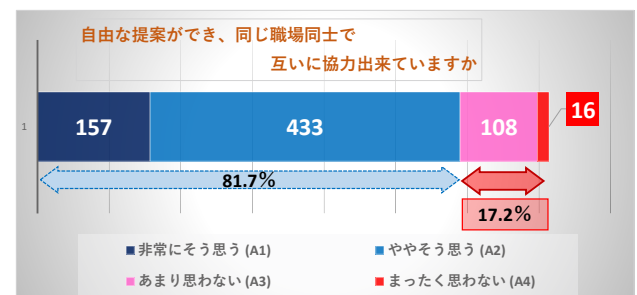
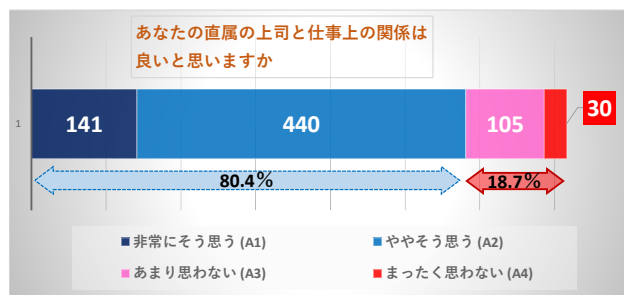
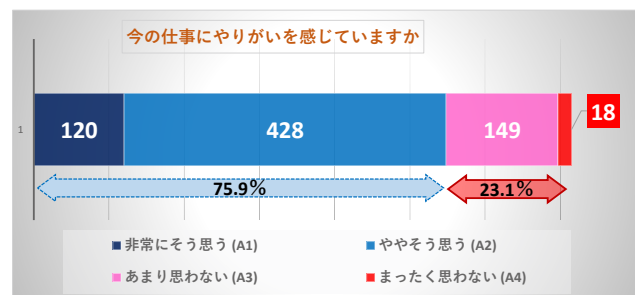
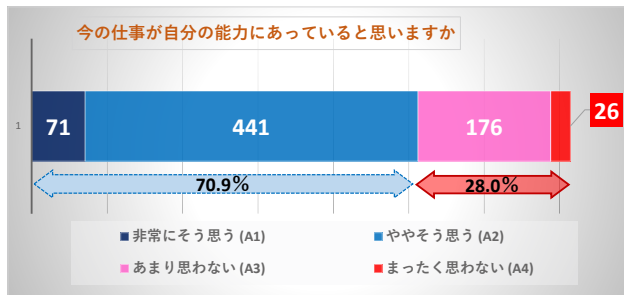
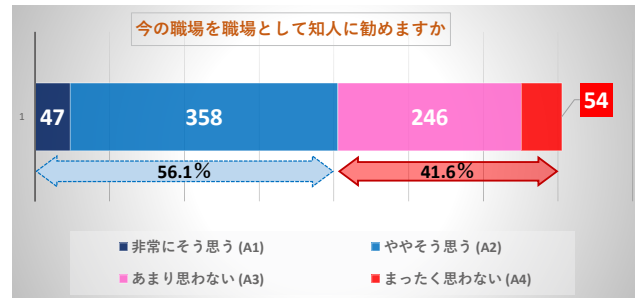
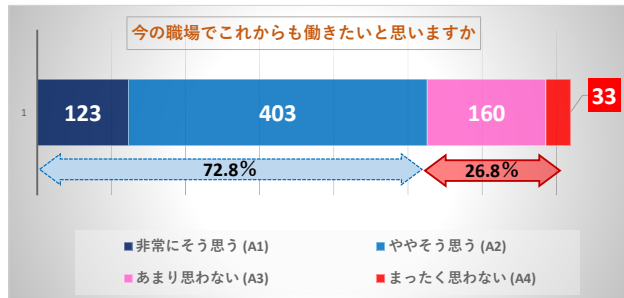
かりゆし会では職員満足度調査を毎年行い、このアンケートの結果を職場改善の材料として、職員が働きやすく働きがいのある組織運営の実現に取り組んでおります。

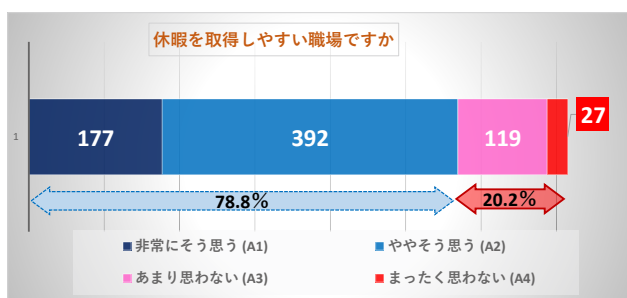
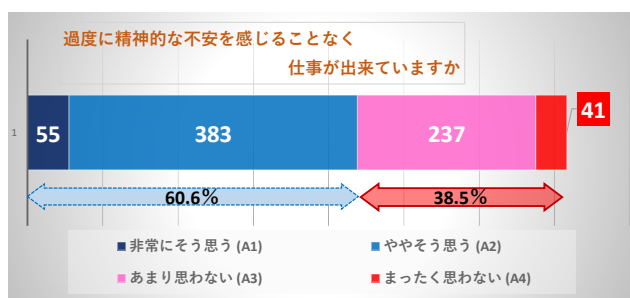
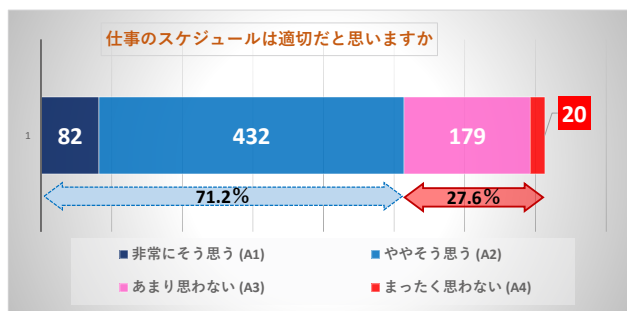
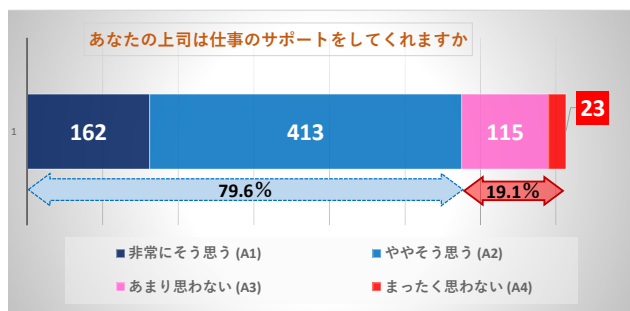
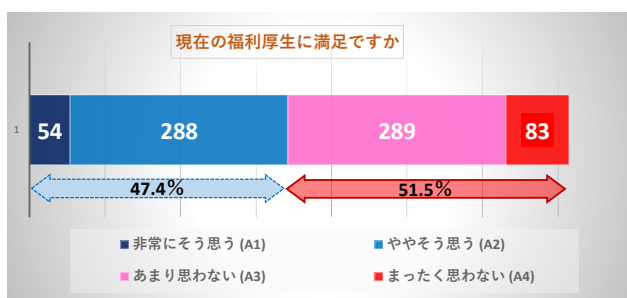
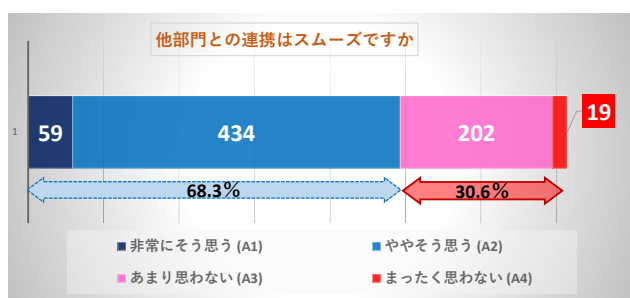
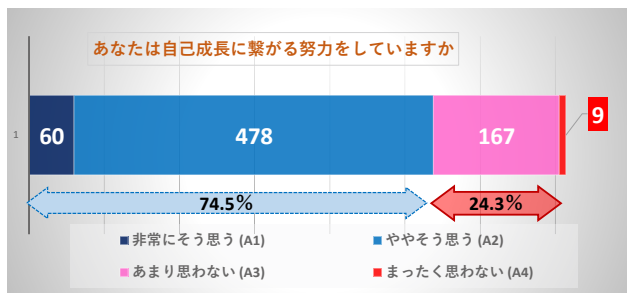
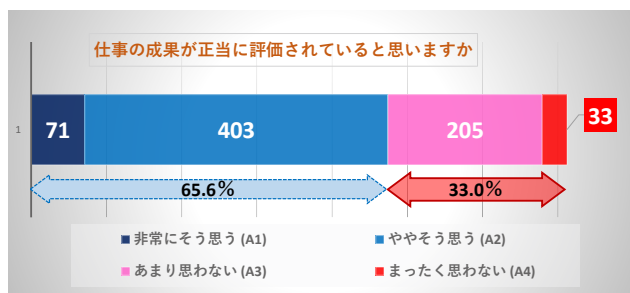
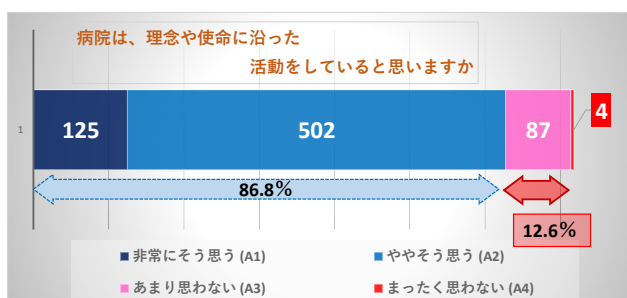
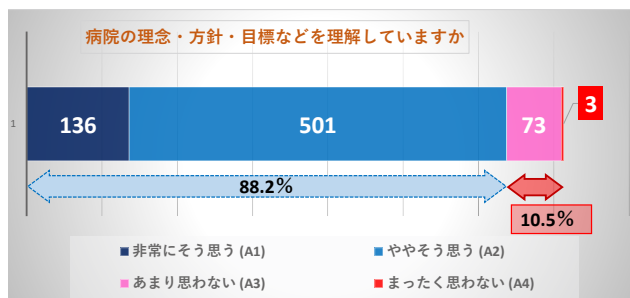
調査概要：職員数 1,118 名（2020.12.1 時点） 回答数 722 回答率 64.58%

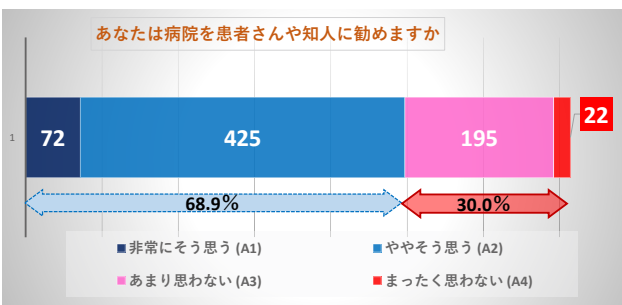
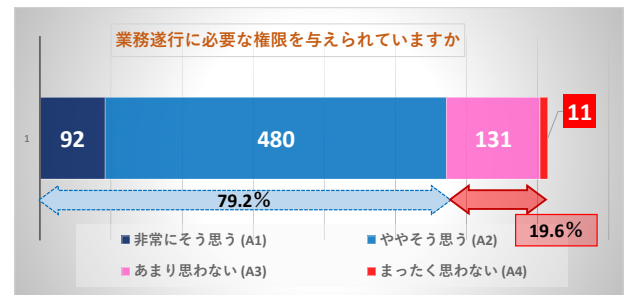
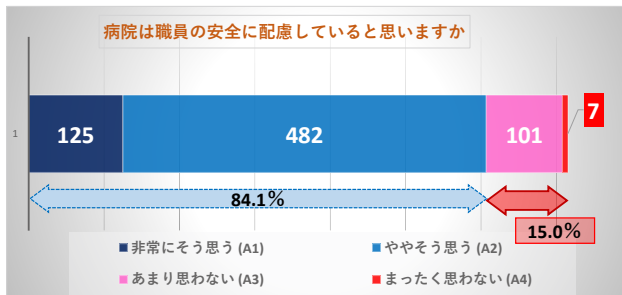
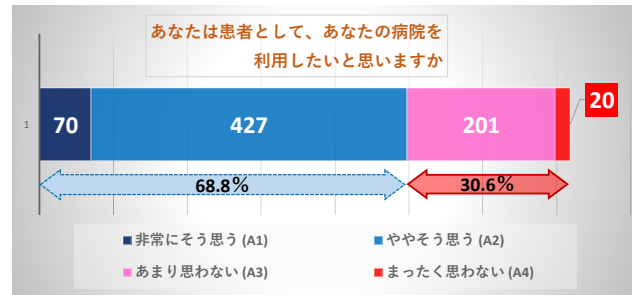
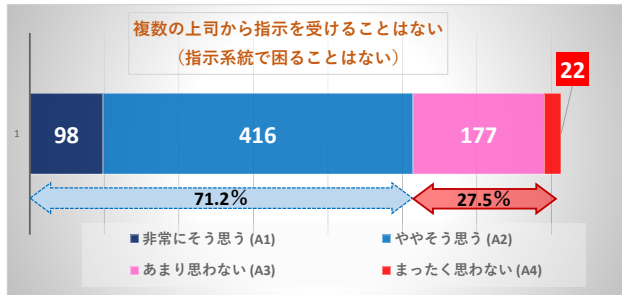
調査日時：2021 年 3 月 8 日（月）～ 2021 年 3 月 31 日（水）

調査方法：グループセッション（グループウェア）を利用した調査票への入力









総括

回答率は、対前年と比較で+ 9.31 ポイント増加し、回答率 64.58% (回答者数 722 名) となりました。

「ややそう思う」「非常にそう思う」合わせた評価比率で対前年 3 ポイント以上改善が見られた項目

- ①「病院の理念・方針・目標などを理解していますか (88.2%) + 4.2 ポイント」
- ②「病院は理念や使命に沿った活動をしていると思いますか (86.8%) + 3.5 ポイント」
- ③「あなたは自己成長に繋がる努力をしていますか (74.5%) + 7.5 ポイント」
- ④「現在の報酬に満足ですか (48.4%) + 6.8 ポイント」
- ⑤「あなたは患者として、あなたの病院を利用したいと思いますか (68.8%) + 3.3 ポイント」

「ややそう思う」「非常にそう思う」合わせた評価比率で対前年 3 ポイント以上の減少項目

- ①「自由な提案ができ、同じ職場同士で互いに協力出来ていますか (81.7%) △ 5.6 ポイント」
- ②「あなたの上司は仕事のサポートを良くしてくれますか (79.6%) △ 2.9 ポイント」
- ③「職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか (85.6%) △ 4.5 ポイント」
- ④「個々の向上に役立つ学習の機会が与えられていますか (72.0%) △ 5.2 ポイント」

今後の取り組み事項

「現在の報酬に満足ですか」項目で、「ややそう思う」「非常にそう思う」合わせた評価比率は依然 48.4%と低く、要望事項としても処遇改善（給与・残業手当・契約職員待遇）に関するものが多い状況です。今後の採用、定着率に繋がる事項であるので、働き方改革の一つである、同一労働同一賃金に向けて、今年度取り組んでいきます。また、人事評価制度の導入に向けた取組や契約職員の処遇についても検討します。

「福利厚生に満足ですか」項目でも通年評価が低く、当会の福利厚生種類について前年同様に内容を周知していきます。互助会の福利厚生に対する要望や互助員加入の「リロクラブ」に対するご意見等は、互助会へ情報共有を行います。

「病院の改善したい点や気になる点をあげて下さい」では、給与などの処遇改善、マンパワー不足、外来待ち時間、エレベーター増設、正面玄関舗装についての要望事項があり、今後の対応について検討します。

部署別業務実績

医 局

部門紹介

2020 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 26 名（内科初診担当 2 名、総合内科 1 名、呼吸器 4 名、循環器 6 名、消化器 8 名、血液 5 名）、外科 11 名、麻酔科 5 名、整形外科 6 名、産婦人科 5 名、小児科 4 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 2 名、眼科 3 名、形成外科 3 名、耳鼻咽喉科 2 名、放射線科 2 名、救急科 2 名（1 名は兼任）、心療内科 1 名、人間ドック 4 名、病理診断 2 名、初期研修医 10 名の計 89 名となっていました。

また、初期研修医 10 名、専攻医 4 名の指導に加え、年間 50 名程のクリニカルクラークシップ（琉球大学医学部生）に対応しています。

医師数（常勤）

（2021 年 3 月 1 日現在）

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数（研修医除く）	26	11	2	4	5	6	2	2	2	3	2	1	5	4	0	3	2	80
うち各種学会認定・専門医数	60	39	8	3	4	12	4	5	0	2	3	3	13	7	0	6	3	172
うち臨床研修指導医数	19	6	2	1	2	3	2	2	1	1	1	1	3	0	0	1	1	46
専攻医	4	2	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	14
初期研修医	1 年目：3 名 2 年目：7 名																	10

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日 8:00 ～ 8:30）

年	月日	担当者	演題名
2020 年	6 月 17 日	国吉 史雄	当院での DMAT 活動
	6 月 24 日	宮城 純	慢性便秘治療薬 上皮機能変容薬について
	7 月 1 日	山入端 敦	造血細胞移植の変遷
	7 月 8 日	大西 勉	産科の現状
	7 月 15 日	三戸 正人	熊本豪雨 DMAT 活動
	7 月 22 日	川越 得弘	沖縄県における小児上肢骨折の疫学調査
	7 月 29 日	銘苅 正	かりゆし会医師の勤務管理
	10 月 7 日	宮平 工	大腸癌の早期発見を目指した当院の取り組み
	10 月 14 日	嘉川 春生	精巣捻転
	10 月 21 日	西原 実	COVID-19 エアゾル
	10 月 28 日	赤澤 幸則	小児の先天性難聴及び成人難聴について
	11 月 4 日	普天間 光彦	当院で経験した新型コロナウイルス感染症の入院患者
	11 月 11 日	工藤 祐樹	J-osler について
	11 月 18 日	島袋 拓也	耳鼻咽喉手術における緊急対応を要する合併症
	11 月 25 日	島袋 全志	変形性膝関節症に対する骨切り術
	12 月 2 日	立津 朝成	立津のあゆみ
	12 月 9 日	青山 肇	臨床に活かす病理診断学
	12 月 16 日	比嘉 宇郎	虫垂炎の治療について
	12 月 23 日	藤川 秀爾	閉鎖孔ヘルニアの一例
	12 月 30 日	圓若 修一	非ウイルス性肝がんについて
2021 年	1 月 6 日	東盛 貴光	美容医療の合併症について
	1 月 13 日	安木 大地	インフルエンザ
	1 月 20 日	東江 拓海	大腿骨近位部骨折
	1 月 27 日	勝連 伸一郎	褥瘡管理
	2 月 3 日	兼元 萌実	低ナトリウム血症の病態と治療
	2 月 10 日	阿嘉 裕之	肛門科外来での便通指導
	2 月 17 日	新垣 和伸	変形性膝関節症について
	2 月 24 日	金城 太貴	周術期の抗血栓療法
	3 月 3 日	親川 格	角膜内皮移植 DMEK の現状
	3 月 10 日	仲本 学	早期胃癌に対する内視鏡治療
	3 月 17 日	宮平 礼	乳癌の病態・診断・治療

院内 CPC（臨床病理検討会）

症例	発表者	日付	参加者
アルコール性肝硬変に消化管出血を合併した一例	金子 侑暉 (研修医)	2020 年 8 月 13 日	金子侑暉、佐久川廣、青山肇、普天間光彦、秋元芳典、宮城純、仲本学、宮城敬、鶴田裕真、安次嶺寿乃、金城朋弥 計 11 名
骨髄異形成症候群（MDS）から急性骨髄性白血病（AML）へ進行し呼吸不全で死亡した一例	眞榮城 明里 (研修医)	2020 年 9 月 29 日	眞榮城明里、安富由衣子、青山肇、宮城純、佐久川廣、宮城敬、狩俣かおり、工藤祐樹、當山磨貴子、金子侑暉、福山芽祝 計 11 名
NK 細胞リンパ腫の同種造血幹細胞移植後、繰り返す肺炎から慢性腎障害増悪、肺炎、成人呼吸窮迫症候群、脳梗塞を合併し死亡した症例	宮城 敬 (血液内科)		宮城敬、安富由衣子、青山肇、宮城純、佐久川廣、狩俣かおり、工藤祐樹、當山磨貴子、金子侑暉、眞榮城明里、福山芽祝 計 11 名
アルコール性肝硬変で臍ヘルニアを合併した一例	野澤 圭 (研修医)	2020 年 10 月 29 日	野澤圭、古謝景輔、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、宮城敬、新垣珠代、友寄未希 計 9 名
若年発症の進行肝細胞癌の 1 例	佐久川 廣 (消化器内科)		佐久川廣、古謝景輔、青山肇、宮城純、普天間光彦、宮城敬、新垣珠代、友寄未希、野澤圭 計 9 名
続発性骨髄異形成症候群を合併した原発性マクログロブリン血症	狩俣 かおり (血液内科)	2020 年 11 月 26 日	狩俣かおり、古謝景輔、石井朗子、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、宮城敬、阿嘉裕之、メディカルスタッフ 1 名 計 10 名
腎サルコイドシスの既往をもつ骨髄異形成症候群	狩俣 かおり (血液内科)		狩俣かおり、石井朗子、青山肇、古謝景輔、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、宮城敬、阿嘉裕之、メディカルスタッフ 1 名 計 10 名
2 型糖尿病患者に合併した進行肝細胞癌の 1 例	佐久川 廣 (消化器内科)	2020 年 12 月 10 日	佐久川廣、古謝景輔、青山肇、宮城純、普天間光彦、宮城敬、狩俣かおり、新垣珠代、友寄未希、野澤圭 計 10 名
臍帯血移植後早期再発した骨髄線維化を伴う急性骨髄性白血病	狩俣 かおり (血液内科)	2021 年 1 月 20 日	狩俣かおり、鶴田裕真、青山肇、古謝景輔、宮城純、佐久川廣、宮城敬、比嘉章子、新垣珠代、佐藤直行、友寄未希、久高将太、兼元萌実、金子侑暉、原悠人、医学生 3 名 計 18 名
DLBCL 治療後に発症した大腸炎の一例	工藤 祐樹 (呼吸器内科) 内科専攻医	2021 年 2 月 24 日	工藤祐樹、仲吉博亮、鶴田裕真、青山肇、古謝景輔、宮城純、佐久川廣、秋元芳典、普天間光彦、宮城敬、狩俣かおり、大瀧昌代、大城義人、新垣珠代、佐藤直行、友寄未希、兼元萌実、岡本卓磨、石原昌平 計 19 名
ATLL に複数の日和見感染症を合併した一例	久高 将太 (呼吸器内科) 内科専攻医		久高将太、友寄未希、大瀧昌代、古謝景輔、青山肇、宮城純、佐久川廣、秋元芳典、普天間光彦、宮城敬、狩俣かおり、大城義人、仲吉博亮、新垣珠代、佐藤直行、兼元萌実、岡本卓磨、石原昌平 計 18 名
同種造血幹細胞移植後に早期再発し、下肢壊死性筋膜炎・敗血症性ショックを伴った若年発症 ATLL の一例	兼元 萌実(総合内科) 内科専攻医	2021 年 3 月 10 日	兼元萌実、宮城敬、古謝景輔、青山肇、宮城純、普天間光彦、秋元芳典、狩俣かおり、新垣珠代、仲吉博亮、佐藤直行、工藤祐樹、久高将太、友寄未希、當山磨貴子、野澤圭、医学生 3 名 計 19 名
自己心拍再開したものの横紋筋融解症から腎障害に至った敗血症性ショックからの心停止を疑った一例	兼元 萌実(総合内科) 内科専攻医		

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

※原稿がありません!! ⇒

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	

	時間・内容		時間・内容	
火曜日	8:00～8:15	ミニ救急症例検討会	8:15～8:45	画像診断ミニレクチャー
水曜日	8:00～8:15	ミニ救急症例検討会	8:15～8:45	Journal Clab (全医師対象)
木曜日	8:00～8:15	ミニ救急症例検討会	8:15～8:45	基礎の手技
金曜日	8:00～8:15	ミニ救急症例検討会	8:15～8:45	ケースカンファレンス

画像診断ミニレクチャー

(毎週火曜日 午前 8:15～8:45 医局にて)

呼吸器内科

胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4月14日	4月21日	4月28日	5月12日	5月19日
担当医	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	12月29日	1月5日	1月12日	1月19日	1月26日
担当医	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師

循環器内科

心電図	正常	虚血性心疾患	除脈性不整脈	頻脈性不整脈	心不全
日付	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日
担当医	三戸医師	三戸医師	三戸医師	三戸医師	三戸医師

放射線科

腹部画像	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	6月25日	7月2日	7月9日	7月16日	7月30日
担当医	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日
担当医	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師
シンチ	骨シンチ	Gaシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2月4日	2月18日	2月25日	3月4日	3月11日
担当医	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師

整形外科

骨単純(骨折・脱臼)	下肢	上肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	9月8日	9月14日	9月18日	9月29日	10月6日
担当医	新垣和伸医師	渡慶次医師	島袋医師	新垣勝男医師	東江医師

脳神経外科

頭部画像	正常	SAH・脳出血	外傷	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11月24日	11月30日	12月8日	12月14日	12月22日
担当医	末吉医師	上笹医師	末吉医師	上笹医師	末吉医師

基礎的手技（毎週木曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
夜間当直の流れ	2020 年 4 月 16 日	研修医
A 採血、A ライン	2020 年 4 月 23 日	研修医
院内急変	2020 年 4 月 30 日	研修医
ハートライフでの JPTEC の活用	2020 年 5 月 7 日	研修医
包帯、シーネ	2020 年 5 月 14 日	研修医
急性呼吸不全 ALI/ARDS	2020 年 5 月 21 日	研修医
喘息発作	2020 年 5 月 28 日	研修医
Common disease	2020 年 6 月 4 日	研修医
Common disease	2020 年 6 月 11 日	研修医
Common disease	2020 年 6 月 18 日	研修医
心エコー・RUSH プロトコル	2020 年 6 月 25 日	循環器内科
JATEC	2020 年 7 月 2 日	救急
大動脈解離	2020 年 7 月 9 日	循環器内科
グラム染色の検鏡所見	2020 年 7 月 16 日	呼吸器内科
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	2020 年 7 月 30 日	泌尿器科
消毒と縫合	2020 年 9 月 9 日	形成外科
外来における緊急止血方法	2020 年 9 月 10 日	外科
消毒と縫合 2	2020 年 9 月 16 日	形成外科
中心静脈カテーテルの挿入方法・中心静脈圧の測定方法	2020 年 10 月 1 日	麻酔科
腰椎穿刺の実際	2020 年 9 月 24 日	麻酔科
輸血の適応	2020 年 10 月 8 日	血液内科
救急外来における鼻出血止血方法	2020 年 10 月 15 日	耳鼻科
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	2020 年 10 月 22 日	外科
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔・耳腔・咽頭・気管）	2020 年 10 月 29 日	耳鼻科
骨折と福木固定	2020 年 11 月 5 日	整形外科
直腸診・肛門鏡の取り扱い	2020 年 11 月 12 日	外科
機械的人工呼吸方法	2020 年 11 月 19 日	呼吸器内科
動脈ラインのとり方と圧測定の方法	2020 年 11 月 26 日	麻酔科
顔面外傷	2020 年 12 月 3 日	形成外科
骨髄穿刺および生検方法	2020 年 12 月 10 日	血液内科
眼底の見方とその所見	2020 年 12 月 17 日	眼科
熱傷	2020 年 12 月 24 日	形成外科
緊急ベ-スメ-挿入と設定の仕方	2021 年 1 月 7 日	循環器内科
腹腔臓器破裂・損傷	2021 年 1 月 14 日	外科
Common disease	2021 年 1 月 21 日	研修医
胸腔穿刺とトロツカーカテーテルの挿入方法	2021 年 1 月 28 日	呼吸器内科
切開とドレナージ	2021 年 2 月 4 日	外科
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2021 年 2 月 18 日	救急
眼内異物と眼外傷	2021 年 2 月 25 日	眼科
内視鏡（GF・CF）の適応とその前処置（緊急内視鏡）	2021 年 3 月 4 日	消化器内科
スワグソツカテーテルの適応とその解釈	2021 年 3 月 11 日	循環器内科
気管支鏡の適応とその前処置	2021 年 3 月 18 日	呼吸器内科

ケースカンファレンス（毎週金曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
感度の高い病歴身体所見	2020 年 4 月 17 日	研修医
救急でやりがちな失敗	2020 年 4 月 24 日	研修医
喘息発作	2020 年 5 月 1 日	研修医
カルテの小技	2020 年 5 月 8 日	研修医
吐血・下血	2020 年 5 月 15 日	研修医
高血圧・緊急症	2020 年 5 月 22 日	研修医
Common disease	2020 年 5 月 29 日	研修医

内容	日付	担当
抗生剤の使い方①	2020 年 6 月 5 日	呼吸器内科
抗生剤の使い方②	2020 年 6 月 12 日	呼吸器内科
頭痛	2020 年 6 月 19 日	脳外科
風邪診療①	2020 年 6 月 26 日	総合内科
風邪診療②	2020 年 7 月 3 日	総合内科
裂傷・刺傷・挫創	2020 年 7 月 10 日	外科
気胸	2020 年 7 月 17 日	呼吸器内科
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2020 年 7 月 31 日	耳鼻科
小児科疾患	2020 年 9 月 11 日	小児科
漢方治療	2020 年 9 月 4 日	呼吸器内科
子宮外妊娠・卵巣捻転・救急で見る産婦人科疾患	2020 年 9 月 18 日	産婦人科
脊髄損傷について	2020 年 9 月 25 日	整形外科
急性腹症・消化管穿孔	2020 年 10 月 2 日	外科
多発骨折	2020 年 10 月 9 日	整形外科
認知症①	2020 年 10 月 23 日	心療内科
認知症②	2020 年 10 月 30 日	心療内科
肺血栓塞栓症	2020 年 11 月 6 日	循環器内科
尿管結石の救急	2020 年 11 月 13 日	泌尿器科
急性肝炎	2020 年 11 月 20 日	消化器内科
血糖コントロール ※土曜日クリニックにて	2020 年 11 月 21 日	DM
出血傾向・DIC	2020 年 11 月 27 日	血液内科
急性膵炎	2020 年 12 月 4 日	消化器内科
肺炎	2020 年 12 月 11 日	呼吸器内科
せん妄	2020 年 12 月 18 日	心療内科
救急でみる眼科疾患	2020 年 12 月 25 日	眼科
喀血	2021 年 1 月 8 日	呼吸器内科
多発性外傷	2021 年 1 月 15 日	外科
死にたいと言われた時の接遇	2021 年 1 月 22 日	心療内科
高カルシウム血症	2021 年 1 月 29 日	血液内科
見落としやすい骨折	2021 年 2 月 5 日	整形外科
腰痛	2021 年 2 月 12 日	整形外科
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2021 年 2 月 19 日	消化器内科
アレルギー	2021 年 2 月 26 日	小児科
卵巣捻転	2021 年 3 月 5 日	産婦人科
痛風発作	2021 年 3 月 12 日	整形外科
関節診察	2021 年 3 月 19 日	総合内科

外部講師による教育回診

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(45歳男性 腹痛、下痢)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 7 月 16 日	石原昌平、當山磨貴子、玉城頼人、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、福山芽祝、兼元萌実、琉大クリクラ3名、佐藤直行先生、看護師1名
感染症コンサルタント 青木眞先生による教育回診	症例表示(75歳男性 呼吸困難)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 7 月 27 日	當山磨貴子、金子侑暉、野澤圭、安次嶺寿乃、石原昌平、玉城頼人、當山磨貴子、福山芽祝、工藤祐樹、兼元萌実、佐藤直行先生、仲吉博亮先生、琉大6年生2名、看護師1名、宮里達哉事務局長(群星)

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
福井大学医学部医学科 地域医療推進講座 特命教授 福井大学名誉教授 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 寺澤秀一先生による ER 教育回診	症例表示 (88 歳 男性 発熱、悪寒 戦慄)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 9 月 3 日	眞榮城明里、野澤圭、安次嶺寿乃、金城朋弥、當山磨貴子、豊里駿、福山芽祝、兼元萌実、佐藤直行先生、宮里達哉事務局長(群星)、新垣悦子事務主任(群星)
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (44 歳 女性 右頸部しこり、発熱、頭痛)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 9 月 17 日	金子侑暉、當山磨貴子、安次嶺寿乃、金城朋弥、豊里駿、野澤圭、眞榮城明里、福山芽祝、安里晨、黒島洋平、兼元萌実、佐藤直行先生、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (56 歳 男性 腹痛)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 10 月 1 日	野澤圭、岡本卓磨、金城朋弥、金子侑暉、眞榮城明里、黒島洋平、兼島充基、仲山由李、琉大見学 2 名、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (79 歳 女性 食思不振、体動困難)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 10 月 15 日	金城朋弥、石原昌平、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、黒島洋平、仲山由李、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (64 歳 男性 気分不良、冷や汗、腹痛)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 11 月 5 日	豊里駿、金城朋弥、岡本卓磨、玉城頼人、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、眞榮平広也、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (20 歳 男性 発熱、関節痛、腹痛、下痢)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 11 月 19 日	野澤圭、岡本卓磨、玉城頼人、豊里駿、金子侑暉、眞榮平広也、兼元萌実、佐藤直行先生、看護師 1 名
ミシガン大学内科アシスタントプロフェッサー Dr.Renuka Tipirneni【Internal Medicine, Primary Care/ Primary Care and inpatient general medicine】	症例表示 (22 歳 男性 顔面麻痺)	群星沖縄プロジェクト	2020 年 12 月 4 日	岡本卓磨、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、安次嶺寿乃、玉城頼人、眞榮平広也、饒波京子、兼元萌実、佐藤直行先生、琉大医学生 3 名、看護師 1 名、徳田安春センター長(群星)、宮里達哉事務局長(群星)
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (27 歳 男性 頭痛、首と腰の痛み)	群星沖縄プロジェクト	2021 年 1 月 21 日	金子侑暉、安次嶺寿乃、石原昌平、當山磨貴子、豊里駿、眞榮城明里、桑田涼香、原悠人、琉大クリクラ 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (59 歳 男性 高尿酸血症)	群星沖縄プロジェクト	2021 年 2 月 4 日	眞榮城明里、安次嶺寿乃、石原昌平、玉城頼人、當山磨貴子、金子侑暉、野澤圭、辛路徳、琉大クリクラ 1 名、佐藤直行先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (45 歳 女性 右上腕から肩甲骨にかけての痛み)	群星沖縄プロジェクト	2021 年 2 月 18 日	安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、原悠人、桑田涼香、辛路徳、琉大クリクラ 3 名

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(69歳男性 咳嗽)	群星沖縄プロジェクト	2021年3月4日	玉城頼人、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、當山磨貴子、豊里駿、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、原悠人、桑田涼香、琉大クリクラ4名、佐藤直行先生
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(27歳女性 頭痛、嘔気)	群星沖縄プロジェクト	2021年3月18日	眞榮城明里、安次嶺寿乃、石原昌平、岡本卓磨、金城朋弥、玉城頼人、當山磨貴子、豊里駿、金子侑暉、野澤圭、原悠人、桑田涼香、佐藤直行先生

研修医学会発表

学会名(開催場所)	タイトル	日時	発表者と研究者
第120回日本外科学会定期学術集会(Web開催)	治療に難渋した腹壁癒痕ヘルニアの一例	2020年8月14日	玉城頼人、宮平工、仲本正哉、国吉史雄、阿嘉裕之、野村寛徳、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦
第56回日本腹部救急医学会総会(web開催)	非外傷性前下膵十二指腸動脈出血の1例	2020年10月8日	安次嶺寿乃、花城直次、泉家匠、仲本正哉、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実
第24回日本心不全学会学術集会(web開催)	当院の心不全管理における検討	2020年10月15日	當山磨貴子、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第48回日本救急医学会総会・学術集会(岐阜)	ドクターカーに初期研修医が乗る意義	2020年11月18～20日	金城朋弥、三戸正人、銘苅正
第130回沖縄県医師会医学会総会(研修医部門推薦)	2017年当院に急性心不全もしくは慢性心不全急性増悪で入院した90歳以上の超高齢者58人の検討	2020年12月13日	豊里駿、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第130回沖縄県医師会医学会総会	イレウスを契機にみつかった原発性小腸癌の1例	2020年12月13日	野澤圭、花城直次、比嘉宇郎、藤川秀爾、宮平礼、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第16期生(2019年4月1日～)

(左より)

豊里 駿(琉球大学卒)

岡本 卓磨(琉球大学卒)

當山 磨貴子(琉球大学卒)

安次嶺 寿乃(秋田大学卒)

金城 朋弥(琉球大学卒)

石原 昌平(琉球大学卒)

玉城 頼人(琉球大学卒)



医師卒後臨床研修 第 17 期生（2020 年 4 月 1 日～）

（左より）

金子 侑暉（千葉大学卒）

眞榮城 明里（琉球大学卒）

野澤 圭（富山大学卒）



各科概要・実績

総合内科

総合内科は平成 31 年 1 月に開設され、外来および入院診療を行っています。スタッフ医師 1 人体制ではありますが、感染症全般、呼吸器疾患、循環器疾患、電解質異常、腎疾患、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化器疾患など幅広い領域で診療しています。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。ICU 管理の内科系相談役も拝命し、診療支援と看護師教育にも関わっています。5 つの委員会に所属しており、ICT、AST、Polypharmacy 対策委員会（平成 31 年度当科で立ち上げ）、研修管理委員会（副委員長）、臨床倫理委員会で活動しています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
医長	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine、感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 ICD 制度協議会認定インフェクシオンコントロールドクター POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター 米国内科学会員 医学博士

検査・治療件数

- ・ 入院症例数：139 例（当科への転入 10 例，転院 6 例）平均年齢：74.7 歳（施設入所者 31%）
- ・ 平均在院日数：13.2 日（検査入院なし）
- ・ 外来コンサルト：24 件（内科系 75%，外科系 25%）
- ・ 病棟コンサルト：72 件（内科系 44.4%，外科系 55.6%）

主な経験疾患（併診含む）

循環器	うっ血性心不全、心房細動、高血圧、大動脈弁狭窄症、たこつぼ型心筋症、腎動脈狭窄症、急性下肢動脈閉塞症、胸部大動脈瘤
呼吸器	気管支喘息発作、COPD 急性増悪、化学性肺炎、間質性肺疾患
消化器	消化管出血（上下部）、ウイルス性腸炎、急性膵炎、肝性脳症、癒着性イレウス、薬剤性肝障害、Lemmel 症候群、肝膿瘍、キャンピロバクター腸炎
感染症	細菌性肺炎、誤嚥性肺炎、非定型肺炎、腎盂腎炎（閉塞性含む）、急性巣状細菌性腎炎、菌血症、敗血症性ショック、椎間板炎 / 椎体炎、化膿性筋炎、黄色ブドウ球菌菌血症、皮膚軟部組織感染症、感染性心内膜炎、COVID-19、菌性感染症、顔面骨髄炎、肺結核、発熱性好中球減少症、疥癬、骨盤放線菌症、播種性帯状疱疹、HHV-6B 関連脳炎、ニューモシスチス肺炎
腎臓	急性腎障害、高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、SIAD、低カリウム血症、高カリウム血症、高カルシウム血症、薬剤性代謝性アルカローシス、1 型遠位尿管管性アシドーシス、腎性尿崩症、ネフローゼ症候群、間質性腎炎
内分泌	糖尿病、高血糖緊急症、緩徐進行 1 型糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能亢進症、偽性アルドステロン症、副腎不全、低血糖性昏睡、亜急性甲状腺炎、褐色細胞腫
神経	TIA/ 脳梗塞、痙攣重積発作、ギランバレー症候群、GAD 関連脳炎（疑い）、Wernicke 脳症、一過性全健忘、本態性振戦
リウマチ性疾患	痛風、偽痛風、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、RS3PE 症候群、成人 Still 病、Sjögren 症候群、顕微鏡的多発血管炎、菊池病、掌蹠膿疱症性関節炎、TAFRO 症候群、多発筋炎、全身性強皮症、SLE、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
血液	薬剤性無顆粒球症、巨赤芽球性貧血、好酸球増多症
その他	無菌性髄膜炎、横紋筋融解症、骨肉腫（疑い）、蘇生に成功した心停止、アナフィラキシー、前立腺癌、結節性紅斑

研究業績

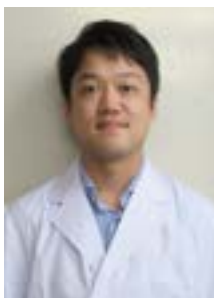
学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
多職種連携を意識した入院時サマリーの記載シミュレーション	第 52 回日本医学教育学会大会	鹿児島県	2020 年 7 月 17 日～18 日	佐藤直行
髄膜炎単独で発症した抗酸菌塗抹，PCR，培養陰性の結核性髄膜炎 (probable) 2 例の報告	第 90 回日本感染症学会西日本地方会学術集会	福岡県	2020 年 11 月 5 日～7 日	佐藤直行

その他業績

- ・ ハワイー沖縄医学教育フェローシップ：令和元年度第 8 期フェローを修了。
- ＜学生対象の病院説明会・セミナー＞
- ・ 2020 年 6 月 20 日（7 名参加），7 月 25 日（9 名参加），2021 年 3 月 13 日（27 名参加）
- ＜執筆関連＞
- ・ 金城朋弥，佐藤直行，連載「オール沖縄！カンファレンス Ver.2.0」第 43 回，意識障害の原因は？early closure にご用心！医学書院，総合診療 2020 年 7 月号，2020, vol 30, p869-873.
- ・ セイントとチョプラの内科診療ガイド 第 3 版，メディカルサイエンスインターナショナル，2020 年 9 月 30 日（共同翻訳）
- ・ Point-of-Care 超音波 原書第 2 版，丸善出版，2020 年 11 月 2 日（共同翻訳）
- ・ 医療者のための成功するメンタリングガイド，医学書院，2020 年 12 月 7 日（共同翻訳）
- ・ 帰してはいけない外来患者 第 2 版，医学書院，2021 年 3 月 8 日（共著）
- ＜研修医の院外研修視察＞
- ・ 浦添総合病院 病院総合内科、救急科 2020 年 7 月 10 日（2 年目研修医・岡本卓磨医師）
- ・ 中頭病院 救急科 2020 年 7 月 22 日（2 年目研修医・金城朋弥医師）

年度総括



総合内科医長
佐藤 直行

平成 31 年 1 月の開設から 2 年以上が経過しました。

最初に教育の観点からまとめると、今年度より副研修管理委員長の任を拝命し、5 月からは朝の内科教育カンファレンスを開始するなど、より研修医教育に尽力することになりました。今年度最も大きな変化は、卒後 3 年目専攻医（当院初期研修を修了した兼元萌実医師：専攻プログラム自体は琉球大学病院が基幹病院）が当科に所属し、昨年度以上に症例の数と幅が広がったことです。内科専門医の必要疾患群のうち、約 8 割を兼元医師がこの一年で経験することができたことは、今後の当院での内科専攻医教育を考える上で大きな実績となります。引き続き今年度も、琉球大学医学部生のクリニカルクラークシップを受け入れ、上記の多様な症例を通して、学生・初期研修医・専攻医でつくる屋根瓦式の実践的な教育ができました。学生教育にも力を入れ、病院説明会やセミナーも開催し、微力ながら初期研修医採用のフルマッチに貢献できたと考えています。今年度は書籍に関わることも多く、院外広報としても多少の貢献ができました。

診療面では、これまで通り common な症例や多疾患並存（multimorbidity）患者の総合的な診療や、入院合併症予防、polypharmacy への介入など、世界標準の診療に少しでも近づけるように尽力しました。入院コンサルトが昨年度よりも増え、診断困難例への対応機会が増えるなど、院内での連携の中で当科の役割の認識が広がったものと感じています。入院数増に伴い、収益も約 1 億 2 千万円となりました。来年度は当科所属となる内科専攻医は不在の予定なので、今後の当科の役割を広げるためにも、内科専攻医の安定した確保が重要となります。当院出身の初期研修医が内科専攻医として当院に残るのは、兼元医師が 6 年ぶりだったことは画期的で、通念して専攻医が在籍していたことで現場の教育が盛り上がったことは非常に大きなことでした。内科の専攻医を増やしていくためにも、内科全体の教育体制をさらに整える必要があると考えます。

学術活動としては、症例報告と教育研究の 2 題の学会発表を行うことができました。ハワイ大学と沖縄県が共同で行っている医学教育フェローシップも修了しました（教育研究発表はこのフェローシップの成果でもあります）。また、ミシガン大学と沖縄の病院群での多施設共同研究を、当科が沖縄の代表となり現在進めている最中です。今後は当科で経験している貴重な症例を論文として発信できるようにしていき、学術面も充実させたいと考えています。

今年度も幅広く活動させていただきましたが、COVID-19 の蔓延もあり、院内多職種での勉強会などがあまりできなかったことが残念でした。来年度の当科は今年度よりも教育に力を入れ、やや診療面の仕事を減らして活動する方針が決まっています。教育を通して医療の質の改善に貢献し、患者様により良い医療を提供するだけでなく、日々支えてくださる他科や他職種の方々に恩返しができるように努めて参ります。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MC と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時から放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長・呼吸器内科部長・7 階病棟医長 ＜専門外来＞睡眠時無呼吸症候群(SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター
呼吸器内科医長	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	56

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1013 名

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

2020 年度は年間 705 名の入院患者の診療を行い、56 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていこうと予定しています。

循環器内科

循環器内科は現在 5 名の医師が循環器全般の診療を行っております。急性心筋梗塞、狭心症に対するカテーテル治療はもちろん、不整脈に対するカテーテルアブレーション、PM 移植術の治療を行うと同時に、それら疾患に対する予防についても力を入れて診療を行っております。

また、致死的な救急患者さんに対する、緊急のカテーテル治療に加え、V-AECMO などの機器も十分に揃えており、スタッフのトレーニングも行っているため、短い時間で導入可能となっております。

最近では閉塞性動脈硬化症による、下肢の潰瘍や壊疽などで下肢の切断に至る患者も目立ちます。そのような患者さんに対する、血管内治療にも力を入れ治療を開始しております。今後も患者さんの予後や ADL の改善を目指し、より良い医療を提供していきたいと考えております。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
循環器内科統括部長	與座 一	一般循環器内科	
内科部長・循環器内科部長・医局長	秋元 芳典	一般循環器内科、動脈硬化症	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会指導医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
循環器内科医長	仲村 義一	一般循環器内科	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医
循環器内科医長	金城 太貴	不整脈、一般循環器、総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
<専門外来>不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
冠動脈 CT	515	443	450	371	420	433
トレッドミル	52	36	48	52	58	38
ホルター心電図	236	203	225	206	200	188
心筋シンチ	110	57	59	74	84	86
経胸壁心エコー	2,605	2,516	2,508	2,800	2,847	3,073
経食道心エコー	28	29	48	54	38	32

治療件数一覧

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
経皮的冠血行再建術 (PCI)	116	127	133	125	125	161
ペースメーカー植込み術	25	21	26	20	14	23
電池交換	2	3	2	7	7	9

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
一時的ペースメーカー	16	11	9	15	12	8
IABP	6	9	9	11	8	9
PCPS	6	8	4	8	7	15
下大静脈フィルター	2	2	2	1	0	1
末梢血管拡張術 (PPI)	57	103	116	110	120	60
カテーテルアブレーション				10	24	9

年度総括



循環器内科部長
秋元 芳典

2020 年度は昨年同様、興座一、秋元芳典、三戸正人、仲村一義、金城太貴の 5 名で診療を行ってまいりました。ここ数年、急性心筋梗塞や狭心症にて経皮的動脈形成術 (PCI) を受ける患者さんの数は横ばい状態でしたが、コロナ禍において 2020 年度は増加していました。救急搬送等が増えたことが原因と考えます。救急隊からの心電図伝送など開始しており、救急部と連携をさらに深めたいと思います。

また、2020 年の特徴として閉塞性動脈硬化症に対する経皮的動脈形成術 (EVT) が増えています。仲村医師が研修より戻り、EVT に力を入れております。下肢の潰瘍が悪化し、下肢切断を避けるための EVT が増えています。総腸骨動脈から浅大腿動脈はもちろん、膝下動脈、膝下以下の 3 分枝への EVT を施行しています。前脛骨動脈、後脛骨動脈への EVT はかなり難しく難渋することもあり、東京からの先生の応援もいただき治療をしております。下肢切断は患者さんの予後に関わる問題であり、今後も積極的に行う予定です。閉塞動脈硬化症の早期発見についても介入する必要があると考えています。

さらに、カテーテルによる不整脈に対するアブレーションも施行していましたが、こちらは東京からの応援をいただいている関係上、コロナ禍で症例が減っています。今後可能であればやはり増やしていきたいと考えます。

沖縄でも高齢化が進む中、高齢者の心不全は増えており入院患者さんの年齢も上がり、心不全を合併している患者さんも多くいます。コロナにより外来リハビリも減るなか、やはり心不全再発入院も増える傾向にあります。今後は外来も含め心臓リハビリテーションも交えながら高齢者の心不全対策に取り組むと考えております。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長 <専門外来> 胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能性消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
肝臓内科医長	圓若 修一	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
	仲舩 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
胃内視鏡	9,971	10,316	10,932	11,583	8,872
大腸内視鏡	3,020	2,969	2,938	3,170	2,581
ERCP	115	122	145	168	147

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管（内訳）	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
EMR	11	11	6	12	10
ESD	27	17	13	18	25
EVL	53	53	23	21	49
EIS	11	11	6	13	0
止血術	45	43	22	29	24
焼灼術	43	42	13	7	21
異物摘出術	10	6	13	11	6
下部消化管（内訳）	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
EMR	409	310	319	397	295
ESD	9	3	5	4	8
止血術	18	17	27	18	22

年度総括



消化器内科部長
宮城 純

上部消化管内視鏡検査件数は徐々に増加してきており、2017 年度にはじめて 1 万件を突破しました。2018 年度には内視鏡室の拡張を行いました。これまで上部消化管内視鏡検査は 5 診体制でしたが、2019 年 6 月から 6 診体制を開始しました。これにより 2019 年度の上部消化管内視鏡検査件数は、1,583 件となりました。今後も増加が見込まれましたが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言などがあり、検査を制限したため検査件数は 8,872 件と大幅に減少してしまいました。下部消化管内視鏡検査も 2019 年度は 3,170 件で過去最高でしたが、2020 年度は 2,581 件と減少してしまいました。患者様方や先生方に御不便をかけていましたが、十分な感染対策を行い、現在は通常通りに検査を行っており検査件数は正常化しました。

2021 年度目標

1. 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
2. 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
3. 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
4. 近隣の病院、医院等からの紹介患者の積極的な受け入れ。
5. 外科とも緊密に連携し診断・治療を行います。
6. 外科とも連携し、近隣の病院、医院等との症例検討会等を継続します。
7. 消化器病関連の学会や研究会に更に活発に参加及び発表します。
8. 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

肝臓内科

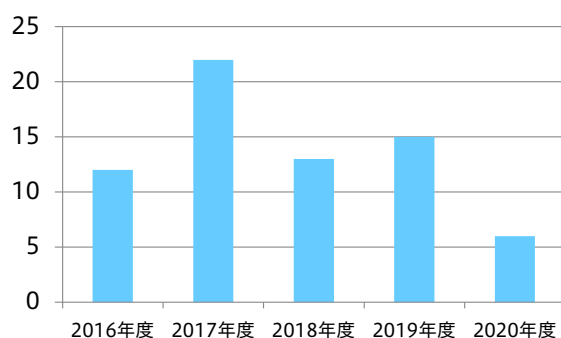
肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。具体的にはC型肝炎、B型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害も肝臓内科で診療しています。また肝臓がんの治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療も行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的診断・治療も行っています。

医師プロフィール

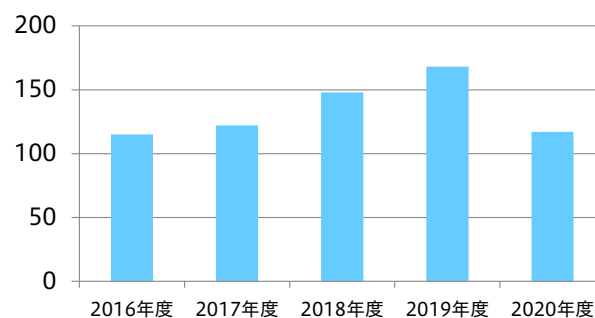
役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
肝臓内科医長	圓若 修一	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医

検査・治療件数

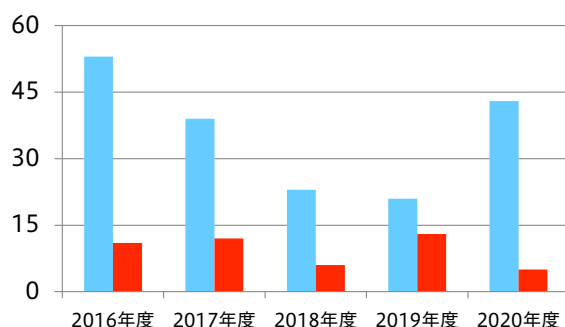
経皮的ラジオ波術症例数の推移



内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術（EVL）、硬化療法（EIS）の推移



年度総括



肝臓内科医長
圓若 修一

昨年度より肝細胞がんする経皮的ラジオ波焼灼術は少し減少しましたが、これは C 型肝炎に起因した肝細胞がんが減少傾向にあるためと思われます。この傾向はしばらく続くものと思われます。一方で今後 NASH 肝硬変、アルコール性肝硬変に起因した肝細胞がんは相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思います。

胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査・治療は昨年よりもやや減少傾向にありましたが大きな合併症は少なく安全に施行できていました。また琉球大学第一内科の宮里公也先生が、水曜日に胆膵領域の超音波内視鏡を施行しています。同領域のさらなるレベルアップに繋がるものと思われ、膵臓がんの早期発見治療に尽力したいと思います。

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。本年度のスタッフは宮城 敬、山入端 敦、狩俣 かおり、大瀨 昌代、友寄 未希の5人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀨が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を10床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週1回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

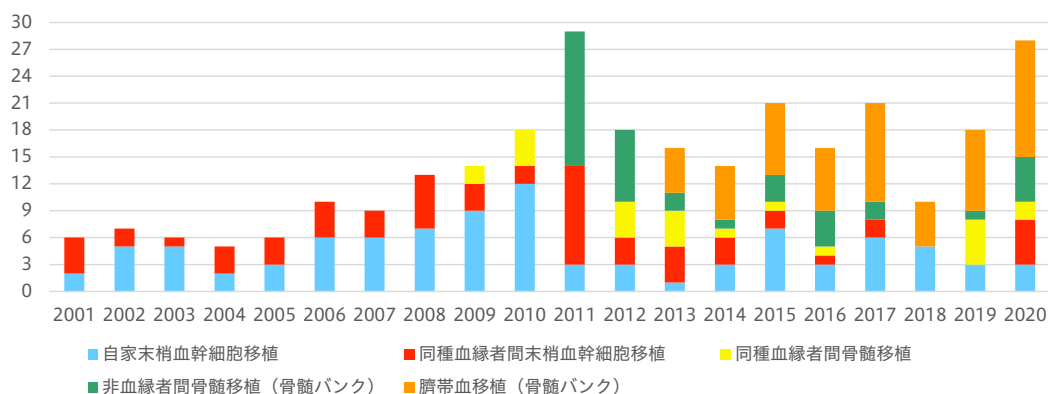
役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 6階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医
無菌治療センター部長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科副部長	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科医長	大瀨 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	友寄 未希		

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
自家末梢血幹細胞移植	3	7	3	6	5	3	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	3	2	1	2	0	0	5
同種血縁者間骨髄移植	1	1	1	0	0	5	2
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	1	3	4	2	0	1	5
臍帯血移植（臍帯血バンク）	6	8	7	11	5	9	13
計	14	21	16	21	10	18	28

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数(年次推移)



年度総括



血液内科部長
宮城 敬

当科は主に成人対象の造血幹細胞移植を行っており、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設です。疾患特性から平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が長い傾向は変わらず、医師の負担が懸念されるところです。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

小児科

当院小児科では地域医療支援病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として2名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診察、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や1か月健診を行っています。

中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や中城小学校および西原小学校の学校医、近隣保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標としています。

平成28年度からは小児アレルギー外来を開設しており、アレルギー専門医、看護師、栄養士、薬剤師と連携しながら食物アレルギーに対する食物経口負荷試験や食事療法指導、アトピー性皮膚炎に対するスキンケア指導などを行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	崎原 徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医
小児科医員	安木 大地	一般小児科	日本小児科学会専門医
小児科後期研修医	仲西 大輔	一般小児科	
小児科後期研修医	當山 真紀	一般小児科	

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
牛乳アレルギー発症予防の歴史と SPADE 試験	第1回沖縄小児アレルギー研究会	Web	2020年10月29日	崎原徹裕、他
育児用調製粉乳の早期導入による牛乳アレルギー発症予防に関するランダム化比較試験 “SPADE study”	第57回日本小児アレルギー学会	Web	2020年10月31日	崎原徹裕、他

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
Randomized trial of early infant formula introduction to prevent cow's milk allergy	J Allergy Clin Immunol.	2021 ;147(1):224-232. e8.	Tetsuhiro Sakihara, et al.

年度総括



小児科部長
崎原 徹裕

令和 2 年度の新生児を除いた小児科の総入院患者数は、コロナ禍の影響を受けて 198 名と前年度の 576 名から大幅な減少となりました。入院患者の多くは 3 歳未満の乳幼児であり感染性疾患が大半を占めますが、食物アレルギーの経口負荷試験の入院数は 110 名で入院全体の半分以上を占めています。

今年度は 623 名の新生児の出生がありました。小児科医は全出生児の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じてハイリスク分娩の立会いや 24 時間オンコール体制で新生児蘇生を行なっております。

外来業務では病院とクリニック小児科との役割分担を明確にし、病院小児科は慢性患者の定期フォローや予防接種および紹介患者の受け入れを、クリニック小児科は発熱などの急性期患者の対応を行っております。今年度は病院小児科の外来患者数は 6,185 名、このうちアレルギー外来 1,266 名、予防接種 2,267 名でした。クリニック小児科の外来患者数は 5198 名、このうち予防接種 685 名でした。いずれも前年度に比べ大幅な患者数の減少となっています。

コロナ禍で入院・外来ともに患者数が激減する中、日常診療と並行して臨床研究にも注力しています。特に今年度は、当科の主導で行った沖縄県内の乳児を対象とした多施設共同研究である「SPADE 試験」の研究成果を報告し、米国アレルギー学会の監修する学会誌に掲載され国内外で高く評価されました。本研究の知見は、次年度に改訂予定の「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」にも掲載されることが決定しております。今後も、地域医療支援病院ならではの観点から、臨床の現場へ情報を発信していくことを目標としています。

心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

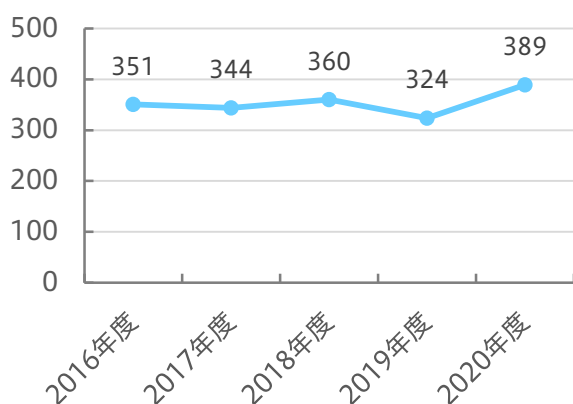
よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。近年は熱中症の後遺症としての自律神経失調症も増えている印象です。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科副部長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括



心療内科
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて11年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、それなりに役立っているようで嬉しく思っています。

認知症やせん妄への対応も増えており、高齢化社会での精神科医療のニーズを実感しております。

外科

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
名誉院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、 食道アカラシアの POEM 治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
副院長 外科系統括部長 外来診療部長 地域医療連携部長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治療、ヘルニア	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器外科学会専門医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、薬物療法（殺細胞性抗がん薬、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬）、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医
消化器外科部長 外科副部長 4 階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
ヘルニアセンター長	髙原 裕夫	小児・成人の鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア（瘢痕ヘルニア・臍ヘルニア）	日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど）、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医
外科医長	国吉 史雄	一般外科	日本外科学会専門医
外科医長	比嘉 宇郎	一般外科、消化器外科	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
乳腺外科医長	宮平 礼	一般外科、乳腺外科	
	仲本 正哉	一般外科	
	藤川 秀爾	一般外科	
	野村 寛徳 (非常勤)	乳癌、甲状腺外科、一般外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 検診乳腺エコー読影認定医
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	
	永野 貴昭 (非常勤)	心臓血管外科	
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	
	梁 英樹 (非常勤)	膵・胆道外科、消化器外科全般	

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
食 道	31
食道悪性腫瘍手術	12
POEM 手術	5
食道癌 ESD	8
APC 焼灼術	6
甲状腺	9
甲状腺良性腫瘍手術	8
甲状腺悪性腫瘍手術	1
乳腺	65
乳腺悪性腫瘍切除術	54
乳腺腫瘍摘出術	11
胃	13
腹腔鏡下胃切除術（悪性）	1
胃悪性腫瘍手術（開腹）	5
胃悪性全摘術（開腹）	5
胃・十二指腸縫合術（大網充填術又は被覆術）	2
胆嚢・胆管	103
腹腔鏡下胆嚢摘出術	95
開腹胆嚢摘出術	2
胆嚢悪性腫瘍手術	2
腹腔鏡下総胆管切石術	4
肝 臓	7
肝切除術	5
開腹ラジオ波焼灼術	1
腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	1
脾 臓	7
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	5
脾体尾部腫瘍切除術	1
脾嚢胞胃腸吻合術	1
小 腸	16
小腸切除術（悪性）	2
腸閉塞症手術	8
腸閉塞症手術（小腸切あり）	6
虫 垂	48
腹腔鏡下虫垂切除術	48
結 腸	58
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	29
開腹結腸悪性腫瘍切除術	22
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	5
開腹結腸切除術（良性）	2
直 腸	31
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	15
開腹直腸悪性腫瘍切除術	2
直腸ポリプ切除・腫瘍摘出	4
直腸脱手術	1
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	9

手技	件数
肛 門	67
痔核硬化療法	35
痔核根治手術	5
痔瘻根治手術	16
肛門形成手術	2
肛門尖圭コンジローマ	1
肛門皮膚剥離切除術	1
膿皮症	2
肛門周囲膿瘍切開術	1
肛門ポリプ切除術	2
裂肛根治術	1
肛門潰瘍根治術	1
ヘルニア	132
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（成人）	99
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（小児）	18
臍ヘルニア手術（成人）	4
腹壁瘢痕ヘルニア手術	5
停留精巣固定術	5
精索脂肪腫摘出術	1
胃 瘻	38
胃瘻造設術	38
その他部位	91
毛嚢洞手術	2
大網、腸間膜、後腹膜手術（開腹）	3
大網、腸間膜、後腹膜手術（腹腔鏡）	3
リンパ節生検	19
リンパ節郭清術	2
体表の手術	123
CV ポート	37
腸吻合術	2
精巣摘出術	1
急性汎発性腹膜炎手術	6
試験開腹術	2
胃腸吻合術	1
腹腔鏡下脾摘出術	2
その他	7
計	835

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 18 回日本ヘルニア学会学術集会	成人鼠径ヘルニアに鼠径床を剥離せず、メッシュを使用しない、より低侵襲性の LPEC 法と Advanced LPEC 法	WEB	2020 年 11 月 3 日	嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、宮平工、花城直次、阿嘉裕之、泉家匠、仲本正哉、奥島憲彦
	LPEC は前立腺癌術後の鼠径ヘルニアに対して有効か？			西原実、仲本正哉、国吉史雄、花城直次 嵩原裕夫
	当院における腹壁瘢痕ヘルニア症例の検討			仲本正哉、嵩原裕夫、西原実、国吉史雄
第 130 回沖縄県医師会医学会総会	保存的治療後に嚢胞胃吻合術を行った腓仮性嚢胞破裂の 1 例	WEB	2020 年 12 月 13 日	花城直次、比嘉宇郎、藤川秀爾、宮平礼、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦
	イレウスを契機にみつかった原発性小腸癌の 1 例			野澤圭、花城直次、比嘉宇郎、藤川秀爾、宮平礼、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦
	急速に増悪した腓癌の 1 例			宮平工、仲本正哉、藤川秀爾、宮平礼、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、西原実、奥島憲彦
第 33 回日本内視鏡外科学会総会 (JSES 2020)	Intraoperative colonic injury by LCS at laproscopic sigmoidectomy. A case report.	Hybrid 形式	2021 年 3 月 10 日	宮平工、国吉史雄、花城直次、西原実、嵩原裕夫

年度総括



外科部長
宮平 工

本年度は名誉院長の奥島憲彦（食道）、ヘルニアセンター長の嵩原裕夫（ヘルニア）、外科系統括部長の西原実（ヘルニア・肝）、外科部長の宮平工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城直次（胃・大腸）、外科医長の比嘉宇郎（胃・大腸）、大腸肛門科部長の阿嘉裕之（大腸・肛門）、乳腺外科医長の宮平礼、外科医長の国吉史雄、仲本正哉、藤川秀爾（外科専修医）の11名の常勤医と、非常勤の仲栄真盛保（血管）、永野貴昭（心臓、大血管）、久田正昭（一般、小児外科）、梁英樹（肝胆膵）、野村 寛徳（乳腺）の各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました（カッコ内は専門領域）。

手術件数は835件（外来小手術も含む）と前年度と比較して90件減少しており、COVID-19感染の影響を受けたものと推測しました。良性疾患である胆石症やヘルニアの手術が減少している反面、食道癌手術は倍増し、結腸直腸癌、乳癌も増加していました。日本専門医機構の外科専門研修システムで琉球大学及び東京女子医大外科専修プログラムから外科専修医をそれぞれ1名受け入れており、これら2名の若手外科医の指導をしつつ上記のような体制で診療にあたっています。術式別には良性疾患では鼠径ヘルニア、胆石症、急性虫垂炎が多く、ほとんどの症例で腹腔鏡手術で完遂されています。肛門疾患では痔核の手術が多く、大部分は痛みの少ないジオン硬化療法で行われています。悪性疾患では乳癌、大腸癌が多く、大腸癌は早期癌はもちろん進行癌を含めて腹腔鏡手術の割合が増加しつつあります。食道癌の手術に関しては胸腔鏡下手術の適応拡大に努めています。

外科は手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法や終末期の緩和医療も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めを微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST（栄養サポートチーム）、クリニカルパス委員会を始め、COVID-19感染対策として発足したC-19災害対策本部の中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、新垣勝男・渡慶次学・新垣和伸・川越得弘・琉球大学からのローテーター島袋全志・東江拓海の 6 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科副院長新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。パークレー整形外科院長新城宏隆先生には週 1 日膝関節手術を御執刀いただいています。新垣勝男は脊椎外科を担当し、椎弓拡大・椎体固定等の手術を行っています。渡慶次学と川越得弘は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。新垣和伸と島袋全志は膝関節を担当し、変形性膝関節症に対する骨切り術・人工膝関節置換術および関節鏡を用いた前十字靱帯再建・半月板縫合術等の手術を行っています。東江拓海は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

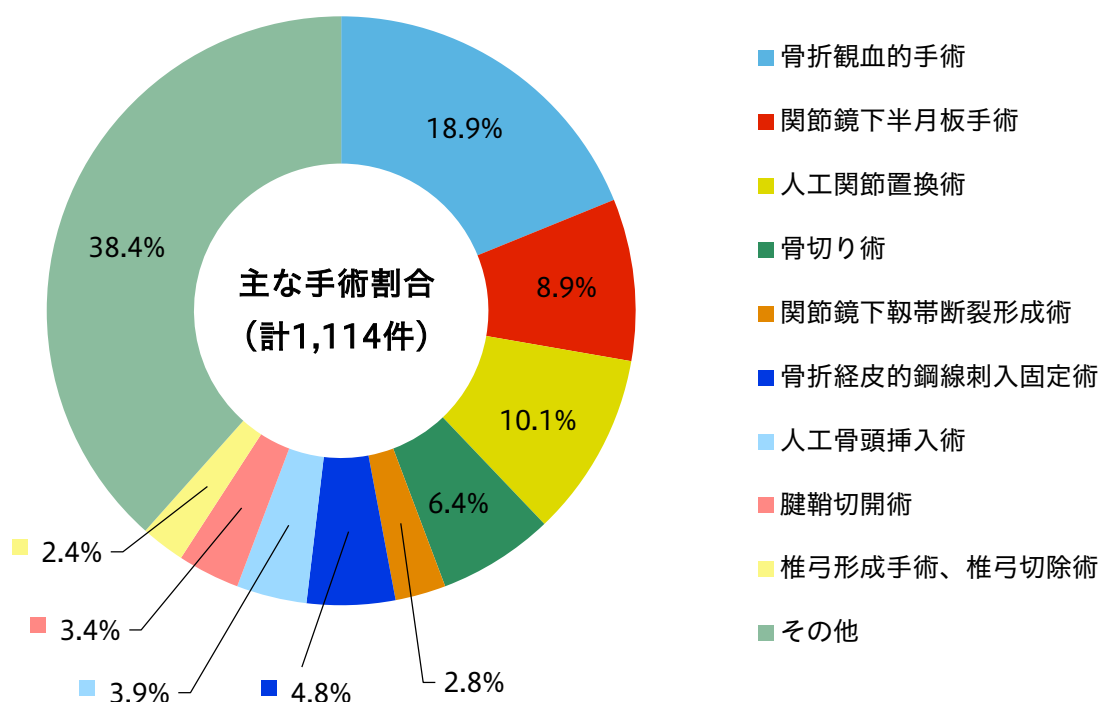
役職	氏名	専門分野	学会認定
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
脊椎外科部長	新垣 勝男	脊椎外科	日本整形外科学会専門医
膝関節外科部長	新垣 和伸	関節外科（膝関節）	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
整形外科副部長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
	島袋 全志		日本整形外科学会専門医
	東江 拓海		
<専門外来>股関節外来	新垣 薫	関節外科（股関節）	日本整形外科学会専門医
<専門外来>リウマチ科	東 千夏	整形外科、関節リウマチ	日本整形外科学会指導医 日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会指導医 日本リウマチ学会専門医
<専門外来>脊椎外来	金城 英雄	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医
<専門外来>膝関節外科	上原 史成	関節外科（膝関節）	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 国際オリンピック委員会認定スポーツドクター 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術	210
関節鏡下半月板手術	99
人工関節置換術	113
骨切り術	71
関節鏡下靱帯断裂形成術	31
骨折経皮的鋼線刺入固定術	54

部位・行為	件数
人工骨頭挿入術	43
腱鞘切開術	38
椎弓形成手術、椎弓切除術	27
その他	428
総計	1,114



年度総括



整形外科部長
渡慶次 学

2020 年度は新型コロナ感染流行の影響で新規入院患者数・手術件数ともに減少しました。2021 年度も新型コロナ感染が落ち着いておらず、安全第一にスポーツ外傷手術（膝前十字靱帯再建術・半月板縫合術）・変形性膝関節症手術（骨切り術・人工膝関節置換術）・脊椎外科・手外科疾患手術を継続していく予定です。

形成外科

当科は今年で開設 7 年目を迎えました。当科の特徴は、形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、悪性腫瘍切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに形成外科的疾患に対応できるよう心がけていることです。特に近年急増する下肢難治性皮膚潰瘍に対する予防を含めた総合的な治療に力を入れております。今後も、ニーズに応じてますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

施設認定など

- ・ 日本形成外科学会専門医研修 教育関連施設（施設番号 15-3030-009）
- ・ 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設（認定番号 NS-17003 号）
- ・ 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定 エキスパンダー実地施設（二次再建）（実地施設認定番号 H10414 号）
- ・ 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定 インプラント実地施設（一次二期再建・二次再建）（実地施設認定番号 H10414 号）
- ・ 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実地基準による実地施設 認定証（登録番号 H00789）

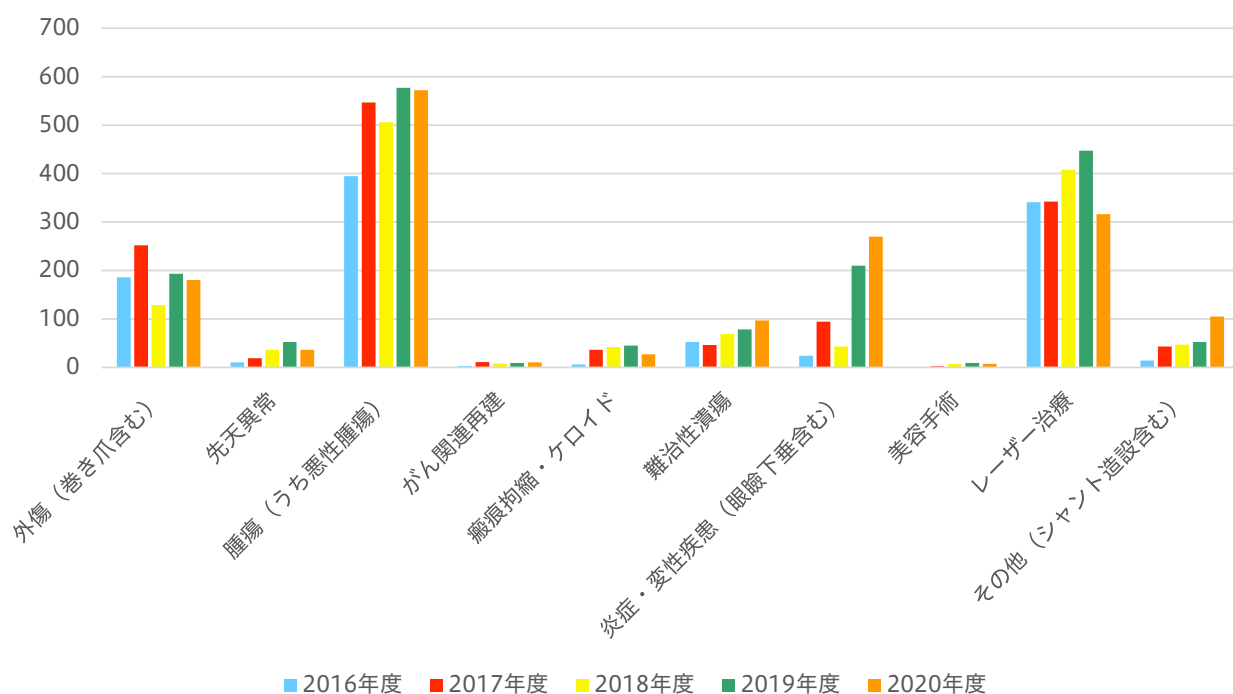
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
形成外科部長	東盛 貴光	創傷外科、フットケア、美容外科、レーザー治療、広範囲重症熱傷、下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療、マイクロサージャリーを用いた頭頸部がん術後の再建、乳がん術後の乳房再建、下肢静脈瘤	日本形成外科学会専門医・領域指導医 日本形成外科学会 熱傷分野指導医 日本形成外科学会 創傷外科分野指導医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医・指導医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー・インプラント治療責任医師 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医及び指導医 日本下肢救済・足病医学会 九州沖縄地方会評議員 日本褥瘡学会 九州沖縄地方会世話人
医師	立津 朝成	形成外科一般、皮膚悪性腫瘍	
医師	勝連 伸一郎	形成外科一般	
非常勤	石嶺 伝羽	形成外科一般	危険物取扱者資格

検査・治療・手術件数

検査・治療実績

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
外傷（巻き爪含む）	186	252	128	193	180
先天異常	10	19	36	52	36
腫瘍（うち悪性腫瘍）	395(10)	547(26)	506(18)	577(24)	572(19)
がん関連再建	3	11	8	9	10
瘢痕拘縮・ケロイド	6	36	42	45	27
難治性潰瘍	52	46	69	78	97
炎症・変性疾患 （眼瞼下垂含む）	24	94	43	210	270
美容手術	0	2	7	9	7
レーザー治療	341	342	408	447	316
その他（シャント造設含む）	14	590	553	629	105
合計	636	1,392	1,294	1,672	1,620



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
形成外科を中心とした足病治療における診療報酬の検討	第 130 回沖縄県医師会医学 会総会	那覇	2020 年 12 月 13 日	◎東盛貴光、立津朝成、 勝連伸一郎
上半身熱傷に対し培養表皮を用い、術後 長期経過を追えた 1 例	第 130 回沖縄県医師会医学 会総会	那覇	2020 年 12 月 13 日	◎立津朝成、勝連伸一 郎、東盛貴光
治療に難渋した離島在住患者の下肢潰瘍 の一例	第 130 回沖縄県医師会医学 会総会	那覇	2020 年 12 月 13 日	◎勝連伸一郎、立津朝 成、東盛貴光

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
開頭術後の露出人工物を温存し得た頭皮再建の 1 例	創傷	57 巻 (4).p51-54,2019	立津朝成

次年度目標

- ・ 手術件数増
- ・ 論文執筆（診療科で 1 編 / 年以上）
- ・ 学会発表（1 名あたり 2 回 / 年以上）

年度総括



形成外科
東盛 貴光

他稿でも触れられている通り、本年度は新型コロナウイルスが蔓延し、社会情勢が大きく変わったことで病院としても様々な困難を経験しましたが、当科スタッフは感染することなく、診療においても大きな問題なく 6 年目を終えました。

今年はそのなかでもほぼ昨年と同程度の入院患者数、外来患者数、そして手術件数を維持しました。特に、2019 年 5 月から創傷ケアセンターを立ちあげ、足の包括的な診療を開始し、患者数も増加傾向にあります。学会活動については自粛を余儀なくされましたが、当科としての学会発表を 3 回行い、研究論文を 1 編執筆しました。また、初期研修医は院内から 2 名、他施設から 1 名が研修されました。後期研修医は形成外科の基礎的な手術を多く執刀経験し、次年度はさらに高度な手術研修に入ります。さらに 2 名の後期研修医はそれぞれこの春から当科の連携施設である琉球大学附属病院及び東京女子医大病院で形成外科後期研修医（専攻医）として研修を開始します。コロナ禍ではありますが、来年度も患者はもちろんですがスタッフの健康面にも配慮し、手術実績、研究業績を維持したいと考えております。今後とも、御指導の程、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。発症早期の脳梗塞に対してはt-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療をfirst choiceとしております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

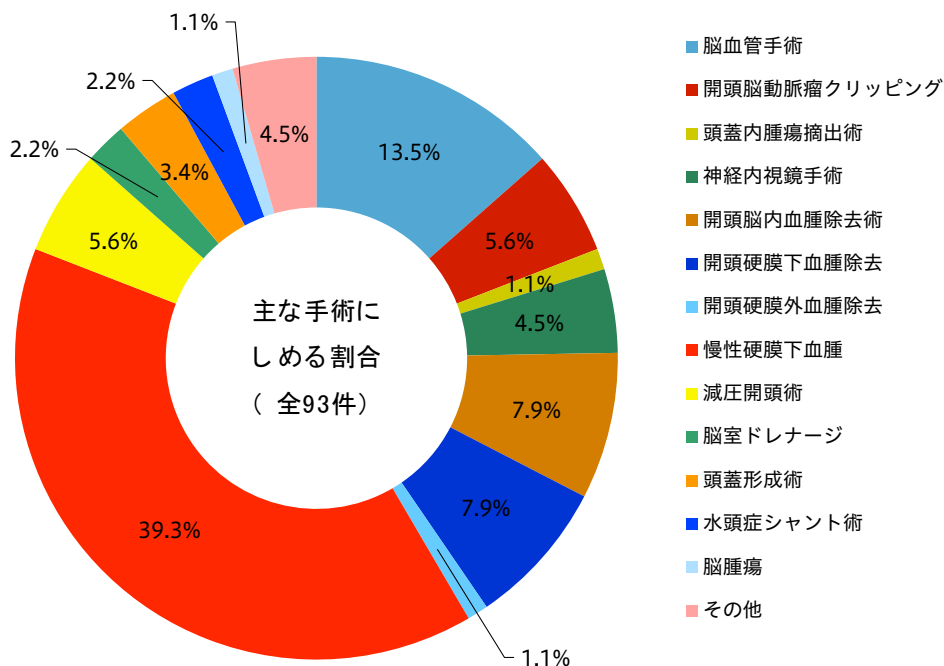
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉 健次	脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科副部長 3 階病棟医長	上笹 航	脳外科一般・神経内視鏡手術・血管内治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会神経内視鏡専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
脳血管手術 ・脳動脈瘤コイル塞栓術 9 ・頸動脈ステント術 1 ・血栓回収術 2	12
開頭脳動脈瘤クリッピング	5
頭蓋内腫瘍摘出術	1
神経内視鏡手術 ・血腫除去術	4
開頭脳内血腫除去術	7
開頭硬膜下血腫除去	7
開頭硬膜外血腫除去	1

名称	件数
慢性硬膜下血腫	35
減圧開頭術	5
脳室ドレナージ	2
頭蓋形成術	3
水頭症シャント術	2
脳腫瘍	1
その他	4
合計	93



年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

今年度はコロナ禍で大変な年でした。当院でもいろいろ初めての対応を余儀なくされ困難な状況でした。

脳外科でもコロナ疑いの患者さんは防護服での手術となり、通常の手技が困難な環境での対応となりました。それでもスタッフと協力して、未知の対応を試行錯誤して、乗り越えることが出来ました。

今回の経験を踏まえてさらにスタッフと協力してよりよい地域医療貢献ができるように努めていきたいと思っています。

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など	備考
眼科部長 / 常勤	親川 格	一般眼科・角膜移植 (移植、特に角膜内皮移植)	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification	
常勤	安次嶺 千晶		日本眼科学会専門医	
	山崎 梨沙	一般眼科・角膜疾患	日本眼科学会専門医 医学博士	2018 年 4 月 1 日から 2020 年 5 月 20 日まで在籍
	愛知 高明			2020 年 9 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで在籍

研究業績

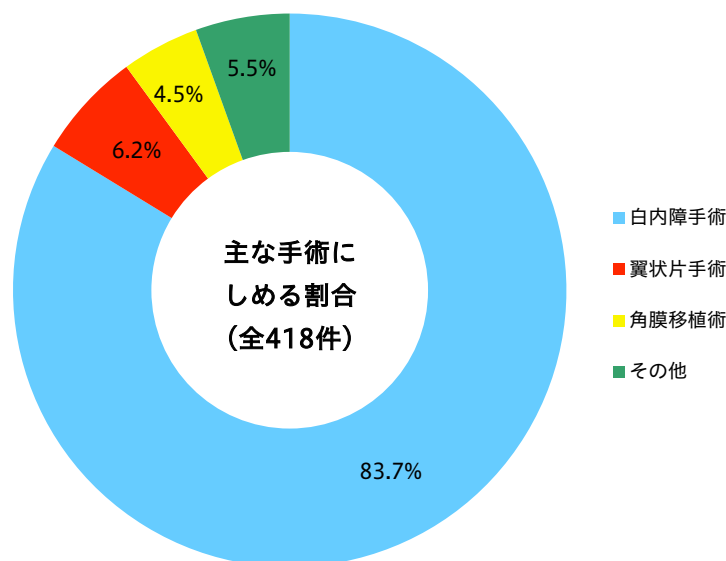
論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Factors associated with endothelial cell density loss post Descemet membrane endothelial keratoplasty for bullous keratopathy in Asia.	PLoS One	2020 Jun 11;15(6):e0234202. doi: 10.1371/journal.pone.0234202. eCollection 2020. PMID: 32525919	Inoda S, Hayashi T, Takahashi H, Oyakawa I, Yokogawa H, Kobayashi A, Kato N, Kawashima H
Optical characteristics after Descemet membrane endothelial keratoplasty: 1-year results.	PLoS One	2020 Oct 14;15(10):e0240458. doi: 10.1371/journal.pone.0240458. eCollection 2020. PMID: 33052928	Hayashi T, Kobayashi A, Takahashi H, Oyakawa I, Kato N, Yamaguchi T.
すべて見せます！患者説明・同意書マニュアル 角膜 DMEK	臨床眼科	2020, 74(11 臨増), 131・133	親川格, 林孝彦
手術手技のコツ DMEK のコツ	眼科手術	2021, 34 (1), 96・100.	親川格, 林孝彦

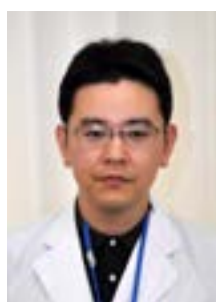
検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	350
翼状片手術	26
角膜移植術	19
その他	23
合計	418



年度総括



眼科部長
親川 格

当院では白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの眼科一般診療をはじめ、前眼部疾患を中心とした専門分野を柱とした診療を常勤医 2 名に大学からの外来応援医師を併せた体制で行っております。特に角膜移植領域に関しては先進的な医療提供を心掛けて実践しております。

近隣の眼科クリニックを中心に、本島北部地域や離島の眼科クリニック、県内各総合病院や琉球大学病院から患者さんを紹介いただき診療・治療をさせていただいており、今年度は年間手術総数 418 件、角膜移植 19 件の治療に携わらせていただきました。今年度は新型コロナウイルスによる影響から病院全体として予想外の対応に苦慮し、外来・入院の受け入れ制限等がありましたが、1 年間を通じた新型コロナウイルスへの経験を積み万全の対策を講じることで現在はスムーズな外来診療、入院加療を行うことができるようになっております。

これまで懸案であった外来診療における待ち時間の解消は依然として大きな課題ではありますが、もう一つの課題である患者さんの手術待機時間は 1・2 ヶ月以内におおむね短縮できております。

現在さらなる眼科診療のクオリティー向上を目標に掲げ、今後も患者さん一人一人に最も適した質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同協力して当たらせていただきたいと思います。

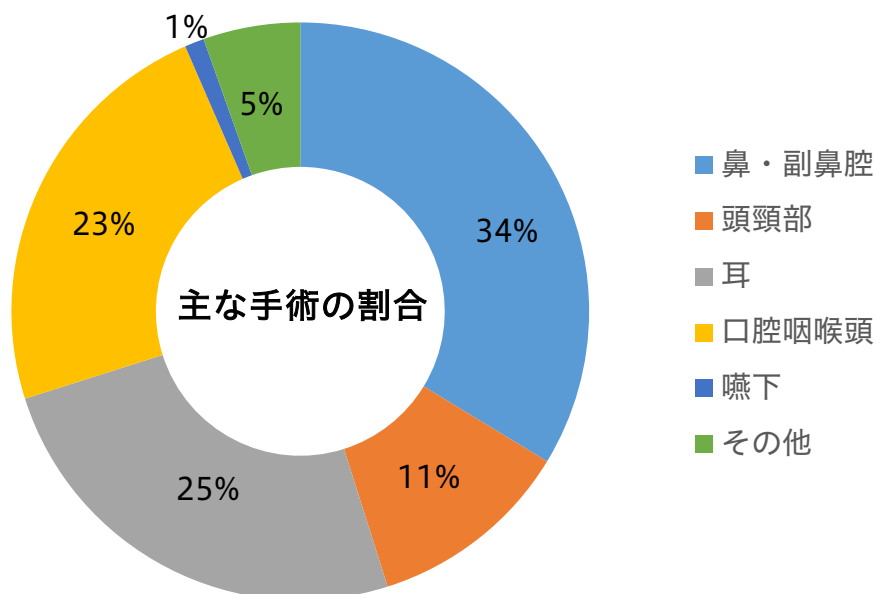
耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は耳、鼻、咽頭、喉頭、頭頸部と幅広く、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器に加え、摂食嚥下、発声、呼吸といった重要な機能を取り扱っている診療科です。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
	赤澤 幸則	中耳炎、難聴、顔面神経、めまい	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医 補聴器適合判定医 医学博士
	島袋 拓也	耳鼻咽喉科一般	

診療実績



手術名	件数
耳科手術	
鼓室形成術（耳小骨温存術）	13
鼓室形成術（耳小骨再建術）	5
乳突削開術	8
鼓膜形成術	8
鼓膜穿孔閉鎖術（リティンパ®）	2
外耳道形成手術	1
鼓膜切開術	1
鼓膜チューブ挿入術	3
先天性耳瘻管摘出術	5
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型	1
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	7
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型	14
内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）	12
内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型（鼻中隔矯正）	16
後鼻神経切断術	6
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	2

手術名	件数
鼻科手術	
鼻腔粘膜焼灼術（鼻出血止血）	2
鼻前庭嚢胞摘出術	1
鼻骨変形治療骨折矯正術	1
口腔咽喉頭手術	
口蓋扁桃摘出術	36
軟口蓋形成手術	1
喉頭微細手術	3
喉頭蓋嚢腫摘出術	1
唾石摘出術（深在性）	1
舌下腺腫瘍摘出術	1
声門閉鎖術（誤嚥防止手術）	2

手術名	件数
頭頸部手術	
耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	4
耳下腺腫瘍摘出術（深葉）	1
顎下腺摘出術	2
舌悪性腫瘍手術（切除）	1
下咽頭腫瘍摘出術（経口腔）	2
咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋手術含む）	1
喉頭悪性腫瘍手術（全摘）	1
皮膚悪性腫瘍切除術	1
甲状腺部分切除術 / 甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	1
副甲状腺腺腫過形成手術 / 副甲状腺摘出術	1
咽頭皮膚瘻形成術	3
咽頭皮膚瘻孔閉鎖術	2
頸嚢摘出術	1

手術名	件数
その他	
リンパ節摘出術	6
気管切開術	2
皮下腫瘍摘出術	1
深頸部膿瘍切開術	1

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	発表年月日	発表者
初発症状が咽頭痛で後に多発脳神経症状を呈した Ramsay Hunt 症候群の一例	日本顔面神経学会	愛媛（現地& Web）	2020 年 9 月 30 日	赤澤幸則、比嘉輝之、近藤俊輔、鈴木幹男

論文著書

題名	雑誌名	掲載・年・号・頁	著者
Measurement of stapes footplate thickness in otosclerosis by ultra-high-resolution computed tomography	Acta Oto-Laryngologica	2020, 140:11, 899-903	Akazawa Y, Ganaha A, Higa T, Kondo S, Suzuki M, et al.

年度総括



耳鼻咽喉科
赤澤 幸則

今年度より常勤医として勤務しております赤澤幸則と申します。2人体制となり、令和2年度の手術件数は大幅増とすることができました。

私は耳科領域を専門としており、大学病院より頭頸部腫瘍、鼻科、音声、嚥下の各専門医師による外来及び手術を可能としているため、耳鼻咽喉科のほぼ全領域を高いレベルで対応可能となっております。

平成30年度より、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしております。今年度はコロナ禍でもあり、COVID-19感染に細心の注意を払いつつ、他科よりコンサルトされた入院患者を中心に、正確な嚥下機能評価及びそれに基づく適切な対応策や介入方法の提案を心がけました。

今後も地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持に努めてまいります。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

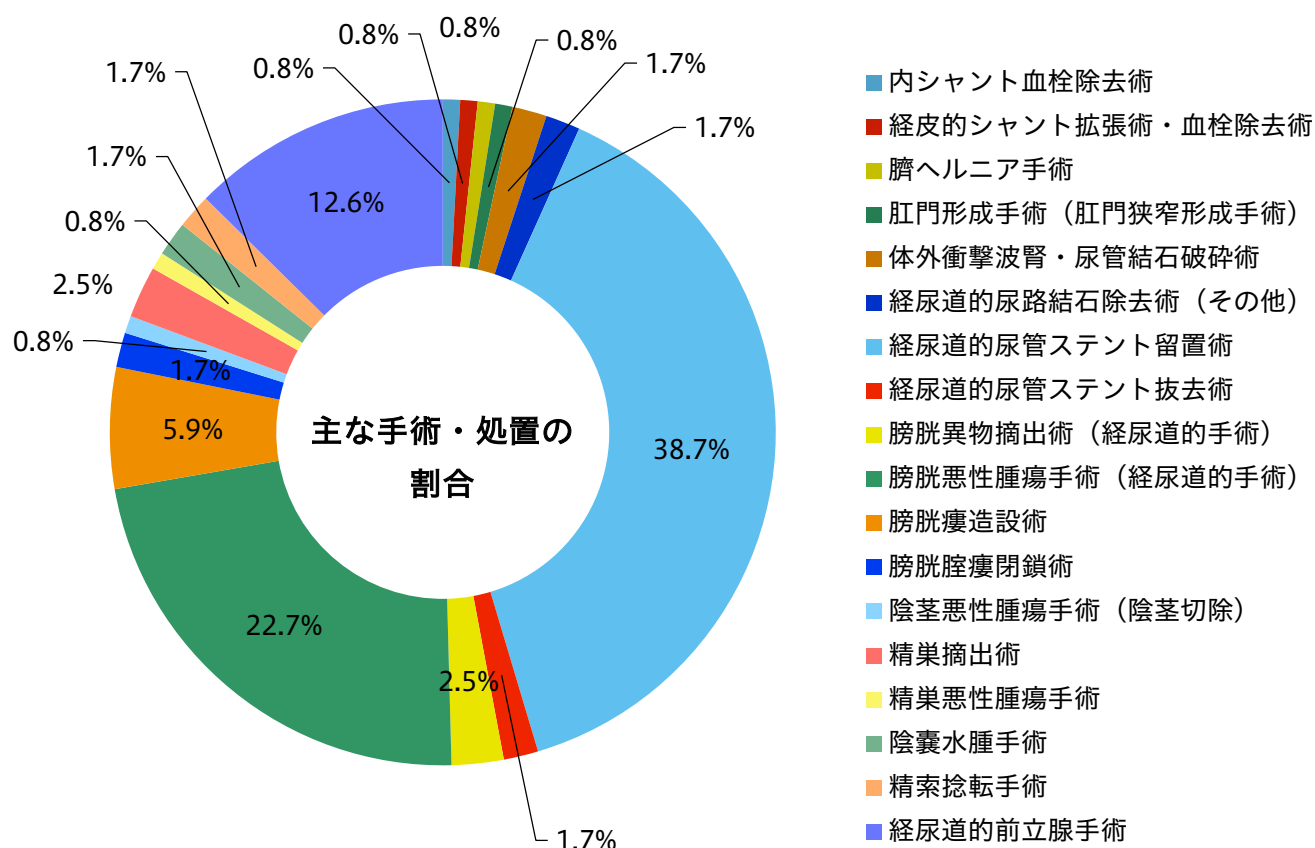
泌尿器科

当科は、平成8年度琉球大学泌尿器科からの常勤医師1人体制でスタートしました。異動などで体制に変更がありましたが、2019年度からは2人体制で診療に当たっています。

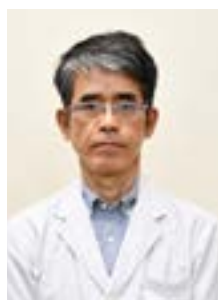
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医 日本透析医学会専門医 日本透析医学会認定医
泌尿器科医長	古謝 将之	一般泌尿器	日本泌尿器科学会専門医
	宮里 実 (非常勤)		
	木村 隆 (非常勤)		
	泉 恵一郎 (非常勤)		
	小池 慎 (非常勤)		

検査・治療・手術件数



年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

当科の特徴としては、診療圏が広いことがあげられます。北中城村、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町、南城市、浦添市と那覇市の辺縁部をカバーし、人口は約 20 万人です。この広い地域で泌尿器科は、当院と琉球大学附属病院と与那原中央病院のみです。病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年々増加しています。主な疾患ですが、前立腺癌に関しては PSA 検査が普及し、経直腸針生検を毎年約 50 件施行し、30 から 40 人の前立腺癌の患者さんが見つかっています。前立腺全摘術は、琉球大学附属病院や中部徳洲会病院に紹介しています。放射線治療は、琉球大学附属病院、南部徳洲会病院、南部医療センターに紹介しています。抗男性ホルモン療法を継続している患者さんは約 100 人です。

当院で施行している手術は、経尿道的前立腺切除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術、尿管ステント留置術等です。尿路結石破碎治療として体外衝撃波腎尿管結石破碎術は 30 から 40 件新規で施行しています。

次年度は常勤医 2 人体制で効率の良い診療、琉球大学泌尿器科との連携の継続、外来の待ち時間対策、外来検査の拡充、膀胱ファイバー 2 台活用を目標に診療を行って参ります。

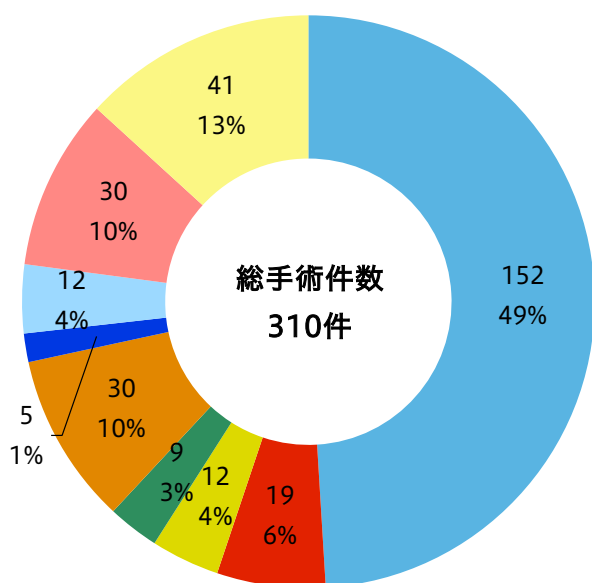
産婦人科

常勤医師 5 名、助産師 21 名、看護師 13 名、看護助手 4 名、クラーク 2 名の体制でした。産科領域では 36 週以降の分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経腔、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

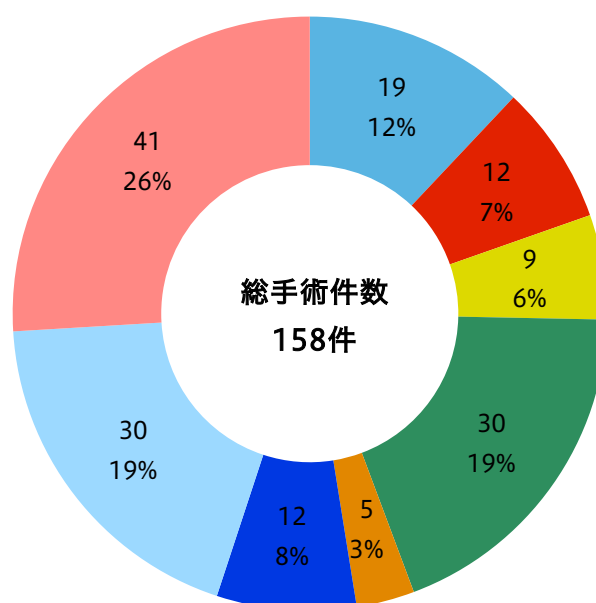
役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 / 指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 / 指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 / 指導医 母体保護法指定医
産婦人科医長 東館 4・5 階病棟医長	堀本 直幹	一般産婦人科	
	比嘉 博香	一般産婦人科	日本産婦人科学会専門医
	宮崎 優樹	一般産婦人科	日本産婦人科専攻医

産婦人科統計



- 帝王切開
- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経腔子宮手術
- 腰麻下経腔
- 静麻麻酔下手術

婦人科部門



- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡下手術
- 経腔子宮手術
- 腰麻下経腔
- 静麻麻酔下手術

■ 総分娩件：629 件

研究業績

学会発表及び研究発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 50 回沖縄産科婦人科学会 学術集会	術前診断が困難であった平滑筋腫の 2 例		2020 年 9 月 27 日	武田 理、上原博香、堀本直幹、大西 勉、青山 肇
第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	腹腔鏡下手術後に判明した卵巣甲状腺性カルチノイドの 1 例	WEB	2021 年 1 月 29 日～2 月 11 日	武田 理、比嘉博香、堀本直幹、大西 勉、青山 肇

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
子宮内腔に発生した嚢胞性腺筋症の 1 例	日本エンドメトリオーシス学会会誌	2020 年 Vol 41 p139-142	武田 理、比嘉博香、堀本直幹、大西 勉、青山 肇
結腸から発生し捻転を起こした parasitic myoma の 1 例	沖縄産科婦人科学会雑誌 第 43 巻	2021 年 3 月 p97-101	武田 理、比嘉博香、堀本直幹、大西 勉、青山 肇

年度総括



産婦人科
センター長 兼
婦人科部長
武田 理

分娩数は昨年度から約 100 件減少しました。産婦人科スタッフ数の減少と新型コロナウイルス対策でマンパワー不足を招いてしまい、その結果、分娩数の調整を図った影響と思われます。今後は医師数、スタッフ数確保の状況と新型コロナウイルスの流行状況で増加を検討していく予定です。

婦人科では手術件数が前年比 80%に減少しました。特に良性疾患の手術件数については、新型コロナウイルス対策による手術待機対象となり大きく影響を受けました。産科と同様に新型コロナウイルスの状況次第で症例数を回復していく予定です。経膈手術、内視鏡症例のさらなる増加が目標です。

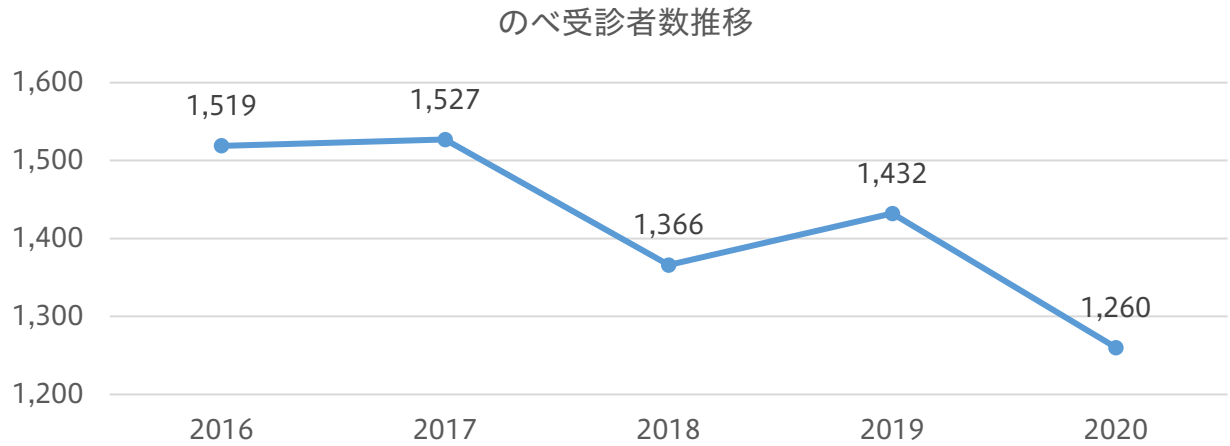
新型コロナウイルスの感染妊婦においては、分娩方法や新生児の取り扱い等慎重な対応が必要であり、県内の各総合病院、医院との連携をさらに密にして病棟外来での感染、クラスター対策を徹底していきます。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。

診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

放射線科の診療は CT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー、IVR（血管内治療）の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行う IVR に大きく分かります。IVR には肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。さらに外科、内科とのカンファレンスを行います。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会 PET 核医学認定医 マンモグラフィー読影認定医

各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括



放射線科部長
高良 誠

令和 2 年度は MRI2 台、CT2 台が効率よく稼働し、検査件数が増加しました。それに伴って読影件数も増加してきています。またマンモグラフィーも増加傾向にあります。

IVR は減少しています。TACE の件数が減少したためです。ただその他の手技に関しては例年どおりで、緊急性の高い止血術も例年通り行っています。

令和 2 年度は常勤 2 名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育、至急読影など、放射線科業務に対応しました。読影加算 2 の規定もクリアしています。今後とも放射線技師、検査技師と放射線科医が連携しながらより良い診断に取り組んでいきます。

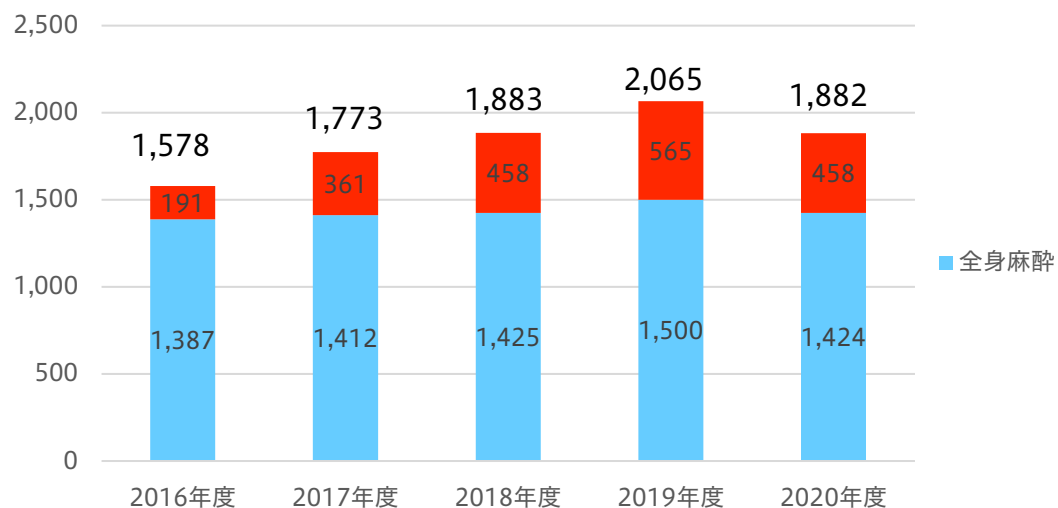
近年、RI の検査が減少していますが、今年度新しい装置に交換され、画質の向上および進化した診断支援ソフトにより診断精度の向上が見られます。検査件数も持ち直しが見られます。他に代用のきかない検査なのでこれからも放射線科として適応のある症例は積極的にお勧めしていくようにします。

麻酔科

医師プロフィール

麻酔科			
副院長 手術室部長	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
麻酔科部長	島袋 泰	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
麻酔科副部長	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
	嘉手苺 由梨	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
	太田 沙也加	一般麻酔	
	平良 志子	一般麻酔	

麻酔件数推移



研究業績

論文著書

論文名	雑誌名	号	著者
診断・治療開始の遅れにより重篤化した、PMX-DHPとCHDFの併用が有効であった縫合不全による敗血症性ショックの1例	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	第24巻1号 2020:86-89	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨、太田 沙也加、平良 志子

年度総括



麻酔科副部長
釜野 武志

本年度はまさに激動の年でした。2019 年 12 月専門医資格を得るために太田医師が 2020 年上半期、平良医師が下半期、琉大附属病院麻酔科に研修に出向することが決定しました。そのため 2020 年度は常勤 5 人体制になり、麻酔管理件数が減少するのは想定内でした。そのうえで 2020 年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、それに伴う 3 回の緊急事態宣言を受け、不急の手術は制限し、結果ここ数年右肩上がりであった手術件数、麻酔件数は減少しました。その上、緊急手術を受ける患者はすべて感染者として完全防御服で対応し、麻酔科、執刀医、手術室スタッフ皆が疲労困憊となった時期もありました。現在は PCR 機器が増加したことに加え、術前患者の PCR 検査が認可されたため、完全防御服の出番はほとんどありません。

一方、2021 年度には久場副院長が全ての役職を降り、さまざまな変化を求められる状況となります。

当科の主な業務は手術麻酔で、一部集中治療室管理も行っております。外科、整形外科、産婦人科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科など各外科系手術、及び内科経口内視鏡的手術、さらに放射線科の血管塞栓術などの麻酔を幅広く行っております。昨年同様、変形性膝関節症に対する骨切り術や人工膝関節置換術は積極的に行われており、麻酔法も全身麻酔に末梢神経ブロックを併用し、術野での局所浸潤麻酔を組み合わせた形式でほぼ確立できており、患者満足度も上がってきています。相変わらず ADL が極端に低下した超高齢者の骨折手術の麻酔から生後数十日の乳児の腹腔鏡下単径ヘルニア手術、また帝王切開妊婦の麻酔管理まで幅広く行っています。患者負担が少ないといわれるアカラシアに対する POEM を含めた 経口内視鏡的手術、関節鏡下手術、脳神経外科領域の神経内視鏡下手術は右肩上がりで増えており、多岐にわたる麻酔管理は当院の特徴といえるでしょう。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが、集中治療室の対応は後手に回っている現状は変わっていません。

2020 年度の麻酔管理件数は 1882 件（前年 8.9% 減）、全身麻酔管理件数 1424 件（同 5.1% 減）でした。さまざまな理由で減少したとはいえ 2018 年度とほぼ同数の件数となりました。

全員が可能な限り各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。また新専門医習得条件である学会現地参加も可能な限り全員で行うために、手術制限で各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



副院長
久場 良也



麻酔科部長
島袋 泰



嘉手苅 由梨



太田 沙也加



平良 志子

血液浄化部

2020年度の通院患者数は145名でした。午前・午後・夜間透析の3クール、火木土は午前の1クールで透析業務を施行しています。また、他院から形成外科での足の治療や外科での手術目的等で一時的に入院透析受けられる患者が年間約50人程おります。維持透析以外にもICU等での血漿交換療法、血液吸着療法 CHDF、腹水濾過濃縮療法、PMX等の血液浄化に対応しています。

VA委員会では臨床工学技士が中心となり、シャントトラブルを未然に防ぐために定期的なシャントPTA（経皮的血管拡張術）の依頼やシャント手術が依頼できるシステムを構築しています。

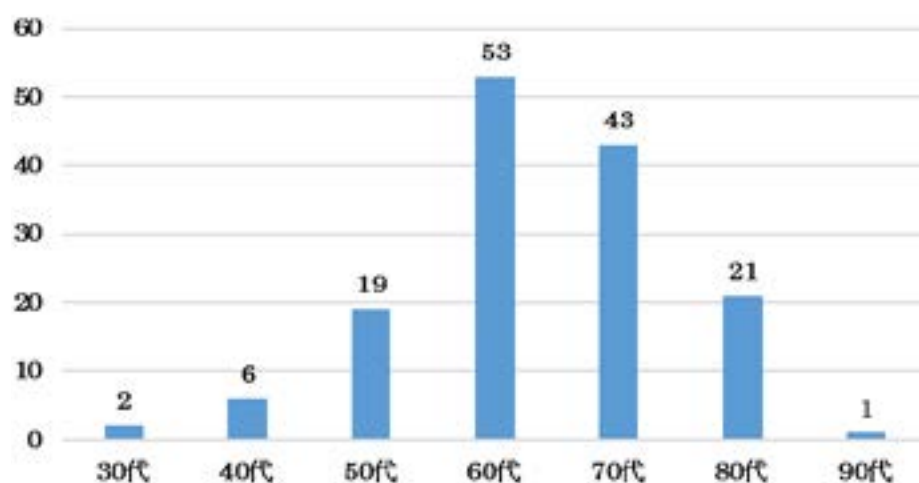
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医

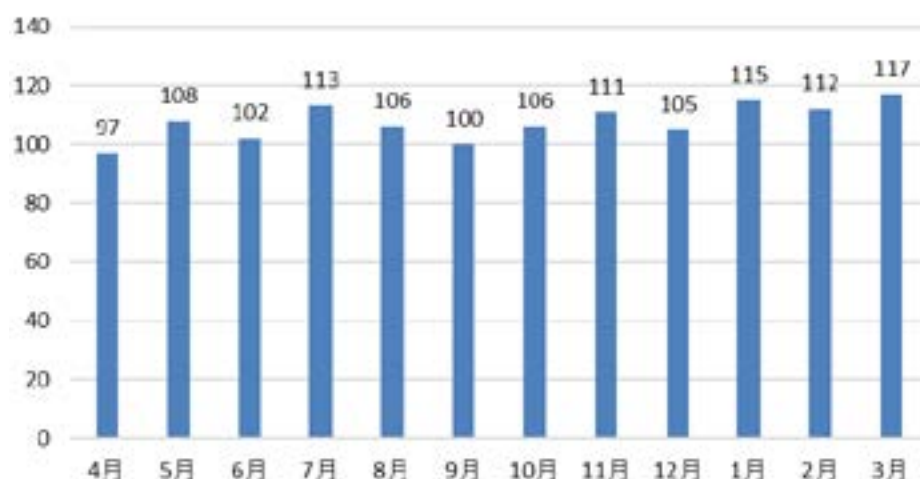
業務実績



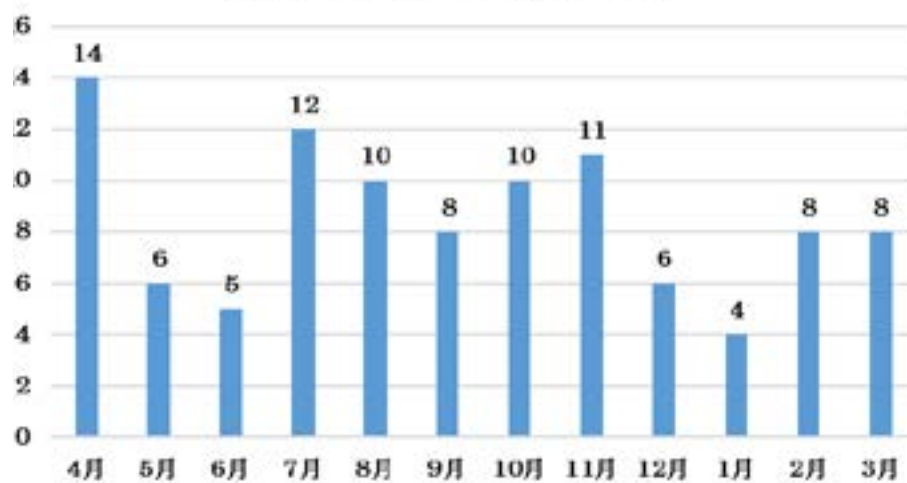
年齢別（人）



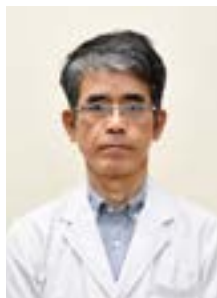
フットチェック件数（人）



内シャントPTA件数（人）



年度総括

血液浄化部長
嘉川春生

血液浄化部は常勤医師 1 名、看護師 19 名、看護補助者 3 名、臨床工学技士 9 名、医事課 1 名で診療にあたっています。

今年度は総患者数 145 名と大幅な患者増となりました。その背景には新規導入患者の増加や形成外科での足の治療や外科での手術目的など他透析施設からの治療入院患者の増加があります。血液浄化部では、維持透析以外に血漿交換療法、血液吸着療法、CHDF、腹水濾過濃縮療法などの血液浄化療法も対応しています。

バスキュラアクセス (VA) 委員が中心となり VA トラブルを未然に防ぐため、定期的に経皮的血管拡張術 (PTA) の依頼や VA 作成術ができるよう専門外来と連携を図っています。また、全患者を対象にフットチェックを実施し、透析患者の足病変の早期発見や専門外来との連携で早期治療に繋げる取り組みを行なっています。

今年度は COVID-19 対策として、治療室がオープンフロアとなっているため、火木土の午後を発熱者や濃厚接触者の時間的隔離対応にあて、月水金は午前、午後、夜間の 3 クール、火木土は午前の 1 クール体制で治療を行いました。また、透析室入り口でゲートコントロールを実施し、検温や有症状者の隔離室への誘導、発熱外来への案内を実施してきました。患者や家族へ自宅での検温や健康管理、発熱時の来院前連絡、同居家族や職場での発熱者や陽性者、濃厚接触者の有無について報告連絡するよう指導し感染予防対策を実施してきました。患者同士が発熱者と接触しないよう対策を立て、スタッフと患者、家族が一丸となって取り組んでいます。次年度も患者、家族と連携を図りながら感染予防対策を実施していきたいと思っています。

口腔ケア科

概要・実績

口腔ケア科は、2017 年（平成 29 年）4 月から非常勤歯科医師 3 名・歯科衛生士 2 名体制で月曜日・火曜日の午後、木曜日の午前・午後に周術期患者・化学療法患者を対象に外来診療を開始し 4 年が経ちました。

診療日以外は入院患者を対象に歯科衛生士による口腔ケアを行っています。

職員数

歯科医師	5 名	歯科衛生士	2 名
看護クラーク	1 名		

医師

役職	氏名	専門分野	学会認定
非常勤（月曜日）午後	牧志 祥子	口腔外科一般	日本障害者歯科学会認定・認定医
非常勤（火曜日）午後	仲宗根 敏幸	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医 ACLS プロバイダー
非常勤（木曜日）午前	平野 惣大	口腔外科一般	日本口腔外科認定医
非常勤（木曜日）午前	白川 順平（2 月～）	口腔外科一般	口腔外科認定医
非常勤（木曜日）午後	後藤 尊弘	口腔外科一般 口唇口蓋裂	日本口腔外科学会専門医 日本障害者歯科学会認定・指導医

歯科衛生士

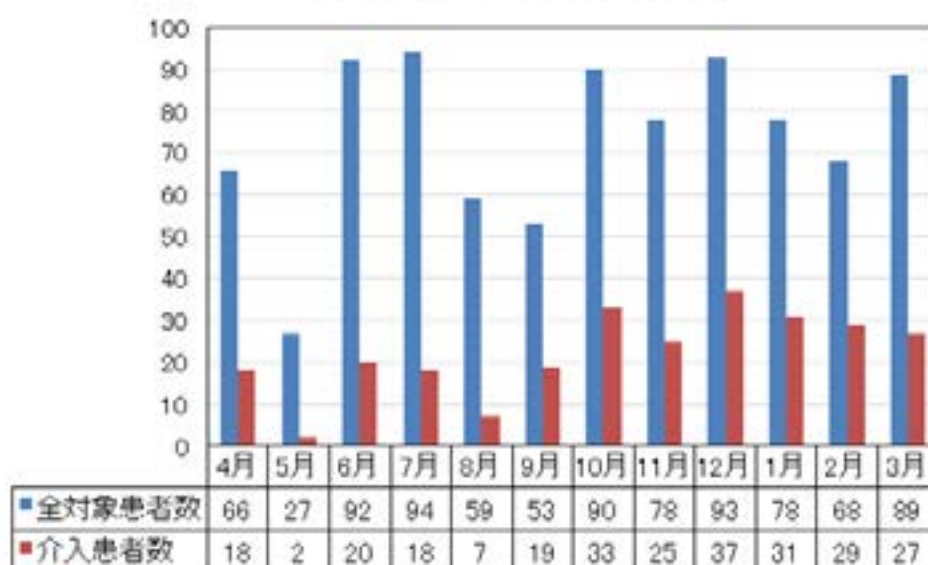
氏名	専門分野	認定
浦崎 洋子	歯科衛生士	口腔ケア 4 級 NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 食事サポーター PEACE
玉寄 伶菜	歯科衛生士	口腔ケア 4 級

診療実績

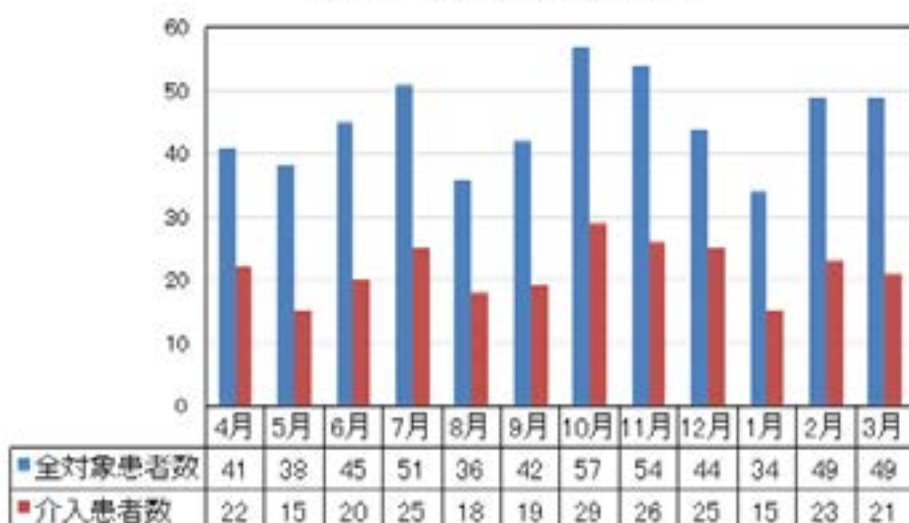
診療科別患者数

年度	延患者数	延患者数（一日平均）	逆紹介件数
2017 年度	96	12	5
2018 年度	156	20	8
2019 年度	126	16	7
2020 年度	93	15	1

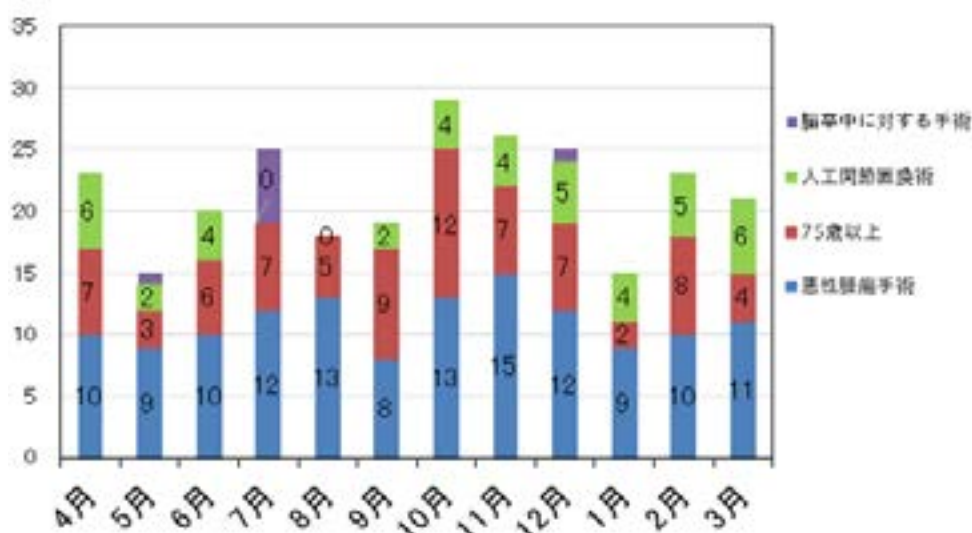
全身麻酔手術（周術期加算非該当）



全身麻酔手術（周術期加算該当）



周術期加算該当症例（詳細）



年度総括

外来師長 山内 美咲

口腔ケア科は、周術期患者、化学療法患者を対象に口腔内管理目的に開設され、今年度で開設 4 年目を迎えました。

今年度は、新型コロナウイルスの対応に追われる 1 年となりました。8 月からは「新たな感染症対策を踏まえた歯科診療ガイドライン」に沿い、標準予防策の遵守、環境に応じて感染予防対策の向上を図る取り組みとしてエアロゾルの分散を防ぐ目的で口腔外吸引装置を設置しました。

今年度の実績は、1 日平均患者数 15 人、日当点は 10,036 点と目標の 6,588 点を上回り目標を達成しました。徐々に他科との連携もスムーズに行われるようになり、周術期患者に関しては挿管時の歯の欠損、動揺歯の欠落等のトラブル減少、化学療法中の口腔内トラブルを抱えた患者に関しては症状改善がなかった症例が多くみられるようになり、よい結果へつなげることができました。

また、対象患者のみならず誤嚥性肺炎予防、義歯の調整、造血間細胞移植前の齲歯のチェックなど患者の QOL 向上を目指し、他科からの依頼に関しても可能な限り対応していけるように努めています。来年度も医科と歯科で連携しながら、患者が安心して治療に専念できる医療を目指し、チームで取り組んでいきたいと思います。

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に業務の改善を図っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症流行に翻弄された1年でした。その中で改めて、ハートライフ病院が地域医療に大きな責任を担っていることを痛感させられた1年でもありました。

研究業績

学会発表

今年度はCOVID-19によりほぼ全ての学会・研究会が中止になったりリモート開催となってしまいました。そのため例年ほどの研究発表はできませんでした。また、年に3回ほど行っていた、所轄消防との症例検討会も1度も開催できませんでした。初期研修医にとって貴重な発表の場であり、教育的な効果も大きかっただけに残念です。多人数の集会が解禁になったら、再開を目指します。

※医師以外の実績については各部署のページをご覧ください。

医師プロフィール

今年度は医師の体制に変化はありません。医師の増員に向けて今後も努力します。

役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅 正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、 スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士

実績

今期前半は、COVID-19の影響で患者の受診減があり、関連する所轄消防の年間搬送件数も10%ほど減少しています。その中で当院の搬送件数は、年間3,000件を超えた昨年を下回っていましたが、例年以上の症例数は確保していました。

COVID-19感染第三波とともに、近隣医療機関の患者受け入れ制限などが加わり、後半は患者数が増加しました。



最終的には、昨年度よりやや下回りましたが、救急搬送患者数は目標としていた 3,000 件を超えることができました。特に最終月の 3 月は、330 件の搬送数となり一月あたりの搬送数としては初めて 300 件をこえ、これまでで最高数となりました。この傾向は年度を超えても継続しています。

年間 3,000 件の救急搬送数は、現在の救急室の専属医師の数などから、当院の最大受け入れ数としてこれまで掲載してきました。看護師の業務改善や病院救命士の採用などで、受け入れ体制を維持していますが、搬送数が月 300 件を越すと、体勢的にかなり厳しいものがあります。また、救急当直を担当する先生方にも大きな負担となっております。

担当医師 1 名が令和 3 年度末で定年であり、これ以上の救急搬送を目指すためには、早急な医師補充が必要となります

消防別搬送数

消防別の搬送数は以下のグラフのとおりですが、島尻消防以外は増加しています。



各消防の搬送件数の内、ハートライフ病院に搬送された症例の割合を年次ごとに調べてみました。当院の 1 番の受け入れ先である、中北・東部消防は、約 1/3 の症例が当院に搬送されています。宜野湾消防の増加は近隣医療施設の患者制限の影響があるかと考えております。そのほか、浦添消防・那覇消防からの搬送も年度終盤に増加しつつあります。

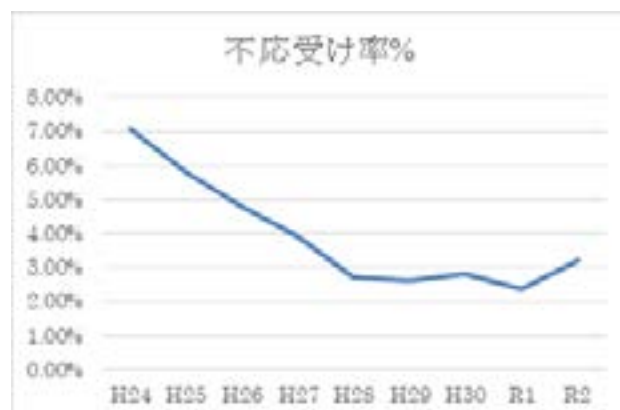


不応受率

救急車の断り件数・不応受率はやや増加しましたが、多くは重症対応中であつたり、担当医が緊急手術中などが多く、致し方のない結果かと思えます。また、医師を含めた職員の過労を考慮し、緊急手術担当のインターバル時間を設定した診療科もありました。

その他の実績

感染症救急の充実は、県の補助金などを利用してかなり進みました。フィルター付き送風機、自走ロボット型紫外線殺菌灯装置などは、COVID-19 対策上有効でした。現在感染対策に使用している部屋の使い勝手をよくするため計画中です。



来年度の目標

今年度は、COVID-19 収束を待って、研究発表・症例検討会やシュミレーション教育を再開させます。令和4年度の救急部の医師の体制についても早急に検討し構築していく計画です。

年度総括



救急総合診療部長
銘苅 正

COVID-19 に翻弄された1年でしたが、年間3000件越えの救急搬送数を確保できました。PPEの装着など感染症対策は職員に多大な負担をかけましたが、手を抜くことなく業務を遂行してきた職員に改めてお礼を言いたいと思います。

医局年度総括



大腸・肛門外科
部長 兼 医局長
阿嘉 裕之

日々の診療につきましては、救急医療から専門的な医療まで、エビデンスに基づき患者さんに寄り添った医療に取り組んで参りました。科の垣根を越えた合同医局、風通しの良い医局として相談しやすい環境を心掛けております。コロナ禍においては窓を開けての風通しは良いのですが、以前のような密で和気藹々感がなくなったのは寂しい限りです。

定期的な会議の医局会、勉強会を時間内に収めるよう開始時刻の変更など試行錯誤してきました。また、研修医に対する教育も医局全体で継続しており、偏らない教育を行っております。医局行事の歓迎会、忘年会、送別会、研修修了パーティーなどは軒並みコロナ禍で中止し、代わりになる激励アプローチも見つからないままですが、息抜きのネタを提供いただければ幸いです。次年度も更に刺激しあえる医局にしていきます。

看護部

部門紹介

職員数（2020年4月1日現在）

総数 535 名
 保健師 5 名
 助産師 29 名
 正看護師 400 名
 准看護師 13 名
 看護補助者 58 名

保育士 1 名
 栄養士 1 名
 クラーク 27 名
 歯科衛生士 1 名

認定看護師・認定看護管理者

分野	氏名
集中ケア	内間 幸人
感染管理	大城 美那
	石川 由希
	城間 克也
慢性心不全	島袋 すが子
がん化学療法	本田 由佳理
乳がん看護	砂川 克子
救急看護	兼本 愛美
特定行為研修修了	兼本 愛美
緩和ケア	高宮 理沙
手術看護	富田 健一
糖尿病看護	又吉 直美
診療看護師	諸喜田 睦子
医療安全管理者	安村 公均
	外間 真紀子
	安谷屋 佳子
	屋宜 鮎美
	米須 智子

分野	氏名
認定看護管理者サードレベル履修	仲地 ますみ
認定看護管理者セカンドレベル履修	外間 真紀子
	比嘉 憲貴
認定看護管理者アーストレベル履修	安谷屋 佳子
	東恩納 小百合
	宮城 つかさ
	崎山 久美
	屋宜 鮎美
	米須 智子
	島袋 すが子
	仲里 寛
	勝連 しのぶ

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切に質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

【看護体制】

入院基本料 7 対 1

勤務体制 二交代制

看護方式 固定チーム + デイパートナー方式

看護単位

■一般病棟 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

6 階病棟（血液内科：クリーンルーム 10 床）

5 階病棟（消化器内科・小児科）

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・乳腺外科）

3 階病棟（整形外科・脳外科・形成外科・眼科）

東 4・5 病棟（産婦人科・外来併設）

■ICU 8 床

■HCU 12 床

■外来

一般外来

救急外来

透析室

■手術室、中央材料室

■内視鏡センター

■予防医学センター

■入院支援室

症例・研究発表・活動実績

名称	主催	開催	開催日	担当者・参加者
造影 MRI 検査で悪性所見はなかったがステレオガイド下マンモトーム生検にて DCIS が確定した 2 例	日本乳がん学会学術総会	WEB	2020 年 10 月 10・11 日	砂川克子（共同演者）
中堅研修Ⅰ⑦ 実践報告会	看護部教育委員会	院内	2020 年 12 月 14 日	中堅看護師 12 名
2 年目症例発表会	看護部	院内	2020 年 12 月 18 日	2 年目看護師 21 名
鎮静剤変更による患者の負担軽減の数値化とその比較	日本集中治療医学会	WEB	2021 年 2 月 12 日～14 日	阿部誠

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	担当者・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	院内	2020 年 4 月 1 日 2 日	総務課、看護部
新人看護師基礎看護技術研修	看護部 主任会	院内	2020 年 4 月 6 日～17 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光、比嘉暢
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020 年 4 月 27 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光、
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020 年 5 月 25 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光、
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020 年 6 月 15 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝奈々、玉木紀光
中堅研修Ⅱ医療安全	看護部教育委員会	院内	2020 年 6 月 20 日	安村公均

研修名	主催	開催地	開催日	担当者・参加者
新人看護師3か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2020年6月26日	大城祥子、呉屋友美、大見謝奈々、玉木紀光
中堅研修Ⅰ①	看護部教育委員会	院内	2020年7月3日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉憲貴、安谷屋佳子、仲地ますみ
がん看護Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2020年7月4日	比屋根亜美
中堅研修Ⅱ（慢性心不全看護）	看護部教育委員会	院内	2020年7月4日	島袋すが子
看護補助者の活用推進のための管理者研修	沖縄県看護協会	県内	2020年7月7日	安谷屋佳子、仲里寛、勝連しのぶ
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	沖縄県看護協会	県内	2020年7月7日～8月13日	渡久山すえの
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	沖縄県看護協会	県内	2020年7月9・10日	宮城愛子、奥間有太郎
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	県内	2020年7月15日	主任会、プリセプター
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020年7月27日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光
災害支援ナースの第一歩	沖縄県看護協会	県内	2020年7月29・30日	大宜見宗史
中堅研修Ⅱ（DM看護）	看護部教育委員会	院内	2020年8月1日	堀江恭子
2020重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	S-Q研究会	WEB	2020年8月1日～31日	木村有希、与那嶺史子、山城奈保子、古市友美、外間真紀子、宮城つかさ、安谷屋佳子
中堅研修Ⅰ②	看護部教育委員会	院内	2020年8月6日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉憲貴、安谷屋佳子、仲地ますみ
中堅研修Ⅱ感染	看護部教育委員会	院内	2020年8月8日	石川由希、城間克也
2年目研修	看護部教育委員会	院内	2020年8月14日	我那覇美帆、呉屋真由美、比嘉暢、安次富道代
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020年8月24日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光
中堅研修Ⅰ③	看護部教育委員会	院内	2020年8月27日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉憲貴、安谷屋佳子、仲地ますみ
中堅研修Ⅱ（手術看護）	看護部教育委員会	院内	2020年8月29日	富田賢一
新人看護師6か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2020年9月18日	大城祥子、呉屋友美、大見謝奈々、玉木紀光
糖尿病療養指導士資格更新研修	日本糖尿病教育・看護学会	WEB	2020年9月19日～27日	堀江恭子
中堅研修Ⅰ④	看護部教育委員会	院内	2020年9月24日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉憲貴、安谷屋佳子、仲地ますみ
中堅研修Ⅱ（フィジカルアセスメント）	看護部教育委員会	院内	2020年9月26日	諸喜田睦子
周産期のメンタルヘルス	沖縄県看護協会	県内	2020年10月3日	崎山久美、我那覇美帆、仲尾幸乃
中堅研修Ⅱ（乳がん看護）	看護部教育委員会	院内	2020年10月3日	砂川克子
特定行為研修	自治医科大学特定行為研修センター	栃木	2020年10月5日～10日	富里康太
師長・主任合同研修	看護部	院内	2020年10月6日	古波倉美登利、外間真紀子、仲地ますみ、安谷屋佳子他48名
プリセプター研修（上半期）	看護部教育委員会	院内	2020年10月16日	大城祥子、呉屋友美、大見謝奈々、玉木紀光、比嘉暢
NP 研鑽研修	日本 NP 学会学術集会	WEB	2020年10月17・18日	諸喜田睦子
3年目研修	看護部教育委員会	院内	2020年10月26日30日	山城奈保子、我那覇美帆、比嘉暢
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護部教育委員会	院内	2020年10月28・29日	祝嶺好輝、新垣結加、永村麻衣子
中堅研修Ⅰ⑤	看護部教育委員会	院内	2020年10月29日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉憲貴、安谷屋佳子、仲地ますみ

研修名	主催	開催地	開催日	担当者・参加者
中堅研修Ⅱ（救急看護①）	看護部教育委員会	院内	2020 年 10 月 31 日	兼本愛美
透析研修	日本透析医学会学術集会	WEB	2020 年 11 月 2 日～24 日	田下茜
人間ドック健診情報管理指導士資格更新研修	日本人間ドック学会	WEB	2020 年 11 月 5 日～10 日	桃原勝美
創傷・褥瘡ケア	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 7 日	宮里誠、米須かすみ
感染対策の基礎知識Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 10 日	下田ひなの
リーダーシップ研修Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 12 日	東江隼人、前田力、山城初音、山城真紀
特定行為研修制度の推進に向けて	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 14 日	屋宜鮎美、兼本愛美、山田義長、富里康太
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 17 日～11 月 18 日	比嘉香織、古謝瑞穂、島袋あかり、森根卓也、比屋根亜美
中堅研修Ⅰ⑥	看護部教育委員会	院内	2020 年 11 月 27 日	東恩納小百合、本田由佳理、崎山久美、比嘉恵貴、安谷屋佳子、仲地ますみ
教育担当者・看護管理者のための ICT 活用と看護情報管理	沖縄県看護協会	県内	2020 年 11 月 27 日	安谷屋佳子、比嘉暢、玉木紀光、大見謝奈々
中堅研修Ⅱ（救急看護②）	看護部教育委員会	院内	2020 年 11 月 28 日	兼本愛美
中堅研修Ⅱ（緩和ケア）	看護部教育委員会	院内	2020 年 12 月 5 日	高宮里沙
危機の時代と救急看護	日本救急看護学会	WEB	2020 年 12 月 5・6 日	篠原花織、兼本愛美
退院支援における看護師の役割	m hank	WEB	2020 年 12 月 17 日	崎山久美
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2020 年 12 月 21 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝、奈々玉木紀光
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	沖縄県看護協会	県内	2020 年 12 月 23 日	成田明日香
中堅研修Ⅱ（必要度）	看護部教育委員会	院内	2020 年 12 月 25 日	宮城つかさ
医療安全管理者養成研修	沖縄県看護協会	県内	2021 年 1 月 15 日～19 日	米須智子
中堅研修（皮膚・排せつケア）	看護部教育委員会	院内	2021 年 1 月 23 日	宮平良太
1 年目体験発表会	看護部教育委員会	院内	2021 年 1 月 29 日	大城祥子、呉屋友美、玉木紀光、大見謝奈々、比嘉暢、安谷屋佳子
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	県内	2021 年 1 月 29・30 日、2 月 1・2 日	宮里伸也、上原千晶
不穩患者の看護とチームアプローチ	沖縄県看護協会	県内	2021 年 2 月 6 日	森根美穂
論理的文章の作成	沖縄県看護協会	県内	2021 年 2 月 13 日	安谷屋佳子、屋宜鮎美、米須智子
退院支援は看護そのもの～地域包括ケア時代の看護連携～	メディバンクス	WEB	2021 年 2 月 17・18 日	上原美佳、東初美、成田明日香
退院支援のプロセス	メディバンクス	WEB	2021 年 2 月 24・25 日	上原美佳、東初美、成田明日香、具志堅理沙、仲尾幸乃
プリセプター研修（2021 年度向）	看護部教育委員会	院内	2021 年 2 月 26 日	大見謝奈々、玉木紀光、宮里伸也、上原千晶、比嘉暢
プリセプター研修（下半期）	看護部教育委員会	院内	2021 年 2 月 26 日	大城祥子、呉屋友美、大見謝奈々、玉木紀光、比嘉暢
これからの時代に必要な地域におけるアドバンス・ケア・プランニング	沖縄県看護協会	県内	2021 年 2 月 27 日	宮城杏子
手術部位感染対策セミナー	オルソサポート	WEB	2021 年 2 月 27 日	城間克也（ICT）他 10 名
1 年目フォローアップ研修・修了式	看護部教育委員会	院内	2021 年 3 月 12 日	大城祥子、呉屋友美、玉木紀光、大見謝奈々、比嘉暢、安谷屋佳子
師長・主任合同研修	看護部	院内	2021 年 3 月 16 日	古波倉美登利、外間真紀子、安谷屋佳子、他 45 名

各部署概要・実績

外来

外来師長 山内 美咲

職員数

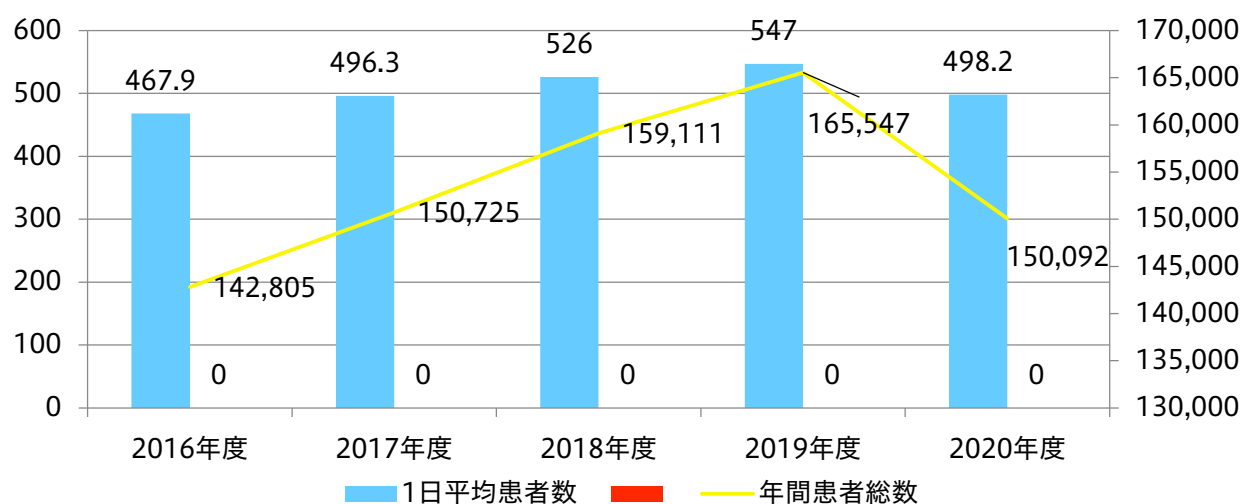
総数	44 名		
看護師	26 名	看護補助者	4 名
准看護師	1 名	クラーク	13 名

資格・認定など

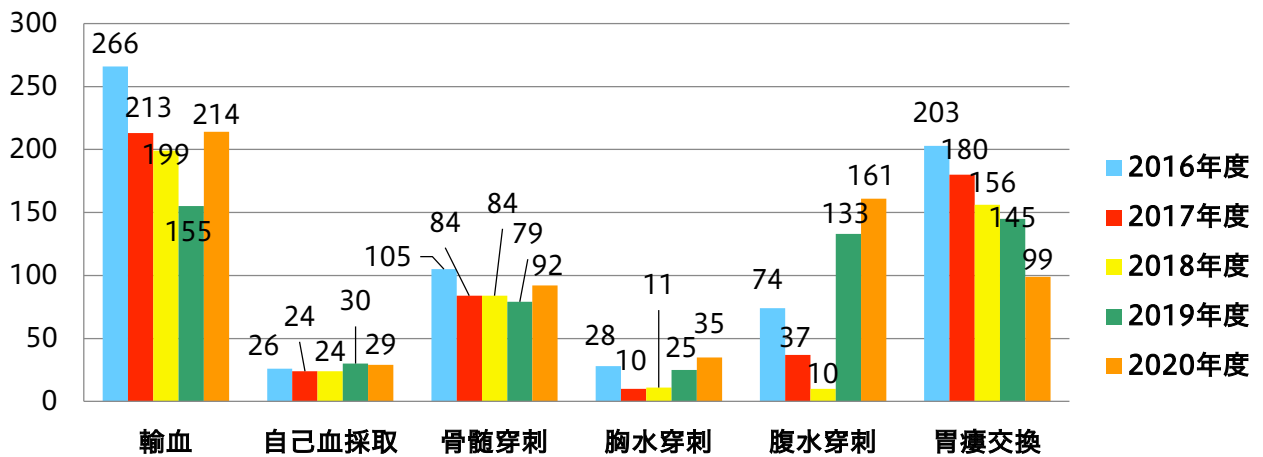
氏名	資格・認定
山内 美咲	ELNEC-J 指導者資格 肝炎コーディネーター資格 緩和ケア研修会PEACE INARS プロバイダー
玉城 秀美	実習指導研修終了
石原 桂子	緩和ケア研修会PEACE
新垣 薫	排尿機能検査士 リンパ浮腫複合的治療技術者 認定排尿ケア専門員コンチネンスリーダー 排尿自立指導専任ナース 快適CIC指導士
国仲 トモ子	内視鏡技師資格
志喜屋 幸子	肝炎コーディネーター資格
大滝 正美	肝炎コーディネーター資格
砂川 敦子	肝炎コーディネーター資格
金城 こずえ	肝炎コーディネーター資格

業務実績

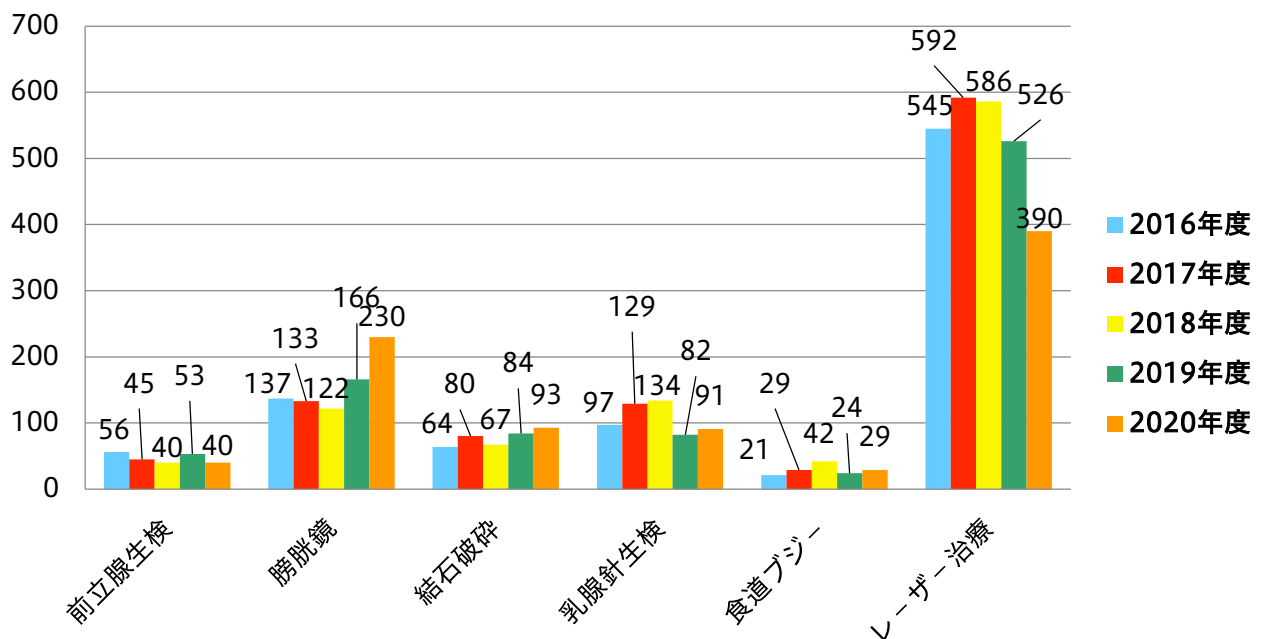
年間外来患者数と1日平均患者数（人）



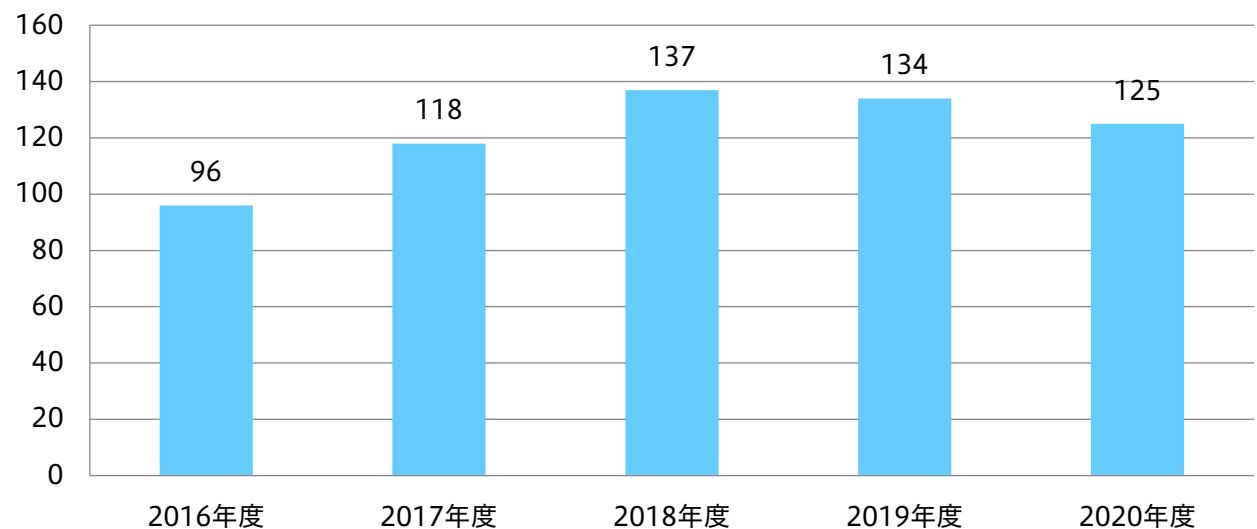
外来で行われる主な処置件数の推移（件）



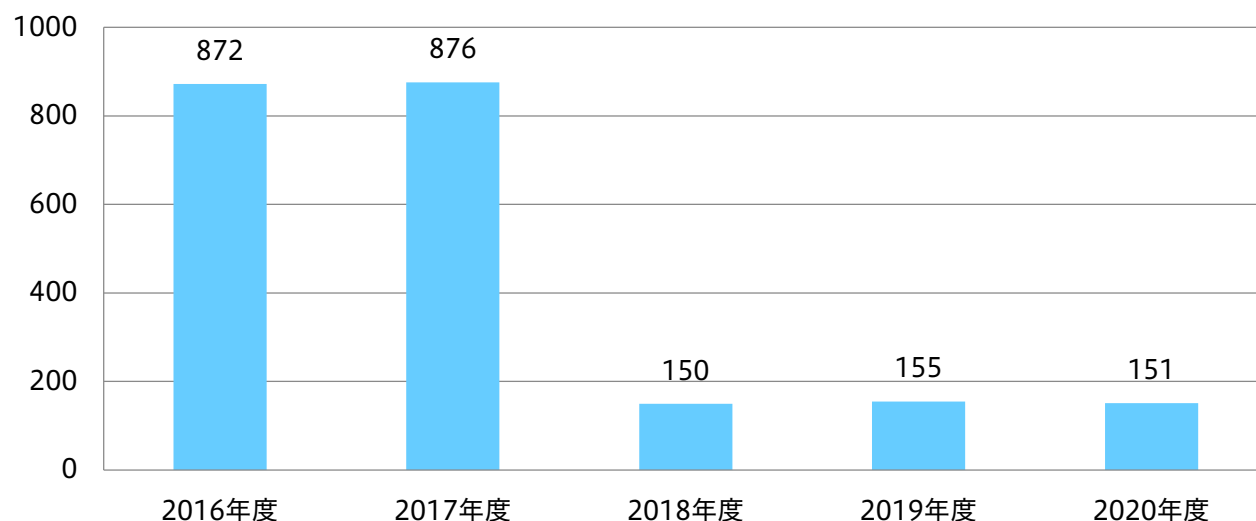
外来で行われる検査・治療件数の推移（件）



リンパ浮腫外来患者数（人）



無呼吸外来患者数（人）



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	日付	参加者名
排尿機能検査士継続単位講習	5月	新垣 薫
弾性ストッキング圧迫療法コンダクター	7月	新垣 薫
排尿自立支援・外来排尿自立支援指導認定	10月	新垣 薫
緩和ケア研修会 PEACE プロジェクトファシリテーター	2月	石原 桂子

年度総括

新型コロナウイルス感染症が流行し、発熱患者の対応と院内感染対策は従来とかなり異なる対応を迫られる1年となりました。

発熱患者を入館前に診察・検査が行えるよう「発熱外来」を立ち上げ、プレハブを設置、職員は防護服を着用し検査や処置を行いました。通常診療と並行して発熱患者の対応は院外のエリアで行う状況が今も続いています。車中待機で検査を受ける患者を安全に観察し、高度な医療行為が必要な場合にも対応できるよう院内にヘパフィルターを設置しゾーニングを行うなど、感染対策の設備整備がなされました。今後もこの状況が続く事が予想されるので、他職種、関連部署と連携し、安全な医療の提供に努めたいと思います。

感染症拡大防止を目的に医療機関の受診を控える動きが広がった時期は、不要な受診が減り、症状があり受診した患者に対し必要な検査や処置を行うことができました。それに伴い紹介率・逆紹介率も上がる結果となりました。引き続き、各診療科の理解と協力を得て、地域と連携した医療の提供に向けて取り組みを強化したいです。

今年度は新型コロナウイルス感染症関連の検査と対応が求められたことで、職員と患者の感染防御に考慮した業務対策の立て直しが主な取り組みでした。今後の外来に求められることは、急性期病院の役割のひとつとして在院日数適正化に向けて退院後の外来・地域や自宅で治療と支援が継続し関われるよう仕組みを作ることです。その取組として業務内容見直し、人材育成を計画的に行ない、患者さんへ安全な医療提供と質の高い看護が実践できる環境を整えていきたいと考えます。

救急外来

救急外来師長 屋宜 鮎美

職員数

総数 28 名
 看護師 25 名
 救急救命士 3 名

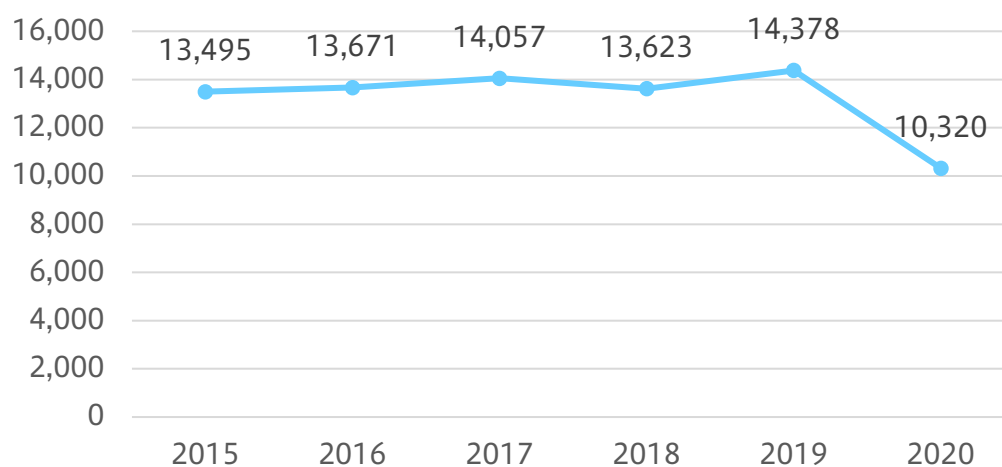
認定・資格など

名称	氏名
特定看護師	兼本 愛美
救急看護認定看護師	兼本 愛美
AHA BLS インストラクタ	兼本 愛美 大宜見 千佳
ICLS インストラクタ	兼本 愛美
MCLS インストラクタ	山田 義長

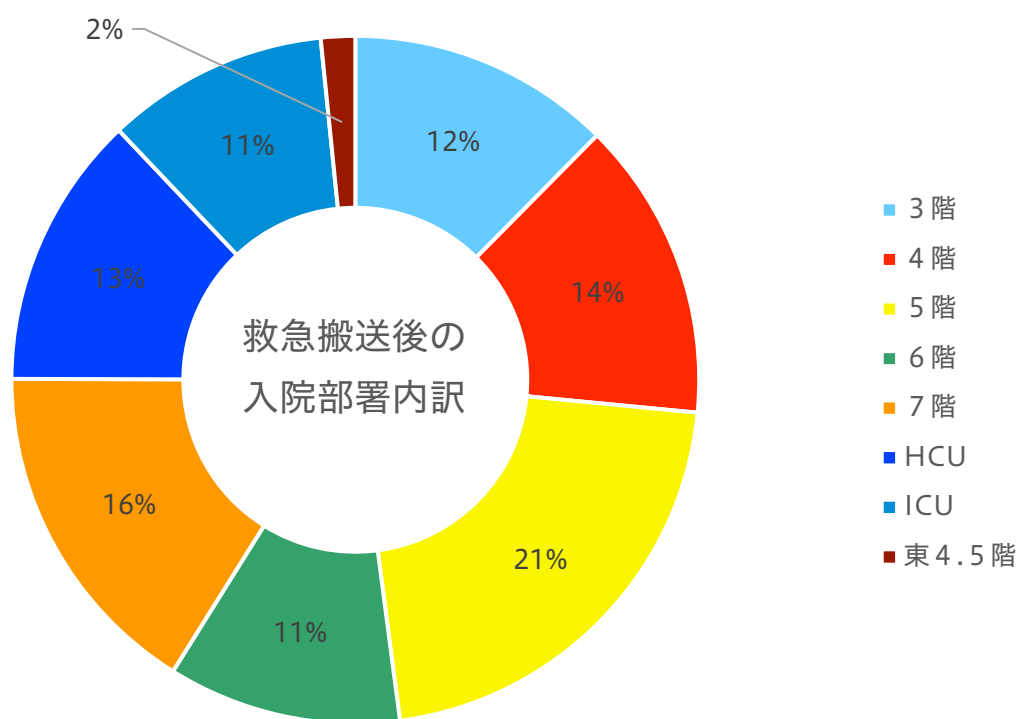
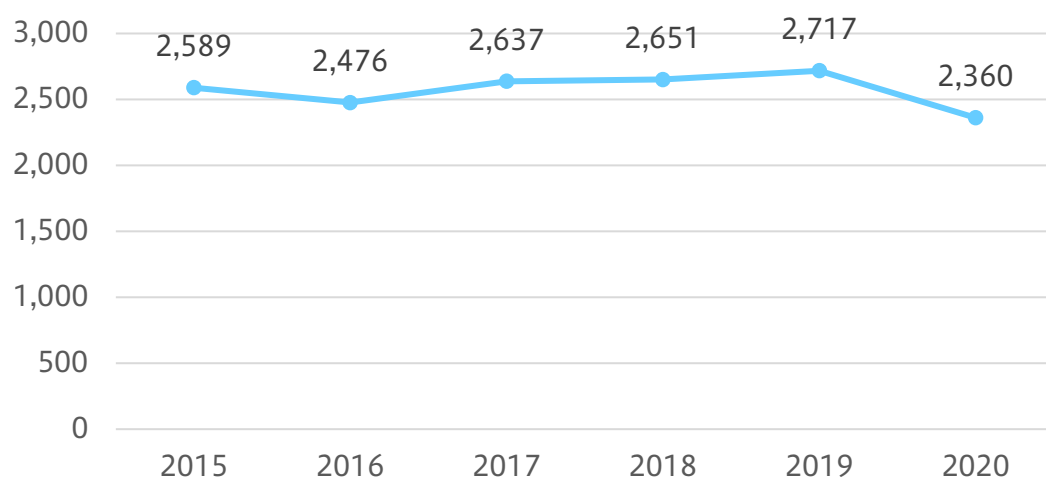
名称	氏名
JPTEC インストラクタ	兼本 愛美 大宜見 宗史
DMAT 隊員	兼本 愛美 山田 義長

業務実績

救急受付患者数年次推移



救急受付患者の入院数年次推移



研究業績

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
災害看護の取り組みについて	看護 おきなわ	2021 年 1 月発行 101 号	兼本愛美
病院・部署・地域…救急の認定看護師は、どう動く？ ドクターカーの導入に向けた取り組みと現状（解説）	Emer Log (2434-4559)	33 巻 3 号 Page414-419(2020.06)	兼本愛美

活動実績

研修実績

研修名	開催地	開催日	参加者
BLS プロバイダーコース	県内	2020 年 5 月 2 日	屋宜鮎美
PEARS プロバイダーコース		2020 年 5 月 30 日	大宜見宗史
PEARS プロバイダーコース		2020 年 5 月 30 日	新垣仕言
BLS プロバイダーコース	県内	2020 年 7 月 17 日	新垣仕言
BLS プロバイダーコース	県内	2020 年 7 月 17 日	照屋杏奈
BLS プロバイダーコース	県内	2020 年 7 月 17 日	山城優希菜
PALS プロバイダーコース	県内	2020 年 11 月 21、22 日	東山亜梨佳
新人看護職員研修教育担当者研修	県内	2021 年 1 月 29 日～2 月 2 日	宮里伸也

その他

名称	開催地	開催日	参加者
熊本豪雨 DMAT 派遣	熊本県	2020 年 7 月 7 日～7 月 11 日	兼本愛美、山田義長、森元一晟
消化器疾患患者の看護（沖縄看護専門学校講義）	県内	2020 年 9 月 14 日	兼本愛美
消化器疾患患者の看護（沖縄看護専門学校講義）	県内	2020 年	山田義長
災害看護論（名桜大学講義）	県内	2020 年 12 月 24 日	兼本愛美
沖縄県喀痰吸引等指導者講習会	県内	2021 年 2 月 17、18 日	兼本愛美

年度総括

2020 年度は、一般救急外来受診患者とコロナウィルス感染症を疑う発熱患者を、並行しながら受け入れを行いました。感染対策として、一般患者と隔離が必要な患者をゾーニングし、感染症患者に対応できる体制を整えました。限られた物資を無駄にせず、かつ適切な標準予防策をとることで、安心・安全な医療の提供、業務に従事する医療者の不安軽減につながったのではないかと思います。救急外来で勤務するスタッフは、生命の危機に直面する場面に遭遇する事も多く緊迫する中、またコロナウィルス感染症を疑う患者の対応も行わなければならない、心身の健康管理が重要となります。そのため、スタッフのストレスを最小限にできるよう、適切な休暇管理を行っています。

今年度も安全な医療の提供ができるよう努めましたが、インシデンが 155 件発生しています。内訳は患者に実施される前に気づき、至らなかった 0.1 レベルが約 62% と大半を占めました。発生時の分析を含め、医療安全リンクスタッフを中心とし、スタッフへの情報共有、対策の検討を継続して行っています。

専門性の高い医療の提供については、日々の業務の中で実際に対応した症例を振り返り、次につなげていく事をこころがけています。スタッフの教育面では、救急認定看護師や救急専門医などからの指導・助

言を踏まえ、個々の能力向上を目指し部署の教育プログラムを計画・立案し、実践しています。今後も症例を重ね、救急看護の質向上に努めます。

救急搬送件数は、前年度より若干減少はしたものの、3030件と目標の3000件をクリアし過去2番目に多い件数となりました。コロナ禍で、近隣施設が救急制限を行っている中、当院は一度も救急搬送患者を制限せず患者受け入れをすることができました。厳しい状況の中、適切な部署運営ができ、急性期病院としての役割を担う事ができました。

当院ではドクターカーを2台常備しており、一刻も早い医療提供できる体制を整えています。ドクターカーの運用を継続していくためには、院内外、多職種との連携が不可欠であるため、日頃からコミュニケーションをとり、風通しのよい関係を意識しています。

救急看護は豊富な知識と高いスキルが求められます。安全、安心な医療の提供のためにも、計画的な教育が必要であり、看護師の定数人員の確保と定着が目標となります。今後もスタッフ一人ひとりがやりがいを見つけ、継続して教育できる職場風土作りに努めていきます。

人工透析室

師長代行 田下 茜

職員数

総数 22 名

正看護師 19 名

看護補助者 3 名

認定・資格取得状況

氏 名	認定・資格
田下 茜	透析技術認定士 CAPD 認定指導看護師
上原 千晶	新人看護職員研修教育担当者研修了 フットケア指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士
赤嶺 美智江	透析技術認定士
新里 恭子	透析技術認定士
伊保 和加子	透析技術認定士
呉屋 久子	透析技術認定士

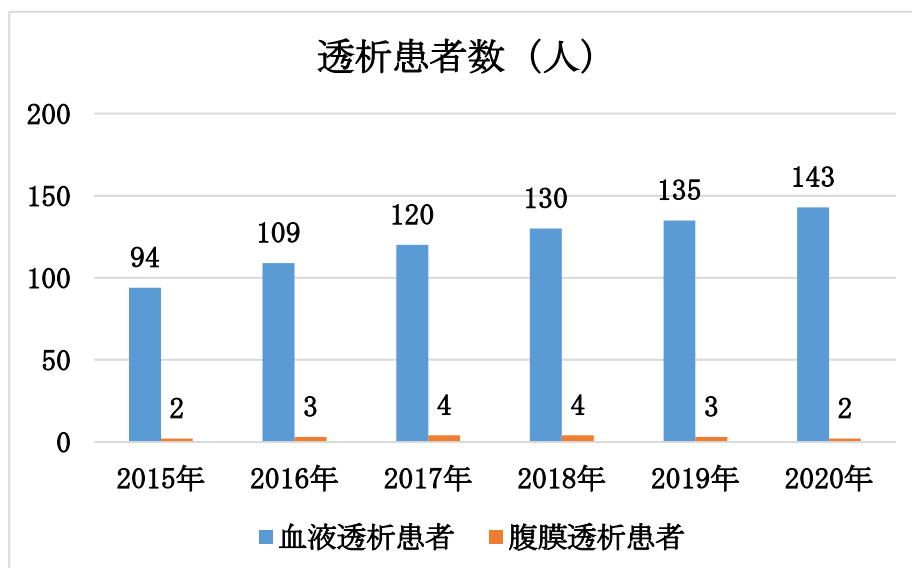
業務実績

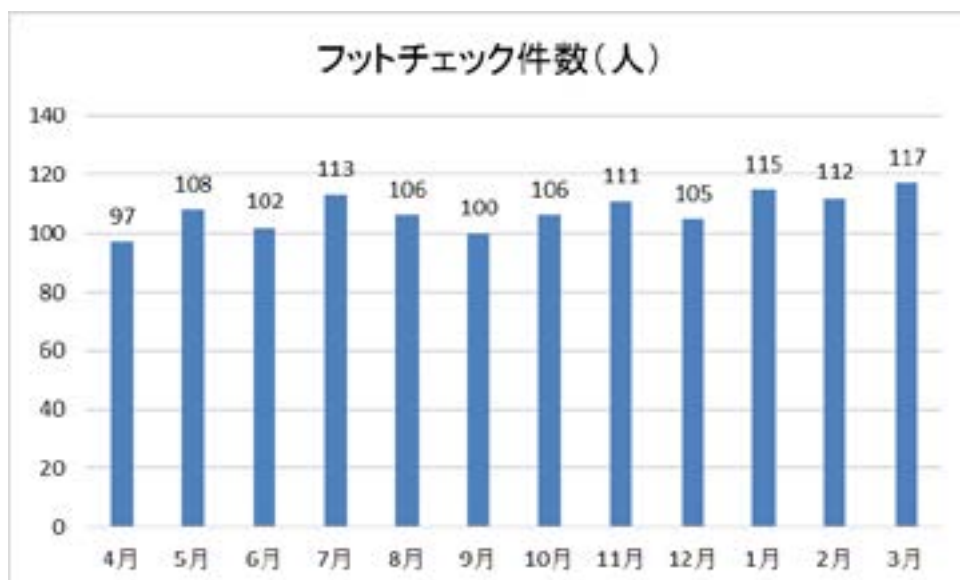
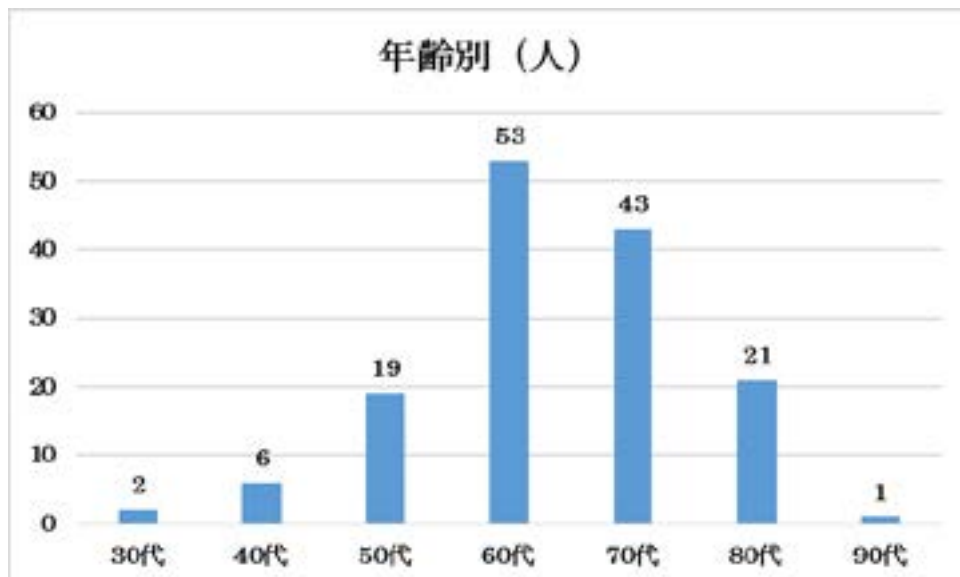
新規導入患者数 18 名

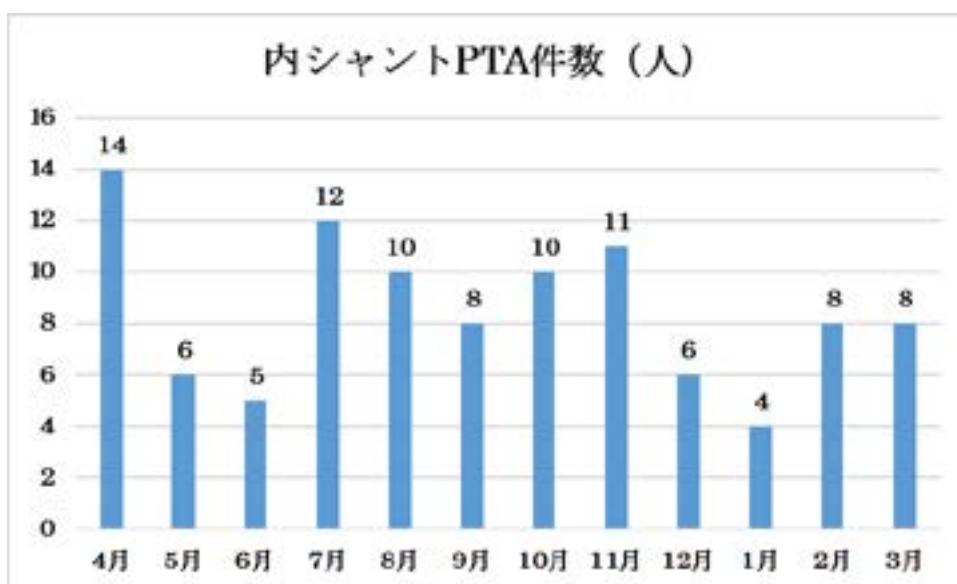
腹膜透析患者数 2 名

血液透析患者数 145 名

平均年齢：68.3 歳 男性：89 名 女性：56 名







研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
台風による停電に伴う支援透析の実 際と課題	第 22 回日本腎不全看護学 会学会集會・総会	北海道	2019 年 11 月 9 日	田下 茜

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
看護師長交流会 「看護師長ワールドカフェ」	看護協会	南風原町	2020 年 11 月 6 日	田下 茜
セカンドライフセミナー	看護協会	南風原町	2020 年 12 月 3 日	赤嶺 美智江、呉屋 清美
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	南風原町	2020 年 11 月 22 日 ～ 12 月 3 日	上原 千晶

2020 年度 部署目標

【医療安全】

マニュアル遵守。インシデント発生時はクイックセイファー等を活用し再発防止に努める。0, 1 レベル及びオカレンス報告の周知徹底。

【教育】

各種、専門認定士取得に努める。関連学会への参加、演題発表。

【患者サービス】

専門的ケア、サービスの充実。接遇向上に努める。災害対策訓練の実施

年度総括

今年度は、新規導入患者の増加や他透析施設からの治療入院患者の増加に伴い、大幅な患者増となりました。年々、患者の高齢化も進み、施設入所の方や介助を要する方、自己通院が困難のため送迎サービスが必要な方、長期留置カテーテルや人工血管など自己血管によるバスキュラアクセス（VA）の作成が困難な方が増加傾向となっており、より一層、転倒転落に対する安全対策や、VA 管理に対する感染予防対策が求められるようになりました。また、高齢の患者に関わらず、透析患者が透析導入後も日常生活が維

持できるよう多職種での関わりが重要となっています。

医療安全面では、体重測定に関連するインシデントが頻発し、体重計の設置場所やマニュアルの改訂などを行い再発防止に努めました。発生件数は低減していますが、透析治療における体重測定管理の重要性やマニュアルを遵守するというスタッフの意識向上が課題となっています。

教育面では、BLS、ACLS チームをつくり、コロナ禍における急変対応も含めた部署内での勉強会およびシュミレーションを実施しました。また、VA 委員を中心に VA 管理に関連するスライドを作成し、e-ラーニングによる学習を実施しました。今年度は Co-19 の影響で院外の勉強会や研修に参加できませんでしたが、部署内で計画を立てスタッフ間で協力しながら取り組むことができ、シュミレーションや e-ラーニングで繰り返し学習することで学びを深めることができました。

専門的ケアでは、透析患者は血管石灰化や下肢閉塞性動脈硬化症（PAD）による下肢虚血から下肢の切断に至りやすいため、全患者を対象にフットチェックを実施しています。足病変の早期発見や専門外来との連携で早期治療に繋げる取り組みを行なっています。今後もフットケア指導士を中心に患者のセルフケア指導やフットケアの充実を図っていきたいと思います。

VA 管理では、閉塞に至らないようエコーによる VA 評価を実施することができました。狭窄など異常所見を認めた場合は循環器内科へ紹介し、今年度は 102 件の内シャント経皮的血管拡張術（PTA）に繋げることができました。また、主に臨床工学技士にてエコー下穿刺を行っていますが、今年度は看護師 1 名が技術を習得しエコー下穿刺を実施できるようになりました。次年度も引き続きエコー下穿刺の技術習得に向けたスタッフの育成に取り組み、患者の穿刺に対する不安やストレスの軽減に努めたいと思います。

今年度は、Co-19 対策に追われた 1 年でした。透析室入り口でゲートコントロールを実施し、検温や有症状者の隔離室への誘導、発熱外来への案内を実施してきました。また、患者や家族へ自宅での検温や健康管理、発熱時の来院前連絡、同居家族や職場での発熱者や陽性者、濃厚接触者の有無について報告連絡するよう指導し感染予防対策を実施してきました。治療室がオープンフロアとなっているため、空間的、時間的ゾーニングなど患者同士が発熱者と接触しないよう対策を立て、スタッフと患者、家族が一丸となって取り組んでいます。引き続き患者、家族と連携を図りながら感染予防対策を実施していきたいと思います。

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

職員数

総数 31 名

正看護師 23 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

メディカルクラーク 1 名

臨床工学技士 1 名

認定・資格取得状況

氏名	認定・資格・修了
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程ファースト研修終了 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
大城 美那	感染管理認定資格 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 手術看護認定看護師資格
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
米田 梓	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
豊永 涼子	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
渡久山 すえの	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
崎山 梨奈	周術期管理チーム認定看護師

業務実績

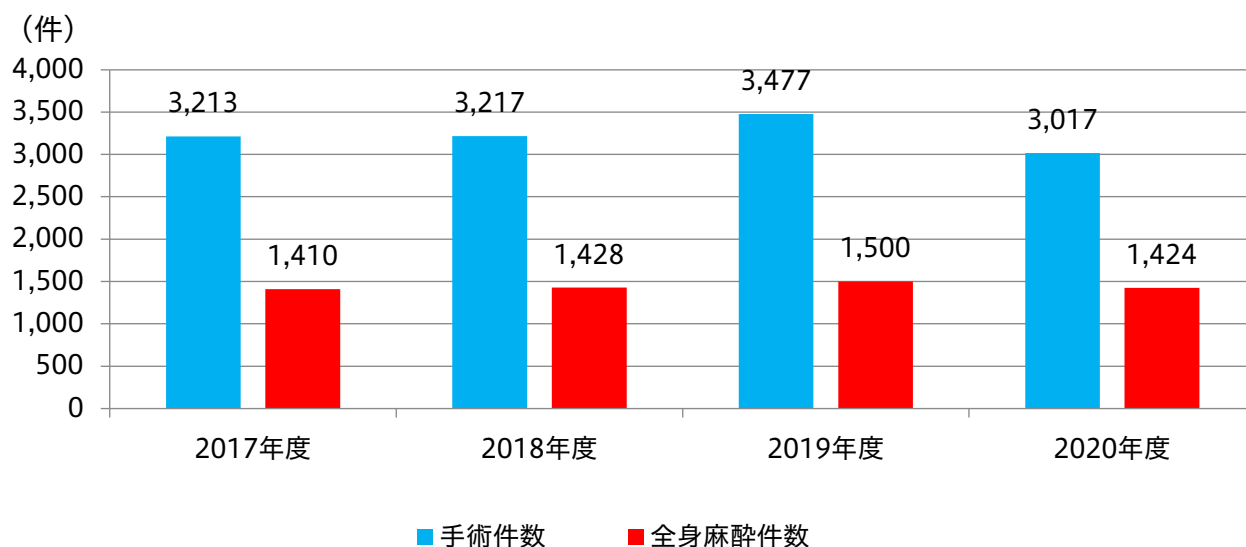
手術実績

月平均手術件数 251 件

1 日最大手術件数 23 件

1 日平均手術件数 12 件

手術件数推移



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
看護師長交流会 ワールドカフェ	沖縄看護協会	南風原	2020 年 11 月 6 日	東恩納 小百合
手術室での安全な器械提供のための 洗浄	メディバンクス株式会社	WEB	2021 年 1 月 30 日	渡久山 すえの
手術部位感染 (SSI) 対策セミナー	スリーエムジャパン	WEB	2021 年 2 月 27 日	久手堅 緑・米田 梓・ 呉屋 真由美
リーダー研修会	沖縄看護協会	南風原	2021 年 3 月 13 日	東恩納 小百合

年度総括

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け 5 月、8 月、9 月と手術制限を行った結果、目標手術件数 3,500 件に対して 3,013 件と目標達成には至りませんでした。手術制限期間中には、新型コロナウイルス感染症の影響で手薄になってしまった部署へ看護師 3～4 名を応援として派遣し、病院運営に貢献できるよう協力体制作りに務めました。また、8 月にはコロナウイルス感染症疑いまたは陽性患者の挿管、抜管に対応するため麻酔科医師を中心に勉強会とシミュレーションを行いました。その効果もあって、院内 PCR 器械が導入されるまでの間 43 件の疑い患者の手術に対し、医師、看護師ともに感染防御策を徹底し安全に手術対応することが出来ました。

また、手術室では急変時の対応『挿管介助』研修を行っており、今年度も救急外来や病棟看護師からの研修者を受け入れました。コロナ禍の中でも手術室ならではの役割を担うことが出来たと考えています。次年度は、病院全体で急変時の対応がスムーズに行えるよう、病棟だけでなく他部署からも多くの研修者を受け入れ努めていきたいと思えます。

今年度は特に人材育成に力を入れ、新人看護師 4 名、臨床工学技士 1 名（器械出し専属）、OR テクニシャン 1 名（救急救命士による器械出し）と、これまでにない人員配属となりました。OJT、OFFJT 教育は勿論、ICT 教育を新たに導入した事で手技の確認や振り返り、さらに事前学習が容易に出来るようになり、入職から半年後には新人看護師 4 名全員オンコール対応できるまでに成長し ICT 教育の成果がみられました。また、OR テクニシャンのやる気と資格を活かし業務拡充をする計画で現在進んでおります。

また、業務改善の一環として臨床工学技士による業務の器械出しだけでなく、器械の管理ができる仕組みづくりを構築しました。次年度は、さらなる安全な手術器材の使用と管理が行なえるよう仕組みを活かしていきたいと考えております。さらに、次年度から他職種と連携し勤務体制の見直しタスクシフティングを検討しています。

次年度も前年度同様、手術件数増加を目標に他職種体制の構築、安全な医療の提供を目指します。

ICU

ICU 師長 内間 幸人

職員数

総数 20 名

正看護師 20 名

看護補助者 1 名

認定・資格取得状況

認定資格者	
呼吸療法認定士	内間 幸人、阿部 誠、富里 康太、石戸谷 也寸志、山城 奈保子、森下 佳美、太田 尾祐太
臨床工学技士	阿部 誠
集中ケア認定看護師	内間 幸人
AHA BLS インストラクター	内間 幸人
沖縄県保健師・助産師・看護師実習指導者講習会 修了	山城 奈保子

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 33.0 名

病床利用数 4.0 床

在院日数 4.6 日

その他の ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
早期抜管に向けた鎮静剤の比較	日本集中治療学会	オンライン	2021 年 2 月 12 日～14 日	阿部 誠

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
看護師特定行為研修	栃木県自治医科大学付属病院	栃木県		富里 康太
20 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	日本臨床看護マネジメント学会	オンライン	2020 年 8 月 8 日	山城 奈保子
看護補助者の活用推進のための看護管理研修	県看護協会	県看護協会	2020 年 7 月 7 日	内間 幸人

2020 年度目標

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1) 安全な医療の提供 | ・プロジェクトチーム活動の継続・勉強会 2 回 / 月 |
| ・インシデント件数:20 件 / 年以下(0 件 / 月) | 3) 患者サービスの向上 |
| ・レベル 2a:3 件以下 | ・接遇クレーム:0 件 / 年 |
| ・患者誤認:0 件 / 年 | ・感染対策の強化 (ICU 伝播:0 件 / 年) |
| ・内服・点滴関連:0 件 | 4) 病棟稼働率 |
| 2) 人材育成 | 3 指標:病床利用数:6 床 新規入院患者数: |
| ・チェックリスト用いて個人のスキル UP | 35 名 在室日数:5.2 |

年度総括

安全な医療の提供では、年間のインシデント発生件数は 123 件で前年度に比べ倍増しました。その中で大きな要因の一つであると考え取り組んだことが特定の薬剤による静脈炎発生の事例です。取り組み後、事象のレベルに問わず報告をする事で静脈炎に対するスタッフの注意力は高まり、早期発見・早期対応に繋がっていると思われます。今後については、取り組んだ結果がいかされるように具体的な対策を検討し、静脈炎の予防に繋がられるようにしたいと考えています。インシデントレベルの内訳では、0:7 件、1:52 件、2a:58 件、3a:6 件でした。インシデントレベル:2a の内訳では、鎮静剤や降圧剤による静脈炎での件数が約 3 割でした。ただ、静脈炎の程度としては重度のケースはなく、看護師の早期発見・早期対応への意識が高まっている事が伺えます。また、インシデントレベル:2b の発生が 2 年連続で無かった事と今年度は 3a 以上の発生も無かった事は成果として捉えたいと思います。

人材育成については、プロジェクトチームの活動や勉強会の開催がコロナ禍の影響もあり殆ど出来ませんでした。このような状況の中、コロナ感染症で重症化した際の対応を実践し、感染対策を行いながらの対応を学べた事や安全に高次医療機関への転院搬送業務を経験出来た事は、スキルの習得に繋がりました。また、部署間研修として 7F 病棟から 1 名のスタッフを 4 ヶ月間受け入れました。部署間研修を受けたスタッフのスキルアップはもちろんですが、受け入れた側のスタッフも指導や教育を通して気付きや学びを得られました。看護師の専門性の向上に向けて、看護師特定行為研修修了者が 1 名生まれました。この修了者が安全で効果的に活躍出来る時間や部署内・外のスタッフへの指導・教育を通してスキルアップが図れるような仕組み作りをして行きたいと思います。

患者サービスの向上では、投書は無かったが、入室している患者から検査・治療時の説明・配慮不足についてのクレームがありました。患者中心の対応について部署全体で患者対応について考える良い機会となり、引き続き、接遇 10 カ条に基づきスタッフ 1 人 1 人が実践していけるよう努めたいと思います。病床稼働率については、目標をクリアしていませんが、入室患者に対してチーム医療を中心としたより安全で適切な対応を行っていききたいと思います。

東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 崎山 久美

職員数

総数 40 名

助産師 21 名

正看護師 13 名

看護補助者 4 名

クラーク 2 名

認定・資格など

氏名	取得資格
崎山 久美	管理者研修ファーストレベル修了看護 必要度研修受講証明取得 NCPR 講習会受講証明取得
平屋敷 加代	臨床指導者講習修了 管理者研修ファーストレベル修了 アドバンス助産師 看護必要度研修修了
原 順子	アドバンス助産師更新 NCPR 講習会受講証明取得
具志堅 理沙	アドバンス助産師 NCPR 講習会受講証明取得
江島 純子	マタニティヨガ
榮 奈々子	臨床指導者講習修了 NCPR 講習会受講証明取得

氏名	取得資格
金城 嘉奈子	アドバンス助産師 NCPR 講習会受講証明取得
新城 真鶴	アドバンス助産師更新 NCPR 講習会受講証明取得
本村 いずみ	NCPR 講習会受講証明取得
下地 夕貴	NCPR 講習会受講証明取得
大田 ちひろ	マタニティヨガ NCPR 講習会受講証明取得 アドバンス助産師
世嘉良 裕美	必要度研修受講証明取得
成田 明日香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 研修受講証明取得

業務実績

月平均入院患者状況

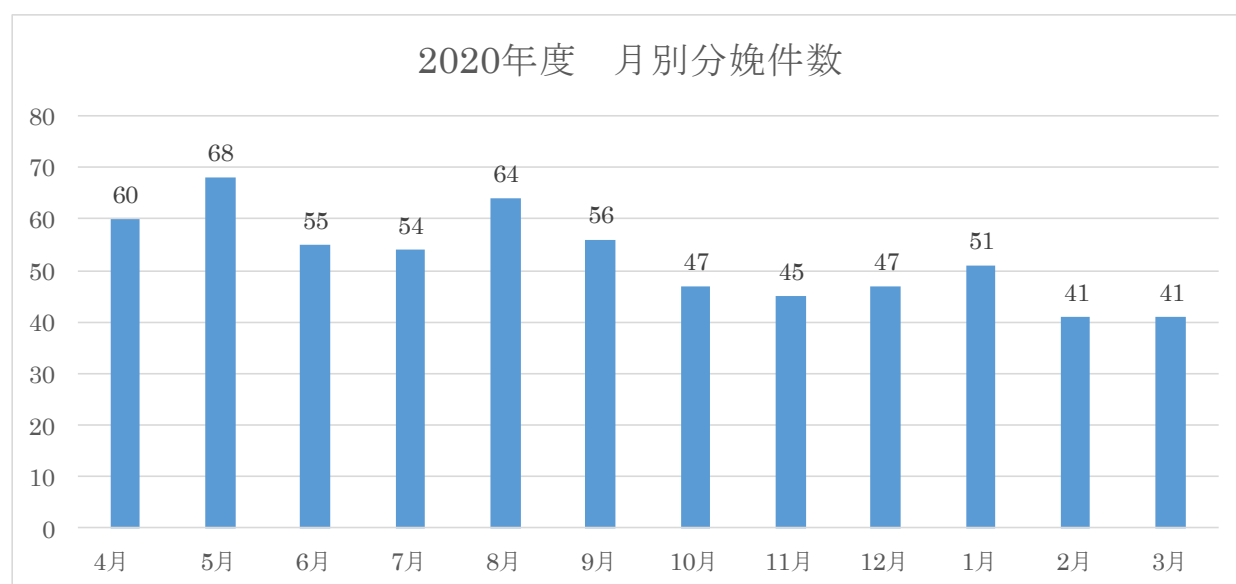
新規入院患者数 107.8 人

病床利用数 21.9 床

平均在院日数 5.4 日

分娩件数

629 件



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	参加者
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	日本看護協会	沖縄県看護協会	成田 明日香
周産期メンタルヘルス 研修会	沖縄県看護協会 助産師職能	沖縄県看護協会	仲尾幸乃
助産師職能委員会企画地域母子保健シ ンポジウム	沖縄県看護協会助産師 職能	沖縄県看護協会	崎山久美、富里由美子、我那覇美 帆
新生児蘇生講習会	日本周産期・新生児医 学学会	南部医療・子ども医療セ ンター	

年度総括

今年度は、「東4・5階スタッフがどのフロアにおいても質の高い看護が提供できる」を病棟目標に掲げ看護の質向上に努めました。固定チームナースング導入・助産師外来の拡大・急変時対応勉強会の実施・退院支援体制の確立等、看護の質向上に向け取り組みました。

助産師外来の拡大については、産科医師と話し合いをもち、もっと幅広い妊婦に助産師の関わりがもてるよう体制の見直しとチーム編成を行いました。その取り組みの一つとして、エコーの所見が熟知できる看護師の育成に向け、毎月勉強会を重ねてきました。その結果、迅速な対応ができよい結果へつなげることができました。また、患者との関わりを強め、早い段階で状態把握ができるように多角的視点をもちメンタルヘルスケアに力を入れた取り組みを強化していきたいと考えています。今後も医師と連携し安全な医療の提供ができるように努めていきたいと思います。

今年度の分娩件数は、629件と前年度より103件の減少となりました。新型コロナウイルスの感染拡大とともに徐々に分娩件数の減少がみられ、コロナ感染症が妊娠活動に及ぼす影響が伺えます。厚生労働省が現状把握のために行った妊娠届け出件数からも、コロナ感染症が胎児に及ぼす影響を危惧し、全国的に届け出件数が減少している現状がみられます。

昨年度末から拡大をみせる新型コロナウイルス感染症は、妊産婦へも大きな影響を及ぼし、産後うつ発生率は、感染拡大前と比べ3割増加しているとの報告があります。

県内でも昨年度と比較し妊産婦のコロナ感染者が増加傾向をみせ、当院でも分娩前検査でコロナ感染症が判明し、対応可能な病院への転院調整、県コロナ対策本部調整など数件発生し、昨年までほぼなかった対応に見舞われ驚異的な感染症拡大を身近に感じました。感染症に罹患したことで、母と子が一緒に過ごせない状況も発生した中で、私たちはより一層、メンタル面への働きかけの重要性を肌で感じた一年でもありました。

世界の人々を惑わすほどの脅威をふるった感染症に脅かされた日々を経験し、エビデンスに基づいた情報が少ない現状で、試行錯誤しながら対応に追われました。そんな中、やはり重要なことは、「看護の基本を忘れない」「目の前のことをおろそかにしない」ということを念頭に掲げ、チーム一丸となって質の高い医療の提供を目指し取り組んでいます。

次年度は、新しい取り組みを評価し、さらに質の向上に向けた取り組みを行っていききたいと考えています。

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

3 階病棟師長 宮城 つかさ

職員数

総数 43 名

正看護師 37 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

認定・資格など

氏名	認定・資格・終了
宮城 つかさ	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講修了 病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象 新人看護職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
奥間 有太郎	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
大見謝 奈々	病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象 実習指導者研修受講修了 新人看護職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
宮里 誠	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
嘉数 勇人	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
松村 優美	新人職員研修実施指導者研修受講修了証
福末 直史	呼吸療法士認定
比嘉 由布香	日本糖尿病療養指導士認定
船元 恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
永村 麻衣子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算Ⅱ対象

業務実績

月平均入院患者状況

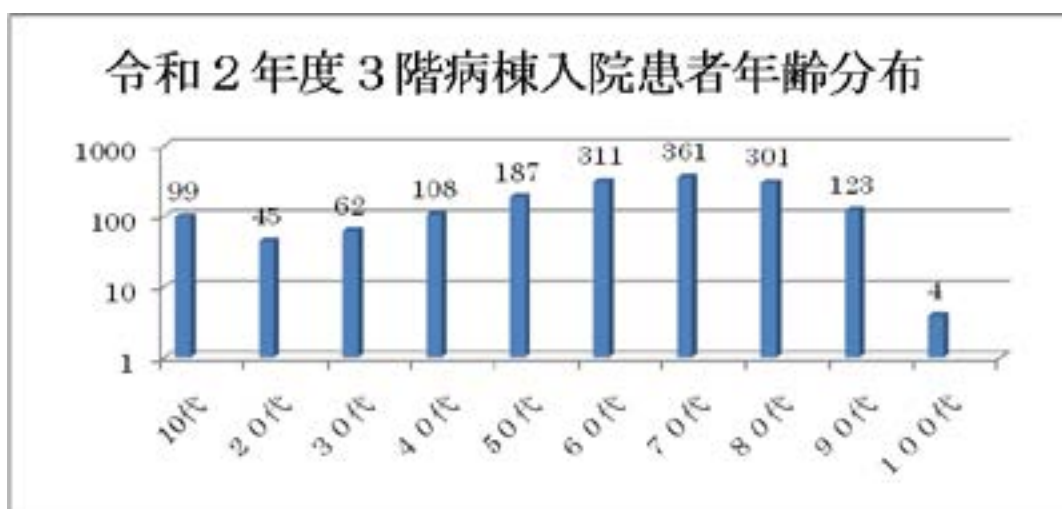
新規入院患者数 114.2 名

在院日数 13.4 日

病床利用数 52.3 床

重症度・医療・看護必要度（目標 31%） 34.7%





活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識	看護協会	南風原町	2020年7月9日・7月10日	奥間 有太郎
認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識	看護協会	南風原町	2020年10月28日・10月29日	永村 麻衣子
創傷・褥瘡ケア	看護協会	南風原町	2020年11月7日	宮里 誠
リーダーシップ研修Ⅰ ～チーム力を高めるリーダーシップを学ぼう	看護協会	南風原町	2020年11月12日	東江 隼人・前田 力
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2020年11月17日	比嘉 花織
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2020年11月18日	島袋 あかり・森根 卓也

部署間研修実績

名称	年月日	参加者
OR挿管介助研修	2020年7月1日	新城 安美
OR挿管介助研修	2020年7月3日	森根 卓也
OR挿管介助研修	2020年7月6日	山内 智里
OR挿管介助研修	2020年7月7日	金城 実花
OR挿管介助研修	2020年7月8日	比嘉 花織
OR挿管介助研修	2020年7月13日	東江 隼人
OR挿管介助研修	2020年7月14日	宮里 誠
OR挿管介助研修	2020年7月17日	屋嘉比 千尋
救急外来研修	2020年5月1日～5月31日	奥間 有太郎
7階病棟研修	2021年2月1日～2月28日	東江 隼人

年度総括

今年度は新型コロナウイルスの影響でこれまで経験したことのない対応に追われた 1 年でした。現在もコロナ禍の状況であり、引き続き感染対策の徹底、スタッフ教育を行なって行きます。

当病棟の入院患者の特徴として、年齢層が幅広く、ADL の変化に伴い退院支援が必要となります。そのため今年度は、入退院支援看護師を 3 名配置し退院に向けた多職種カンファレンスの充実を図り、患者が安心して退院できるよう関わっています。DPC II の期間内での退院支援を心がけています。

当病棟は、整形外科・脳外科患者が大半を占めているため、手術件数も増加しています。病床も 56 床と多く多忙で、日々の業務に追われる現状はありますが、OJT を意識して、個々の知識習得に努めフィジカルアセスメントの能力向上を目指し、気づきができる感性豊かな看護師の育成を目指していきたいと考えます。

また、術後患者を多く受け入れていることもあり、安全管理面で術後の管理の観察を強化する必要があります。術後観察や異常の早期発見のタイミングを適切に行い、感染兆候をみのがさない術後管理を徹底していきます。

病棟スタッフ間は協調性があり、チームワークの良さが強みです。この強みをいかしてさらなる組織発展に努めていきたいと思います。

HCU

HCU 師長代行 山城 敏裕

職員数

総数 22 名

正看護師 19 名

看護補助者 2 名

准看護師 1 名

認定・資格など

氏名	認定・資格・修了
山城 敏裕	呼吸療法士認定
洲鎌 正子	呼吸療法士認定
與那嶺 史子	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 呼吸療法士認定
仲眞 菜都美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
安次嶺 徹	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
祝嶺 好輝	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
金城 良太	呼吸療法士認定 ICLS インストラクター
仲村 和士	呼吸療法士認定

業務実績

月平均入院患者状況

新規入室患者数 59.9 人 / 月 (前年度 80 人 / 月) 【目標 33.0 以上】

平均在室日数 3.1 日 / 月 (7.6 日 / 月) 【目標 8.3 以下】

平均病床利用数 4.5 床 / 月 (前年度 7 床 / 月) 【目標 9.0 以上】

重症度、医療・看護必要度 94.7% (前年度 94.7%) 【目標 80% 以上】

活動実績

研修実績

研修名	日付	参加者
リフレッシュ研修	2020 年 7 月 15 日	仲村 祐哉
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	2020 年 10 月 28・29 日	祝嶺 好輝
フィジカルアセスメント	2020 年 11 月 17 日	伊佐 香朱美、泉川志穂

年度総括

2020 年度は安全な医療提供を目標に取り組みましたが、インシデント発生件数 46 件 / 年、その後介入が必要な事象が 22 件 / 年発生してしまいました。患者誤認は誤認防止手順を徹底し発生件数 0 件 / 年と良い結果を出すことができました。

前年度と比べてインシデントが起こる前で気づいた事象の割合が少なく、報告が十分に行われていない要因を考慮し、次年度は事象の報告を強化しインシデント軽減に努めたいと思います。

人材育成に関してはコロナの影響で部署の勉強会、集合研修など開催中止になることがほとんどで人材育成に十分力を入れることができませんでした。しかし、その中でも病院運営を考えたベッドコントロールと看護必要度を意識した運営は継続し、看護必要度 80% 以上維持することができ、よい病棟運営ができました。

患者サービスに関しては、患者の満足度に配慮した対応を心がけクレーム 0 件で目標達成することができました。

財務の視点としてコロナ疑いの受け入れが影響し、新規入室患者数・病床利用率が減少し目標達成できませんでした。このようなコロナ禍の中、下半期は徐々に通常のベッドコントロール運用も求められ、重症度の高い患者の受け入れ、術後患者の受入れも増えています。これまでにない厳しい状況の中で一緒に頑張ってくれたスタッフが、家庭の事情や本人のスキルアップ等の理由で今年度 4 名の退職となっています。

今後の課題として教育面では、部署全体のスキルアップ、スタッフ個々のスキルアップのため勉強会参加の徹底と OJT の強化、各委員会で目標管理を意識した活動をしていきたいと思います。

今年度、感染症患者の受け入れのため陰圧室 2 床確保しました。柔軟に対応できるように調整を行い活用していきたいと考えています。

安全面ではインシデントになる前の報告を増やすことを目標に、管理者並びにスタッフ同士が危険予知察知し、時間を有効活用しながら話し合いができる風土作りをしていきたいと思います。

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 米須 智子

職員数

総数 44 名

正看護師 37 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

クラーク 1 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格・修了
米須 智子	医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 18 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 実習指導者研修修了
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師取得
宮城 辰吏	実習指導者研修修了
與那覇 亜紀子	実習指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
川崎 聖信	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
与那嶺 美咲	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
平良 勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストマ研修修了 実習指導者研修修了
喜友名 佳子	新人看護職員研修教育担当者研修修了
足立 有海	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了

業務実績

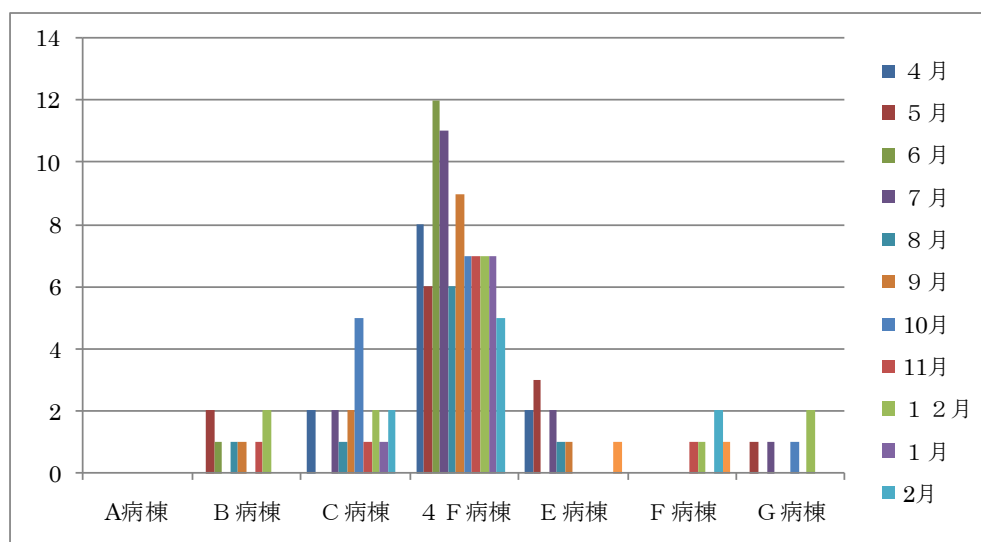
月平均入院患者状況

新規入院患者数 136 名

在院日数 10 日

病床利用数 43.8 床

がん性疼痛緩和指導加算



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
医療安全管理者養成研修	沖縄県看護協会	南風原町	1 月 15 ～ 22 日	米須 智子
第 4 回緩和ケア講習会	ハートライフ病院	院内	2 月 13 日	奥田 美奈子

年度総括

4 階病棟は外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の 3 診療科がある混合病棟です。当病棟は、外来から入院まで手術前後を含めた一連の期間に深くかかわります。そのため術前・術後の患者管理は非常に重要で、術前から術後合併症のリスクをさげるための関わり、社会復帰を目指した取り組みが行えるようチームで関わりました。今年度はさらに入院時から退院を見据え他職種と連携し退院支援にも力をいれました。退院支援カンファレンスには、病棟担当入退院支援看護師、管理栄養士、薬剤師、MSW の中に 2020 年度からはリハビリスタッフを交え、更なる活動向上に取り組みました。高齢者が術後も日常生活動作（ADL）の低下がないように早期リハビリを行い、自宅の状況を家族へ確認しながら病棟で行えるリハビリを担当看護師が実践し、ADL を低下させることなく退院に繋げることが出来ました。コロナ禍で面会制限中に家族と情報共有をしながら、連携を図ったことで安心した退院に繋がったと考えます。

また、当病棟はがん患者に関わるが多く、緩和認定看護師を中心に『病気を抱えながらもその人らしく最期を迎えられる看護』を目標に、患者・家族と向き合っています。

今年度は当病棟もコロナの影響を大きく受けた年でした。ターミナル期で家族と過ごす時間も限られた中、コロナ禍の面会制限により患者、家族の希望をかなえられない事が続きました。ターミナル期の患者については早期に主治医と本人、家族の意思を確認し緩和専門病院への転院や訪問看護、訪問診療の手続きを行い自宅退院へ繋げていきました。その後、自宅退院した患者の家族や訪問看護師から、家族、親戚に囲まれて最期の時間を迎えた事や過ごした内容の FAX、お手紙を頂き病棟看護師のやりがいに繋げることが出来ました。

次年度も「この病院で入院・手術・治療して良かった」と思ってもらえる質の高い看護が提供できるように努力していききたいと思います。

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 比嘉 憲貴

職員数

総数 44 名

正看護師 33 名

准看護師 2 名

看護補助者 8 名

保育士 1 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格・終了
比嘉 憲貴	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了 重症度・医療看護必要度指導者研修修了 実習指導者研修修了
勝連 しのぶ	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了
大城 祥子	実習指導者研修修了 新人職員研修実施指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
金城 竜弥	実習指導者研修修了
知念 晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
富里 理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
新垣 涼香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
森下 夏江	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
知念 晶子	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
我謝 要子	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了
港川 誉志也	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 130.6 人

病床利用数 40.7 床

平均在院日数 8.9 日

年度総括

令和 2 年度の最も大きな出来事は、一般病床を縮小し新型コロナウイルス感染症の入院病床を新設したことです。従来行ってきた病棟運用や業務、人員配置に至るまで、あらゆる場面で前例のない状況が発生しました。早急に対応しなければならず、業務整理、マニュアルが十分整備されない状態で業務を行う必要がありました。戸惑いや不安を抱えながら試行錯誤の毎日で、想像以上にスタッフの負担は心身ともに大きなものがありました。しかし、新型コロナ感染症患者を受け入れながら一般患者を受け入れるという慣れない病棟運用に対しても滞ることなく業務遂行できたことは、スタッフ全員の理解と協力のもと部署全体が一丸となって対応することができた成果だと考えています。スタッフの惜しみない尽力に感謝したいと思います。

2020 年度の財務、業務、教育の 3 指標については、新型コロナ感染症患者の受け入れにより一般患者

の受け入れ制限など病床運用が大幅に変更された影響を受け、いずれも未達成という結果でした。また、予定されていた院外研修の多くが中止・延期となった為、多くのスタッフが研修受講を見送ることとなり、教育の面でも影響を受けましたが、コロナ渦の感染対策を通し日頃からの標準予防策や環境整備の重要性について改めて学ぶ機会を得ることができました。

2021 年度も引き続きコロナ感染症病床と一般病床の運用が予測されていることから、昨年 1 年間の経験と学びを活かし、入院されてくるすべての方々に対して、安心・安全な医療の提供と、入院から退院後の生活までを見据えたチーム医療の展開を目指していきたいと思います。

6 階病棟（血液内科・総合内科）

6 階病棟師長 本田 由佳理

職員数

総数 41 名

正看護師 32 名

准看護師 1 名

看護補助者 8 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格・終了
本田 由佳理	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 重症度・医療・看護必要度指導者研修修了 がん化学療法看護認定看護師 沖縄県緩和ケア研修修了 看護補助者管理研修終了
金城 隆也	学会認定アフェーシスナース 実習指導者研修修了 重症度・医療看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
呉屋 友美	新人職員研修実施指導者研修修了 重症度・医療看護必要度指導者研修修了 呼吸療法認定士 沖縄県緩和ケア研修修了
山城 由衣	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法認定士研修終了
知念 真名美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 呼吸療法士認定士取得
上原 拓也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
平良 ゆかり	実習指導者研修修了
玉木 夕菜	実習指導者研修修了
宮城 杏子	実習指導者研修修了
宮里 瀬奈	呼吸療法認定士取得
外間 勝貴	沖縄県緩和ケア研修修了
比嘉 哲也	沖縄県緩和ケア研修修了
仲村渠 恵理子	沖縄県緩和ケア研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 73.3 名

病床利用数 42.6 床

在院日数 17.1 日

化学療法件数

約 800 件

骨髄移植件数

造血幹細胞移植（臍帯血）：12 件

末梢血幹細胞移植（自家移植）：6 件

造血幹細胞採取（同種移植）：5 件

骨髄バンク採取：14 名

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
がん看護Ⅰ（がん看護概論・放射線療法看護）	沖縄看護協会	南風原町	2020 年 7 月 4 日	真境名 美鈴
リーダーシップ研修 ～チーム力を高めるリーダーシップを学ぼう～	沖縄看護協会	南風原町	2020 年 11 月 12 日	山城 初音
認知症ケアの考え方と技術	沖縄看護協会	南風原町	2021 年 1 月 16 日	森根 美穂
裁判例から考える看護実践と看護記録	沖縄看護協会	南風原町	2021 年 1 月 18 日	宮城 京子

年度総括

血液内科病棟では、血液疾患患者の治療のほかに骨髄移植やドナー採取を施行しており、年々対象患者が増え集学的治療や経過によっては入院が長期化しています。病状の進行と共に治療の効果なく急変する場合もあります。私たち看護師は急変時の対応を念頭に、できるだけ患者に寄り添いながら安全で安心した看護ケアの提供できるよう日々努力しています。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症に対し、病床数の見直しを含め病院全体の取り組みが始まりました。当病棟は他病棟のベッド調整に協力するため、外科疾患も含め様々な疾患患者の看護を役割としてきました。初めての疾患も多く慣れていない処置や看護の対応ではありましたが、主治医と連携し安全に看護提供ができるよう努めました。

病棟目標である安全・人材育成・業務改善の中で、今年度第一に優先されたことは感染対策でした。血液疾患の治療を要する患者は感染リスクが高く、とても重要です。面会を限定しや終末期患者に対しても面会制限がある中で、患者・家族の協力と理解を得ながら感染対策を徹底しクラスターの発生もなく対応する事ができました。しかし、抵抗力が低下し出現する「疥癬」感染症で病棟内感染があり 7 か月の長期間に渡り対応に追われました。今後の対策として早期の感染予防策を徹底し、感染対策を確実に実施し、感染防止対策を継続していきます。

人材育成においては、移植コーディネーター看護師や入退院支援担当看護師が中心となって、他職種カンファレンスの回数が増えています。今後もカンファレンスの内容を強化し、情報共有しながら継続して看護の役割が担えるよう努めます。さらに、急変時の対応が比較的少ない病棟である為、緊急時に備えた急変時シミュレーションを積極的に行い手技の確認と連携の大切さを学んでいます。

業務改善では看護補助者の増員に伴い、看護師業務の一部を助手業務に組み込むなどのタスクシフトを行っています。今後も業務の整理と見直しに力を入れ、看護師は専門分野に特化できるような環境づくりを目指し、それぞれの役割に応じた業務ができるように努めていきたいと思います。

次年度も引き続き他職種との連携を大切にし、看護師として患者に寄り添い、更に質の高い看護が提供できるように知識と技術習得に向けた取り組みを目指していきます。

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 島袋 すが子

職員数

総数 42 名

正看護師 36 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

認定・資格等

氏名	認定・資格・修了
島袋 すが子	慢性心不全認定看護師 認定看護管理者ファーストレベル修了 2018 年重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
花城 優子	2016 年重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
伊佐 友美	第 5 回院内緩和ケア研修会 2017 修了証書取得
宮城 久美子	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了 11386 コンチネンส์セミナー初級コース課程修了証取得
當眞 さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定証取得 認知症対応力向上研修修了証書取得
東江 幸恵	第 4 回院内緩和ケア研修会 2016 修了証書取得
新城 依里	2019 年認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
宮城 秀成	リハビリ緩和加算研修修了 第 2 回院内緩和ケア研修会 2014 修了証書取得
宮城 梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
松原 賛美	2019 年呼吸器療法認定士取得 BLS 修了証 (AHA)
城間 ゆずき	第 63 回新おきなわ ICLS コース受講修了証取得 認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
松田 沙衣可	コンチネンส์セミナー初級コース課程修了証取得
宮城 穂	認知症対応力向上研修修了証書取得
宮城 愛子	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了

2020 年度病棟目標

1. 安全

- ①褥創を発生させない
- ②高齢者の転倒防止

2. 患者サービスの向上

- ①退院支援体制の確立
- ②患者に必要とされる看護の提供

3. 人材育成

- ①年間を通じた計画的な新人育成
- ②ラダーに準じたリーダー育成

業務実績

●月平均入院患者状況

新規入院患者数：87人（前年度比 -16人）

病床利用数：39床（前年度比 -10床）

●重症度・医療・看護必要度：35%（前年度比 -11%）

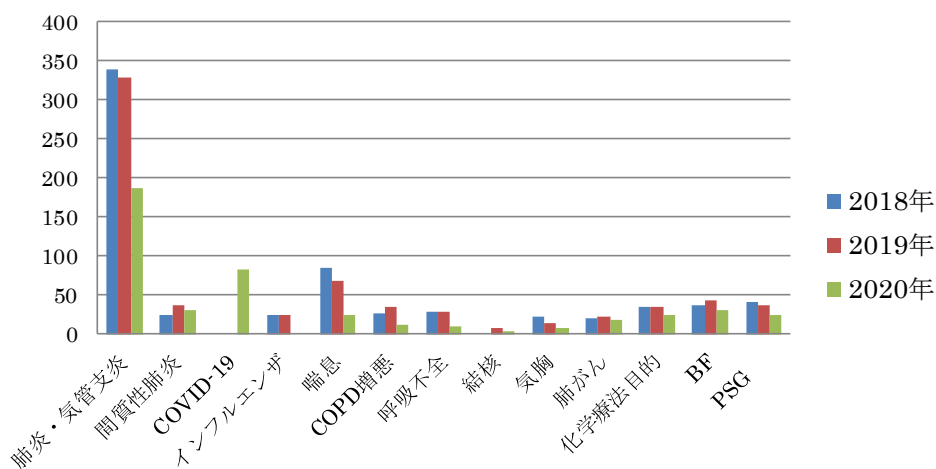
入院患者状況（COVID-19含む）

	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規入院	106	80	65	99	115	76	44	91	103	115	83	83	95
病床利用	48	36	38	40	40	40	25	37	39	38	44	43	42

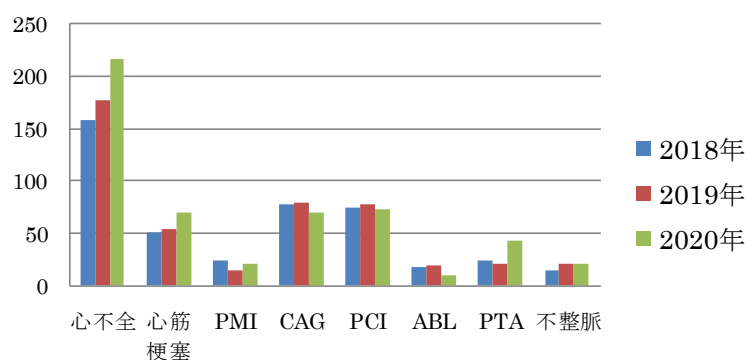
COVID-19 受入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規入院	7	1	0	7	8	8	4	8	7	14	7	10
院内発生	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
ICU 転床 （重症化）	1	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0
転院 （重症化）	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

呼吸器疾患別入院数



循環器疾患別入院数



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護協会	南風原町	2020年7月9～10日	宮城愛子
創傷・褥瘡ケア（基礎編）	看護協会	南風原町	2020年11月7日	米須かすみ
感染対策の基礎知識	看護協会	南風原町	2020年11月10日	下田ひなの
リーダーシップ研修1～チーム力を高めるリーダーシップを学ぼう～	看護協会	南風原町	2020年11月12日	山城真紀
第4回緩和ケア講習会	ハートライフ	院内	2021年2月13日	宮城幸菜

2020 年度総括

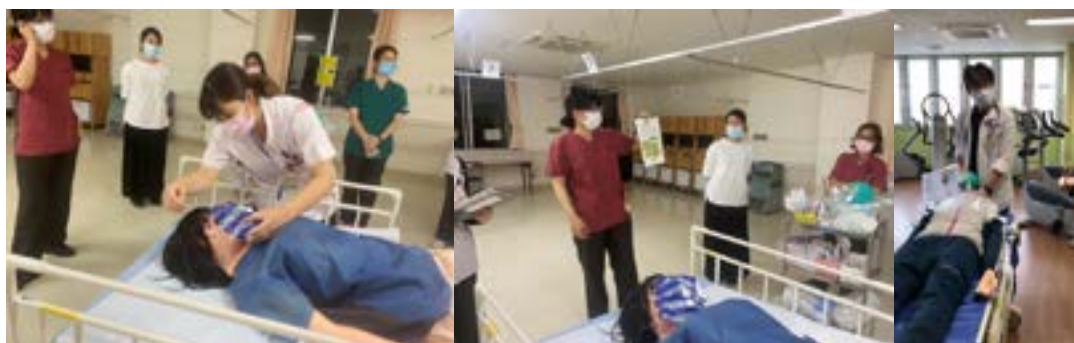
呼吸器・循環器疾患患者を対象とする7階病棟は、COVID-19 患者受け入れ病棟として、コロナに対する感染対策に尽力した一年でした。まずスタッフの人選、物品調達、病室の調整等を行い、次に『コロナ病床から院内感染を発生させない』を目標に、標準化した患者対応ができるようマニュアルを作成、スタッフ指導に力をいれました。また、中堅看護師が中心となり COVID-19 患者急変時の勉強会やデモンストレーションを定期的で開催する事で、スタッフの不安軽減につなげる事ができました。

業務実績では、西ウィング 11 床を COVID-19 患者受け入れ病棟として編成し、一般病床数が減った事で、新規入院患者数と病床利用数が前年度を大きく下回りました。看護必要度も上半期は 33%と病棟目標の 35%に届きませんでした。しかし、下半期は、心カテ件数も平年並みに受け入れ、COVID-19 患者の介護度が高くなった事も重なり 38%まで上昇し目標をクリアする事ができました。順調に数を増やしてきた退院後訪問指導は、緊急事態宣言に伴い断るケースも増え、年間を通し介入できたのは 11 月の 2 件だけでした。

病棟目標の 3 本柱は 1. 安全 2. 患者サービスの向上 3. 人材育成です。

特に力を入れたのが、患者サービス向上にむけての退院支援体制の確立です。退院支援看護師を配置し、病棟担当入退院支援看護師、MSW、そしてリハビリメンバーも加わり、毎日チームカンファレンスを開催してきました。各疾患に応じ、退院後の生活についてのリーフレットも作成し、安心して退院できるようサポートしてきました。算定取得率は 96.5%で目標の 60%を大きく上回ることができました。今後は、サポートした結果どうなったのか、退院支援のアウトカム評価が求められます。年間を通した計画的な新人育成では、プリセプターと連携しスタッフが協力体制をとり、週単位で勉強会を開催する事ができました。前年度とは趣向をかえ、主催者側が計画し推し進めるだけでなく、新人の要望を取り入れる等、成長に応じた勉強会を実践する事ができました。

次年度も感染対策が強化した事を強みに、COVID-19 患者対応を併用しながら、笑顔で親切な対応をモットーにスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



急変時勉強会

内視鏡センター

内視鏡センター師長代行 喜屋武 香織

職員数

総数	21 名（看護部所属）
看護師	14 名
准看護師	3 名
助 手	4 名

認定・資格など

名称	認定・資格・修了	
喜屋武 香織	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅱ
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅰ
入与那国 好美	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅰ
照屋 あづさ	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅱ
伊佐 杏澄	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅰ
知花 幸子	日本消化器内視鏡学会認定	消化器内視鏡技師Ⅱ

業務実績

上部内視鏡検査

8872 件

大腸内視鏡検査

2581 件

ERCP

147 件

気管支鏡

56 件

詳細な検査・治療実績は「内視鏡センター」をご覧ください。

活動実績

院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
クイックセファアの勉強会	足立	当院	令和 2 年 6 月 29 日	足立、上江洲、大城、照屋、伊佐、宮里、西改、松本、坂元、竹本、桃原、川満、前田

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
VIO3 基本的な取り扱い	MK 物産	当院	令和 2 年 7 月 14 日	足立、上江洲、大城、伊佐、宮里、西改、坂元
Dr ハートに至るまでのシュミレーション	坂元、上江洲	当院	令和 2 年 7 月	喜屋武、足立、上江洲、大城、照屋、伊佐宮里、西改、松本、坂元、竹本、上間、知花、佐久間、川満、前田
ViO3 基本的な操作 設定方法	MK 物産	当院	令和 2 年 7 月 15 日	喜屋武、足立、大城、伊佐、西改、松本、
内視鏡技師テスト問題・解答	足立	当院	令和 2 年 9 月 10 日	喜屋武、足立、上江洲、大城、照屋、伊佐、宮里、西改、松本、坂元、竹本、知花、上間、佐久間、川満、前田
食道静脈瘤の内視鏡的治療	圓若	当院		喜屋武、足立、大城、伊佐、坂元、上間
ストーンスマッシュ使用時のレスキュー	ボストン	当院	令和 2 年 12 月 16 日	喜屋武、足立、上江洲、大城、宮里、前田
輸液ポンプの扱い方	足立	当院	令和 2 年 3 月 4 日	喜屋武、足立、上江洲、大城、照屋、伊佐、宮里、西改、松本、坂元、竹本、知花、上間、佐久間、川満、前田
ゼオクリップの使用方法	トップ	当院	令和 2 年 3 月 22 日	足立、上江洲、大城、宮里、西改、松本、坂元

年度総括

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していた内視鏡検査・治療が一時期中止となる状況もあり、厳しい一年となりました。

2020 年度の検査、上部内視鏡検査の目標が 12,000 件に対し 8,872 件、下部内視鏡検査の目標が 3,500 件に対し 2,581 件と、上部と下部ともに目標達成には至りませんでした。やはり新型コロナウイルス感染症が大きく影響したと思います。

内視鏡検査・治療においては飛沫感染のリスクが大きく、対応に苦戦しながらもスタッフ一人ひとりが意識して行動し、感染防止対策に努めながら、お互い業務を補完し合えたことで、業務が滞ることなく運用できたと思います。

部署の安全管理については、インシデント 0 件という目標に対して 26 件あり、そのうち 13 件は検査関連でした。実施される前に気付いた案件（0 レベル）が 2 件、当該行為にすぐ気づき患者に影響及ぼさなかった 1 レベルが 20 件と発生しました。その中で、検査関連が 13 件と多く見られました。検査、状況説明不足による苦情もあり、患者に対する説明の重要性も改めて痛感し、部署で説明内容を充実させていけるよう見直しを行いました。次年度はインシデントの、要因分析をしっかりと行い対策立案し、安全第一で業務に取り組むよう努めます。

教育関連では、ラダーに沿った指導を行い、リーダー育成に取り組んで来ました。機器の取り扱いなど部署で勉強会を開催し内視鏡技師問題や特殊治療に使用する、処置具の勉強会も行い、スタッフもモチベーションを保ちつつ、次年度も、質の高い内視鏡看護を提供できるように、スタッフ一丸となって、取り組んでいきます。

看護部 年度総括



看護部長
古波倉 美登利

2020 年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けた 1 年でしたが、陽性患者を受け入れる病棟をはじめ、全部署が協力し合い乗り越えられたと痛感しています。総括を述べるに当たり、先ずスタッフ 1 人 1 人に感謝の意を敬したいと思います。ありがとうございました。

看護部では、今年度目標を 1. 安全行動の実践と向上、2. 患者サービスの向上として入退院支援の充実、3. 人材育成では目標管理の実践を掲げていましたが、上半期は研修等を含め、中々通常の業務が遂行できずにいましたが、下半期からは、各部署で少しずつ工夫を凝らしながら課題や目標に向かい取り組んでいきました。

安全行動の実践では事例から学ぶ風土とし、朝の師長ミーティングでの事例報告を各部署でも共有し安全風土の醸成を図ることを実践してきました。しかしその中で課題として見えたのが、共有した事例を各部署で十分に活かされておらず、類似したインシデント報告が数多く見られている事です。そこは次年度の取り組み課題にしていかなければなりません。また要因を分析していく中で多く見られているのが、確認を行う等の基本的な防止策が守られておらずインシデントに繋がっている現状です。看護部内の医療安全チームを中心に、ルールを守る事を徹底する取り組みが必要です。

患者サービスの向上では、入退院支援の充実を掲げ、入退院支援室の看護師や病棟に配置された入退院支援ナースを中心に動いてきました。他職種を含めたカンファレンスの実施や入退院支援加算の取得数増加等、かなりの実績をあげています。次年度は、更なるカンファレンスの充実を図り、日々患者や家族に関わる担当看護師との連携強化に務めることが課題です。

人材育成の面では、with コロナ的环境下で工夫を凝らしながら研修を実施してきました。4 月には看護師、助産師を合わせ 38 人の入職者を向かえスタートを切りました。そのうち新人の入職は 34 名でしたが、今まで行ってきた研修スタイルを変え集合研修を分散形式にしたり、Web を使ったりと試行錯誤しながら 1 年の研修を予定通り実施できました。残念ながら新人 1 人の退職がありましたが、プリセプターのいき届いたサポートと本人達の頑張りが成果に結びつき 33 名が無事 1 年目の修了証書を手にすることができました。

スペシャリストの育成では、新たに呼吸器関連・動脈血ガス分析関連の特定行為区分修得者が誕生しました。院内では、2 人目の特定行為区分修得者であり、医師の働き方改革及び看護師への教育と言った点での活躍を期待しています。また、心待ちにしていた皮膚・排泄ケア認定看護師の研修が新型コロナウイルスの影響で延期になりましたが、次年度の研修開催が決定したので期待しています。

終息の見えないコロナ渦での業務は、使命感だけでは限界があり、かなり疲弊しているスタッフも多いと思います。その様な状況を乗り越える為には、病院の理解を頂きながら人員の増員や確保を行うと共に、看護部全体が ONE チームとなり、お互いの部署の状況を理解し合いながら助け合える環境を整えていくことだと思います。次年度は、そのことを意識し、看護部全体で頑張っていきたいと思います。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長 石原 悟

2020年度は新型コロナによる手術や人間ドックなどが制限され全体的に検査数も減少しました。4月よりコロナ受け入れが始まり放射線科もコロナ対応のため感染リスクも上がりましたが、スタッフは徹底した感染対策を行ったため、これまで一人の感染者も出すことなく診療業務に携われました。

昨年度、入職したスタッフも成長し4月からは当直業務にも携わっています。また9月には経験者を採用致しましたので、スタッフの業務負担軽減とレベルアップに繋がりました。

設備に関しては5月に人間ドックの一般撮影（胸部）装置の入替とCRをDR（FPD）に入れ替えました。以前の機器に比べ低被ばくで高画質な画像も提供でき、更に検査室の内装も綺麗にリニューアルしましたので気持ちよく検査を受けて頂けると思います。

9月にはRI装置（ガンマカメラ）の入替と検査室の改装も行い以前の画質に比べ高画質な画像が得られるようになりました。

3月には救急で使用している一般撮影装置の入替とCR装置もDR（FPD）に入れ替えし、更に救急とORとICUで使用しているポータブル装置3台をCRからDR（FPD）対応に変更いたしました。DR対応になったことで救急やORで早急に画像が提供できるため、治療方針や手術時間の短縮につながってDrにも好評を得ています。

2020年度もCT検査件数は前年比で約1,000件増えていますがコロナの影響で検査後の消毒、UV照射など検査の制限もあり待ち時間が増大しました。このことから西館の二つある一般撮影室の一つをCT室に改装してCTを追加導入する予定です。それにより新型コロナや発熱患者さんの振り分けを行うことで待ち時間対策と効率的な運用が出来ると考えています。2020年度は新型コロナの影響で院内



ガンマカメラ機器更新



ドック X-TV 室改装



ドック一般撮影室機器更新

外での各勉強会や学会が中止になったりしましたが、当科で工夫し感染防止対策を行い少人数での勉強会を再開しスキルアップにつなげています。次年度は新型コロナが収束することを願いつつ、2020 年度受講出来なかったマンモ認定技師と胃がん認定技師取得に向け準備をしております。

また各学会・研究会などへ参加・発表を行えるよう全スタッフ協力しスキルアップを目指していきます。



ポータブル FPD 化



西館（救急）一般撮影機器更新



勉強会風景（症例検討会）

職員数

総数

21 名

職種別

診療放射線技師 20 名

助手 1 名

認定・資格

氏名	名称
宮城 竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 盛寛	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定 3 級
松田 優二	X 線 CT 撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
	画像等手術支援認定技師

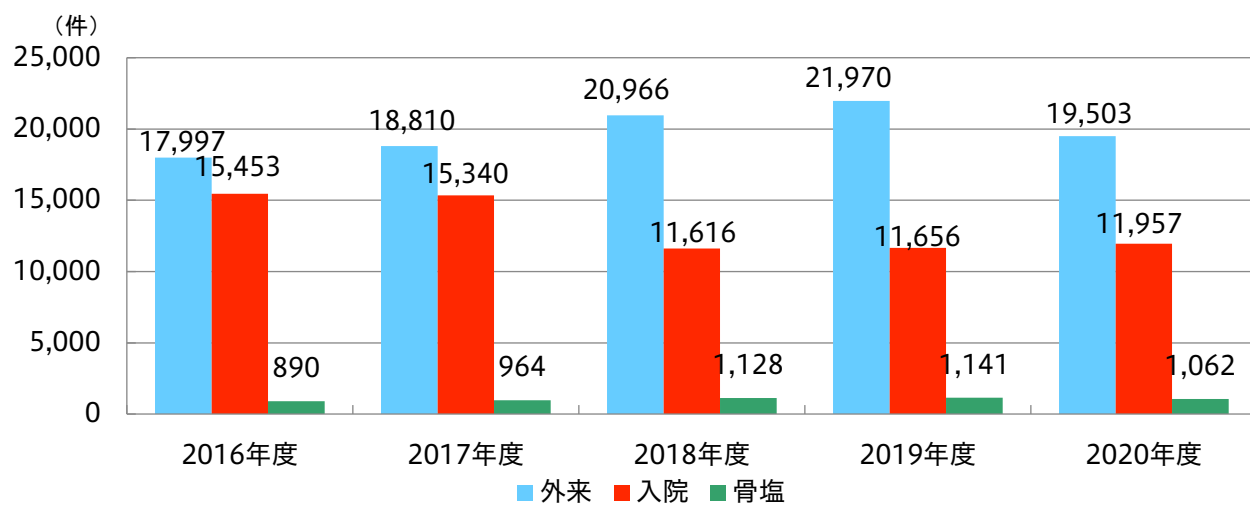
氏名	名称
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師
	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X 線 CT 撮影認定技師
	AI 認定技師
	大腸 CT 認定技師
島尻 豊久	画像等手術支援認定技師
	胃がん検診専門技師
	宇江城 彩香
太田 忍	検診マンモグラフィ認定技師
	肺がん CT 検診認定技師

運営方針

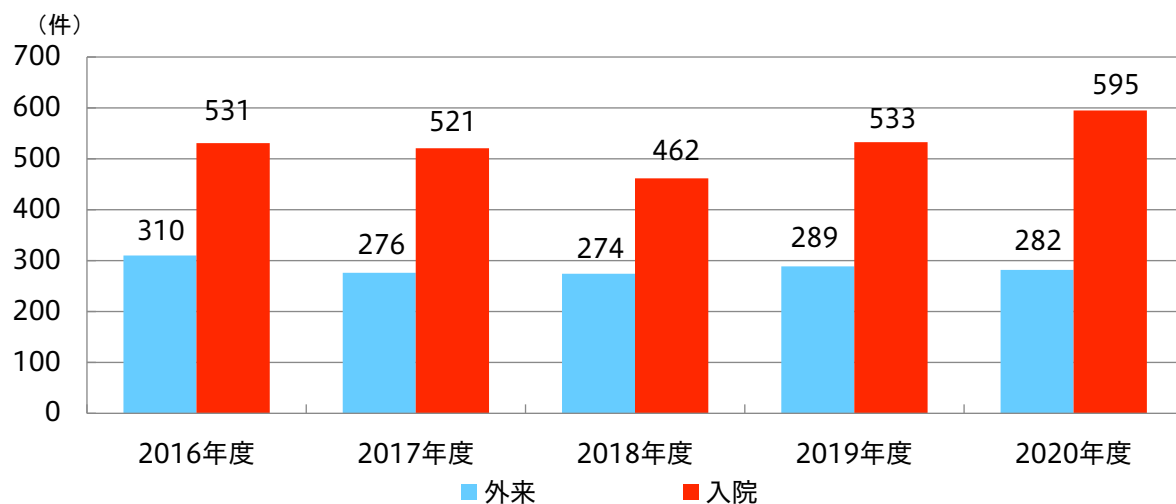
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

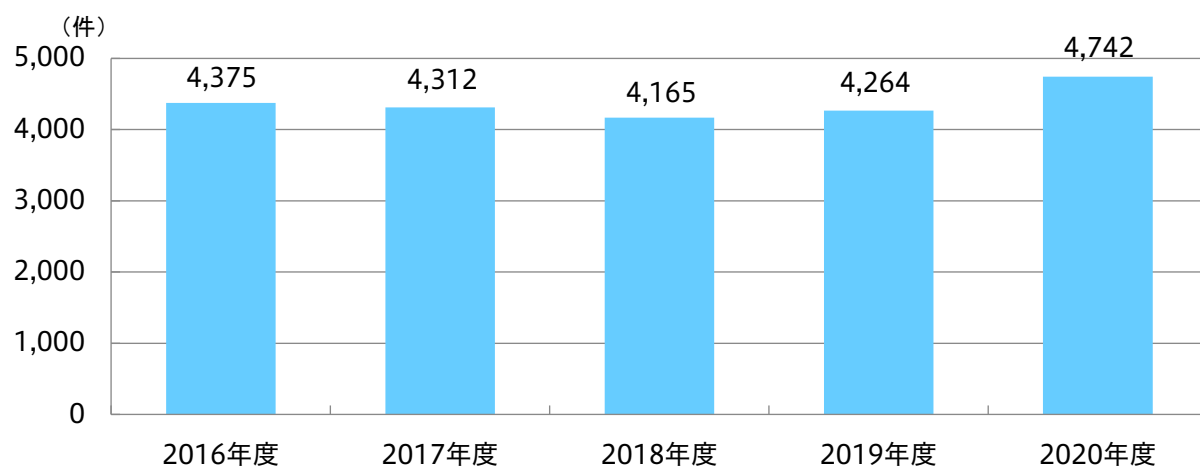
一般撮影



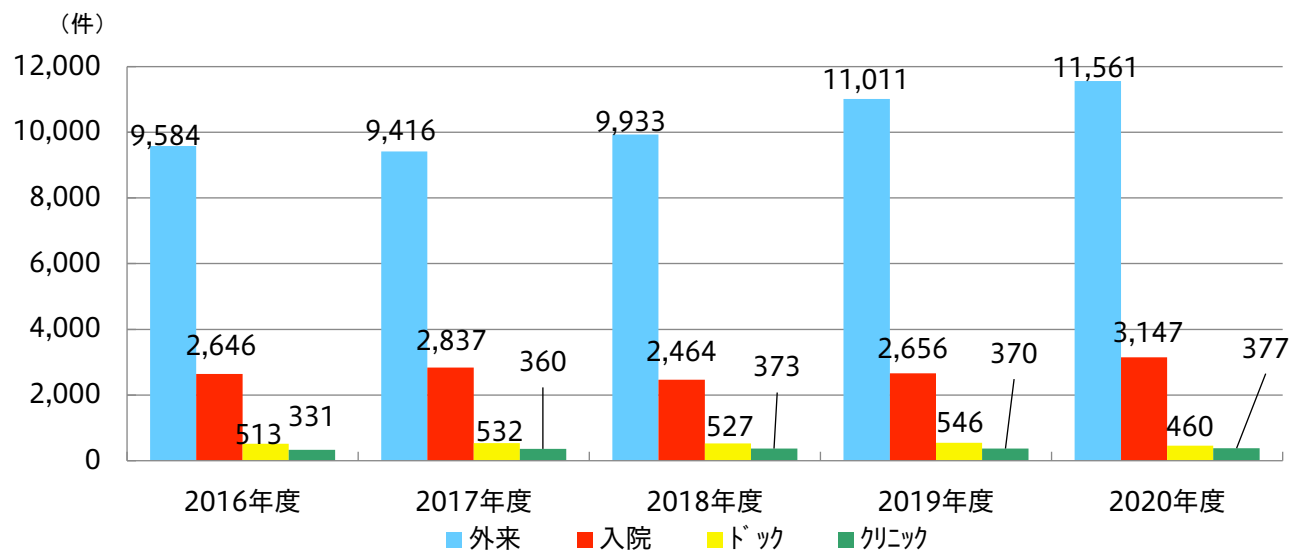
透視検査



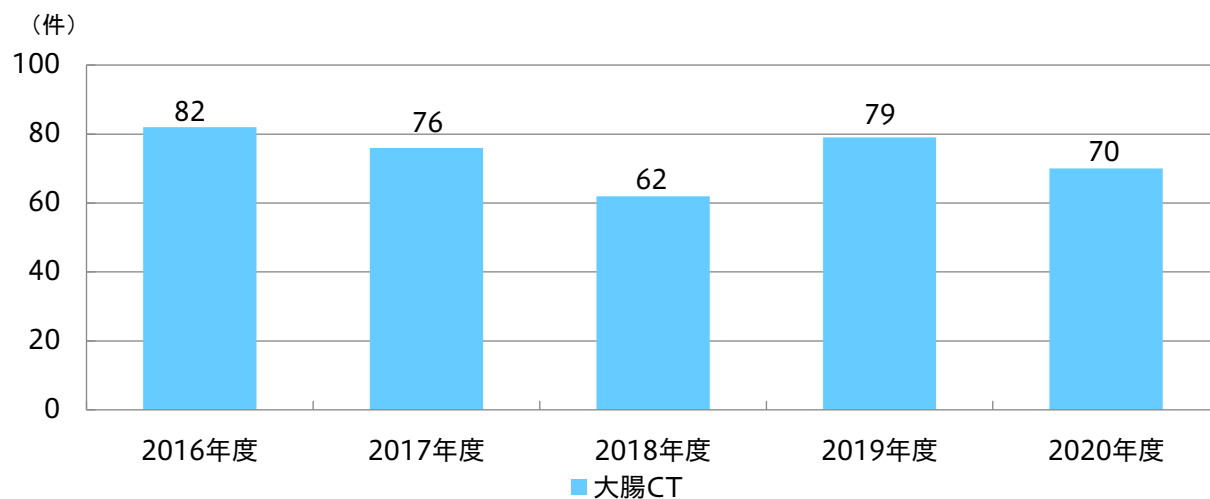
透視検査 (人間ドック)



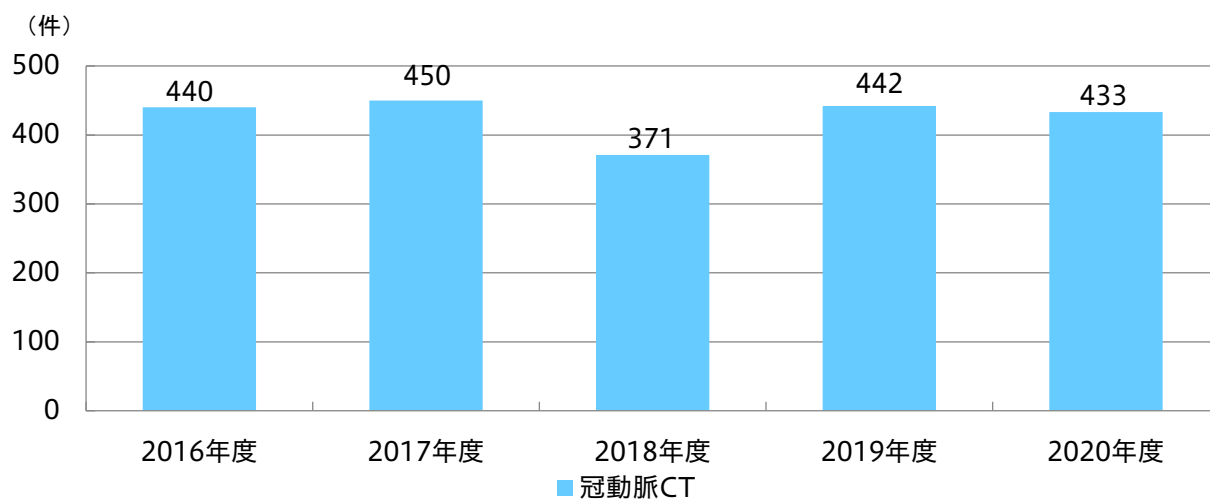
CT検査



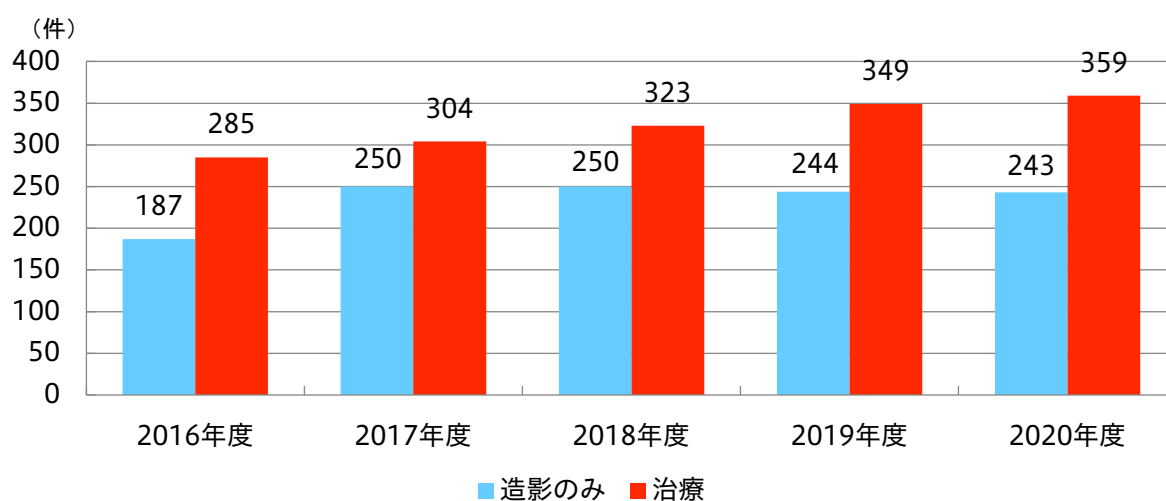
大腸CT



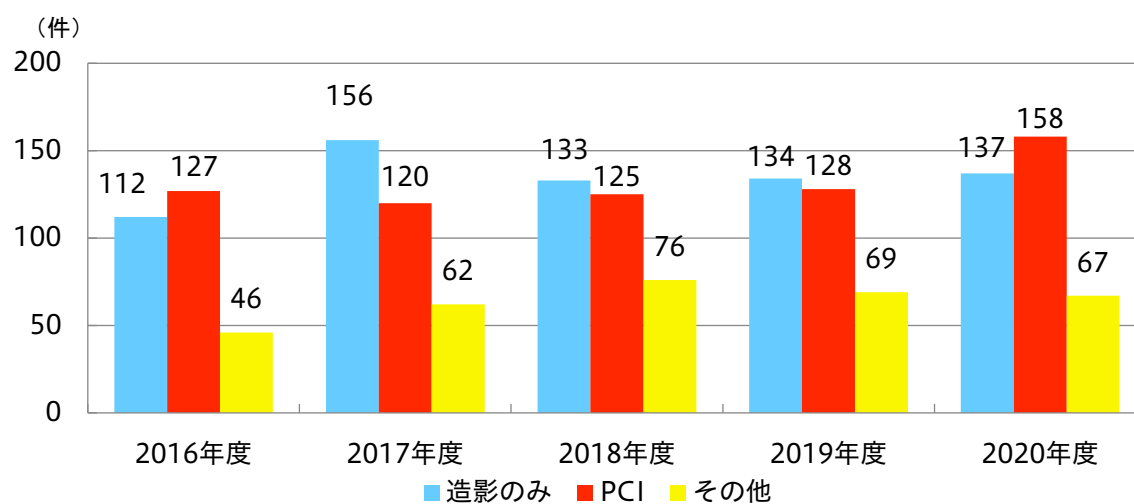
冠動脈CT



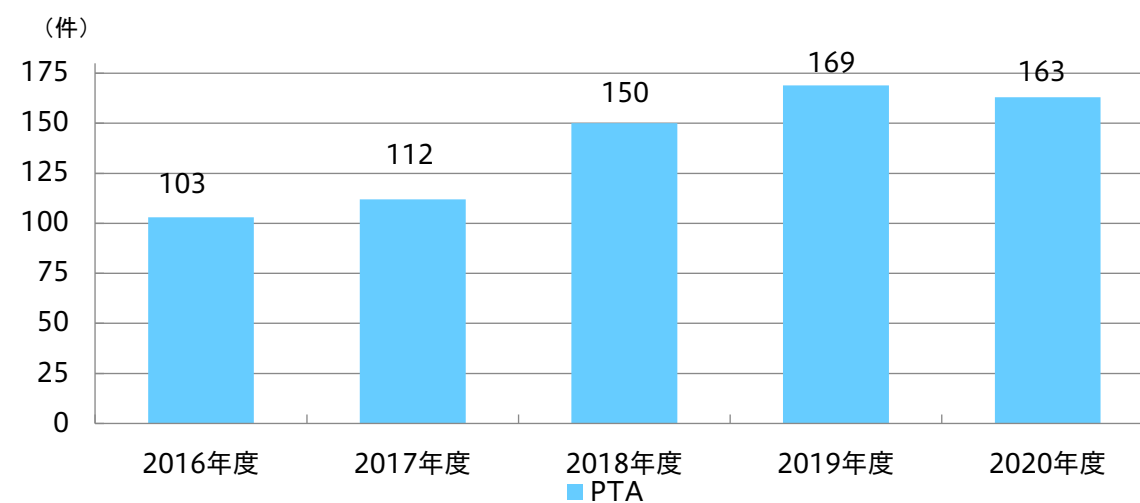
angio 総計



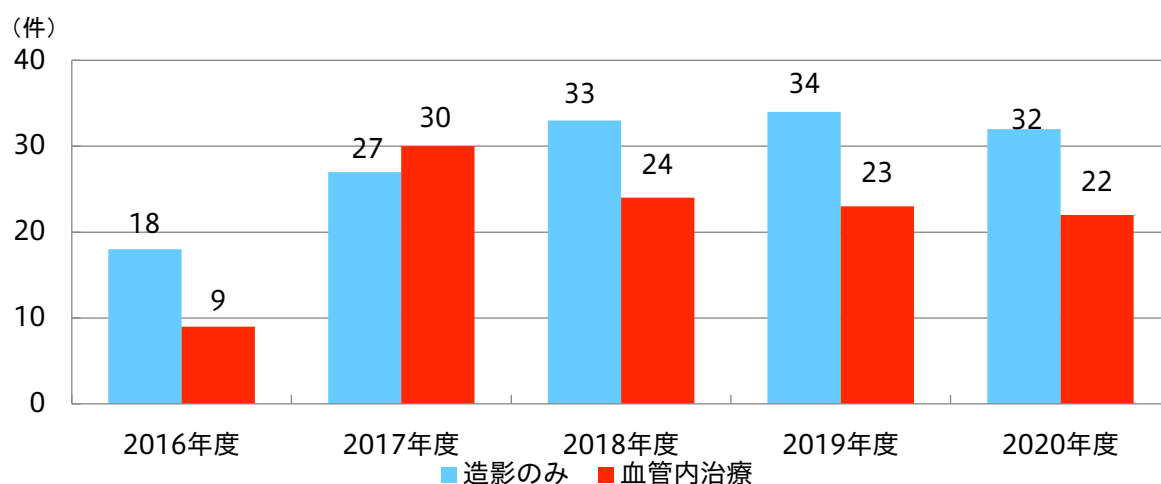
心臓カテーテル



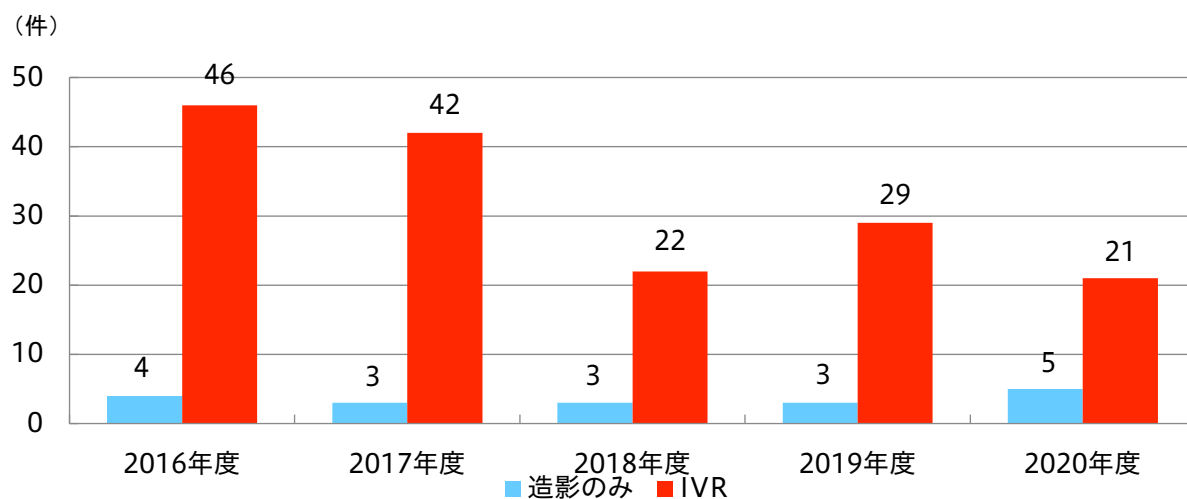
四肢 PTA



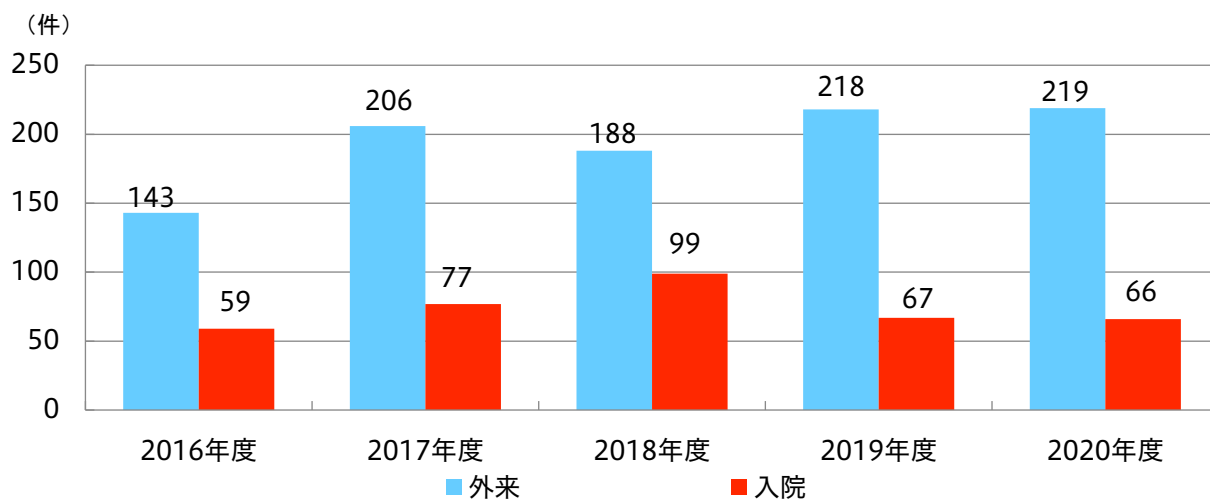
脳アンギオ



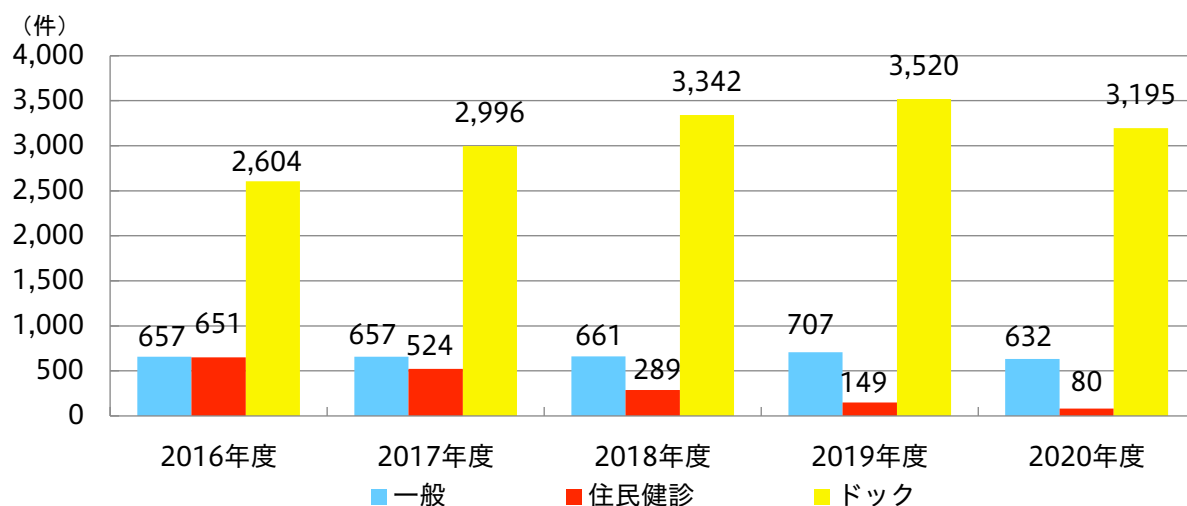
腹部アンギオ



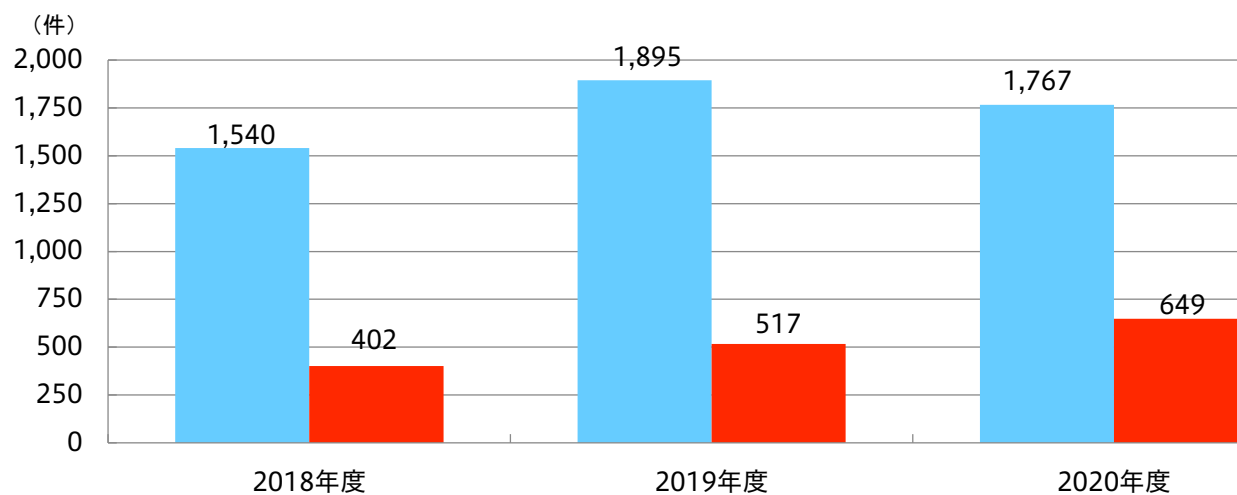
RI 検査



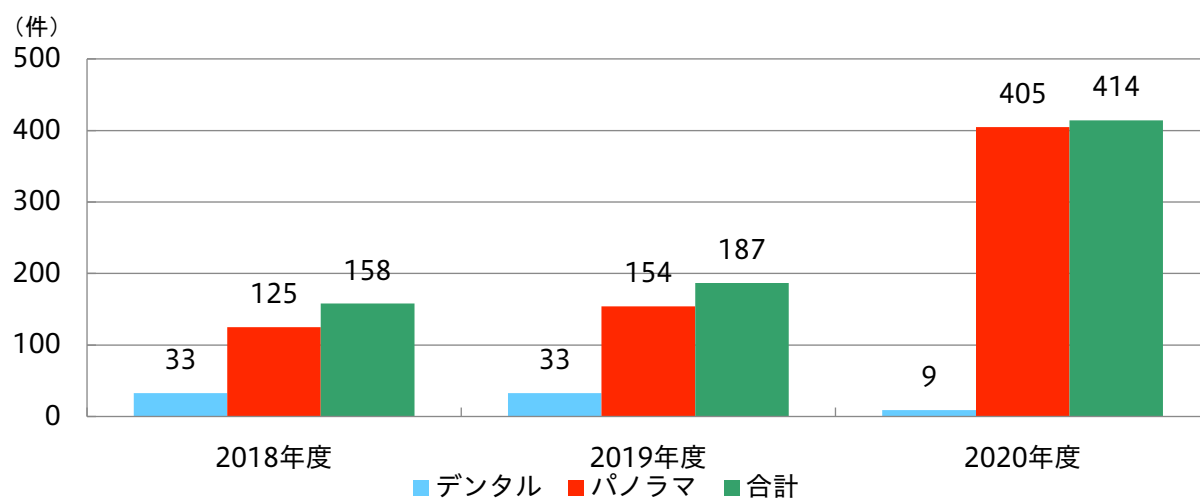
マンモグラフィ検査



3T-MRI



口腔一般撮影



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
造影 MRI 検査で悪性所見はなかったがステレオガイド下マンモトーム生検で DCIS が確定した 2 症例	日本乳癌学会学術総会	Web	2020 年 10 月 9 日	宇江城彩香

活動実績

院外勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
VINCENT を用いた大腸がん手術支援の取り組みについて	フジフィルムメディカル Web セミナー in 九州	Web	2021 年 2 月 6 日	松田優二
当院のコロナ対応について	沖縄 CT 研究会	Web	2021 年 3 月 4 日	山城まどか

科内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
肝疾患における造影 CT 効果	朝の勉強会	当院	2020 年 7 月 27 日	仲田真央
症例検討会	沖縄銀杏会・Web 症例	当院	2021 年 2 月	宮城竜也
症例検討会	沖縄銀杏会・Web 症例	当院	2021 年 3 月	宮城竜也

臨床検査科

臨床検査科技師長 斎藤 辰好

今年度は①5年後を見据えた人材育成、②医療機器の段階的な更新・導入、③病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、⑤ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑥予防医学センターとの業務連携への取り組み、⑦チーム医療の構築、⑧新型コロナウイルスへの対応、この8項を基本方針としました。

人材育成に関しては1名が細胞検査士の認定を取得しています。また糖尿病療養指導士1名が資格を取得しました。また各技師個人が事業計画を立てスキルアップを意識し業務に当たっています。またクリニック業務にて突発休や繁忙時でもバックアップ対応出来るように検査科全体で体制を整えました。クリニック採血業務は全て技師が行っています。

予防医学センターとの業務連携も順調で、技師の相互入れ替えや業務の融合共有化を進めています。午前エコー検査を4人体制に整え待ち時間を緩和しました。

夜間に頭部の緊急MRIを技師全員が実施でき、何時でも緊急対応（t-PA）出来る体制と成っています。また放射線科とも連携し緊急検査が重なった場合でも緊急MRI（t-PA）を直ぐに行う体制を整えました。心臓カテーテル検査、上肢下肢血管治療検査、アブレーション検査、ラジオ波焼灼検査、細胞診穿刺検査、NST、食道内圧・PH検査、胆嚢穿刺検査、CPC等のチーム医療にも積極的に参加しています。

日本医師会、日本臨床検査技師会、沖縄県医師会の精度管理事業へ参加し良好な結果が得られました。また教育研修システムを充実させ、細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士、緊急検査士等の資格取得の支援やスキルアップ為の支援を継続していきます。大学から長期実習学生を受け入れ、教育システムを構築していく予定です。

COVID-19検査はアボット・東ソー・島津の遺伝子検査を導入し、各症例に対応出来るように病院統一のシステムを整え、24時間検査する事が可能と成っています。

運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定を左右する重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

職員数

総数

49名

職種別

臨床検査技師（病院 35名、予防医学センター 6名、クリニック 2名）

視能訓練士 3名

検査科事務 3名

認定・資格

氏名	認定・資格名
斎藤 辰好	超音波検査士（4 領域）
島袋 泰彦	超音波検査士（4 領域） 沖縄県地域糖尿病療養指導士 糖尿病療養指導士（全国） 衛生管理者 衛生工学衛生管理者
仲松 勝彦	超音波検査士（1 領域） 衛生管理者
安里 奈美	超音波検査士（2 領域）
照屋 祥子	超音波検査士（2 領域） JABTS-A 認定技師
新垣 和史	緊急検査士 認定血液検査技師
森山 武志	二級臨床検査士（微生物） 衛生管理者
宮城 健	二級臨床検査士（微生物）
北川 磨亜邦	細胞検査士
諸見里 真実	細胞検査士

氏名	認定・資格名
金城 奈津	JABTS-B 認定技師
宮城 和歌	JABTS-C 認定技師
宮平 優子	二級臨床検査士（免疫血清）
町田 絵都	衛生管理者 沖縄県地域糖尿病療養指導士 緊急検査士
上地 利恵子	JABTS-C 認定技師
大城 ゆかり	JABTS-C 認定技師
蔵下 かおり	緊急検査士 二級臨床検査士（免疫血清） JABTS-A 認定技師
新垣 春香	二級臨床検査士（微生物）
津波古 菜々恵	緊急検査士

沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
斎藤 辰好	①沖縄県臨床検査技師会 理事 ②日本臨床検査技師会・九州支部 生理検査部門長
新垣 和史	① 沖縄県臨床検査技師会 血液検査分野 副分野長 ②沖縄県医師会臨床検査制度管理細胞検査部門 解析委員

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
当院における抗菌薬適正使用の活動報告	第 90 回日本感染症学会西日本地方会学術集会	Web 開催	2020 年 11 月 6 日	宮城
骨転移をきたした癌腫の存在が示唆された一例	第 41 回沖縄県臨床細胞学会総会・学術集会	Web 開催	2021 年 2 月 20 日 ～ 2021 年 3 月 6 日	北川

検査・治療実績

生理検査

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
心電図	428	373	580	558	388	463	555	501	482	498	494	668	5,988
CVR-R+ECG	0	0	0	1	0	2	2	0	0	1	0	0	6
マスター心電図	4	9	6	9	6	12	15	11	12	11	7	5	107
トレッドミル負荷	1	1	4	5	5	2	7	3	2	4	1	8	43
ホルター心電図	10	18	12	10	14	17	12	19	17	17	19	26	191
ABPM	0	0	2	0	1	0	1	1	1	0	0	2	8
簡易肺機能（2 項目）	72	72	101	102	61	46	102	92	82	83	76	92	981
肺機能（4 項目）	7	9	14	18	11	10	15	9	11	12	5	11	132
ABI 測定	27	30	28	40	26	32	39	35	57	41	38	55	448
サーモグラフィー	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	4
呼気中尿素試験	28	44	55	43	26	24	51	25	36	36	46	41	455
脳波	8	3	2	4	5	3	2	2	2	5	5	8	49
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経伝達速度（MCV）	2	4	1	4	4	2	5	2	5	2	2	6	39
聴性脳幹反応（ABR）	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
終夜睡眠ポリグラフ	2	2	2	2	2	1	2	2	3	1	3	2	24

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心肺運動負荷試験	0	0	3	2	1	1	2	0	0	0	1	1	11
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中一酸化窒素	29	24	19	25	15	12	17	21	22	12	21	23	240
食道内圧測定	2	4	2	0	0	1	3	1	1	3	1	2	20
食道 PH モニター	1	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	0	7
経皮的酸素ガス分圧	2	2	3	3	0	2	1	1	3	1	2	3	23
皮膚灌流圧測定検査	6	3	3	5	0	3	3	1	2	3	5	5	39
心エコー	208	210	260	290	215	278	276	246	267	300	272	344	3,166
腹部エコー	216	216	308	336	219	279	363	259	295	253	253	291	3,288
泌尿器エコー	93	90	129	116	96	114	117	118	101	84	82	107	1,247
表在エコー	97	98	149	149	134	148	157	151	162	141	161	203	1,750
血管エコー	90	114	120	169	100	100	149	119	157	160	125	147	1,550
胎児エコー	66	49	57	54	38	53	51	41	42	32	44	55	582
経直腸エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経食道心エコー	5	4	3	2	2	0	3	3	3	4	5	6	40
ENOG	1	2	1	0	1	1	1	1	1	2	1	3	15
簡易聴力検査	1	2	5	7	4	7	11	18	24	15	12	31	137
標準聴力検査	30	35	49	50	32	40	50	29	52	32	49	57	505
ティンパノメトリー	19	17	20	19	16	19	15	16	21	13	23	17	215
アブミ骨筋反射検査	4	4	4	8	4	12	8	7	12	3	14	9	89
MRI	175	147	227	235	189	208	249	243	232	229	234	283	2,651

病理・細胞検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	276	191	355	407	215	234	409	352	374	317	319	319	3,768
細胞診	376	222	590	689	496	638	843	690	842	649	685	685	7,405
剖検	0	0	0	1	1	1	1	2	1	0	3	3	13
迅速組織診	6	7	8	6	3	2	6	5	6	3	5	5	62

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨髓像	21	19	22	18	16	29	23	23	21	19	16	26	253
PBSC 製剤作製（患者数）	0	2	2	1	0	0	1	2	0	1	0	1	10
PBSC 製剤作製（作製数）	0	2	4	1	0	0	1	3	0	2	0	1	14
骨髓血漿除去作業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

細胞調整室（CPC）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
末梢血幹細胞処理（作業数）	0	2	4	1	0	0	1	3	0	2	0	1	14
骨髓液幹細胞処理（作業数）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

検体検査（科別）

ハートライフ病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2,926	2,729	3,096	3,349	3,967	3,301	3,504	3,212	3,532	3,383	3,221	3,845	40,065
外科	513	509	657	675	550	648	819	777	790	763	657	816	8,174
整形外科	236	258	296	381	399	388	474	452	455	463	401	473	4,676
眼科	23	16	32	52	19	44	80	70	57	50	57	71	571
透析科	481	476	519	485	479	485	503	477	480	482	517	512	5,896
小児科	205	238	232	187	219	171	207	199	168	172	155	180	2,333
脳神経外科	63	71	89	86	78	103	108	114	142	118	115	136	1,223

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
産婦人科	593	593	576	544	551	552	551	526	599	580	562	630	6,857
耳鼻咽喉科	38	43	57	56	48	49	69	66	44	75	74	91	710
心療内科	2	5	4	4	1	4	4	3	6	5	3	3	44
泌尿器科	411	345	447	422	352	404	400	374	444	363	351	527	4,840
皮膚科	3	3	5	1	5	1	6	3	1	4	7	5	44
麻酔科	9	12	10	6	4	4	1	4	5	1	11	1	68
形成外科	64	45	73	91	70	114	106	81	91	109	110	146	1,100
乳腺外科	115	111	172	129	130	147	131	155	149	136	125	162	1,662
救急科	581	665	603	672	744	791	720	728	818	1,074	850	958	9,204
口腔ケア科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	6,263	6,119	6,868	7,141	7,616	7,206	7,683	7,241	7,781	7,778	7,216	8,556	87,468

検診科

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
合計	675	114	1,283	1,703	1,086	1,440	1,828	1,527	1,727	1,534	1,475	1,599	15,991

ハートライフクリニック

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
糖尿病内科	877	696	953	1,009	946	917	1,087	999	1,102	1,012	1,012	1,154	11,764
内科	394	356	488	490	438	409	480	413	451	437	436	504	5,296
小児科	69	25	71	60	45	36	51	43	22	26	43	48	539
合計	1,340	1,077	1,512	1,559	1,429	1,362	1,618	1,455	1,575	1,475	1,491	1,706	17,599

本院 + 検診 + クリニック

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
合計	8,278	7,310	9,663	10,403	10,131	10,008	11,129	10,223	11,083	10,787	10,182	11,861	121,058

検体検査（病棟）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ICU	191	229	202	215	247	293	233	233	297	248	226	285	2,899
HCU	128	66	176	171	173	174	175	190	176	191	159	192	1,971
東館 4・5 階病棟	376	381	323	304	395	282	310	294	316	356	297	265	3,899
3 階病棟	268	283	251	317	302	371	336	324	391	412	316	399	3,970
4 階病棟	360	368	413	390	420	372	480	435	421	439	440	543	5,081
5 階病棟	446	403	474	485	509	549	548	499	498	571	516	594	6,092
6 階病棟	634	613	631	666	675	685	672	662	701	716	647	727	8,029
7 階病棟	333	359	390	459	419	300	502	467	508	534	472	575	5,318
合計	2,736	2,702	2,860	3,007	3,140	3,026	3,256	3,104	3,308	3,467	3,073	3,580	37,259

臨床工学科

臨床工学科技士長 野原 剛

令和2年は新型コロナウイルスの収束の兆しもなく、何度も流行の波が訪れる状況になりました。また当科管理では「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用して ECMO 1 台、人工呼吸器 4 台、血液浄化装置 1 台、UV ロボ（紫外線照射装置）を購入し配備しました。

4 月から 2 名増員し定数が 18 名となり、手術室の「機械出し」業務もスタートしました。

代謝部門では透析液の変更の検討を行った結果、年間約 80 万円のコスト削減に繋がりました。

また、コロナ禍ではありましたが、SOLA 沖縄保健医療工学院より 1 名、九州保健福祉大学より 1 名、実習生を受け入れ代謝、循環器、ME 機器管理業務に関する実習を実施しました。

各部門の実績の詳細は資料を御覧ください。

職員数

総数

18 名

職種別

臨床工学士 18 名

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

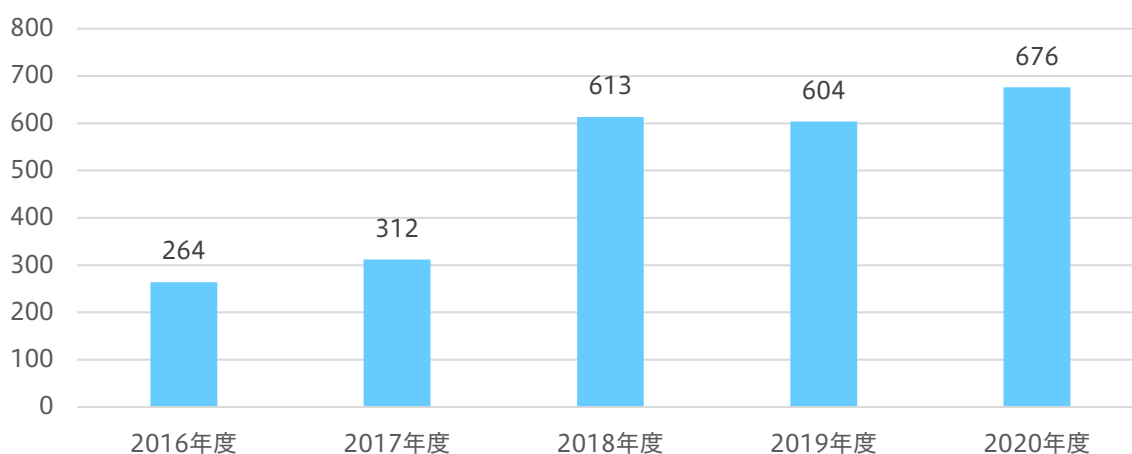
【ME 機器管理実績】

- ・ CPAP 外来での導入指導を開始しました。院内での導入のニーズがあり、対応しています。18 件の対応がありました。実績 :2019 年度 18 件、2020 年度 28 件
- ・ 在宅経腸栄養ポンプ、在宅輸液ポンプの導入をサポートすることが増え、在宅での訪問看護につなげて、患者の満足度向上に貢献できました。実績 :2020 年度 11 件
- ・ 感染症対策にて①不足の生体情報モニタの調整を行いました。② UV 照射ロボの導入について、操作、運用導入支援を行いました。
- ・ 医療機器の計画更新を行いました。
- ・ 職員向け研修を動画視聴とテストという形式に変更し、集計がしやすくなり、周知率は 90% を超えることができました。

修理依頼・トラブル対応件数について

1. 年度推移

2020 年度は、3 年連続で 600 件を超えて管理することができた。



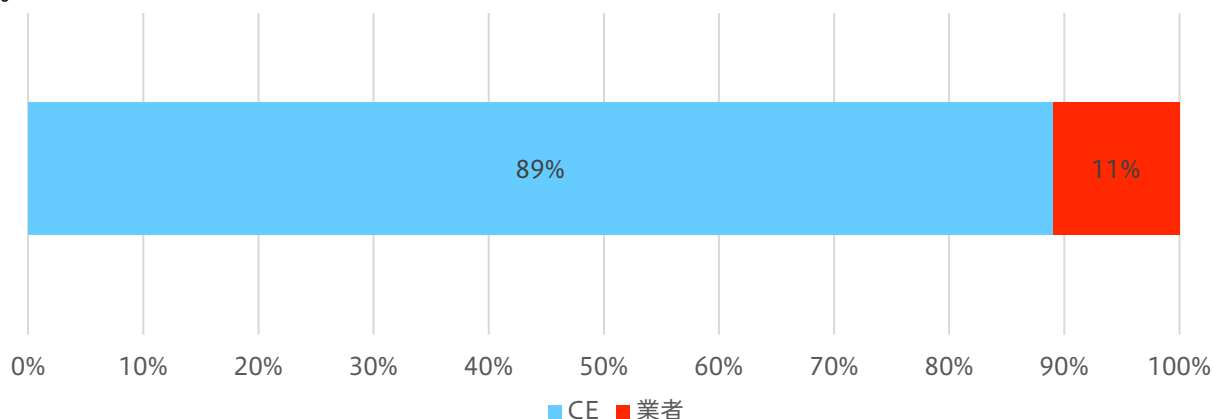
2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015	42	22	17	19	20	23	35	35	19	27	18	50
2016	24	27	25	36	38	8	20	21	16	9	17	23
2017	3	3	10	36	21	31	41	39	31	37	25	35
2018	44	49	36	49	52	43	44	50	85	67	46	48
2019	45	52	55	56	60	44	70	45	47	45	38	47
2020	37	43	38	45	62	65	58	61	70	66	60	71

3. 対応割合

トラブル対応は、89%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができました。また、業者委託の場合にも代替えの手配から修理箇所の確認とメーカーへの情報提供、修理完了品の受け取りと納品後の正常動作確認、原因の業務をワンストップで臨床工学技士が行い、現場の負担を減らす努力をしています。



4. 発見 / 現場依頼割合

部署依頼による点検は54%、臨床工学技士の点検により発見された割合は46%であり、点検により未然に防げていました。手術室からの問い合わせが大きく伸びており、臨床工学技士配置の認識が定着しつつあると考えられます。

部署		件数
臨床工学科		315
現場依頼 (内訳)	本館 7F	35
	本館 6F	35
	本館 5F	27
	本館 4F	18
	本館 3F	29
	東館 4F	6
	東館 5F	23
	ICU	23
	HCU	20
	手術室 (50)	71
	救急センター (ER)	24
	人工透析室 (31)	4

部署		件数
現場依頼 (内訳)	リハビリテーション科 (76)	18
	外来通院治療室 (32)	2
	中央処置室 (19)	5
	東館アンギオ室 (54)	6
	内視鏡センター (66)	8
	内科 (17)	1
	脳神経外科・耳鼻咽喉科 (28)	1
	泌尿器科 (21)	1
	外科・ヘルニアセンター	1
	クリニック	3
	発熱外来	1
	合計数	676

5. 機器別割合

2020 年度は、手術関連医療機器の件数増加が顕著でした。

分類	機器名	件数 (件)
呼吸関連	人工呼吸器	10
	NPPV 用	14
	酸素流量計	11
	その他	26
モニタ関連	BS モニタ	22
	送信機	21
	セントラルモニタ	5
	SPO2 センサ	23
	ECG 誘導リード	16
	血圧測定カフ	18

分類	機器名	件数 (件)
モニタ関連	中継ケーブル	4
手術関連	麻酔器	21
	電気メス	8
	手術内視鏡関連	11
	手術台	6
	C アーム	6
	顕微鏡	3
	その他	35
循環器関連	テンポラリー	0
	補助循環装置	6

分類	機器名	件数 (件)
循環器関連	手動式圧注入調節装置	0
	その他	1
周辺機器関連	輸液ポンプ	113
	シリンジポンプ	65
	フットポンプ	50
	手動血圧計	28
	パルスオキシメータ	27
	DRIP EYE	18
	壁掛吸引器	16
	血液ガス分析装置	4
	心電計	8
	ネブライザ	7
	中央貸出エコー装置	7

分類	機器名	件数 (件)
周辺機器関連	超音波診断装置	5
	保育器	8
	除細動器	8
	ブラッダースキャン	0
	検査機器	2
	黄疸計	1
	CPM	7
	分娩監視装置	4
	その他	31
合計		676

6. 日常点検集計

人工呼吸器について

点検種類	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
始業点検	364 台 / 年	541 台 / 年	520 台 / 年	543 台 / 年	459 台 / 年
終業点検	436 台 / 年	465 台 / 年	423 台 / 年	409 台 / 年	585 台 / 年
使用中点検	2068 台 / 年	2029 台 / 年	1732 台 / 年	1785 台 / 年	1607 台 / 年
ラウンド点検	6.6 台 / 日	6.5 台 / 日	5.6 台 / 日	5.7 台 / 日	5.1 台 / 日

ポンプについて

機種	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
輸液ポンプ	2283 台 / 年 7.3 台 / 日	2290 台 / 年 7.3 台 / 日	2047 台 / 年 6.6 台 / 日	2886 台 / 年 9.3 台 / 日	2914 台 / 年 9.4 台 / 日
シリンジポンプ	1579 台 / 年 5.0 台 / 日	1387 台 / 年 4.5 台 / 日	1389 台 / 年 4.5 台 / 日	1445 台 / 年 4.7 台 / 日	1714 台 / 年 5.5 台 / 日
経腸栄養ポンプ	44 台 / 年	35 台 / 年	31 台 / 年	25 台 / 年	46 台 / 年
フットポンプ	568 台 / 年	501 台 / 年	536 台 / 年	747 台 / 年	859 台 / 年
ドリップアイ	310 台 / 年	428 台 / 年	347 台 / 年	400 台 / 年	451 台 / 年

生体情報モニタについて

生体情報モニタ点検について点検を行い、患者に使用する前に部品の消耗に気づき交換することができるようになっています。

人工呼吸器用マスクについて

点検種別	2018 年度	2019 年度	2020 年度
NPPV 用マスク	707 台 / 年	836 台 / 年	714 台 / 年

7. 臨床支援業務

肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科 (中止)	外科 (中止)	総数
2009 年度	2	0	0	0	2
2010 年度	7	4	3	0	14
2011 年度	10	2	1	0	13
2012 年度	27	1	0	1	29
2013 年度	29	1	0	2	32
2014 年度	37	7	0	0	44
2015 年度	27	12	2	0	41

年度	内科	外科	内科(中止)	外科(中止)	総数
2016 年度	15	6	0	1	21
2017 年度	13	2	1	0	16
2018 年度	16	0	0	0	16
2019 年度	18	2	1	0	20
2020 年度	6	3	3	0	12

レンタル呼吸業務

院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。下表は年間の貸出返却対応件数を示します。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
2012 年度	74	76	なし
2013 年度	58	41	11
2014 年度	106	75	18
2015 年度	79	29	4
2016 年度	116	52	4
2017 年度	100	37	8
2018 年度	156	40	6
2019 年度	185	43	16
2020 年度	126	26	16

【循環器実績】

アンギオ対応実績

月	カテーテル検査						植え込みデバイス						IVCF	PPI		ABL	脳血管カテーテル	
	CAG	PCI	緊急	総 PCI	IABP	ECMO	TPM	PMI	PMR	MRI	外来	上肢 PTA		下肢 PTA	検査		治療	
4 月	4	5	5	10	0	1	0	4	0	1	6	0	14	9	0	2	1	
5 月	15	4	4	8	0	0	3	3	0	3	10	0	5	8	0	0	0	
6 月	13	6	8	14	0	1	2	1	2	2	24	0	5	2	0	3	0	
7 月	11	9	3	12	0	1	1	1	1	1	33	0	16	8	0	3	2	
8 月	11	5	3	8	2	1	4	1	1	1	22	0	10	1	0	2	0	
9 月	11	7	4	11	1	3	2	2	1	1	25	0	7	1	0	2	2	
10 月	16	8	4	12	2	1	0	0	1	1	22	0	12	2	2	6	4	
11 月	9	13	2	15	0	2	0	3	2	2	11	0	10	3	2	1	2	
12 月	6	14	6	20	3	2	2	3	1	1	25	0	5	7	1	4	1	
1 月	8	2	7	9	1	0	0	0	0	1	31	0	5	3	0	3	5	
2 月	7	11	10	21	0	1	0	1	0	1	21	0	7	9	2	1	1	
3 月	19	10	9	19	3	2	0	1	0	0	28	0	9	5	2	5	3	
総合計	130	94	65	159	12	15	14	20	9	15	258	0	105	58	9	32	21	

※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカー植え込み術。PMC: ペースメーカークリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカー。

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法									血漿浄化療法			CART	PBSC	合計
	HD (SLED含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CHDF	白血球除去療法		血液吸着		血漿吸着	PP				
						GCAP	LCAP	PMX	DHP	ビリルビン 吸着	PE	DFPP			
2020.4	2	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	2	0	15
5	11	0	0	0	17	0	0	2	0	0	0	0	3	0	33
6	5	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	3	15
7	7	0	0	0	11	0	0	3	0	0	1	0	2	0	24
8	4	0	0	0	9	0	0	2	0	0	0	0	4	0	19
9	22	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
10	6	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	2	1	26
11	17	0	0	0	32	0	1	2	0	0	0	0	4	0	56
12	13	0	4	0	32	0	0	1	0	0	0	0	5	0	55
2021.1	5	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	6	0	17
2	0	0	3	0	11	0	0	1	0	0	1	0	3	0	19
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	92	0	8	0	162	0	1	11	0	0	2	0	0	4	280

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
「透析患者の下肢管理について～下肢皮膚灌流を保つには～」	日本透析医学会学術集会・総会	WEB 開催	2020 年 11 月 2 日～ 24 日	仲程 通孝

活動実績

院内外研修実績

題 目	主 催	開催地	実施年月日	参加者 ○発表者と共同研究者 ◎講師・座長
「基礎から一歩づつ心電図モニターの画面を見ながら学ぼう！ペースメーカー克服セミナー」	Kiwi (CE 医療機器安全管理支援)	WEB	2020 年 7 月 5 日	伊佐 美優羽、迎里 尚拓、 屋比久 雄飛
「ECMO チーム等養成研修」	ECMO ネット、沖縄県 新型コロナウイルス感染症対策本部	産業支援 センター	2020 年 7 月 25 日	兼城 雅
「透析患者の下肢管理について～下肢皮膚灌流を保つには～」	日本透析医学会	WEB	2020 年 11 月 2 日～ 24 日	○仲程 通孝
2020 年度 e ラーニング不整脈関連指定講習会 (応用編)	日本臨床工学技士会	WEB	2020 年 11 月 2 日	平敷 幸大
「透析室の COVID-19 対策と 2020 年度診療報酬改訂下でのリクセル」	扶桑薬品株式会社 / 株式会社カネカメディックス	WEB	2021 年 2 月 27 日	◎野原 剛
220 t h うふいちセミナー	沖縄呼吸療法士ネットワーク・うふいち道場	WEB	2021 年 1 月 22 日	内里 司

職員向け医療機器研修

講習名	実施内容	実施日	講師	参加人数
麻酔システム勉強会	麻酔システム勉強会	2020 年 7 月 11 日	平敷 幸大	5
エンドクレンズ説明会	エンドクレンズ使用方法説明	2020 年 7 月 28 日	平敷 幸大	2

講習名	実施内容	実施日	講師	参加人数
経腸栄養ポンプ取扱説明	経腸栄養ポンプ取扱説明（動画視聴）	2020年8月13日	平敷 幸大	33
経腸栄養ポンプ A610 新規導入	経腸栄養ポンプ A610 の説明会	2020年8月17日	仲松 晋也	21
経腸栄養ポンプ説明会	新規で導入したトップの経腸栄養ポンプの説明	2020年8月17日	仲松 晋也	18
吸引器使用方法説明 導入	新規導入 使用方法説明	2020年8月27日	平敷 幸大	8
SONOPET デモ説明	SONOPET デモ説明	2020年9月29日	吉田	4
ECG-2450 導入説明	ECG-2450 導入説明	2020年9月29日	日本光電 伊波	8
ACH Σ 旭化成メディカル 導入説明会	ACH Σ 旭化成メディカル 導入説明会	2020年9月29日	赤嶺	9
vio3 使用方法説明（納品説明）	vio3 使用方法説明	2020年10月13日	平敷 幸大	18
AED 使用方法説明（更新のため）	AED 使用方法説明	2020年10月27日	平敷 幸大	3
AED-3100 使用方法説明会	AED-3100 使用方法説明	2020年10月28日	外間 翔吾	-
HAMILTON C6 操作説明	HAMILTON C6 操作説明	2020年10月29日	日本光電 伊波	-
AED 使用方法説明	内容物、使用方法、保守	2020年12月22日	兼城 雅	9
排煙装置説明会	使用方法、消耗品の説明	2020年12月29日	屋比久 雄飛	22
排煙装置説明会	使用方法、消耗品の説明	2020年12月30日	屋比久 雄飛	5
排煙装置説明会	使用方法、消耗品の説明	2020年12月30日	屋比久 雄飛	6
フジフィルム FC-1	エコー使い方	2021年1月21日	コヴィディエン サクモト	16
納品時 体外式ペースメーカー使用方法説明会	納品時 体外式ペースメーカー使用方法説明会	2021年1月26日	平敷 幸大	14
ハミルトン C1 使用方法説明会	ハミルトン C1 の使用方法	2021年2月15日	兼城 雅	12
リモート監視システム導入説明	VITRAC 日本光電	2021年3月24日	仲松 晋也	10
新型輸液ポンプの導入 e ラーニング	JMS IP-100 導入説明会	2021年1月20日～ 3月31日	仲松 晋也	387

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

2020 年度は新型コロナウイルスの影響で入院患者が減り、食事提供数もかなり減少しました。2019 年度と比較すると年間 34,342 食の減、1 日当たり約 100 食の減となります。

栄養管理については昨年度より全病棟において入退院支援カンファレンスに参加し、栄養的に問題のある患者を抽出し栄養改善に取り組みました。また、コロナ禍の中で入院患者は減少しましたが、栄養指導件数は前年度比約 20% 増となりました。これは入退院支援カンファレンスの他、各カンファレンスにて対象患者を抽出し栄養指導に繋げた結果だと思われます。

給食管理では慢性的な調理スタッフの人員不足が続く中、献立、食材の見直しを行い食事提供に影響がないよう業務を行いました。

また、長崎国際大学より 2 名の実習生を受け入れました。

各認定資格についてはコロナウイルスの影響もあり、学会やセミナーの中止が相次ぎ、取得に至りませんでした。専門療法士の育成やスキルアップに繋がるよう今後も支援体制を強化していきます。

職員数

総数

27 名

職種別

管理栄養士 6 名

調理師 12 名

調理補助 2 名

食器洗浄 6 名

事務 1 名

認定・資格

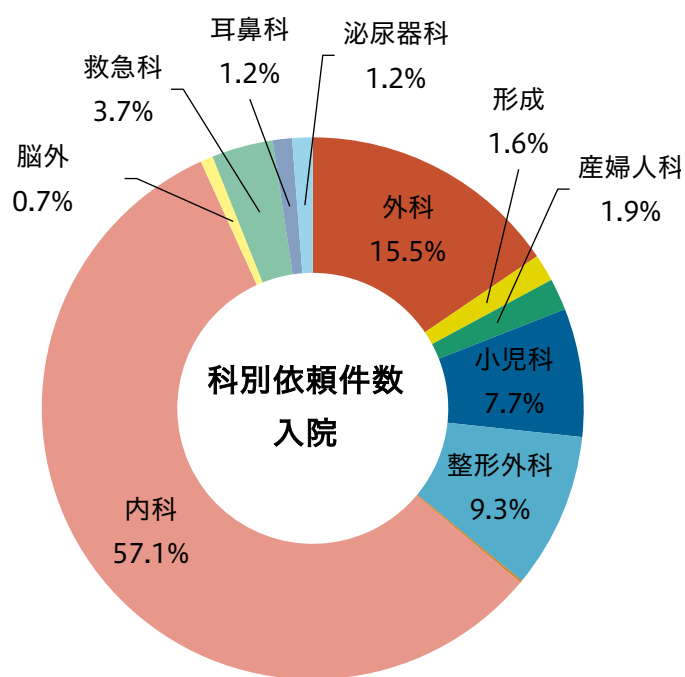
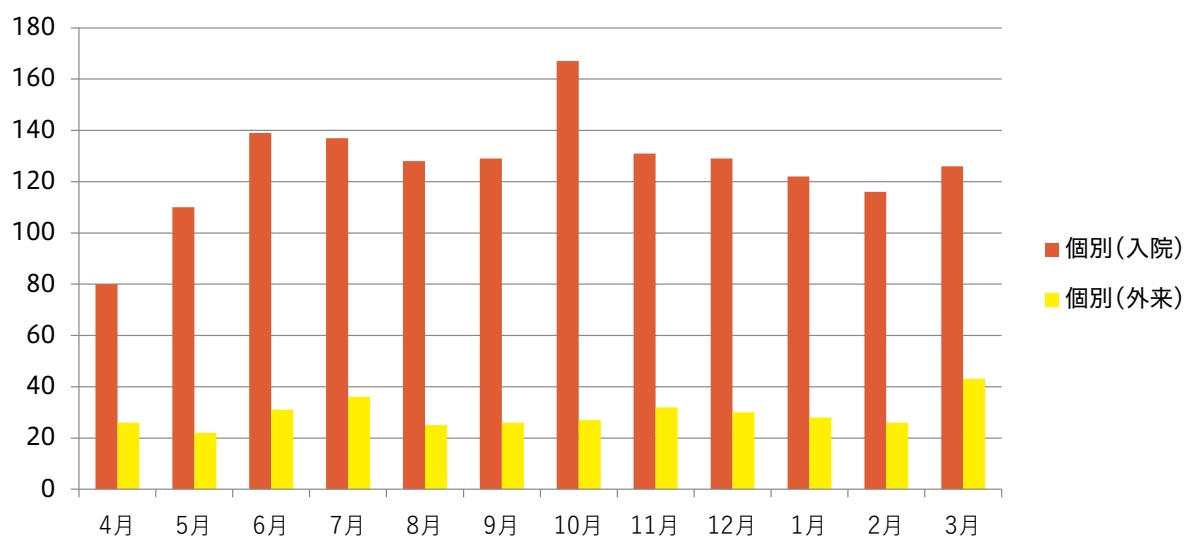
氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士

氏名	認定・資格名
当真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士

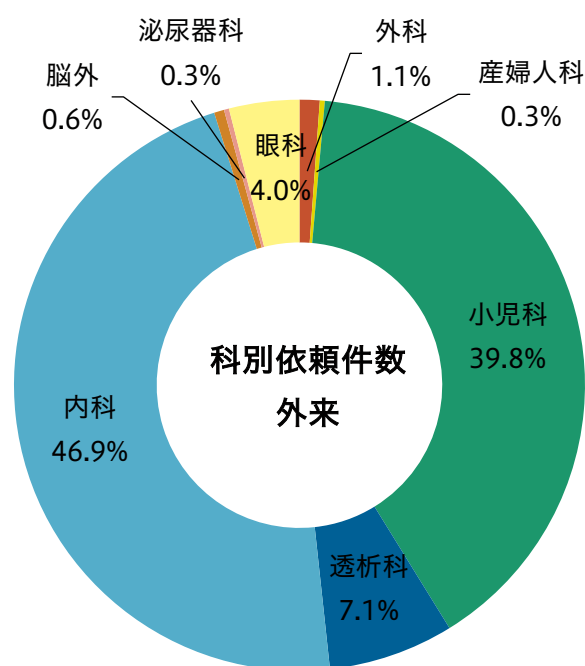
運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

2020 年度栄養指導実施件数

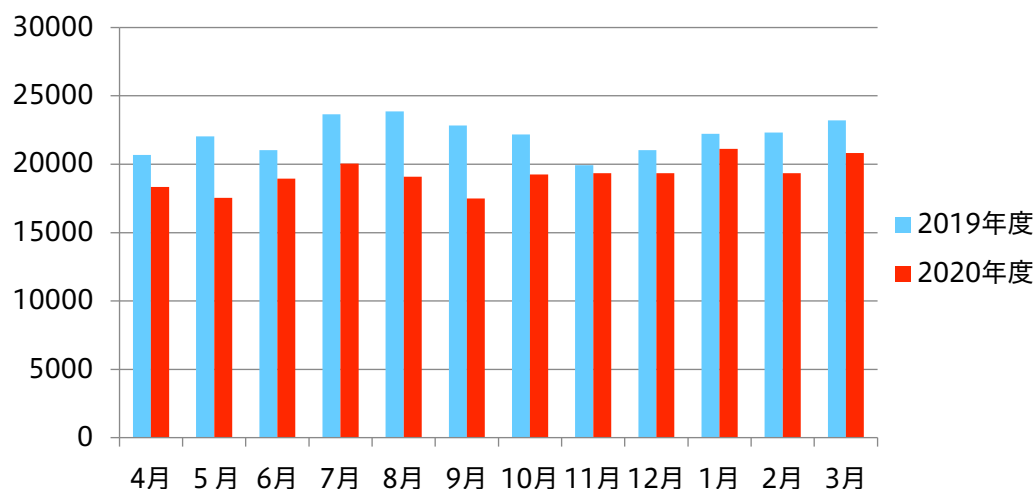


外科 形成 産婦人科 小児科
 整形外科 透析科 内科 脳外
 救急科 耳鼻科 泌尿器科



外科 産婦人科 小児科
 透析科 内科 脳外
 泌尿器科 眼科 整形外科

2019 年度、2020 年度 年間食数比較



活動実績

科内研修

名称	実施年月日	担当
コロナ予防の為に免疫力 up	2020 年 5 月	棚原
禁忌食材、個別対応について	2020 年 6 月	高屋
コロナ予防と熱中症予防	2020 年 8 月	中村
院内約束食事箋とは	2020 年 10 月	久場
食品ロスについて	2020 年 12 月	當眞
高血圧について	2021 年 2 月	久場、屋宮

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
第 58 回日本糖尿病学会九州地方会	We b セミナー	2020 年 8 月 8 日	當眞
DM セミナー (アボット)	We b セミナー	2020 年 10 月 26 日	當眞
褥瘡と栄養管理 (ネスレ勉強会)	We b セミナー	2020 年 11 月 18 日	真栄城、當眞
DM セミナー (アボット)	We b セミナー	2020 年 12 月 29 日	當眞
薬剤性嚥下障害と口腔乾燥	We b セミナー	2020 年 12 月 10 日	當間、久場、中村
熊本・沖縄栄養管理セミナー	We b セミナー	2020 年 12 月 16 日	真栄城、高屋、中村
第 27 回 NDN 講演	We b セミナー	2021 年 2 月 25 日	當眞
大塚 GFO リニューアル案内	We b セミナー	2021 年 3 月	久場、當眞、真栄城

薬局

薬局長 大関 秀和

部署紹介

本年度は、4 名の新卒、1 名の既卒の新入職を向かえ、20 名を超える薬剤師となりました。2020 年は病棟薬剤業務実施加算の算定に向けて取り組んでいます。

職員数

総数

24 名

職種別

薬 剤 師 20 名

一般事務 2 名

薬局助手 2 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師
義田育美	NST 専門療法士

薬局理念

薬物療法のプロとして、安全に、安心な治療が受けられるようにサポートします。

目標

1. 医薬品の安全使用と管理の徹底
2. 多職種と連携した適切な薬物治療の推進
3. 新しい知識・技能の習得

2020 年度計画及び実績

項目		実績
薬剤管理指導	指導料1	2,842 件 (380 点)
	指導料2	8,633 件 (325 点)
	麻薬管理加算	348 件 (50 点)
	退院時加算	762 件 (90 点)
無菌製剤処理料		2,132 件 (180 点)
薬剤調整加算		48 件 (150 点)
薬剤総合評価調整加算		64 件 (100 点)
薬学実習受け入れ		受入れなし
情報配信	DI ニュース	5 報
	後発品採用率	92.1% (2020 年 3 月 目標 80%以上)
	厚労省通知	0 報
	メーカーの通知	20 報
	エントランス案内	80 報
学会参加	臨床腫瘍薬学会、日本医療薬学会	

採用変更実績

5 月 新規採用：13 品目 採用切り替え：7 品目 採用中止：2 品目

7 月 新規採用：13 品目 採用切り替え：14 品目 採用中止：6 品目

9 月 新規採用：9 品目 採用切り替え：11 品目

1 月 新規採用：10 品目 採用切り替え：9 品目

3 月 新規採用：10 品目 採用切り替え：9 品目

薬品マスターの新規作成及び、後発品目への切り替え設定を行う。後発品への切り替えでは、患者セットや医師セット、クリニカルパスなどの修正を行う。更に各部門への切り替え案内を発行し、電子カルテエントランスにて案内を行っている。

がん管理指導料の自動算定のための設定やインスリン管理画面への登録など、薬品マスターの作成、設定業務は多岐に及ぶ。

2020 年度は、抗生剤、ワクチンの納入不安定などにより薬品の切り替え業務が多く発生した。

抗がん剤プロトコール新規作成

内科：11 外科：10 泌尿器科：4 産婦人科：1

文献や製薬メーカーのパンフレットなどを使用し、投与量の設定や支持療法の決定などを行っている。催吐性リスクや血管外漏出時の薬剤レベルなどの確認を行っている。

ワクチン Web 予約の開始

Web 予約の運用開始に伴い、新たにワクチンマスタの作成を行った。ワクチンそれぞれの接種期間の設定やバーコード読み取りのためのマスター整備を行った。

薬局部門システムの入れ替え

薬局部門の処方箋、薬袋発行システムの入れ替えを行った。従来、看護部で印刷していた注射ラベルを 2021 年 1 月より薬局で印刷し調剤時に添付して病棟へ払い出す運用へ変更した。

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

2020年度のリハビリテーション科は理学療法士23名、作業療法士9名、言語聴覚士5名のリハビリテーション専門職員を有し、充実したリハビリテーションを提供できるよう努めて参りました。

昨年度はコロナ禍の中、知識や技術向上を目的とした院内外の活動が制限されましたが、脳血管疾患リハ、運動器疾患リハ、呼吸器疾患リハ、がんのリハ、心大血管リハの施設基準を満たしつつ、産科婦人科（ウィーメンズ）や形成外科、呼吸器分野等の各専門領域での活動を推し進めて参りました。

2021年度は、感染症対策を図りながら、新人及び経験の浅い職員の教育や科内のスペシャリスト育成に、出来る限り取り組んでいきます。また、多職種間の円滑な連携を軸に多様なリハビリテーションのニーズに応えられる体制を構築していく所存です。

職員数

総数 39名

職種別

理学療法士 23名
作業療法士 9名
言語聴覚士 5名

助手 2名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修修了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修修了
玉栄 優子	がんのリハビリテーション研修修了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修修了
波平 静香	がんのリハビリテーション研修修了 呼吸療法認定士
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修修了
仲村 和也	がんのリハビリテーション研修修了
天久 真理子	がんのリハビリテーション研修修了
福地 美香	呼吸療法認定士
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
長嶺 敦司	糖尿病療養指導士 健康運動指導士
作業療法士	
栄野比 智也	がんのリハビリテーション研修修了

氏名	資格・認定資格
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修修了 呼吸療法認定士
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修修了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修修了 呼吸療法認定士
大見謝 勝人	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修修了
松川 玲子	がんのリハビリテーション研修修了 高次脳機能障害認定言語聴覚士（日本言語聴覚士会認定）
島田 真紀子	がんのリハビリテーション研修修了 認知症ケア専門士（日本認知症ケア学会認定）

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

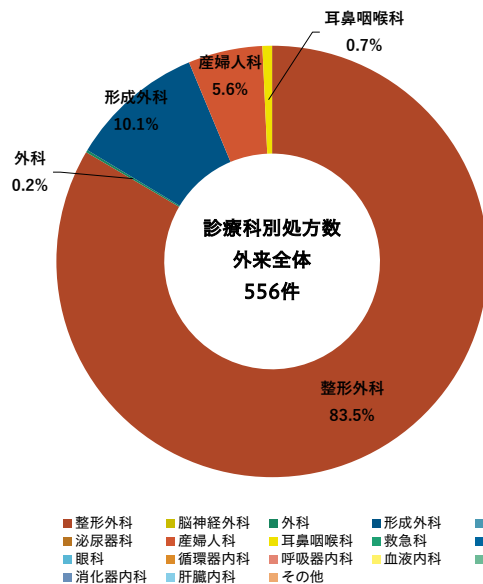
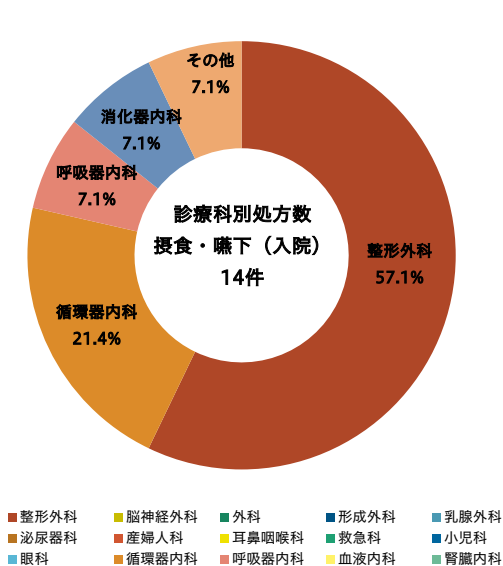
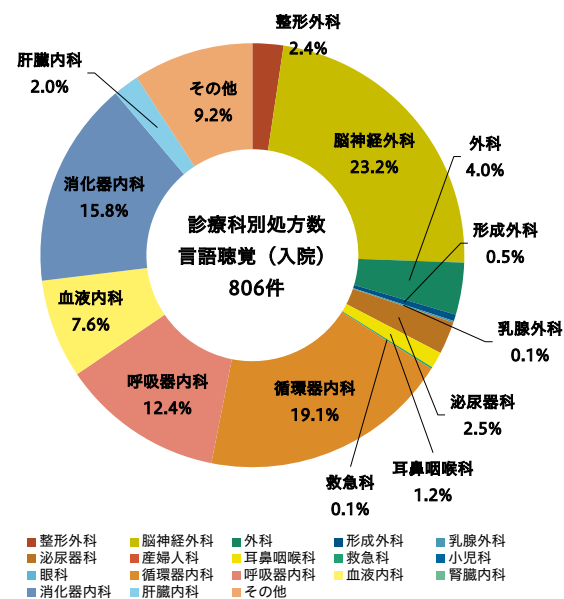
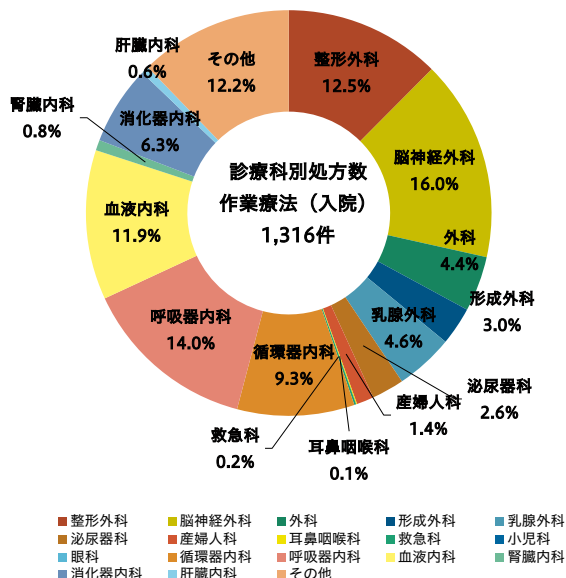
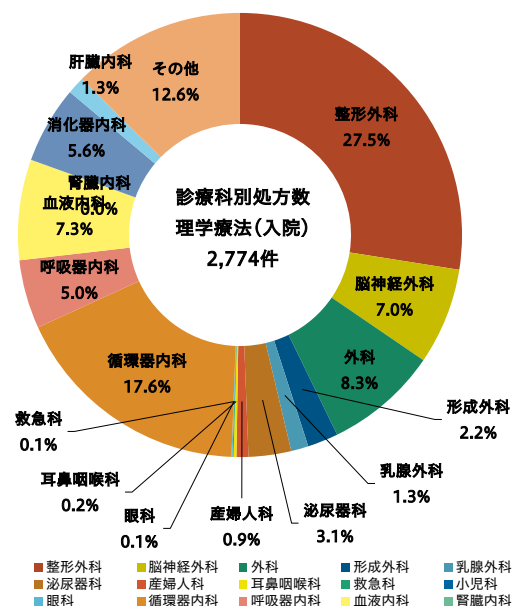
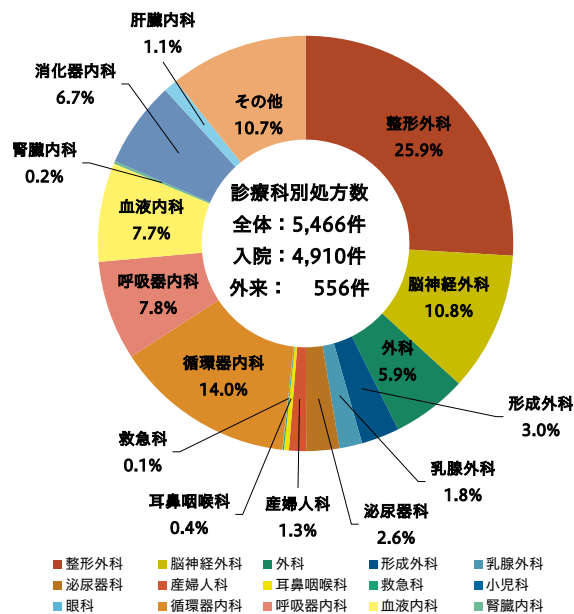
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

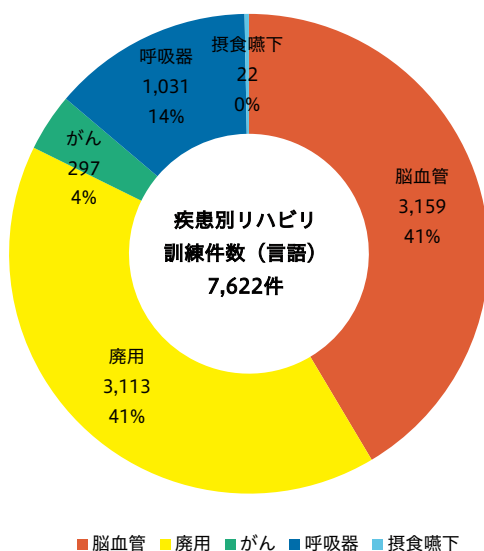
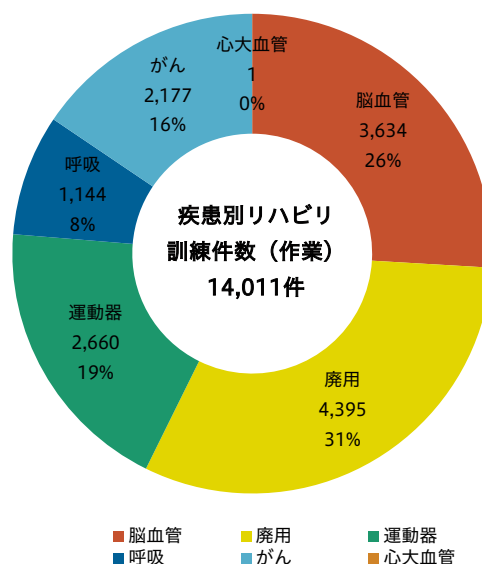
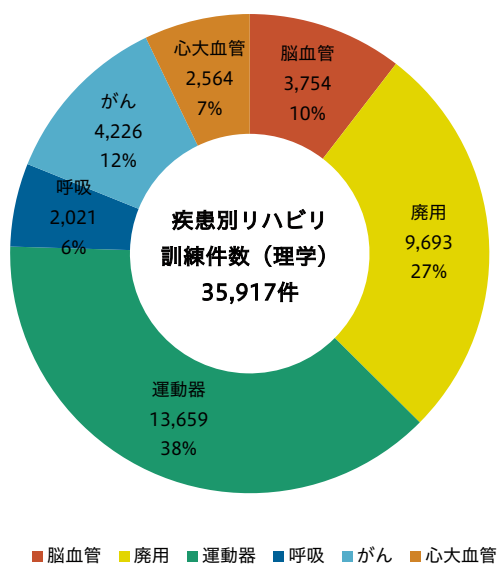
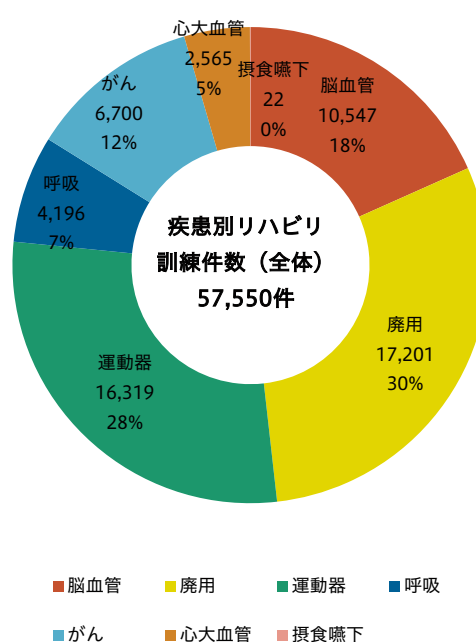
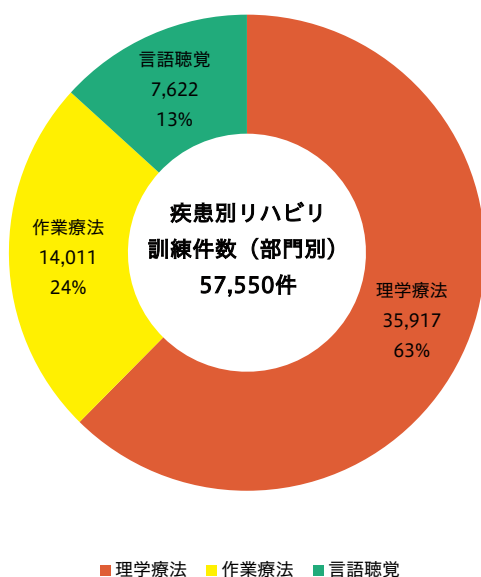
部及び個々の診療技術の向上を目指す

検査・治療実績

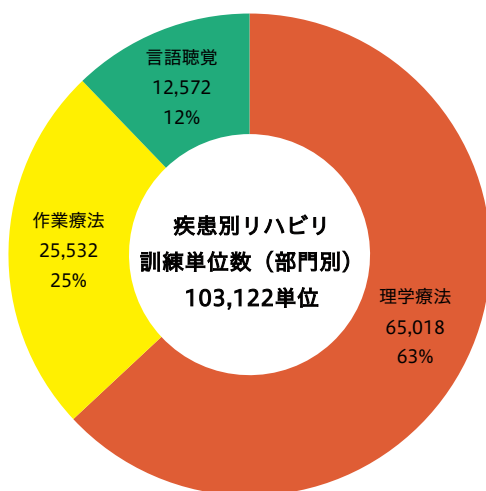
診療科別リハビリテーション処方状況



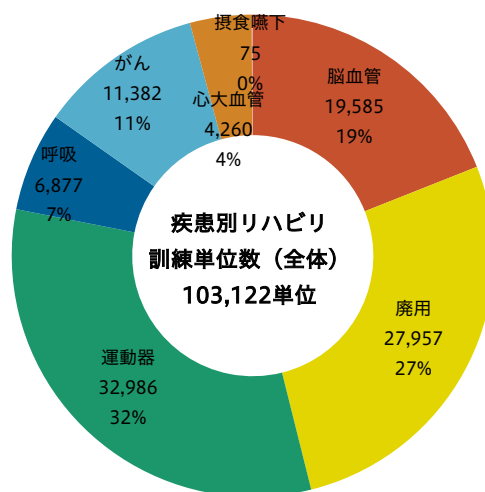
疾患別リハビリテーション実施状況



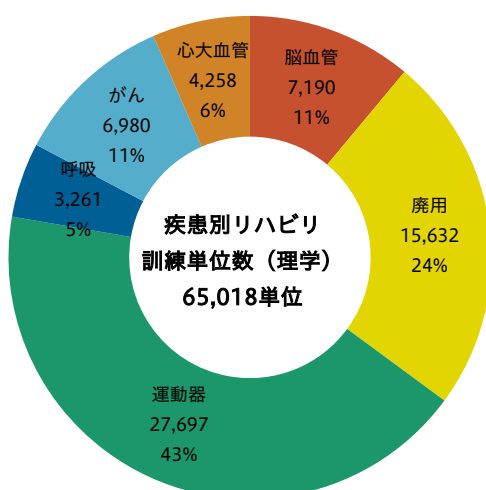
疾患別リハビリ訓練単位数



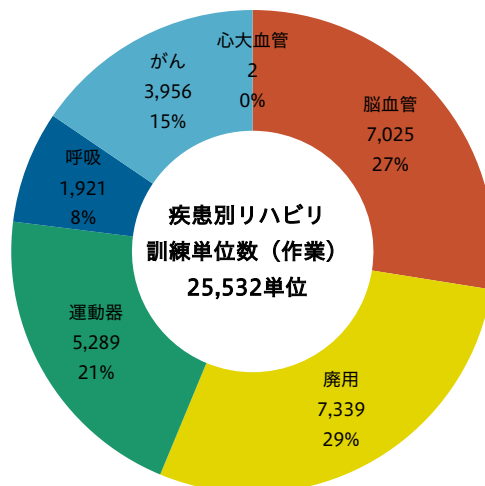
■ 理学療法 ■ 作業療法 ■ 言語聴覚



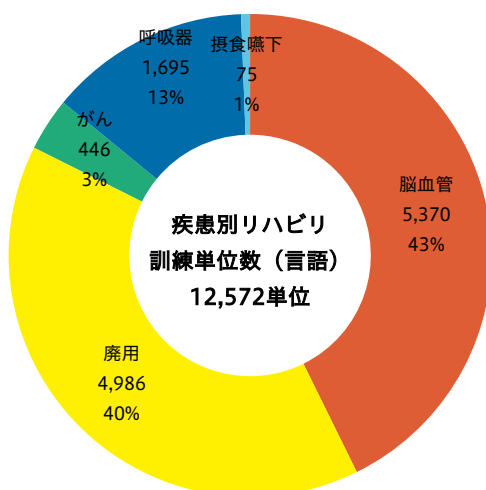
■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管 ■ 摂食嚥下



■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管



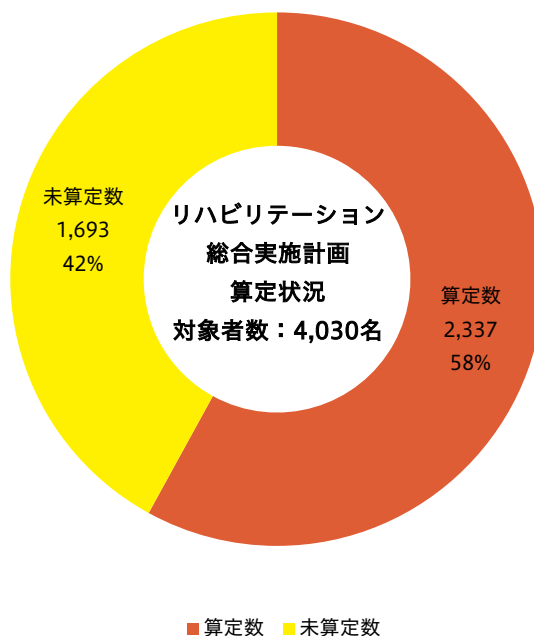
■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸 ■ がん ■ 心大血管



■ 脳血管 ■ 廃用 ■ がん ■ 呼吸器 ■ 摂食嚥下

リハビリテーション総合実施計画

対象患者数	4,030
算定数	2,337
未算定数	1,693
算定率	58.0%
未算定率	42.0%
算定点数	701,100
未算定点数	507,900



活動実績

その他

名称		開催地	年月日	講師
摂食嚥下障害と食事介助の基礎知識	新人看護研修	院内	令和2年4月	大城 盛彦
完全側臥位法による食事介助について	リハビリテーション科内研修	院内	令和2年6月	大城 盛彦
呼吸介助勉強会	病棟(7階)看護師研修	院内	令和2年10月	富永 涼子
食事介助の方法(ビデオ作製)	看護助手研修	院内	令和2年6月	島田 真紀子
呼吸器疾患患者のフィジカルアセスメント	院内勉強会(RST主催)	院内	令和2年7月	佐々木 正雪
移乗動作について	院内講習会(リハ科及び新人看護師対象)	院内	令和2年5月	島袋 雄光

医療技術部 年度総括



医療技術部部長
宮城 竜也

2020 年度は医療技術部も他部署同様に新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。

事業計画では例年同様各部署とも県内外で学会発表、座長、講師等を計画していましたが、全国的に新型コロナウイルスが流行したため、多くの学会が中止を余儀なくされ計画はほとんど実行できませんでした。そのような中でも、一部の学会はリモートを活用し積極的に発表を行なうなど各部署とも大変工夫し努力されていたように思います。

また病院にとって欠かせない必須の加算や、認定維持に必要な資格は各部署とも努力して更新を継続してきました。

2020 年度は特殊事情として新型コロナウイルスへの感染防止が大きく叫ばれた年でもありました。医療技術部は各部署とも感染防止を強く意識し安全安心な業務への取り組みが行われ、新型コロナウイルスの影響は最小限に抑えることができ、業務に支障をきたすような事態は避けられたと思います。

これは 1 人ひとりが感染防止に注意を注ぎ、チーム医療を重視した結果だと思われる、高く評価できるものと思われます。

人事に関しては各部署とも多少の退職者は出たものの所属長を中心に欠員補充を図るなど迅速な対応で業務に支障を出すことなく円滑に業務を継続できたことも評価できると思います。

2021 年度も新型コロナウイルスとの戦いは継続するとは思いますが、医療技術部一丸となりハートライフ病院を盛り上げていければと願っております。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 安村 公均

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネジャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 21 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

令和 2 年度 目標

1. 安全風土の醸成（インシデント報告件数 150 件 / 月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数 10 件 / 月以上）。
2. レベル 2 以上 400 件 / 年以下（うちレベル 3 以上 60 件 / 年以下）
3. 高齢化に伴うインシデント対策強化
4. スタッフ要因内服関連事象の抑止（払い出し時ミス 5 件 / 月以下）

職員数

総数

2 名

職種別

医療安全管理室	専従看護師	1 名
	専従事務	1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
安村 公均	医療安全管理者認定

活動実績

インシデント報告件数

毎年、安全文化の醸成、医療事故の低減を目標に活動しています。

医療安全管理システムにより、インシデント事例の原因分析が迅速に行えるようになりました。また、新しい分析手法を導入し、必要な対策がタイムリーに検討・実施され、現場で活かされるよう働きかけています。

特に患者誤認防止策では、直前照合を徹底することにより医療安全活動の本質である未然防止が強化され、その結果、薬剤関連のインシデント件数も減少傾向となっています。平成 27 年 10 月より医療事故調査制度が施行され、制度の理解を行うため勉強会、講演会などを開催し事故発生時の対応マニュアルなどの作成・整備を行っています。

今後は、患者・ご家族と共に行う医療安全を強化し、安全文化の確立に努めていきます。

研修実績

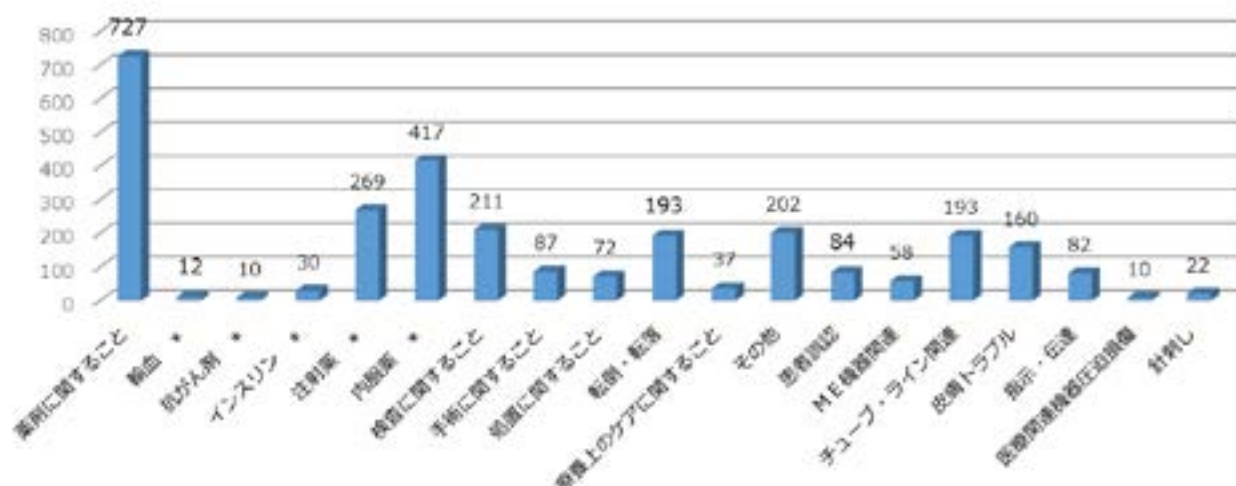
(データ作成 医療安全管理室 安村)

研修実施・参加

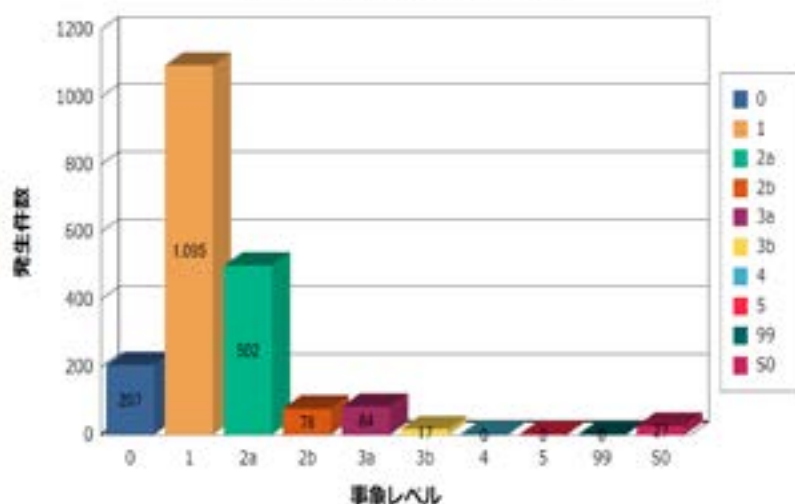
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	医療安全管理室	当院	2020 年 4 月 2 日	医療安全管理委員会委員長 (高良)
新研修医オリエンテーション	医療安全管理室	当院	2020 年 4 月 3 日	医療安全管理者 (安村)
看護部新入職者研修	医療安全管理室	当院	2020 年 4 月 6 日	医療安全管理者 (安村)
看護補助者研修	医療安全管理室	当院	2020 年 5 月 13 日	医療安全管理者 (安村)
中堅看護師研修	医療安全管理室	当院	2020 年 6 月 20 日	医療安全管理者 (安村)
新人看護師 3 ヶ月フォローアップ研修	医療安全管理室	当院	2020 年 6 月 26 日	医療安全管理者 (安村)
第 1 回 BLS 伝達講習	医療安全管理室	当院	2020 年 7 月 17 日	医療安全責任者 (久場) 医療安全管理者 (安村)
第 2 回 BLS 伝達講習	医療安全管理室	当院	2020 年 9 月 25 日	医療安全責任者 (久場) 医療安全管理者 (安村) 安全リンクナース (内間)
2 年目看護師研修 (1 回目)	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 5 日	医療安全管理者 (安村)
6 ヶ月看護師研修	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 7 日	医療安全管理室 (安村)
2 年目看護師研修 (2 回目)	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 8 日	医療安全管理室 (安村)
第 3 回 BLS 伝達講習	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 9 日	医療安全責任者 (久場) 医療安全管理者 (安村) 安全リンクナース (内間)
6 ヶ月看護師研修 (2 回目)	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 19 日	医療安全管理室 (安村)
3 年目看護師研修	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 26 日	医療安全管理室 (安村)
6 ヶ月看護師研修 (3 回目)	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 27 日	医療安全管理室 (安村)
3 年目看護師研修 (2 回目)	医療安全管理室	当院	2020 年 10 月 30 日	医療安全管理室 (安村)
ぐしかわ看護学校統合実習	医療安全管理室	当院	2020 年 11 月 9 日	医療安全管理室 (安村)
医療安全管理者養成講習会 アドバンスコース【大阪】	日本病院会	院外	2020 年 11 月 14 日	医療安全責任者 (久場)
事務総合職新人研修	医療安全管理室	当院	2020 年 11 月 18 日	医療安全管理室 (安村)
第 4 回 BLS 伝達講習	医療安全管理室	当院	2020 年 11 月 20 日	医療安全責任者 (久場) 医療安全管理者 (安村) 安全リンクナース (内間)
おもと会沖縄看護専門学校統合実習	医療安全管理室	当院	2020 年 11 月 27 日	医療安全管理室 (安村)
ぐしかわ看護学校基礎実習	医療安全管理室	当院	2020 年 11 月 30 日	医療安全管理室 (安村)
医療安全管理者養成講座	沖縄県看護協会	院外	2020 年 1 月 15-22 日	安全リンクナース (米須)
関西福祉大学学生安全講義	医療安全管理室	当院	2021 年 3 月 1 日	医療安全管理室 (安村)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
医療事故調査教育セミナー 2021	国際リスクマネジメント学会	web 研修	2021 年 3 月 11-12 日	医療安全管理室（安村・三上）
1 年目看護師研修（最終）	医療安全管理室	当院	2021 年 3 月 12 日	医療安全管理室（安村）
全職員対象医療安全研修	医療安全管理室	web 研修	2021 年 3 月 30 日	医療安全管理委員会委員長（高良）

事象区分毎発生件数



事象レベル毎発生件数



患者影響レベル

0: 当該行為が患者に実施される前に気づいた。

1: 当該行為が実施されたが患者に変化がなかった
【すぐ気づいた為、問題にならなかった。】2a: 当該行為が実施され一時的な観察が必要となった
【内部調査が必要になった】2b: 当該行為が実施され検査が必要となった
【内部調査に加え患者家族の対応が発生した】3a: 当該行為のため簡単な治療や処置を要した
【患者家族へ病院として謝罪や説明が必要になった】3b: 当該行為のため濃厚な治療や処置を要した
【患者家族への謝罪に加え何らかの補償が必要になった】

4: 当該行為により障害が残った

5: 当該行為が死因となった

99: その他(原因不明)

04: 患者サポート

※「S0」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議しています。

医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室
安村 公均

令和 2 年度は、①安全風土の醸成（インシデント報告件数 150 件／月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数 10 件／月以上）。②レベル 2 以上 400 件／年以下。うちレベル 3 以上 60 件／年以下。③高齢化に伴うインシデント対策強化による（チューブ・ライン関連、転倒転落、スキンテア）事象の低減。④スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化を目標とし活動しました。

①については、インシデント報告件数の目標を全ての月でクリアする事ができました。また、全体の約 65%が 0 ～ 1 レベル報告であり早い段階で報告され、対策検討することができたと考えられます。しかし、目標にしていた医局からのインシデント報告件数については月平均 4.2 件と目標に届かず、継続して取り組んでいきます。合併症などを報告するオカレンス報告についても月平均 30 件程度の報告が得られ、早期に対応する仕組みが定着できました。医局からもオカレンス報告としては月に 5 件程度あり、報告体制についても継続して検討していきます。

②については、657 件と目標達成には至りませんでした。また、3 以上にしても 92 件と目標達成できませんでした。③についてもチューブ・ライン関連で 43 件、スキンテア 18 件増。転倒転落で 26 件減でした。報告件数は、前年との差はありませんでしたが、高齢者を中心に事例 2 以上の報告が増えている為、対策計画、再評価などの強化に向けて取り組んでいきます。④の中で、払い出し時のミスは、5 件／月以下に向けて取り組み、4.8 件／月でした。事象区分で見ると内服に関連した事象が一番多く、要因の分析とスタッフ要因事象低減に向けて継続し取り組んでいきます。

次年度の課題

目標を①安全風土の醸成インシデント報告件数 150 件／月以上、オカレンス報告の定着、医局報告件数 10 件／月以上）②レベル 2 以上 400 件／年以下（うちレベル 3 以上 60 件／年以下）③高齢化に伴うインシデント対策強化④スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化とし取り組んでいきます。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。平成 24 年には 1 人目の感染管理認定看護師が誕生、平成 26 年には新たに感染管理認定看護師が 2 名加わりました。感染対策管理室の専従者を感染管理認定看護師 1 名が担い、病棟へ 1 名配置され認定看護師としての視点をもってそれぞれの役割を全うしています。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染対策を実践しております。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年 2 回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を平成 30 年に立ち上げ、検査技師 1 名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みを AST の中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT 耐性菌ラウンドや AST 抗菌薬適正使用ラウンドを実施。続けて ICT/AST ミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3 名

職種別

専従看護師 1 名

専従検査技師 1 名

一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間 克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物学)

活動実績

2020 年度の目標と実績（実績 / 目標）

MRSA 院内発生	34 件 / 50 件以下
針刺し切創・粘膜汚染	24 件 (15・9) / 15 件以下
アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	103.4% / 80% 以上

血液培養汚染率	1.6% / 3.0% 以下
血液培養複数セット採取率	94.5% / 90% 以上
AUD (抗菌薬使用密度) 2013 年度比	9% 増 / 20% 減

主な活動

1) 職員教育

全職員対象感染対策講習会（兼 AST 枠） 受講率 82.6% 【e ラーニング、youtube】

AST4 職種（医師、看護師、検査技師、薬剤師）対象講習会 受講率 83.6% 【e ラーニング、youtube】

2) 感染委員会の開催

月 1 回定例開催で 12 回の開催

感染小委員会月 1 回定例開催で 11 回の開催（①感染対策レクチャー②環境ラウンド、フィードバック）

3) アウトブレイク調査と対策介入

入院病棟における患者及び職員の疥癬集団感染への対策介入

入院病棟における患者及び職員の COVID-19 集団感染 / 濃厚接触者発生への対策介入 【2 病棟】

4) 職業感染予防および職員フォロー

針刺し事例 24 件への介入（状況調査、解決案検討と提示）、針刺し後フォローを要する職員発生なし
結核患者 5 症例発生に対し、職員接触者検診 15 名フォロー（追跡フォロー対象選定、行政連携など）
職員の COVID-19 濃厚接触者 104 名の就業制限・検査のフォロー

5) 厚生労働省サーベイランス（JANIS）への参加

全入院患者部門サーベイランス（耐性菌）、検査部門サーベイランスそれぞれの集計・管理・報告

6) 感染防止対策加算における連携施設との活動

加算 1 施設間の相互ラウンド、加算 1・2 施設間のカンファレンスの実施（オンライン開催）

7) AST 活動

クリニカルパスの内容見直し（キノロン内服の削除）

整形外科術後感染対策における、術前・術中抗菌薬投与に関する見直し、術前 MRSA スクリーニングと除菌の運用整備

主要抗菌薬の腎機能調整投与量マニュアル改訂

届出抗菌薬の届出方法整備

届出抗菌薬バンコマイシン・チエクール・メロペン使用のモニタリング・介入（348 件介入し 275 件提案採用、介入採用率 79%）

菌血症患者のモニタリング・介入

血液培養マニュアル改訂（小児採血量）、血液培養の 1 セット提出と汚染事例の監視・介入

主要な菌の院内アンチバイオグラム報告

連携のある介護老人保健施設とクリニックへ推奨する経口抗菌薬に関する資料案内

7) 新興感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対する法人対応の整備、院内関係部門や委員会との調整、現場対応指導・指揮、院外機関や行政・法規などへの対応や調整

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
第 13 回沖縄県感染管理認定看護師会	オンライン開催	2020 年 5 月 16 日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也、石川由希
第 14 回沖縄県感染管理認定看護師会	オンライン開催	2020 年 9 月 19 日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也
沖縄県看護協会感染管理認定看護師教育課程講義「VAP サーベイランス」	沖縄県看護協会	2020 年 10 月 7 日	沖縄県看護協会	城間克也（講師として）
第 90 回日本感染症学会西日本地方学術集会	福岡県	2020 年 11 月 6 日	日本感染症学会	宮城健（一般演題 Web 発表）
沖縄県看護協会研修「感染対策の基礎知識 I」	沖縄県看護協会	2020 年 11 月 10 日	沖縄県看護協会	城間克也（講師として）
第 35 回沖縄県看護研究学術集会	沖縄県看護協会	2021 年 2 月 20 日	沖縄県看護協会	城間克也（シンポジストとして）
第 15 回沖縄県感染管理認定看護師会	オンライン開催	2021 年 3 月 6 日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2020 年 4 月 1 日	城間克也	新入職者全員
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE 着脱、手指衛生	当院	2020 年 4 月 6 日	城間克也、石川由希	看護部新入職者
針刺し事故の対応	当院	2020 年 4 月 8 日	城間克也	看護部新入職者
補助者入職オリエンテーション	当院	2020 年 5 月 13 日	城間克也	看護補助者
接触感染予防策について	当院	2020 年 6 月 26 日	城間克也	看護部新人 3 ヶ月フォロー
疥癬について	当院	2020 年 7 月 14 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンク看護師
COVID-19 について	当院	2020 年 9 月 8 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンクスタッフ
結核について	当院	2020 年 10 月 13 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンク看護師
2020 年度 4 職種対象 AST 講習会	当院	2020 年 11 月 1 日	仲吉博亮	医師、看護師、検査技師、薬剤師
院内感染対策について	当院	2020 年 11 月 9 日	城間克也	ぐしかわ看護専門学校 統合実習
療養環境の環境整備について	当院	2020 年 11 月 17 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンク看護師
院内感染対策について	当院	2020 年 11 月 27 日	城間克也	おもと会沖縄看護専門学校 統合実習
院内感染対策について	当院	2020 年 12 月 2 日	城間克也	ぐしかわ看護専門学校 基礎実習
COVID-19 濃厚接触防止について	当院	2020 年 12 月 8 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンク看護師
COVID-19 について	当院	2020 年 12 月 24 日	城間克也	5 階病棟看護師
COVID-19 について	当院	2021 年 1 月 12 日	城間克也	院内感染対策小委員会 リンク看護師

名称	開催地	年月日	演者	対象
2020 年度全職員対象感染対策講習会	当院	2021 年 1 月 28 日	佐藤直行	全職員対象
カテーテルと医療関連感染	当院	2021 年 3 月 12 日	城間克也	看護部新人 1 年目フォロー
院内感染対策について	当院	2021 年 3 月 1 日	城間克也	関西福祉科大学健康科学実習

2021 年度目標

- ・ MRSA 院内発生 50 件以下
- ・ アルコール製剤使用達成度（推奨使用量に対し） 100% 以上
- ・ 手指衛生遵守率タイミング① 80% 以上
- ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15 件以下
- ・ 血培汚染率 3.0% 以下
- ・ 血液培養複数セット採取率 90% 以上

感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室
城間 克也

2020 年 1 月に原因不明の肺炎発生が中国で報告され、その後すぐに新型コロナウイルスによる感染症が特定され、新年度を迎える前には県内発生も多数にのぼり、4 月には当院においても初めての COVID-19 患者の入院対応を行いました。それから 1 年の間、毎回更新する流行の波が 3 回あり、その時々で COVID-19 対応のいくつもの問題や課題に法人全体で立ち向かい乗り越えてきました。その中で感染管理の立場として、エビデンスに基づいた対応策の提案や現場指揮などを行ってきました。しかし第 2 波にあたる 8 月には職員の濃厚接触者が多数発生してしまいました。患者・職員の安全と安定した事業継続を目的に、業務中における濃厚接触予防策の整備と現場指導の中心となり活動を行いました。ワクチンの効果に期待するところですが、引き続き濃厚接触防止の徹底強化を続けてまいります。

職業感染対策における職員の針刺しについて、前年度発生数の多かった特定部署への介入を試みました。部署が率先し対応策を実践するよう援助活動を行い、結果前年度との比較では針刺しが減少しました。同じく職業感染の範囲では入院病棟での患者・職員間の疥癬集団発生が生じました。調査においては標準予防策の不備不足が確認され、標準予防策の重要性が示され、現場での指導や実践といった介入を長期間におよび行いました。基礎基本に立ち返り、現場レベルで標準予防策を実践出来るスタッフ育成や風土作りを意識した介入を次年度も行っていく予定です。

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) は業務の範囲を広げつつ、昨年度の課題について取り組んでまいりました。適切な検体採取については、昨年度同様に血液培養の 1 セットのみ提出事例と汚染事例 (コンタミ) について介入を行った結果、複数セット採取率が 94.5%、汚染率が 1.6% と目標達成継続かつ更なる改善が得られました。採取セット数も増え (2020 年度:1000 患者・日当たり採取セット数 72 セット)、陽性率が 14% と適正值に入ってきました。培養検体提出に対する活動や啓蒙が上手くいき、広域抗菌薬を投与する際は血液培養を提出するようになってきました。

抗菌薬使用量については目標の 2013 年度数値からの 20% 減は達成出来なかったものの、タゾピペ / クラビット / チエクールなどの使用は減少を認め、特にチエクールの減少が顕著でカルバペネム系薬のみの 2013 年度数値との比較では 30% 程度減少しました。反対に、セファゾリン / セフメタゾール / ペニシリン G などの使用は増加を認め、全体的な傾向として広域抗菌薬使用量の減少と狭域抗菌薬使用量の増加を示す状況となりました。

薬剤耐性菌の動向としては、特に大腸菌のキノロン系薬など耐性が依然として高い傾向があるため (2020 年度大腸菌のキノロン系耐性率: レボフロキサシン 36.2%)、来年度はこれらグラム陰性桿菌の耐性化を抑制する目的で院内や連携先クリニックとも抗菌薬適正使用の啓蒙を行っていきます。

課題であった院内講習会の低い受講率については、e ラーニングや Youtube で動画配信を行い理解度テストで受講率改善を図りました。その結果、1 回目が 83.6%、2 回目が 82.6% と良好な受講率が得られました。引き続き理論的な抗菌薬療法を提案し、安全で効果的な感染症治療を達成できるように取り組んでいきます。

新年度も ICT・AST の実働部隊が感染制御と抗菌薬適正使用支援という大きな役割を全うし、法人における医療の質の改善に寄与していきます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 当真 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
当真結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本臨床栄養代謝学会

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

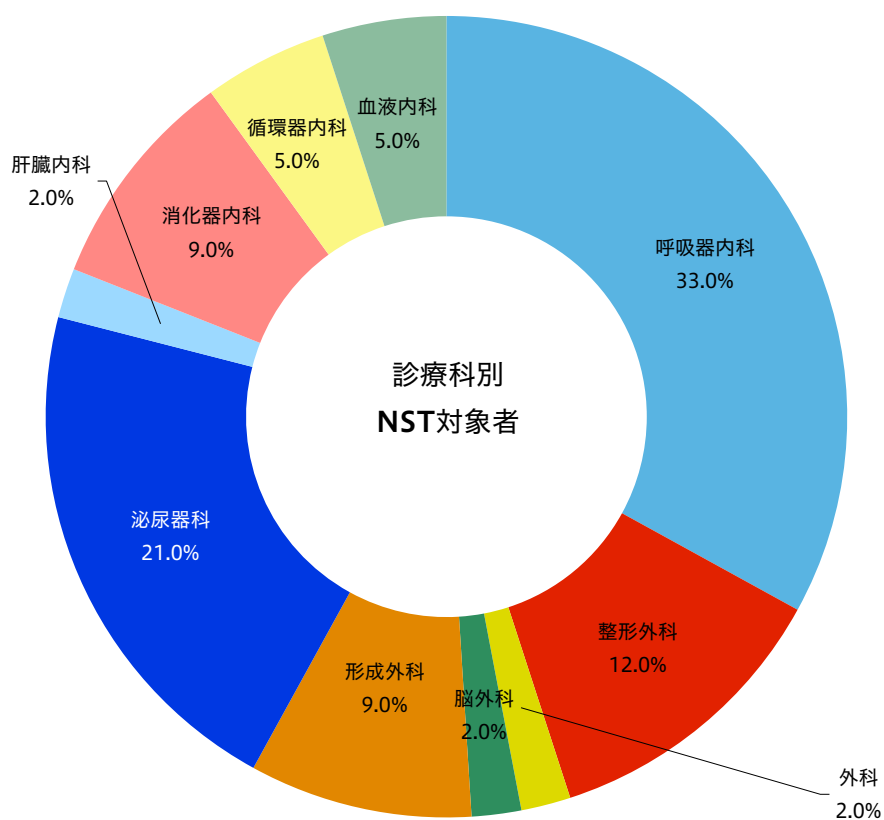
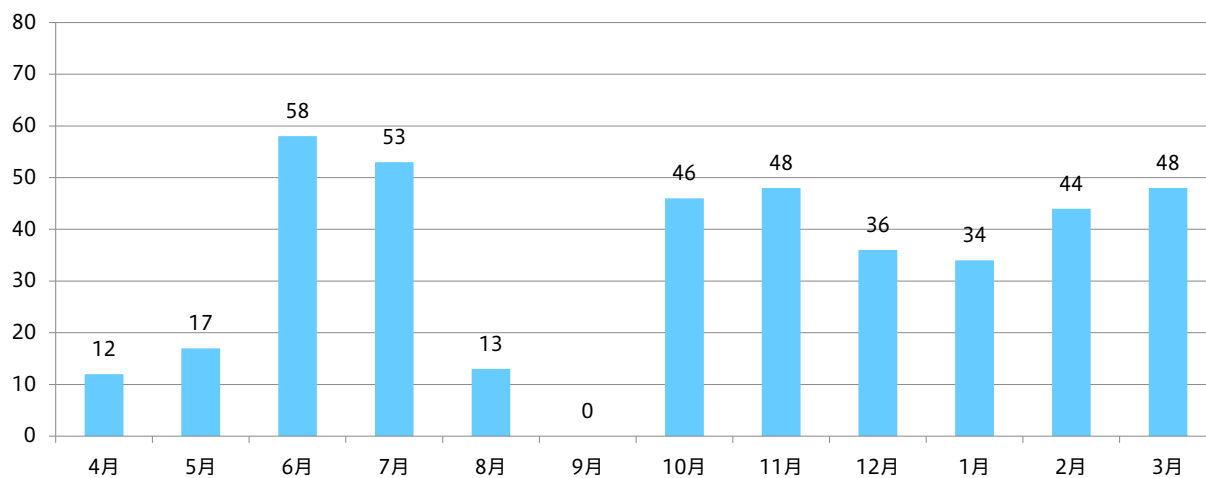
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
薬剤性嚥下障害と口腔乾燥（オンライン）		院内	2020 年 12 月 10 日
口腔ケアセミナー（オンライン）	大塚製薬工場	院内	2021 年 1 月 26 日
食支援WEBセミナー（オンライン）	メディバンクス株式会社	院内	2021 年 2 月 16 日

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室
当眞 結子

2020 年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 29 名、医療技術部 11 名、事務部 1 名で構成しています。栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースは NST 回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを、毎月第 2 月曜に NST 委員会を実施しています。

また、創傷カンファレンスへも参加し褥瘡委員会と協働で活動する事で褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

カンファレンスでは、適切な静脈経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い、フィードバックを重ね栄養状態の改善に努めました。

平成 30 年度に設立された嚥下チームへも参加し、毎週水曜日の病棟ラウンドとカンファレンスにて高齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように支援しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 35 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 34 名

職種別

指導医	4 名	内視鏡技師 I 種	4 名
専門医	8 名	II 種	3 名
その他	1 名	看護師	10 名
		助手	4 名

担当医師

	氏名	学会認定など
名誉院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
院長	佐久川 廣	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
大腸・肛門外科部長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医
肝臓内科医長	圓若 修一	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
	洲鎌 理知子	
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	仲舛 拓	日本内科学会認定内科医

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

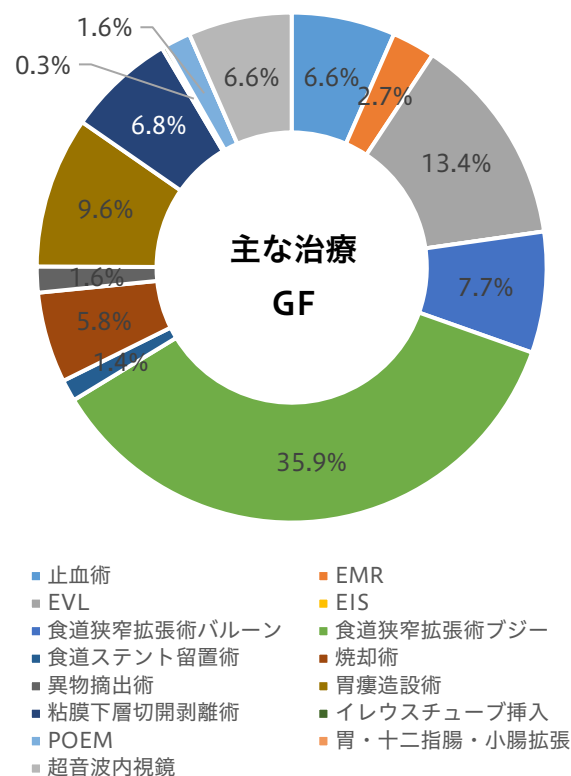
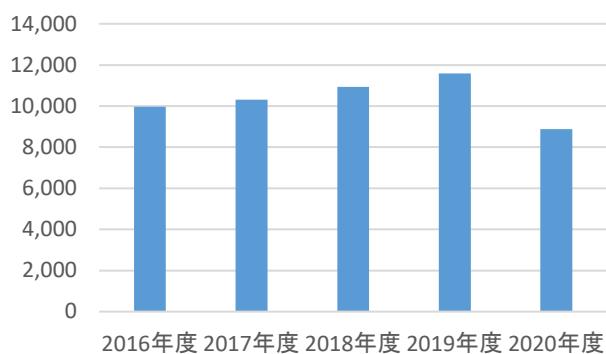
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

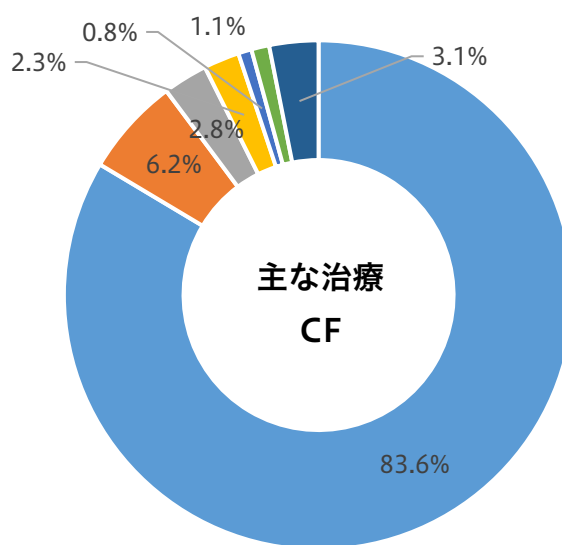
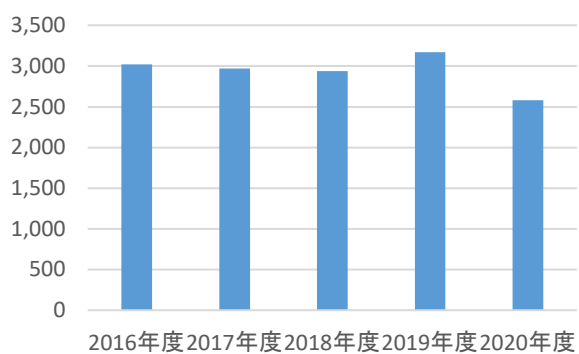
種別	合計
胃内視鏡	8,872
大腸内視鏡	2,581
ERCP	147
小腸内視鏡	5
気管支鏡	56
上部消化管（内訳）	
止血術	24
EMR	10
EVL	49
EIS	0
食道狭窄拡張術バルーン	28
食道狭窄拡張術ブジー	131
食道ステント留置術	5
焼灼術	21
異物摘出術	6
胃瘻造設術	35
粘膜下層切開剥離術	25
イレウスチューブ挿入	1
POEM	6
胃・十二指腸・小腸拡張	0
超音波内視鏡	24

下部消化管（内訳）	
EMR	295
止血術	22
直腸狭窄拡張術	10
異物摘出術	0
超音波内視鏡	0
粘膜下層切開剥離術	8
イレウスチューブ挿入	3
ステント	4
整復術（腸捻転）	11
マーキング	0
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	43
乳頭拡張術（EPBD）	16
総胆管結石砕石 / 採石術	42
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	3
胆管 stent	123
膵管 stent	38
超音波内視鏡	9
気管支鏡（内訳）	
経気管支肺生検（TBLB）	32
肺胞洗浄（BAL）	14
異物摘出術	0
ステント挿入	0

GF 件数

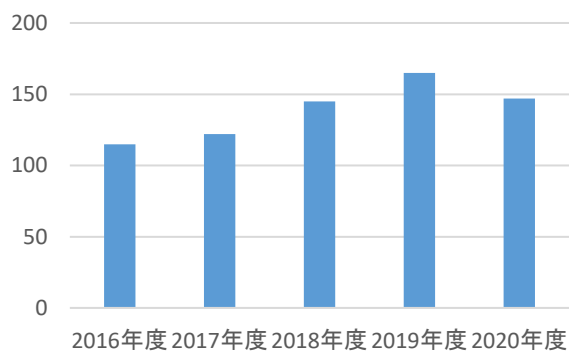


CF 件数

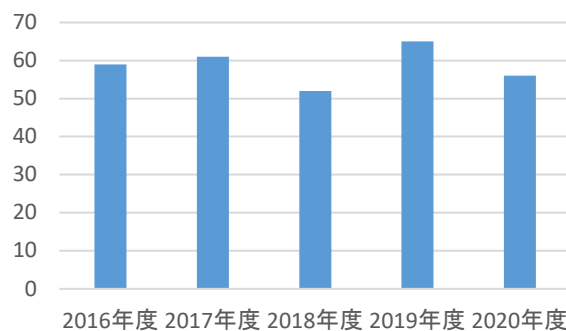


- EMR
- 止血術
- 直腸狭窄拡張術
- 粘膜下層切開剥離術
- イレウスチューブ挿入
- ステント
- 整復術（腸捻転）

ERCP 件数



BF 件数



内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

2020年の内視鏡件数は新型コロナウイルスの影響を受けて昨年より大幅に減少しました。今年も依然としてコロナウイルスは県内において蔓延している状況ですが、これまでに得られた経験より、十分な感染対策を講じて検査を行って参ります。また、沖縄県の大腸がん死亡率の高さを考えますと、下部内視鏡検査の件数を増やせる体制を今後整えて行くべきであると考えます。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 大城 義人

2021 年 4 月 1 日付で予防医学センター長を拝命致しました大城義人と申します。前センター長の謝花隆光医師により築き上げられたセンターを引き継ぎ、掲げられてきた「受診者の視点にたった人間ドック健診」という基本理念を今後も第一義とし、継続してゆくよう務めていきたいと存じます。

さて、私たち予防医学センターは、地域の多くの皆様に人間ドック・健診を受けて頂き、病気をできるだけ早期に発見し早期治療につなげられるよう、また心臓病や脳卒中等の心臓血管病の発症予防に貢献し、さらには糖尿病・高血圧症等の生活習慣病を抱える方々が安心して継続して日常生活を送り、健康長寿が実現できるようお手伝いさせていただく場を引き続き目指しております。受診者目線で個々人の現実の日常生活にできるだけ即した対策を実行できるよう考え提案し、心身両面においてサポートできるよう心がけている所です。人間ドック健診専門医・指導医のみならず、看護師・保健師・放射線技師・臨床検査技師・医療クラーク・医療事務の各職員が、皆で一体となりチーム医療を実践していこうという場所です。消化器内科や産婦人科・放射線科・脳神経外科・循環器内科・眼科の各科専門医・スタッフの直接参画のご協力を得ながら、人間ドック健診受診後も当院各臨床診療科や近隣他施設とネットワークを作って繋がり、各科専門医・コメディカルスタッフの手厚く分厚い支援・連携によって成り立っております。

当センターは、2015 年に日本人間ドック学会と日本総合健診医学会合同の認定基準による人間ドック健診施設機能評価の公式認定を頂き、人間ドック健診専門医研修施設となりました。2018 年 12 月には本館 8 階全体が人間ドック健診に特化した専用フロアとして生まれ変わりました。広々とした空間で眺望よく快適に人間ドック健診を受けていただけます。年間総受診者数は 2015 年度 14,696 名、2016 年 16,963 名、2017 年 17,470 名、2018 年 18,231 名、2019 年 19,098 名と推移し、徐々に受診者を増やすことができております。今後も受診者の皆様のご期待に応え、築かれた信用を維持できるよう日々励んでいきたいと思っております。

施設認定

- ・日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定
- ・全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

53 名

職種別

医 師	8 名	臨床検査技師	5 名
保 健 師	5 名	一般事務	12 名
看 護 師	14 名	ク ラ ーク	8 名
管理栄養士	1 名		

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	謝花 隆光	消化器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
予防医学センター医長	大城 義人		日本人間ドック学会人間ドック健診指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、医学博士
常勤	大城 志乃	内科	日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会認定医、日本内科学会認定内科医、検診マンモグラフィ読影認定医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本医師会認定産業医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診指導医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		
非常勤	楚南 いずみ		

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
河上 裕一	第1種衛生管理者免許
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

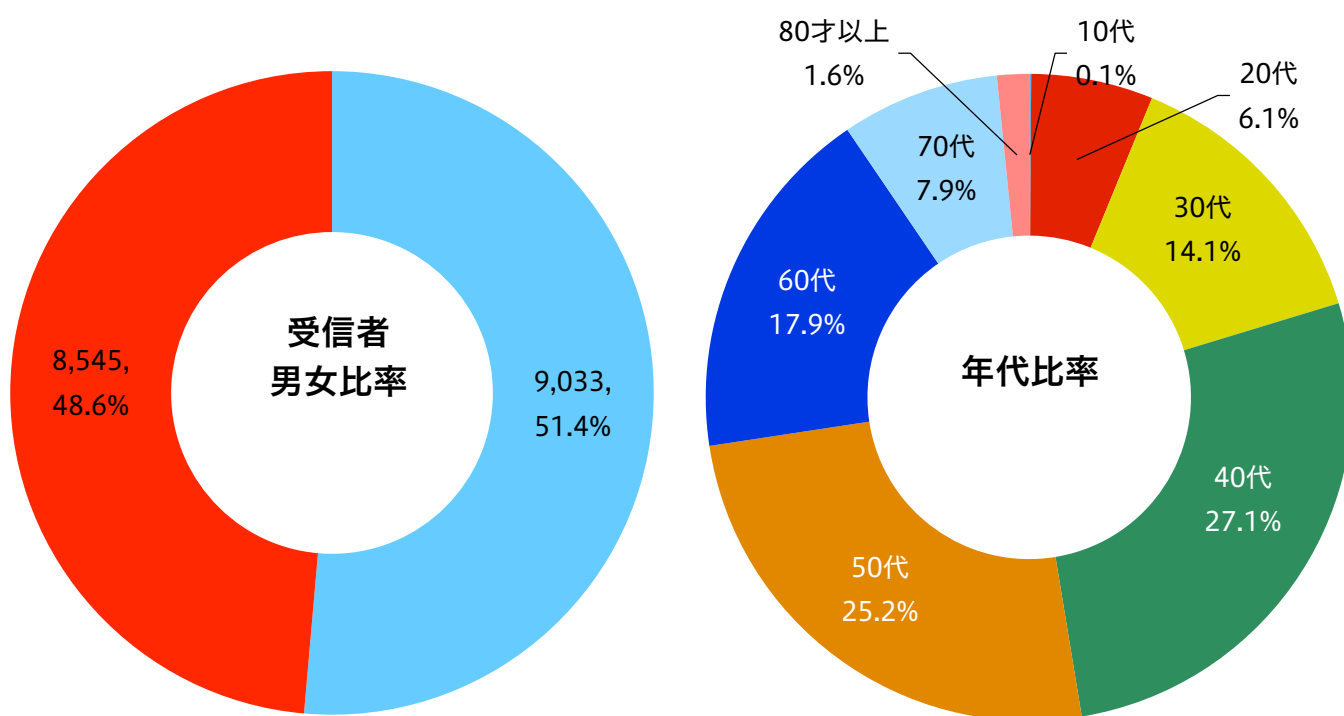
予防医学センター 理念

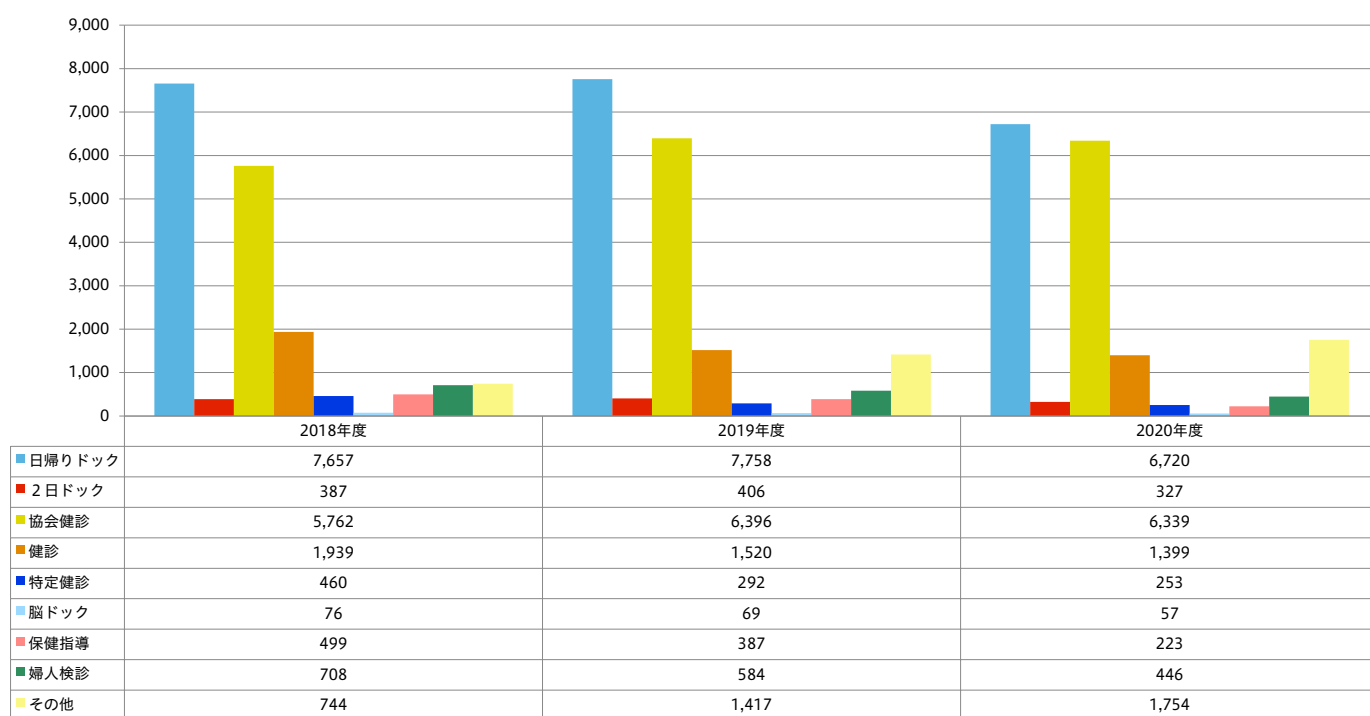
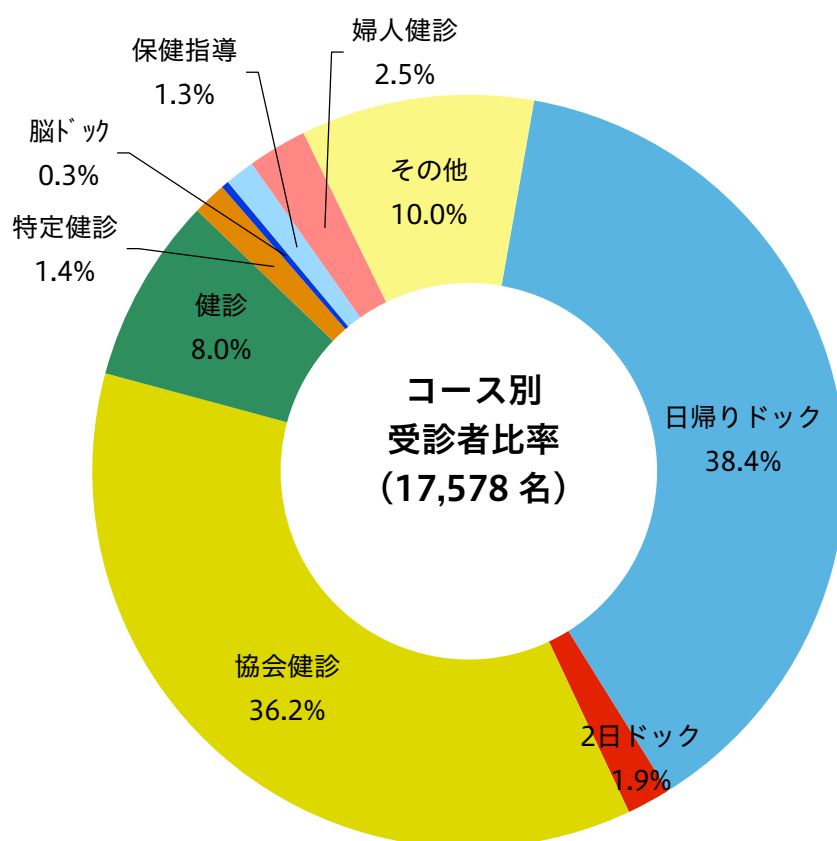
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

予防医学センター 運営方針

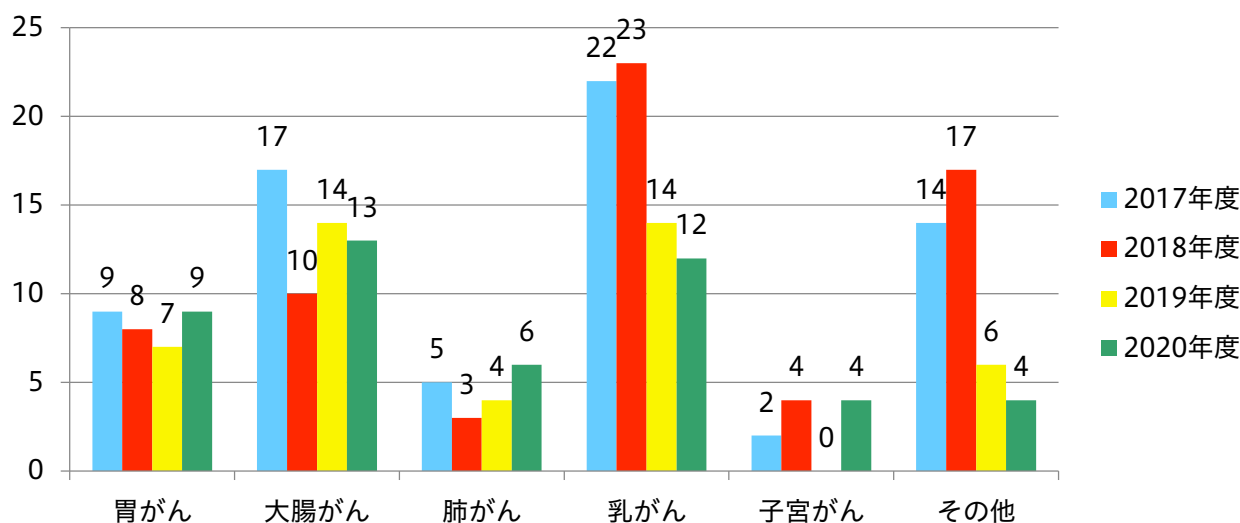
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします

2020 年度 ドック・健診の実績





悪性腫瘍発見数



活動実績

院外研修

演題名	主催（学会名）	場所	日時	参加者（人数）
2020 年度 沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	沖縄県看護研修センター	2020 年 7 月 18 日	高宮
人間ドック学会	人間ドック学会	オンデマンド配信	2020 年 11 月 26・27 日	大城義人・大城志乃・奥島しょう子
ブラッシュアップ研修	人間ドック学会	オンデマンド配信	2020 年 11 月 14 日	桃原・友寄
禁煙支援者研修会	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2020 年 12 月 19 日	桃原・山里

院内研修

演題名	主催	場所	日時	参加者（人数）
医療安全研修	医療安全管理室	2 階講堂	2020 年 6 月 20 日	安次富
中堅研修	看護部	2 階講堂	2020 年 7 月 3 日～11 月 27 日	与那城
BLS インスト	ER エイド	2 階講堂	2020 年 10 月 9 日	石川
師長・主任合同研修	看護部	2 階講堂	2020 年 10 月 6 日 3 月 16 日	高宮・安次富・屋比久
助手研修	看護部	2 階講堂	2021 年 2 月 18・19 日	大城・友利・伊佐・仲宗根
薬剤耐性菌（AMR）抗菌薬適正利用 急性気道感染症	感染対策室	当院・e ラーニング	2021 年 2 月 1 日～3 月 31 日	43 名
新型輸液ポンプの注意点	ME 機器管理	当院・e ラーニング	2021 年 1 月 28 日～	17 名
重症度医療看護必要度について	総務課	当院・e ラーニング	2021 年 3 月 16 日～	25 名
DPC（複勝病名）勉強会	総務課	当院・e ラーニング		25 名

部署内研修

演題名	講師	場所	日時	参加者（人数）
新型コロナ対策（新型コロナに関する健診取り扱いについて）	与那城	予防医学センター	2020 年 7 月 22 日～8 月 11 日	26 名
運動指導研修（健康相談指導者対象）	長嶺運動指導士	予防医学センター	2020 年 9 月 25 日	6 名
「睡眠と生活習慣」について	大城義人先生	予防医学センター	2020 年 9 月 29 日	17 名
BLS 伝達講習	石川	予防医学センター	2020 年 11 月 2 日	22 名
防災訓練	比屋根施設係	予防医学センター	2020 年 11 月 16 日	19 名

予防医学センター 年度総括



予防医学センター
センター長
大城 義人

2020年度の予防医学センターは、未曾有のコロナ禍へその都度対応できるよう感染対策等、できるだけ柔軟に改善を繰り返し、基本検査が継続できるよう試みて参りました。当初第一波到来のときは、これまで誰も経験したことない感染症流行ということから、緊急事態宣言下では休診とせざるを得ない状況となりましたが、感染規模縮小とともに再開されました。いわゆる基本的感染対策から、内視鏡検査に際し相応の対策を行いつつ受診者数を制限して実施する状況でした。無症状者で胸部単純レントゲンの異常を認めるケースがありましたが、外来医師スタッフの速やかなご協力によって、当該受診者の内科外来受診・PCR検査の実施へと切れ目ない連携が実現し、幸いにも結果として受診者から新型コロナ感染者が出現することなく経過しました。

2020年度は医局内科の先生方の診察応援を頂きながら予約枠拡大を図り、受診者総数増加を目標として開始されましたが、上記の状況から、2020年度受診者総数は17,578名と年度目標数を達成できなかったことは勿論、過去最高を記録した前年度(190,981名)に比べ大幅な減少(-1,520名)となりました。

しかし、一方では、診察医師が一日最大5名体制、さらに内視鏡センターをはじめ、臨床検査科検査技師の大きな貢献を中心に放射線科等各部署の多大なるご協力をいただき、年度末の1月から3月の受診者数が前年度同月に比べ増加に転じることができました。また皆様の病院受診控えも懸念されましたが、できる限りの感染対策を行いつつ、人間ドック健診を行うことは感染リスク増加を伴わず受診者数増加へ繋げることできる可能性が示唆されました。

2020年度も診察や読影にご協力して下さった医局の先生方をはじめ、臨床検査科技師、放射線科技師の皆様や、看護部、臨床診療（外来受診から入院）、関連各部署の皆様の献身的なご協力を持って、コロナ禍においても何とか人間ドック健診を遂行することができました。

2020年度のこの経験は、関連各部署の横断的協働連携（顔の見える繋がり）というものが、人間ドック健診受診者の安全にいかに関わる大切なことであるかを改めて認識することとなり、各部署の皆様には心からの感謝の念に耐えません。

患者総合支援センター

部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

当センターでは、患者さんがその人らしく、地域に戻ってからも安心して生活が送れるように、院内の様々な多職種チームで連携して支援しています。

①患者にとって良質な入退院支援の流れになっているか。②スタッフのためになっているか。③持続できる取り組みかの３点を意識しながら体制を整えてきました。

地域の関係機関とも連携を図り、外来受診から入院、退院後を見据えた支援を心掛け、患者さんご家族の総合窓口として、多職種スタッフが協力して対応、安心して治療を受けていただくことを目指しています。

地域医療の中核を担う急性期病院として、患者さんや地域医療機関からも信頼される病院を目指し、今年度も更に多職種との連携を密にし、質の向上を図るとともに、顔の見える関係づくりのため、症例検討会や勉強会などもコロナウィルス感染対策をしつつ積極的に行なっていきます。

職員数

総数

22 名

職種別

医師	1 名	入退院調整看護師	1 名
一般事務	6 名	看護師	6 名
医療ソーシャルワーカー	6 名	クラーク	2 名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	6
介護支援専門員	3
医療福祉連携士	1

基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

地域医療連携室

業務内容

- ①紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ②各医療機関への広報活動に関する業務
- ③勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ④院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

2020 年度総括

コロナウィルスの影響で登録医訪問、市民公開講座、無料健康講座のすべてが実施で出来ず紹介件数、逆紹介件数も大幅に減少したが紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の承認要件をクリアできた。

感染対策をしっかりする事で職員からコロナウィルス感染者を出さなかった。

2021 年度目標

- ①日本病院学会での演題発表
- ②社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上
- ③地域医療支援病院としての役割強化
目 標：紹介率 81.2%以上 逆紹介率 75.8%以上
- ④新規紹介患者への取り組みの更なる強化
登録医療機関の新規開拓（12 件／年）
登録医訪問（60 件／年）
- ⑤リモートによる無料健康講座の構築（新型コロナウイルス対策）

入退院支援室

入退院支援室業務内容

- 1 入院支援（外来から病棟への橋渡し）
 - ・患者情報の収集
 - ・入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
 - ・入院に必要な書類の作成・説明
 - ・患者・家族の心理的支援
 - ・加算取得に関わる書類作成・患者説明
- 2 院内や地域との橋渡し・調整
 - ・病棟入退院支援看護師・MSW と連携し 7 日以内に共同カンファレンス
 - ・病棟入退院支援看護師・MSW・多職種で退院に向けて支援
- 3 病棟回診 患者カンファレンスへの参加
- 4 退院前合同カンファレンスへの参加
 - ・患者家族・在宅ケアチームとの顔合わせ
 - ・退院後も継続する課題・解決策を検討
 - ・必要時家屋調査・退院後訪問
- 5 地域の医療機関との転院調整
- 6 入退院支援に関する院内のスタッフ教育・多職種への啓蒙活動
- 7 在宅への仕組みづくり
 - ・多職種で連携のリーダーとなり、在宅でも安心して生活できる退院支援の仕組み作り

業務実績

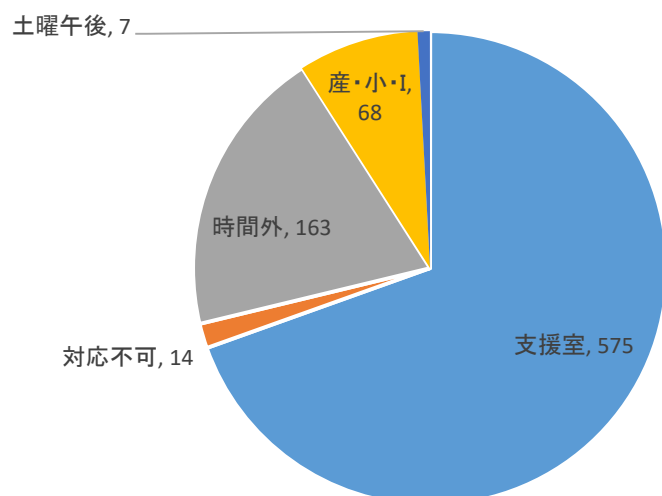
2020 年度の活動

年月日	名称
4 月	各病棟へ入退院支援看護師を配置 業務確立 看護師介入による退院支援の開始 入退院支援加算取得 目標： 平均 300 件 / 月 入退院支援看護師会（定例委員会 1 回 / 月）
5 月	待ち時間短縮への取り組み 各診療科にてアナムネ用紙の入力（内科・小児科除く）
6 月	65 才以上で全診療科の予約入院患者で対象者に対し総合機能評価実施 入院診療計画書未作成・取得漏れ対策への取り組み
8 月	各病棟、入退院支援看護師の業務評価
1 月	アナムネ用紙見直し後運用開始
2 月	I C U 入院患者 支援室介入開始
3 月	退院支援計画書見直し後 試験運用

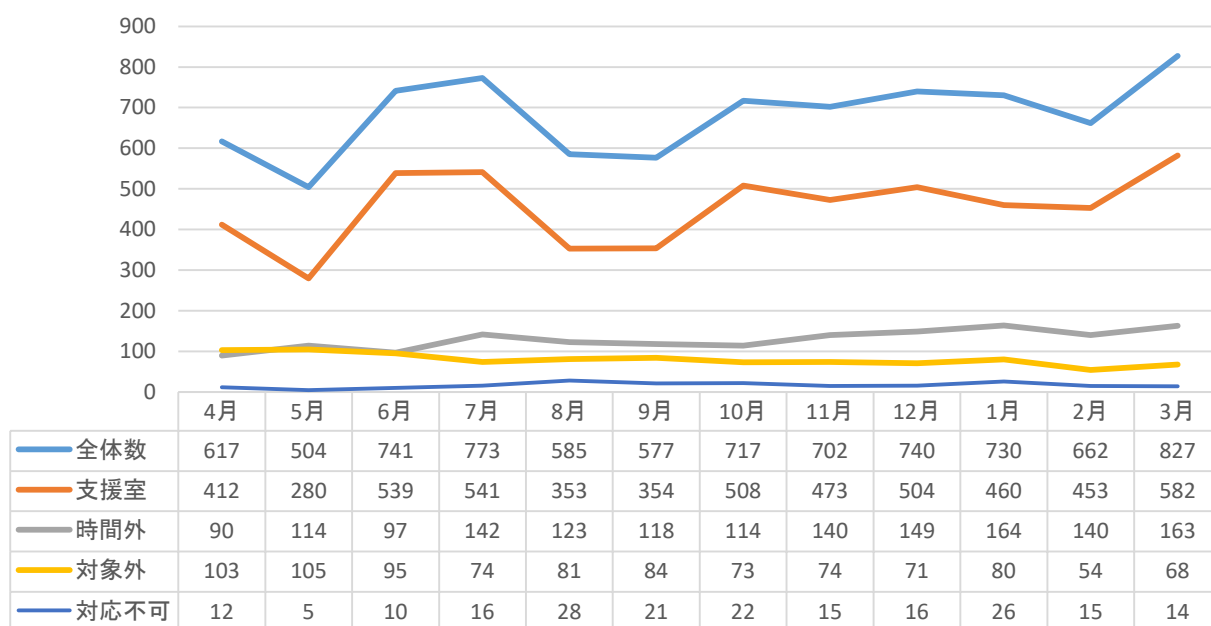
院外研修実績

名称	開催地	開催年月日	参加者
沖縄県看護職認知症対応力向上研修	沖縄県	10/5 ～ 10/7	宮城 愛子

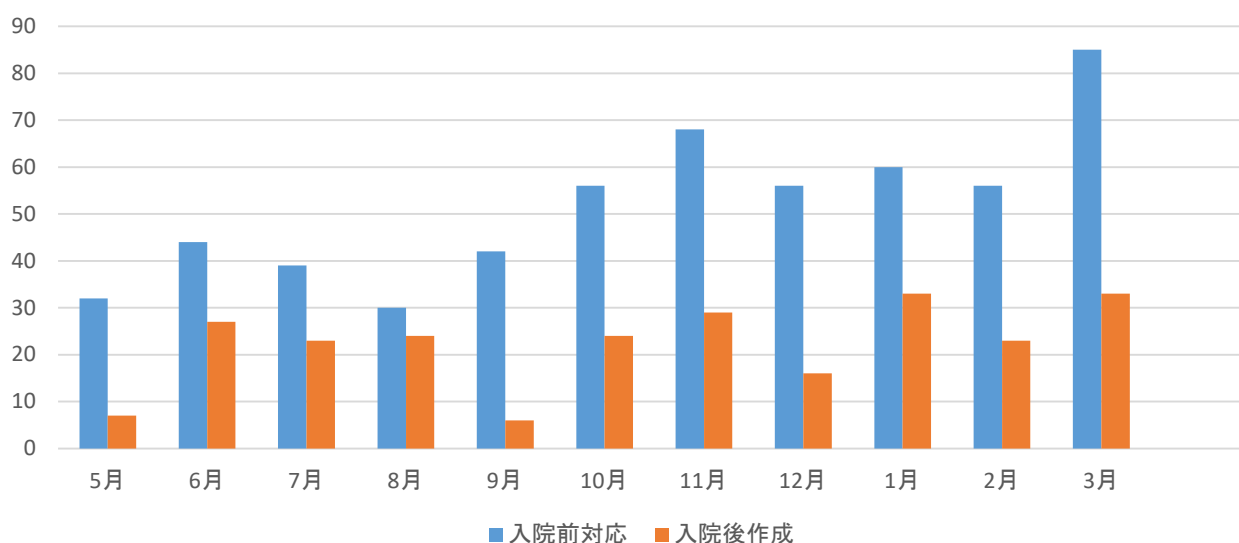
2020 年度入退院支援室対応割合



2020 年度入退院支援室患者対応数推移



2020 年度入院診療計画書対応依頼件数（予約入院患者）



2020 年度総括

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行より、感染対策、濃厚接触にならない対応をする 1 年でした。コロナ患者の入院病床確保により、年間入院件数の減少はありましたが 3 指標・DPC 期間 II を意識した入退院調整を行ってきました。また、看護師は多職種と連携し入院時から退院後を見据えた指導、意志決定に関わり患者が地域に戻ってから安心して生活が送れるように関わってきた結果、退院支援件数も増え加算取得に繋げることができました。

次年度も DPC II 期間を意識した入退院調整、質の高い支援を目指し知識向上・スキルアップ図ります。

2021 年度の取り組み

- ・ 3 指標目標 新規入院患者数（810 人 / 月）病床利用（285 床）在院日数（10.7 日）
定数を遵守した病床管理 重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用
（各診療科 各部署との連携強化）
- ・ 退院調整・退院指導の充実（病棟入退院支援看護師の業務拡大 地域担当者との連携）
- ・ 入院時に必要な書類の管理徹底 算定可能な加算取得（院内連携の強化）
入退院支援加算：480 件 / 月
入院支援加算：250 件 / 月
総合機能評価加算：100 件 / 月

医療福祉相談室

業務実績

地域包括ケアに関する外部会議等

名称	開催年月日	参加者
西原町 高齢者虐待・障がい者虐待防止対策協議会	通年	川満
西原町 高齢者・障がい者虐待防止対策協議会実務者会議	通年	川満
宜野湾市 在宅医療・介護推進会議	通年	西田
西原町・中城村・北中城村 在宅医療・介護連携推進会議	通年	川満
中部地区連携研究会	通年	川満・佐平
おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	通年	高澤・佐平

勉強会・研修会への参加

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
在宅医療・介護連携推進事業うるま市オンライン研修会	2020年8月24日	川満
在宅医療・介護連携推進事業 宜野湾市オンライン研修会	2020年9月29日	西田・高澤
令和2年度第一回 医療機能分化研修会	2020年10月22日	川満・高澤
沖縄県がん相談員実務者研修会「妊孕性温存療法について」	2020年11月7日	西田
両立支援コーディネーター WEB ライブ講習	2020年11月16・28日	西田・高澤
MDV ユーザー会勉強会「看護必要度、コロナ対策」	2020年11月20日	川満・高澤
沖縄県入退院支援連携デザイン事業「在宅医療・介護連携に係る多職種研修」	2020年11月28日	高澤・兼次
日本医療社会福祉協会 WEB 研修「ACPについて」	2020年12月～1月	高澤
沖縄県 MSW 協会報告会（那覇市役所チャージャーがんじゅう課との取り組み）	2021年2月12日	高澤
第4回沖縄県緩和ケア研修会 2020	2021年2月13日	徳盛
沖縄県医療ソーシャルワーカー学会&公開セミナー	2021年2月20日	高澤・佐平・兼次
沖縄国際大学社会福祉士実習 報告会	2021年1月19・26日	高澤

職能団体に関する活動

名称	開催年月日	参加者
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部会	通年	高澤

血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	開催年月日	担当者
日本造血細胞移植学会	2021年3月6日～3月7日	西田

その他

名称	開催年月日	参加者
近隣関係機関へのあいさつ回り	8月・12月	西田・川満・徳盛・高澤
両立支援コーディネーター資格取得	11月	西田・高澤
ぐしかわ看護専門学校（老年実習）	11月（計3回）	川満・徳盛
うるま記念病院出口問題会議（コロナ関連）	2～3月（計7回）	川満
おもと会看護学校実習（老年実習）	通年	川満・高澤

2020 年度総括

地域医療支援病院の医療ソーシャルワーカーの役割として、地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠となっています。今年度はコロナ禍に見舞われ、様々な制限がある中、1年を通し各関係機関との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や沖縄県入退院支援連携デザイン事業、在宅医療介護連携推進会議、及び中部地区連携研究会などへ積極的に参画してきました。

退院支援においては、入退院支援室や各病棟退院支援リンクナースと協働する院内の入退院支援システムの体制を構築し始めてから2年目を迎えました。今年度は退院支援の質にも注目し、個別性を重視し

た退院支援に取り組むため、日々の退院支援カンファレンスの内容充実等をそれぞれ担当病棟で取り組みました。関連加算の取得については、前年度に続き今年度においても件数の大幅な増加を達成しました(今年度 558.0 / 月、前年度 476.2 件 / 月)。

また今年度は、新ソーシャルワークデータシステム (MANBO) を用いて業務分析を行い、各職員や診療科ごとの業務量を分析し、次年度の業務編成に活用しました。さらに、近隣関係機関との個別協議において、日頃の連携実績について同システムを用いて分析し資料として提供することで、日々の連携における具体的な課題や今後の展望を可視化することができました。

医療ソーシャルワーカーの質の担保として、職能団体主催の研修会参加や両立支援コーディネーターの資格取得に取り組みました。

血液内科移植サポートスタッフの質の担保として、移植コーディネーター (HCTC) の資格取得に向けた症例への対応、移植サポート業務体制作りに向けた病棟等の協議、関連学会への参加を行いました。

2021 年度目標

①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

- ・ 行政、介護サービス事業所、医療機関との協議と連携
- ・ ワーキンググループを中心とし、院内外での啓発やニーズ把握

②在宅医療・介護連携の推進への協力と連携

- ・ 沖縄県や中部地区医師会主催の在宅医療・介護連携推進会議に参加

③入退院支援に関する業務構築と算定向上

- ・ 退院支援カンファレンスの充実 (DPC を意識した退院支援、支援の個別性の担保)

④ソーシャルワークデータシステム (MANBO) による業務評価と分析に向けた取り組み

- ・ 業務評価や近隣関係機関との連携に係る分析

⑤ワークライフバランス

- ・ 残業時間の偏りがないように部署全体での業務分担

⑥入退院支援関連加算の算定 (収入見込み: 35,472,000 円)

- ・ 入退院支援加算: 5,760 件 / 年 (480 件 / 月)
- ・ 介護支援連携指導料: 180 件 / 年 (15 件 / 月)
- ・ 退院時共同指導料: 48 件 / 年 (4 件 / 月)

⑦医療ソーシャルワーカーの質の担保

- ・ 県内、県外の学会及び研修会への参加
- ・ 社会福祉士実習生の受入れ

⑧血液内科移植サポートスタッフの質の担保

- ・ 移植コーディネーター (HCTC) の資格取得
- ・ 県内・県外の学会および研修会への参加

がん相談支援室

業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

「がん相談支援室」にご相談が出来る事の例

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

2020 年度総括

がんの治療では、入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。

今後も「がん相談支援室」では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に対応します。

また、両立支援コーディネーターの資格を取得し、相談支援体制を強化しました。

患者サポート窓口

業務内容

1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る。
2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する。
3. 患者サポート相談窓口担当者及び、各部門の担当者が患者等から相談を円滑に実施できるよう支援する。

「患者サポート窓口」のご相談事例

- ・お困りのことがあるとき
- ・誰に尋ねればいいのか分からないとき
- ・当院の対応で不快な思いをされたとき

2020 年度総括

患者サポートカンファレンスを多職種で週 1 回（年間 46 回）開催し、現場にフィードバックすることで相談件数は年々減少傾向にあります。

2020 年度の相談件数は 67 件で対応に困ったときには医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行っています。

実績としては医師への不審電話への対策及び職員への周知徹底、コロナ対策としてサーモグラフィでの検温、面会ブースを設置しました。

事務部

部門紹介

事務部は患者総合支援センター、総務課、財務・経理課、医事課、管財課、診療支援室、診療情報管理室、経営企画室、予防医学センターに 167 名の職員が所属しています（法人事務局各部門含む）。

職員数

総数

167 名

職種別

一般事務	114
医師事務作業補助者	23
診療情報管理士	7
運転手	6
社会福祉士	6
施設係	5
調理師	3
クレーク	1
警備員	1
司書	1

法人担当

財務・経理課

財務・経理課 係長 大山 朝史

職員数

総数

4 名

職種別

一般事務 4 名

運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

2021 年度目標

法人外部監査の窓口部署として、改善に向けた取組みを行う。

業務ローテーションにより、業務負担を平準化し有給休暇取得の促進と残業削減を目指す。

人事課

人事課 課長 仲里 考史

職員数

総数

8 名

職種別

一般事務 6 名

臨床心理士 1 名

産業保健師 1 名

運営方針

～当課役割～

法人経営方針に合わせ、職員個人の育成・活用出来る仕組みを醸成する「トータル人事制度」構築を目指す。関連法規対応強化に努め、ガバナンス遵守と職員が働きやすい環境整備に努める。

1. 人事管理

1-1 正確な人事マスター（配転・教育・評価・賞罰等）情報の構築

1-2 部署定数及び入退職の可視化

1-3 現行関連法に対応しコンプライアンスに準じた規程更新・策定

2. 労務管理

2-1 事務手続きの電子申請化促進

2-2 働き方関連法に対応した運用整備・統計資料構築

3. 人材育成

3-1 人事評価制度の構築・更新

3-2 評価制度に応じた階層別研修構築・更新

4. 健康支援

4-1 全職員の働きやすい環境を目指し、心身のフォローを行う

4-2 各調査結果に基づき、課題改善に向けた取組みを行う

活動実績

業務実績

年月日		名称
通年		4 社会医療法人 人事情報交換会 1 回/月
2020 年	4 月	新型コロナウイルス休業補償制度確立 雇用調整助成金申請
	6 月	社会保険 / 雇用保険手続き電子申請化
	7 月	新型コロナウイルス感染症医療機関協力金交付申請 2021 年度採用看護師採用試験（個別面接）
	8 月	2021 年度採用看護師採用試験（個別面接）
	9 月	2021 年度採用看護師採用試験（個別面接）

年月日		名称
2020 年	10 月	新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金申請
	11 月	年末調整電子申請化
		ストレスチェック
	12 月	琉球大学訪問 事務総合職募集
		沖縄国際大学訪問 事務総合職募集
		沖縄キリスト教学院大学訪問 事務総合職募集
		沖縄大学訪問 / 学内就職説明会参加
2021 年	1 月	事務総合職研修報告会実施
		看護職入職説明会
	2 月	新型コロナウイルス感染症医療機関協力金交付申請
		令和 2 年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金
	3 月	沖縄国際大学 学内説明会参加
		職員満足度調査実施
		就業規則 / 退職金規程改定に伴う所属長説明会実施
		年次有給休暇一付与に伴う説明会実施

診療支援室

職員数

総数

30 名

職種別

医師事務作業補助係 24 名

秘書担当 3 名

卒後臨床研修事務係 3 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	5

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	19

運営方針

1. 医師が安心して診療に専念できる環境を作る
2. 医師の事務的業務の負担軽減を図る
3. 初期から専門研修まで充実した研修が行えるよう、あらゆる方向から支援する
4. 他部門とのスムーズな連携・協働に努める
5. 専門的知識、技術の向上をめざして自己啓発に努める

医師事務作業補助係

業務計画

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレをふせぐ
2. クリニカルパス担当を各チーム 1 名ずつへ増員し、迅速なパス作成ができるようにする
3. チーム持ち回りで、科ごとのミニ勉強会を開く
4. 院内外の勉強会への参加
5. 上司との定期的な面談を行い、自己評価とスキルアップを図る

業務実績

文書作成

名称	2018	2019	2020
一般診断書	504	532	565
生命保険文書	1,966	2,094	1,758
介護主治医意見書	433	412	262
傷病手当金請求書	480	625	816
医療要否意見書	708	665	543
特定疾患調査票	292	291	70
身障 / 年金診断書	237	217	161
自賠責診断書	929	840	706
その他	1,912	2,085	2,144
合計	7,461	7,761	7,025

名称	2018	2019	2020
退院サマリー	645	751	645
高額コメント	185	151	36
NCD（外科手術症例登録）	1,003	925	835

統計業務

日本胸部外科学会食道分野学術調査

日本内視鏡外科学会症例報告

日本外科学会指定施設年次報告

日本ヘルニア学会症例報告

日本血液学会疾患登録

日本短期滞在手術外科手術手技研究会アンケート

日本造血細胞移植データセンター全国調査

外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大・大阪大学）

活動実績

部署内勉強会

名称	年月日
胃がん TNM 分類について	2020 年 6 月 26 日
身体障害者診断書（ぼうこう・直腸機能障害）について	2020 年 7 月 17 日
白内障・角膜移植について	2020 年 8 月 21 日
子宮頸がんにならないために	2020 年 9 月 18 日
女性のシンボルである乳房を失わないために	2020 年 11 月 13 日
変形性膝関節症について	2020 年 12 月 18 日

卒後臨床研修事務係

研修医の実績については医局部門をご覧ください

活動実績

卒後臨床研修事務局主催のレクチャー、講演会等

内容	開催地	日程
群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	当院	毎月第 1・第 3 木曜日
新研修医オリエンテーション	当院	2020 年 4 月 2 日～7 日
院内エコー勉強会①	当院	2020 年 7 月 11 日
感染症コンサルタント 青木眞先生による感染症教育回診	当院	2020 年 7 月 27 日
群星沖縄副センター長 寺澤秀一先生による ER 教育回診	当院	2020 年 9 月 3 日
院内エコー勉強会②	当院	2020 年 11 月 14 日
ミシガン大学 Assistant Professor Dr.Tipirneni による教育回診	オンライン	2020 年 12 月 4 日
群星沖縄ポートフォリオ発表会①	当院	2020 年 12 月 17 日
群星沖縄ポートフォリオ発表会②	当院	2021 年 1 月 7 日
基本的臨床能力評価試験の実施	当院	2021 年 1 月 23 日
杏林大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科准教授 岸本暢将先生によるプレゼン教育回診	オンライン	2021 年 2 月 17 日

セミナー・勉強会・会議等への参加

内容	開催地	日程
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第 2・第 4 火曜日
群星沖縄定例会議（オンライン）	当院	毎月第 2 月曜日
群星沖縄事務担当者会議（年次報告について）	浦添市	2020 年 4 月 15 日

内容	開催地	日程
令和2年度第1回臨床研修病院長等会議	県医師会館	2020年5月29日
2020年度第1回卒後臨床研修管理委員会（書面会議）	当院	2020年6月1日
浦添総合病院 教育研究室見学	浦添総合病院	2020年7月10日
群星沖縄事務担当者会議（EPOC2について）	浦添市	2020年7月20日
中頭病院 臨床教育開発センター見学	中頭病院	2020年7月22日
沖縄県研修医確保対策ワーキンググループ作業部会（オンライン）	当院	2020年9月14日
琉球大学関連協力病院協議会への参加（オンライン）	当院	2020年11月5日
内科専門研修委員会	当院	2020年12月2日
琉球大学専門研修プログラム連絡協議会への参加（オンライン）	当院	2021年1月18日
三病院合同内科専門研修管理委員会への参加（オンライン）	当院	2021年1月26日
広報誌「LIFE」作成委員会	当院	不定期
2020年度第2回卒後臨床研修管理委員会（現地開催+書面会議）	当院	2021年3月4日

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部5～6年次クリニカルクラークシップ（延べ53名）	2020年5月25日～2021年3月12日
医学生病院見学受け入れ（延べ20名：県外3名、県内17名）	2020年6月12日～2021年3月31日
琉球大学病院より研修医受け入れ 1年目5名（救急科、麻酔科、外科、総合内科） 2年目3名（救急科、消化器内科、産婦人科、小児科）	2020年4月1日～2021年3月31日
浦添総合病院より研修医受け入れ 2年目2名（産婦人科）	2020年6月、9月
中部徳洲会病院より研修医受け入れ 2年目2名（産婦人科）	2020年10月、2021年2月
大浜第一病院より研修医受け入れ 2年目1名（形成外科）	2020年6月1日

リクルート活動

内容	開催地	日程
第12回沖縄県初期臨床研修指定病院合同説明会	Webにて動画掲載	2020年9月15日～29日
当院主催病院説明会	当院	2020年6月20日
当院主催病院説明会	当院	2020年7月25日
当院主催病院説明会	現地開催+オンライン	2021年3月13日
群星沖縄病院説明会	オンライン	2020年6月27日
群星沖縄病院説明会	オンライン	2020年8月15日
群星沖縄病院説明会	オンライン	2020年11月21日
群星沖縄病院説明会	オンライン	2021年2月13日
レジナビフェア沖縄県病院説明会	オンライン	2020年7月5日
レジナビフェア沖縄県病院説明会	オンライン	2020年10月25日
レジナビフェア沖縄県病院説明会	オンライン	2021年3月25日

研修参加実績

内容	開催地	日程
新研修医 AHA BLS Provider コース（1年目研修医3名参加）	当院	2020年5月2日
院内 BLS・ICLS（1年目研修医3名参加）	当院	2020年4月4日
新研修医 AHA ACLS Provider コース（1年目研修医3名参加）	西原町	2020年6月13日・14日
第4回沖縄県緩和ケア研修会 2020（2年目研修医7名参加）	当院	2021年2月13日

その他

内容	開催地	日程
2020年度 RyuMIC 指導医養成講習会（オンライン・医師1名参加）	西原町	2021年2月20日・21日

附随業務部門 食堂とまと

食堂とまと 平安山 良親



店舗



ドック食

院内食堂として、病院敷地奥の別館 1 階で営業を行っています。お客様の約 6 割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8 階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば（きつね）、うどん（きつね）、タコライス、スパゲッティー（ミートボール・カルボナーラ）、ライス、サラダ、弁当（みそ汁付）

営業時間：月曜日～土曜日 11：30～15：00

定休日：日曜日、祝日

職員数

総数

11 名

職種別

調理師 3 名

調理補助 7 名

調理員 1 名

経営方針

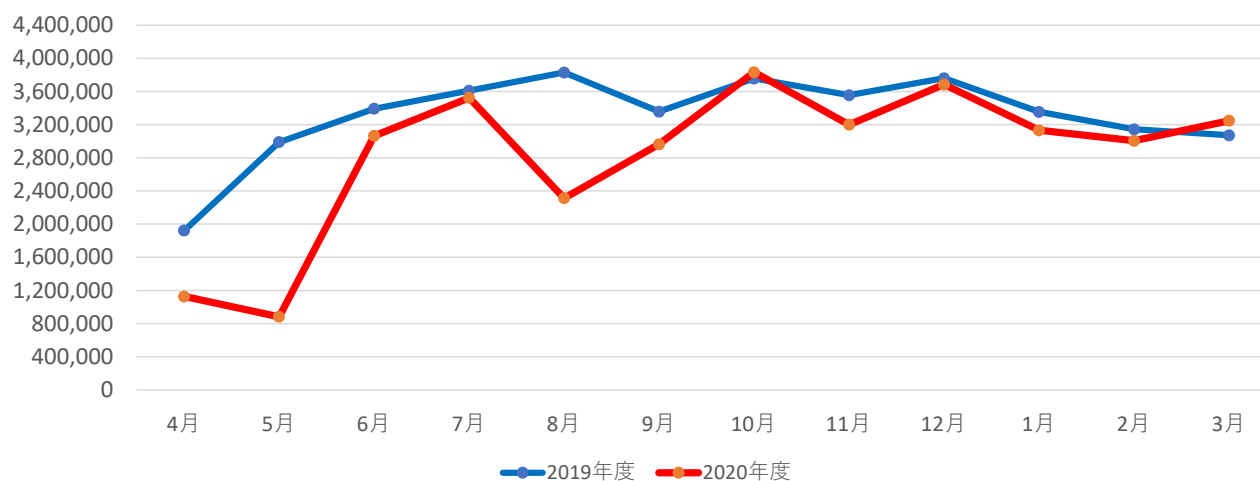
職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

活動報告

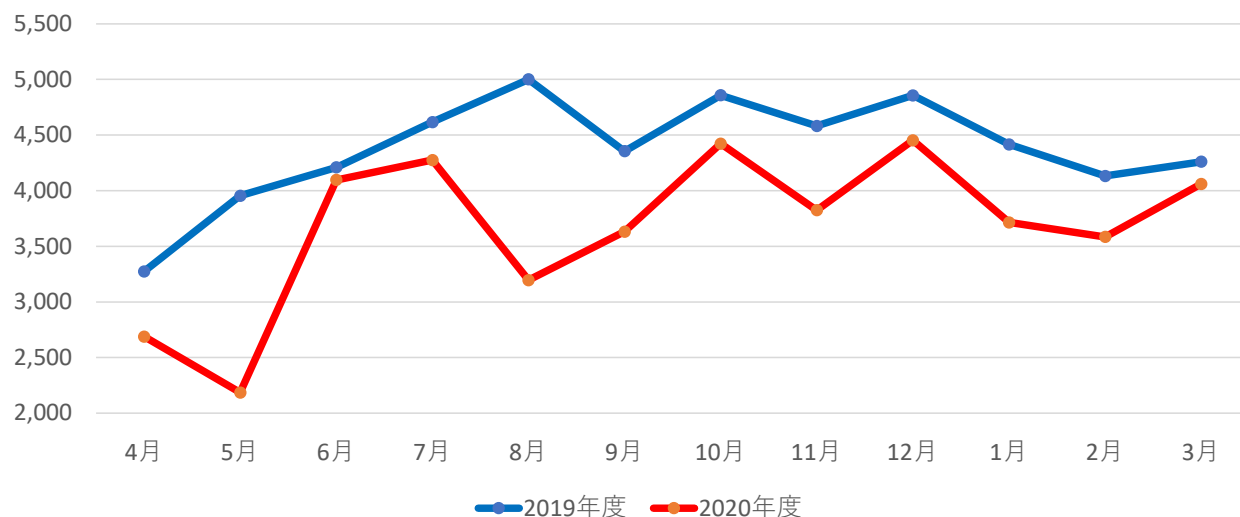
弁当新メニューの追加

業務実績

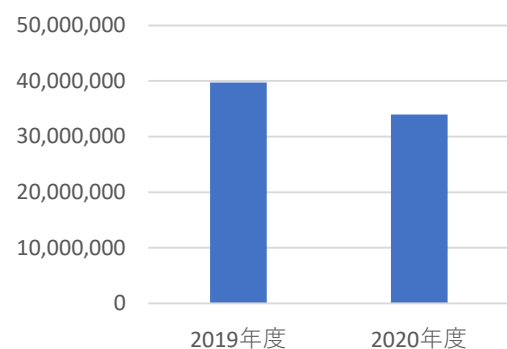
売上推移



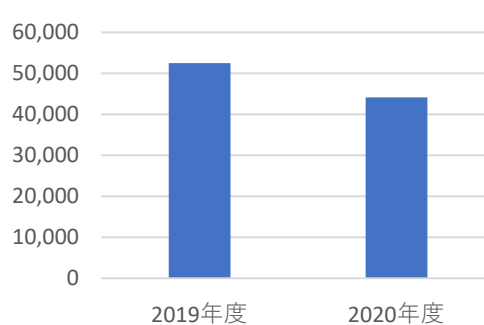
客数推移



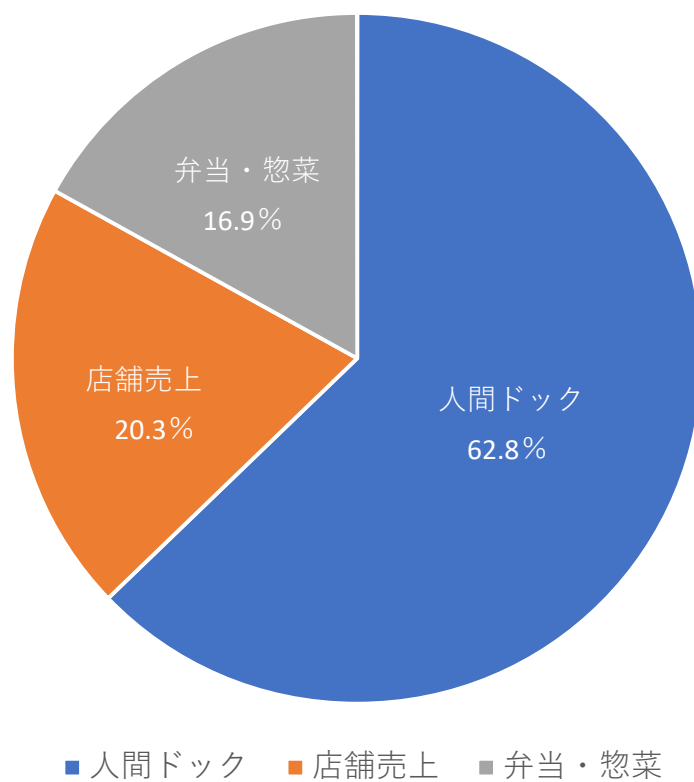
総売上高推移



総客数推移



売上割合



法人事務部 年度総括



法人事務部長
仲地 智俊

法人事務部の年度総括では主にハートライフクリニック、ハートライフ地域包括ケアセンター、はーとらいふ保育園、人事課、財務経理課、経営企画室、診療支援室に触れさせていただきたいと思います。

2020年度はコロナ禍に始まりコロナ禍真っ只中で終了しました。各事業所ともこれまでにない対応に追われた1年でした。

【ハートライフクリニック】

ハートライフクリニックでは2020年4月と5月に新型コロナウイルスの影響が直撃して、経営的に大打撃を受けました。その影響は6月～9月まで続きましたが、10月には過去最高の収益を記録するなど、山本院長を中心として職員一丸となった努力で経営状況は改善してきました。その経営状況の改善には2020年4月から入職された新戦力、小原正也医師も大きな力を発揮しました。

その後もコロナ感染対策への職員の負担は増大しており、それは現在も継続しています。2021年度は職員の負担・ストレスの軽減に配慮しつつ、何とか2020年度の減収を取り返せればと考えています。

【ハートライフ地域包括ケアセンター】

2020年度、ハートライフ地域包括ケアセンターは過去最高の収益でした。これは第1に職員の定着率の向上とそのことに伴う職員の質の向上が要因であると考えています。まさに『人財が宝』だということを身に染みて感じた1年でした。職員教育に尽力して下さった宮平センター長はじめ管理職の皆様とその他の職員の皆様、ケアセンターの経営にご理解下さった理事の先生方、医療面を支えて下さった本院・クリニックの皆様、その他ケアセンターの運営にご協力下さったすべての皆様へこの場をお借りして感謝申し上げます。

ケアセンターの収益が向上した第2の要因は皮肉にも『コロナ禍』があげられます。感染予防のために外部サービスの利用を制限せざるを得ない状況であったため、必然的に『外部サービスに比べて安心・安全』な内部のサービスの比重が高まった結果、ケアセンターの収益増につながっています。

2021年度も地域社会の皆様に貢献できるように、またより一層職員が誇れる職場となれるように尽力したいと思います。

【はーとらいふ保育園】

2020年5月は新型コロナウイルスの影響で通園中の保育園へ通えなかった職員のお子さんを対象とした『一時預かりサービス』を実施しました。利用数はそれほど多くはありませんでしたが、微力ながら医療現場の最前線で働く職員の後方支援になったと考えています。

また、2020年度の大きな出来事としては、2016年の開園準備から開園後も園長として当園を支えて下さった宮城和香子氏が、家庭事情のため2020年3月末をもって退職されたこともあります。現在は職員の定着率も高くなり、人

材確保の苦労も軽減していますが、開設からの数年間はとても苦勞しました。宮城園長はその苦勞を共にした仲間ですので一抹の寂しさを感じます。新しい金城久乃園長には、宮城前園長が残した財産を有効に活用しつつ、更に良い保育園にしていけるよう精進していただきたいと思います。

【人事課】

2020 年度の人事課での大きな出来事として人事異動および採用がありました。人事課の立上げから大きく関わり貢献してくれた河上祐一係長(現予防医学センター課長)が 2020 年 3 月末で予防医学センターへ異動となり、代わって仲里考史氏が 2020 年 4 月 1 日付で採用され、人事課課長として配属されました。新しい風が加わったことで、これまで築き上げられた人事課を基礎として、積極的に改善に向かった 1 年だったと感じています。

職員数も 1,100 名を超えて、人事課が果たす役割、求められる役割も大きくなります。常に職員が働きやすい職場づくりと法令遵守を念頭に、2021 年度も邁進してほしいと思います。

詳しくは人事課 仲里考史課長記載の総括も御覧ください。

【財務経理課】

2018 年の医療法改正に伴い、社会医療法人は監査法人による法人監査を受けることが義務付けられました。当然、当会も監査を受けており、2018 年と 2019 年は大きな指摘もなく、監査側より「これほど透明性をもって運営されている法人は全国的にも珍しい」とのお褒めの言葉をいただいております。2020 年度も当会への監査法人による監査がリモート形式で実施されました。結果は 2021 年 6 月に届く予定です。対応した財務経理課職員をはじめとする職員の皆様、大変お疲れ様でした。

財務経理課では 2016 年 12 月の増員以来、職員定数は 4 名(比嘉靖法人事務副部長を除く)のままですが、かりゆし会の事業規模は年々大きくなっており、増員の検討が必要になっていると感じています。ここ数カ月の状況を見ながら検討したいと思います。

【経営企画室】

2020 年度の経営企画室は、従来通りの経営に寄与する重要な情報の発信・提案に加えて、法人のコロナ対策・コロナ関連の補助金においても中心的な役割を担っていました。

当会がコロナ禍にも関わらず経営的に成り立っていたことについては様々な要因がありますが、経営企画室の働きを抜きにして語ることはできません。本当にお疲れ様でした。

以下、経営企画室が関わった主な補助金の名称を記載します。

- ・空床確保料
- ・緊急包括支援金(入院・外来・検査・重点・救急・周産期・小児)
- ・災害拠点病院施設整備事業

詳しくは経営企画室 安里竜副部長記載の総括も御覧ください。

【診療支援室】

診療支援室は 2019 年 4 月 1 日付で医師事務作業補助係(本院・クリニック)、秘書担当(医局秘書、役員秘書、看護部秘書)、卒後臨床研修事務係が統合されて誕生しました。

2020 年度の大きな出来事として最初に思い浮かぶのはやはり新型コロナウイルスです。新型コロナウイルスがまだ未知の存在だった時期に、本院での発熱外来にメディカルクラークも医師事務作業補助係の立場で同席していました。これは(特に当時は)非常に怖かったと思います。本当にお疲れ様でした。

研修医担当事務の定員を 2 名から 3 名に増員したことも大きな出来事でした。これは、内科専攻医研

修の基幹型病院の認定取得に向けてのことでしたが、その甲斐もあってか、ハートライフ病院は2021年度より無事に基幹型病院として承認されています。

2021年度には診療支援室で初めての、そして当会事務局でも初めての女性課長が誕生する予定です。診療現場が更に充実するために、2021年度も診療支援室には力を発揮していただきたいと思います。

以上が法人事務局部長としての総括になります。

この原稿を執筆している2021年5月下旬時点でも、コロナ禍はまだまだ収束する気配を見せておりません。今後も法人の全職員がこの未曾有の危機に一丸となって立ち向かい、この困難を乗り越えていければと思います。

病院担当

医事課

医事課 課長 宮城 淳

職員数

総数

43 名

職種別

一般事務 43 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2020 年 4 月に診療報酬改定が実施され、2025 年に向けて当院の方向性の決定がますます重要となってくる。急性期一般入院料 1（7 対 1 入院料）を算定基本としていくために医事課として、社会保険中央審査会議論内容を把握しながら早期情報収集、情報提供、決定後保険請求の知識向上、医療法に基づいた請求を行う。
2. 落穂ひろいの継続。算定できる加算の洗出しを行い、算定項目を増やす。
3. 保険請求における精度の向上により、減点・査定の減少を図る。
4. 入院保険において、現在普天間副院長と行っている科別勉強会を継続する。
5. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。外来については逆紹介推進の取り組み。
6. 36 協定の順守。有給休暇の法定取得。
7. 5 年後を見据えた人材育成の取り組み及び体制づくりを行う。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
MDV 看護必要度Ⅱ Web 勉強会	当院	2020 年 7 月 29 日	宮城・新垣(医事)、佐和田(総務)、安里・栗盛(企画)、安谷屋・外間(看護)
MDV 沖縄地区 Web 勉強会(看護必要度)	当院	2020 年 11 月 20 日	宮城(医事)、佐和田(総務)、栗盛(企画)、安谷屋・外間(看護)、新垣(地連)
MDV「看護必要度」対策!! 徹底オンラインセミナー	当院	2020 年 12 月 17 日	宮城・新垣(医事)、佐和田(総務)、安里・栗盛(企画)、安谷屋・外間(看護)

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
沖縄中央学園 医療事務実習	2021 年 1 月 12 日～1 月 29 日	2 人

その他

名称	開催地	年月日	参加人数
日経教育グループ「第1回教育課程編成委員会」	那覇市	2020 年 10 月 14 日	宮城
日経教育グループ「第2回教育課程編成委員会」	沖縄市	2021 年 2 月 16 日	宮城

管財課

管財課用度係

用度係 係長 諸見里 和也

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務 6 名

運営方針

物品の安全・安定供給

- ・ 各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注文物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。
- ・ 使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用。
- ・ 患者・職員に対し、安全に配慮した物品の採用。
- ・ 物品の標準化。標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつなげる。
- ・ 医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

物品管理

- ・ 在庫管理・定数管理の強化。定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。
- ・ 年 2 回の、棚卸を実施。適正な在庫数を維持管理する。
- ・ S P D システムのバージョンアップを図り、維持管理の強化。
- ・ 機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。
- ・ 災害拠点病院に適した維持管理。
- ・ 事務什器備品の資産管理。

イントラの整備

- ・ イントラ整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。
※電子申請を 2019 年 10 月より本院・事務部がトライアル開始。2020 年 4 月本院医療技術部のトライアル開始。徐々に拡大し、対応している状況。

係員の教育

- ・ 勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。
- ・ 患者様の安心・安全の為、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係活動実績

業務計画

1. 医療改定に伴う医療材料、日用品の見直し。

コロナ禍の中で患者さんの安全・安心も勿論だが、全ての職員も守る為に感染防護品の選定や提案等を常に医師や看護師、医療技術者とディスカッションし感染予防に対し最善を尽くしてきた。

2. 係員の教育とスキルアップ。

取扱い材料がどのような診療で使用するかなどを紐づけて教育する。

各業者対応や発注業務、納品書の入力業務を援助なしで対応出来る様に指導する。

※ 2020 年 11 月 27 日（金）全国病院経営管理学会

第 39 回 用度業務研修会 web セミナー

テーマ：用度課はコロナ下で力を発揮出来たか？（新垣主任 参加）

3. 手術室 3 室増室に伴い、診療材料などの整理と、各診療科の先生方や関係部署へ、安価材料への変更提案。

①でもありますが、コロナ期で職員に対し感染予防対策として防護ガウンや N95 マスク、手袋、UV 装置、排煙装置などの提案。

4. 事務備品の資産管理の徹底。

実践し徹底管理出来ている。

5. 新規治療（医療事業）に対するサポートと提案。

今後も新規治療がある場合は、取扱店へ金額交渉、納期の確認など、臨機応変に対応出来る体制を作る。
食道手術に対する新規術式の材料提案や、下肢壊死に対するカラムの採用。

収入計画

- ・ 購入材料引き率目標の設定
- ・ 新型コロナウイルス・インフルエンザによる各補助金の獲得（今後も継続）

人員計画

- ・ ワークライフバランスの取れた職場の環境作り。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、国や県からのコロナ補助金での医療材料や衛生材料、医療機器などの申請や、申請下りた材料の臨時倉庫へ搬入、病棟への払い出しなど。また、新型コロナ病棟の整備等で残業時間が増えた。

人事検討委員会にて 1 名の人員確保が出来た。

設備計画

1. 医療材料、日用品の安心、安全、清潔をもって管理が出来る広い倉庫の確保。

現在の倉庫が狭く、廊下に陳列する環境にあり消防からの指摘事項となっている。

災害拠点病院に係る医材の確保が出来ない。 ①は来年度も整備対象で継続していきたい。

2. 院内 SPD システム買い替え

新人職員も入力作業などを迅速に対応出来るためにも 10 台の増設を提案する。手術室の材料管理を用度係で行う事を検討しているので、専用端末などの必要備品を提案する。

上記②ソフトウェアサービスの物流管理システムの導入 2020 年 3 月（理事会承認済）

管財課施設管理係

施設管理係 係長 具志堅 徳明

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	2
第 2 種電気工事士	5
1 級電気施工管理士	1
消防設備士特類・乙 6・7 類	1
消防設備士甲種 1 類～ 5 類	2
自衛消防業務	3
1 級ボイラー技士	1

資格名	人数
2 級ボイラー技士	4
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第 2 種冷凍機械責任者	2

運営方針

安全管理と省エネに務める。

理念

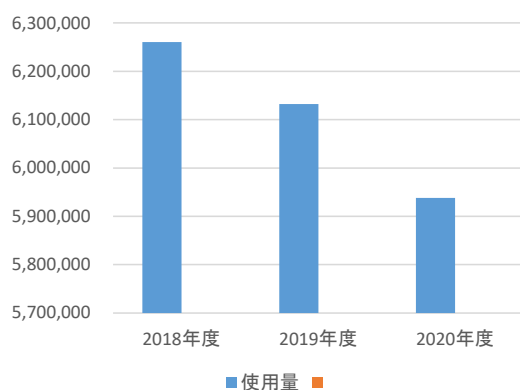
関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

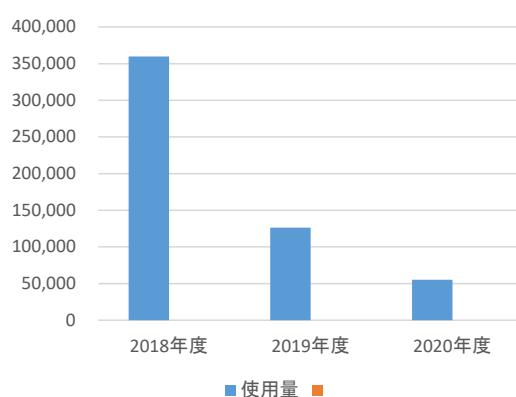
総電力量 (単位 :kwh)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
kwh	6,260,290	6,132,230	5,938,150
対前年比	2.6% 増	2.0% 減	3.2% 減



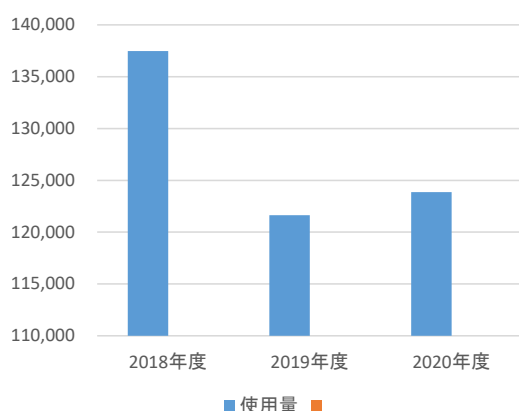
蓄熱電力量 (単位 :kwh)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
kwh	359,759	126,364	55,197
対前年比	20.8% 減	65.0% 減	56.3% 減

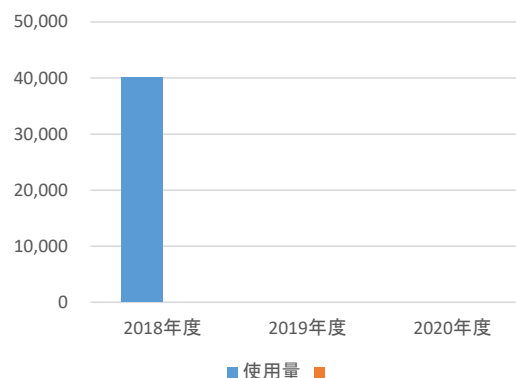


A 重油使用量（ボイラ）（単位：ℓ）

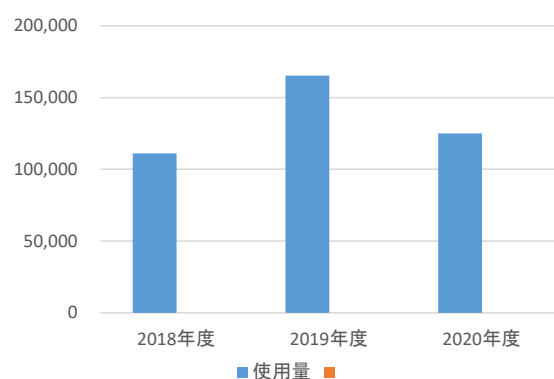
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
ℓ	137,472	121,640	123,854
対前年比	0.1% 減	11.5% 減	1.8% 増

**LPG 使用量（吸収式冷凍機）（単位：m³）**

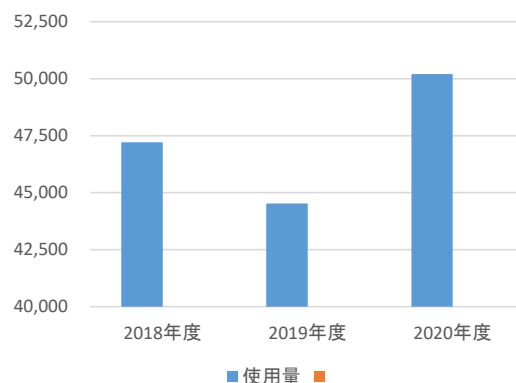
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	40,067	0	0
対前年比	72.5% 増	100% 減	-

**A 重油使用量（常用発電機）（単位：ℓ）**

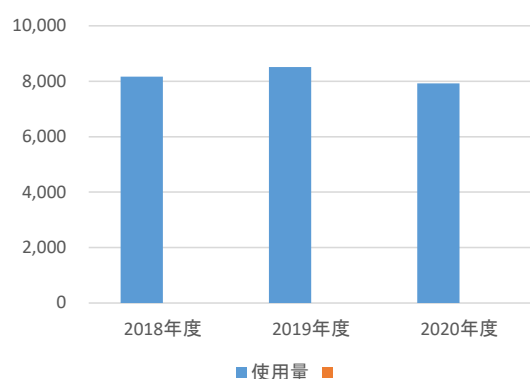
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
ℓ	111,112	165,335	124,925
対前年比	4.9% 増	48.8% 増	24.4% 減

**上水道使用量（単位：m³）**

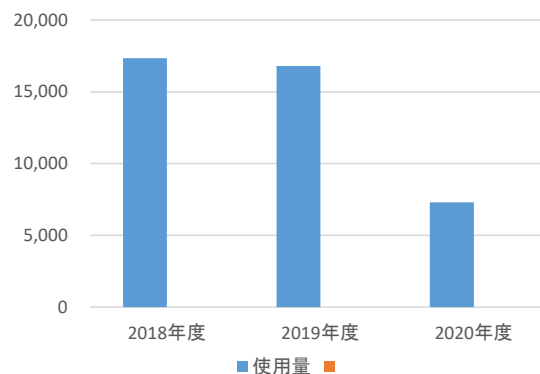
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	47,212	44,523	50,204
対前年比	0.1% 減	5.7% 減	12.8% 増

**LPG 使用量（厨房）（単位：m³）**

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	8,165	8,514	7,930
対前年比	17.6% 減	4.3% 減	6.9% 減

**中水道使用量（単位：m³）**

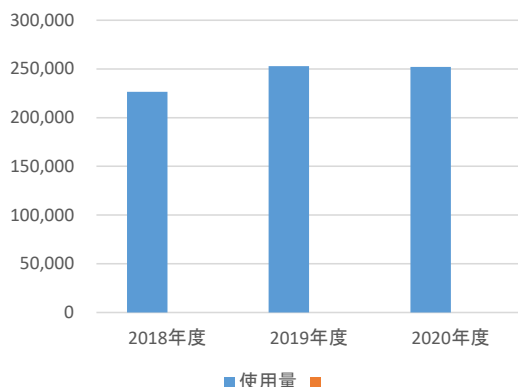
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	17,348	16,806	7,301
対前年比	9.2% 増	3.1% 減	56.6% 減



ハートライフクリニック

総電力量 (単位 :kwh)

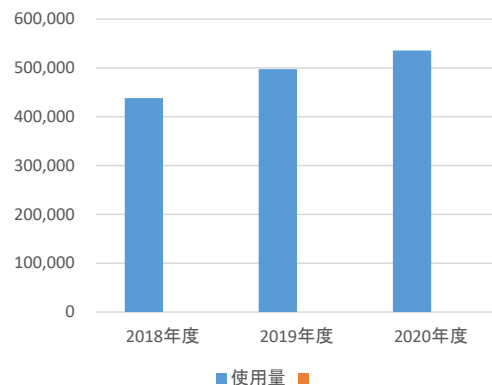
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
kwh	226,434	252,764	252,211
対前年比	1.3% 増	11.6% 増	0.2% 減



ハートライフ地域包括ケアセンター

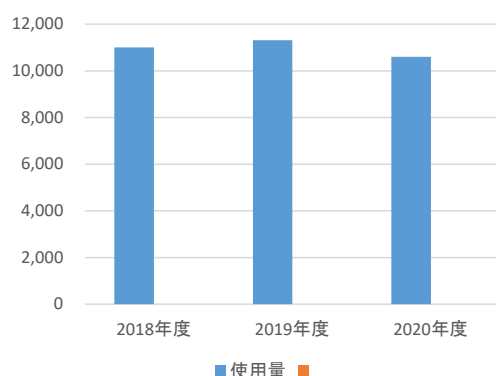
総電力量 (単位 :kwh)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
千 kwh	438,118	497,719	535,867
対前年比	6.1% 減	13.6% 増	7.7% 増



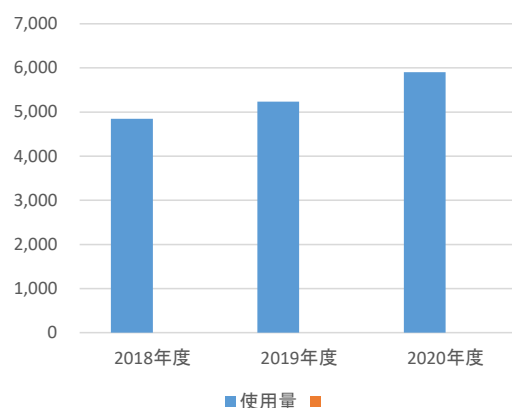
LPG 使用量 (単位 :m³)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	10,990	11,314	10,605
対前年比	6.5% 減	2.8% 増	6.3% 減



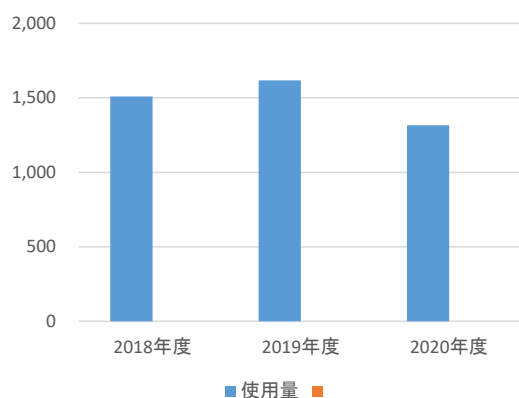
LPG 使用量 (単位 :m³)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
千 kwh	4,849	5,234	5,901
対前年比	0.4% 増	7.9% 増	12.7% 増



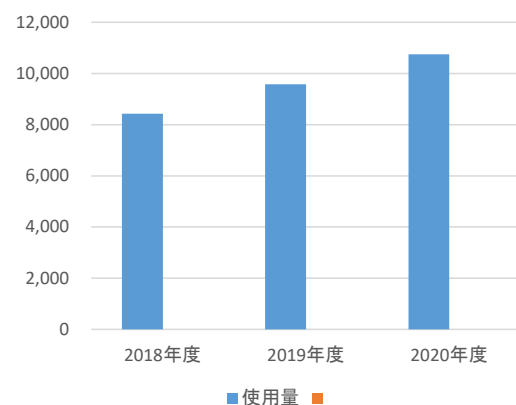
上水道使用量 (単位 :m³)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
m³	1,507	1,616	1,316
対前年比	1.5% 増	7.2% 増	18.6% 減



上水道使用量 (単位 :m³)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
千 kwh	8,429	9,580	10,751
対前年比	2.8% 増	13.7% 増	12.2% 増

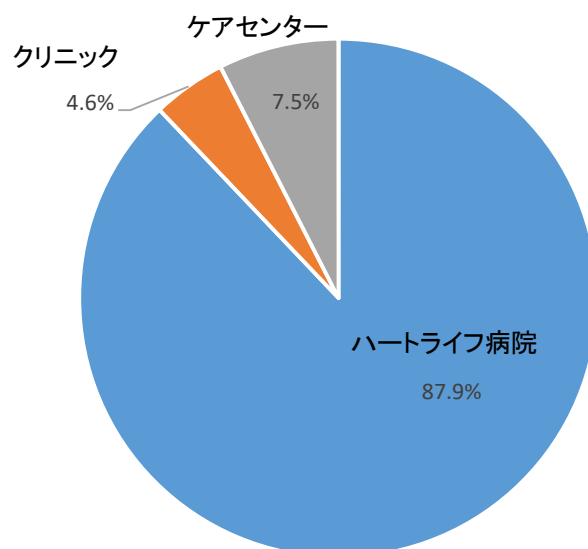


法人全体エネルギー原油換算量

	本院	クリニック	老人ホーム
電力	1,527	65	138
LPG	22	29	16
A重油	251	-	-
合 計	1,800	94	154
法人合計	2,048		

2020 度 エネルギー原油換算量 2,044KL 【前年度比（3.9% 削減）】

法人全体エネルギー原油換算合計(2,048KL)



法人全体の原油換算量が対前年比で 3.8%削減しました。要因としてハートライフ病院の本館・西館の照明 LED 化と病棟の空調更新による電力消費の減少が考えられます。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者名
消防設備士講習	浦添市	2020 年 10 月	比屋根 宗
危険物取扱者保安講習	宜野湾市	2020 年 10 月	比屋根 斉

経営企画室

事務副部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の 3 つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。経営企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係が包括され、業務の幅がとても広い特徴があります。

職員数

総数

9 名

職種別

一般事務 9 名

運営方針（2020 年 4 月 1 日更新）

1. 新規事業への早期取組
 - a. 新規事業の経営企画面での関与
 - b. 診療体制の活性化
 - c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）
2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析
 - a. 診療実績と収支構造の把握と分析
 - ① DPC データの積極活用
 - ② 原価計算・管理会計の導入
 - ③ ベンチマーク
 - b. 診療マーケティング分析体制の構築
 - ① 事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
 - c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
 - ① 診療報酬改定
 - ② 介護報酬改定
 - ③ 病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
 - d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック
3. 業務体制の強化
 - a. 経営感覚と現場感覚の両立
 - b. 配下部署の教育体制の強化

企画室の行動指針

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案

単に情報をあつめるだけでなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる

2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック

情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない

3. 法人理念と事業計画を基軸にする

いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する

4. コスト意識を持つ

1 円を積み上げる努力（現場の汗）、1 円を使う責任（重み）を忘れない

5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること

経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない

6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」

患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

活動報告

名称	部門	開催時期
理事会事務局	共通	月 1 回定例
経営会議事務局	共通	月 2 回定例
運営委員会事務局	共通	月 2 回定例
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	通年
ICU・HCU 合同運営委員会事務局	ICU・HCU	年 4 回定例
足と傷のセンター委員会事務局	形成外科	通年
算定率向上ワーキンググループ（各種加算）	共通	月 1 回定例
日本乳癌学会関連施設認定事務局	乳腺外科	通年
臍帯血移植施設認定事務局	血液内科	通年
非血縁者間骨髓移植・採取施設認定事務局	血液内科	通年
非血縁者間造血幹細胞移植施設・診療科認定事務局	血液内科	通年
地域災害拠点病院設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年
地域災害拠点病院施設整備事業事務局（補助事業）	共通	通年
新型コロナウイルス感染症災害対策本部事務局	共通	通年
新型コロナウイルス感染症ワクチン対策ワーキンググループ事務局	共通	通年
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事務局（補助事業）	共通	通年
その他新型コロナウイルス関係の事務局（補助事業）	共通	通年

年度総括

2020 年度は新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナと呼びます）に始まり、新型コロナに終わった 1 年間でした。

経営企画室は、新型コロナが流行し始めた 2020 年 2 月から、院内の新型コロナ対策本部の事務局を継続し、業務が拡大しました。

2020 年度に発生した 4 回の流行期には、診療制限をせざるを得ない状況に陥るなど、非新型コロナの経営の行く先が見えない時期もありましたが、その都度感じたのは、新型コロナと非新型コロナをどう経営的にバランスを取るか、確かな答えが出せない、手探り状態で前進するしか無いもどかしさです。新興感染症の診療は、経営視点で意見できる類のものではなく、まさに災害時医療そのものです。

そんな中、緊急包括支援交付金事業（補助金事業）を活用する目処が付いた夏頃からは、日々の診療で一刻と変化する設備整備ニーズをキャッチすることを優先し、可能な限り補助金を活用して、期末のキャッシュアウトを防ぐ取り組みに集中しました。

12 月からは、新型コロナワクチンの接種に関する情報収集を進め、周辺自治体と接種体制に関する個別協議をすすめるなど、体制づくりに取り組みました。

上記のような取り組みに際して、県庁や市町村の職員も手探り状態でなんとか状況を良いところに持っていくために、夜中まで非常に努力されている姿をまざまざと目にしてきました。

一部のメディアでは、センセーショナルなタイトルを付けて、県の取り組みが問題・課題だらけだというイメージを感じる感情的なセンテンスを用いた記事も何度か見受けられました。しかしながら、県の対策本部やコロナ受入病院は、野球の試合が終わった「過去・事後」だけではなく、少ない情報量と急ぎ対応を迫られる「現在進行形」の中で取るべき対応を探り、取り組む難しさがあるのです。

自製の念も込めて取えて例えると、風呂上がりに見るようなプロ野球ニュースの解説者になってはいけないのだと思います。「過去・事後」になって振り返ると、こうすべきだった、という事が多いのは確かだろうと思います。先般のようなセンセーショナルな記事が、改善のきっかけや知恵・知識を生み出すのに一役担ったのも確かだろうと思います。しかしながら、医療関係者でなくとも、「現在進行系」で物事を決める難しさは想像に難くないのではないのでしょうか（べき論や理想論で片付くなら、全世界が混乱している状況には至っていないような気がします）。まさに手探りの状態が、今も続いています。

話が逸れましたが、当院職員には、県が発出した自粛基準よりはるかに厳しいルールを設け、自らが感染しないように、濃厚接触者を作らないように、懸命に努力してくださいました。終わりがなかなか視えてきませんが、この状態は、ワクチン接種による集団免疫の獲得がなされるまで、まだ続くのだらうと思っています。

2020 年度は新型コロナに関する事務に偏重する日々でしたが、2021 年度は重症度、医療・看護必要度の対策や、地域における当院の立ち位置（主軸となる診療）の明確化など、経営上の課題は山積していますので、これらも併行して取り組まねばなりません。

2021 年もまた、忙しい日々が続きそうです。

電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	

運営方針

IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める

院内ネットワークの有効活用

電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ

スキルの向上

a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上

b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

ネットワーク障害対応

インターネットスポットのパスワード管理

電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新

電子カルテ定期サービスパック適用

令和 2 年度医療改定、介護システム改定対応

RDS を利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧

患者待ち時間調査結果集計

電子カルテサーバー保守契約更新

クリニカルパス大会サポート

Web 診療予約システム構築

緩和ケア学会サポート

産婦人科・周産期システム入替

IT 推進委員会の開催 (1 回/月)

財務統計処理

不要 IT 機器の廃棄

IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減

年度総括

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の収束もなく、流行の波が何度も訪れる状況で発熱外来端末設置対応や関連マスク整備等、例年とは異なる業務対応を行う年になりました。電算係としては 4 月からは 1 人の増員を行い 5 名体制となり、サポートの体制強化を図っております。

また、前年度末から導入作業を進めていました Web 診療予約システムの稼働を開始しました。現在は予防接種予約のみでの稼働ですが、今後業務範囲を広げていきたいと予定しています。

今後もオンライン資格確認システム、AI 問診システムの導入検討や旧式化した電子カルテ端末の入替え等の作業を予定しておりますので、更なるスキルアップと効率のよい対応、作業を心がけて業務を遂行していきたいと考えております。

広報係

主任 知念 政治

活動目的

広報専任担当者 2 名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状や PR ポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的に開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。

認定・資格

認定・資格名	人数
システムアドミニストレータ	1
サーティファイ web クリエイター能力検定試験 上級	1
サーティファイ Flash クリエイター能力認定試験 上級	1

認定・資格名	人数
ユニバーサルデザインコーディネーター	1
WEB 解析士	1

主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材依頼・対応	牛乳アレルギー発症予防 SPADE study について	琉球新報・沖縄タイムス	2020 年 10 月 21 日
取材依頼・対応	美里工業高等学校皆様からの足踏み式スプレースタンド寄贈	琉球新報	2020 年 11 月 22 日
取材依頼・対応	自立走行型紫外線照射ロボット UVD ロボット導入	沖縄タイムス	2021 年 2 月 16 日

新型コロナウイルス関連

2020 年 8 月 4 日（火） 第 1 報公開、2021 年 4 月 13 日（金）までに第 19 報まで公開。職員向け・利用者向けの感染防止啓発ポスターの作成。

その他、2020 年 8 月 18 日（火）のクラスター誤報を受けた対応。

事務局運営

・かりゆし会広報委員会

・かりゆし会年報作成委員会

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
コンプライアンス講習会「ソーシャルメディアの利用について」	当院	2020 年 4 月 1 日	新入職員対象

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日
ウェブコンサルタントを目指すあなたに。上級ウェブ解析士認定講座説明会	オンライン	2020 年 4 月 11 日
Lightning オンライン勉強会 新機能解説&アクセス解析勉強会	オンライン	2020 年 4 月 23 日
仕事につながる Instagram 勉強会	オンライン	2020 年 5 月 22 日

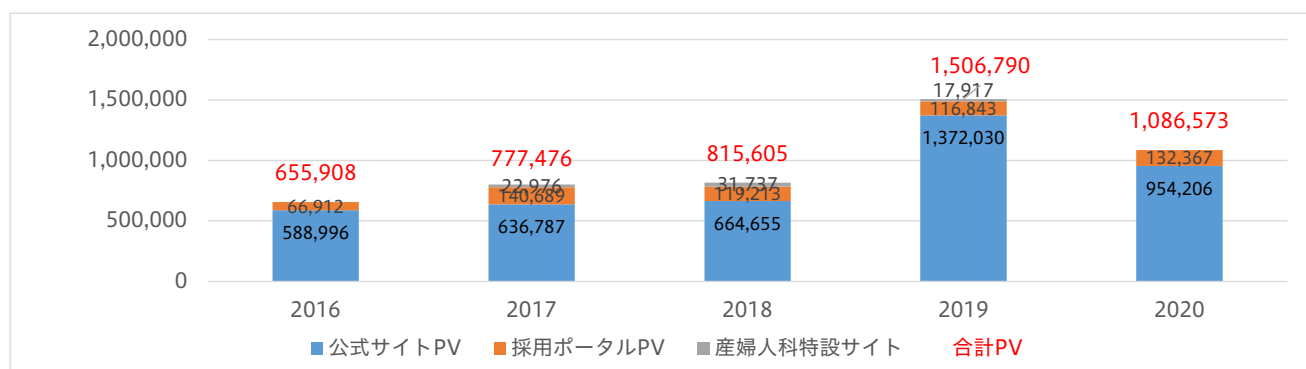
名称	開催地	年月日
第 34 回「自社サイトをコストで終わらせないために」 1. フリーランスウェブ解析士の新規開拓 ～ B to B WEB マーケティング事例～ 2. アフターコロナを見据えるウェブ解析を活用した採用戦略 3.SNS 拡散モデルを活用したウェブ解析	オンライン	2020 年 5 月 23 日
2020 年度ウェブ解析士フォローアップテスト対策講座	オンライン	2020 年 6 月 30 日
「明日から EC 担当」孤独に手探りしているあなたに	オンライン	2020 年 7 月 3 日
コンバージョンを上げるウェブデザイン改善集出版記念オンラインリレーセミナー vol.1 デザイン改善で CV を上げる	オンライン	2020 年 7 月 8 日
コンバージョンを上げるウェブデザイン改善集出版記念オンラインリレーセミナー vol.2 ab テスト実績から分かった改善 tips	オンライン	2020 年 7 月 15 日
コンバージョンを上げるウェブデザイン改善集出版記念オンラインリレーセミナー vol.3 仮説から成果に繋がる施策を生み出すコツ	オンライン	2020 年 7 月 29 日
コンバージョンを上げるウェブデザイン改善集出版記念オンラインリレーセミナー vol.4 データを活用した Web 改善セミナー	オンライン	2020 年 8 月 7 日
Marketing Native LIVE vol.1「マーケティング分析対談」	オンライン	2020 年 9 月 10 日
アフターデジタルトーク vol1 DtoC ×アフターデジタルの「世界観作り、UX づくり」	オンライン	2020 年 11 月 25 日
第 4 回デジタルヘルス学会大会 病院ウェブサイトレビュー	オンライン	2020 年 12 月 3 日

公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移

※ 産婦人科特設サイトは 2017 年 9 月 1 日より公開しました

※ 2019 年 12 月 26 日に公式サイトリニューアルを実施し、産婦人科特設サイトを閉鎖しました



診療情報管理室

診療情報管理室課長 柳 学

職員数

総数

9 名

職種別

診療情報管理士 7 名（病歴担当 5 名、がん登録担当 2 名）

一般事務 2 名（病歴担当 1 名、がん登録担当 1 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	7

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	●適切な DPC データの作成 ・「部位不明・詳細不明コード」の使用割合 10%未満の維持（目標 3%未満） ・DPC データの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の 1%未満の維持 ・様式 1 の未コード化傷病名である傷病名の割合の 2%未満の維持	100%	3 項目の目標値をクリアすることが出来た
	●DPC の機能評価係数 II アップに向けて ・①保険診療指数、②効率性指数、③複雑性指数、④カバー率指数、⑤救急医療指数、⑥地域医療指数 の各指数アップへ向けてデータの分析力を学ぶ ・副傷病名漏れへの対策（目標 15%）	-	コロナ禍にて係数の更新なし
	●分析ツールの活用の充実（MEDE-ARROWS、EVE、MedicalCode、SSIScope）	50%	コロナ禍にて分析ツールの Web 研修会等が開催されるようになったので、積極的に参加し活用の充実を図りたい
	●病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行なわれた
	●診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応はできたが、当部署からの積極的な発信が出来ていない
	●診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る	50%	診療録委員会にて 2 ヶ月毎（偶数月）に診療録の監査を実施しているが、監査項目の見直し等の検討が必要
	●カルテ廃棄の作業（保管スペースの確保）	0%	死亡退院後 11 年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度も手を付けられなかった（※廃棄対象 H14.01-H21.12DC 分）
【要員計画】計画を実行する為に必要な要員	●人員は現状の 9 名を維持（病歴担当 6 名（診療情報管理士 5 名 + 契約 1 名）、がん登録担当 3 名（診療情報管理士 3 名）	100%	令和 2 年度の退院患者総数が 8,365 名、コロナ感染の影響が大きく、令和元年度比で 846 名減となった。退院患者 2,000 名に 1 名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするので、現状の人員を維持。
【教育研修計画】年間スケジュールの作成	●診療情報管理士による全職員向けの DPC 勉強会の継続	0%	コロナ禍にて開催出来ず
	●DPC 夏期セミナー等への参加		
	●がん登録研修等への参加		
	●令和 2 年度「院内研究発表会」へ演題発表		
	●学会発表の継続		

項目	概要	達成率	評価
【設備計画】 機器の更新・新規購入、 修繕、備品	●特に予定なし	-	-

活動実績

研修・勉強会などへの参加

題名・タイトル	日時	開催地	参加者
日本がん登録協議会第29回学術集会 in 栃木～がん登録からがん対策への期待～(Web)	2020年6月4日	Web開催	宮平奈美子、兼濱亜紀
2020年度がん登録実務中級認定者研修	2020年8月29日	Web開催	宮平奈美子、兼濱亜紀
岡山市立病院クリニカルパスWEB講演(90)	2020年9月17日	Web開催	柳 学、真栄平久美子
医療情報学入門Webセミナー(全8回(90分講義))	2020年10月14日	Web開催	我如古理咲子
院内がん登録中級認定者認定更新試験	2020年10月31日	沖縄尚学院	宮平奈美子
令和2年度・ICD-11研修会(Web)(155分)	2020年11月	Web開催	真栄平久美子、我如古理咲子、大城克枝、田河美智代
第105回診療情報管理士生涯教育研修会(Web)(45分×3コマ)	2020年12月	Web開催	真栄平久美子、我如古理咲子、大城克枝、田河美智代
第9回医療情報セミナー(Web)(200分)	2020年12月	Web開催	真栄平久美子、我如古理咲子、大城克枝、田河美智代
令和2年度・ICD-11研修会II(Web)(110分)	2021年1月	Web開催	真栄平久美子
特別学術研修会(Web)(135分)	2021年2月	Web開催	真栄平久美子
令和2年度沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加	2021年2月5日	Web開催	宮平奈美子
令和2年度院内がん登録研修会	2021年3月6日	Web開催	宮平奈美子、兼濱亜紀

総務課

総務課課長 吉川 忍

職員数

総数

16 名

職種別

一般事務	7 名	司書	1 名
警備員	1 名	屋外植栽管理	1 名
患者送迎サービス係	6 名		

運営方針

事務処理の迅速化を図る

各部署に対する支援強化を図る

職場環境の整備に努める

ワークライフバランスの推進

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
2020 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション（1 日目）
2020 年 7 月 6 日	院内献血
2020 年 8 月 8 日	職員大駐車場（給油所向い）外周の樹木伐採
2020 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 32 周年
2020 年 9 月 1 日	新職員駐車場（病院道向かい）の運用開始
2020 年 10 月 5 日	患者満足度調査 外来部門、透析室、予防医学センター、内視鏡センター：10 月 5 日～6 日 入院部門：10 月 5 日～10 月 10 日
2021 年 1 月 18 日	院内献血
2021 年 3 月 8 日	職員満足度調査（3/8～26）
2021 年 3 月 29 日	新職員駐車場（病院道向かい）外周の樹木伐採

事務部 年度総括



事務部長
當銘 秀之

2020 年度は診療報酬改定の年で「7 対 1 一般病棟入院基本料」を継続するために、重症度、医療・看護必要度の基準をクリアしていくことが一番の課題になると考えていました。ところが、2020 年 2 月から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、4 月からは日本そして沖縄県にもその影響が出始めました。その影響で軽傷の患者さんが病院受診を控えるようになり、その結果、重症患者の割合が増えるようになりました。そのため意外にも重症度、医療・看護必要度は、予想以上の値で一年を通して基準をクリアすることが出来ました。もちろん基準をクリアするために、それぞれの担当者が尽力したおかげですので、関係者の皆さまには感謝申し上げます。

重症患者の割合は増加しましたが、絶対的に入院・外来患者数が共に減少し、その結果 4 月、5 月の医療収入はかつてないほどに減収になりました。しかし、重症患者さんの割合が増加したため入院の日当額が 6 万円後半と過去に前例のない程高額になり、6 月以降も病床利用率が低い割には、医業収入はさほど減収にはなりませんでしたが、それでも医業収入だけでは当期利益が黒字になることはありませんでしたが、国や県からの協力金・補助金のおかげで、当期利益累計は例年通り黒字に転じました。そのおかげでコロナ禍の中でも、夏季冬季賞与も例年通り支給することができました。今回、協力金や補助金の申請、また、コロナ禍の中さまざまな対策、対応をして頂きました皆さまには、心より感謝申し上げます。

次年度も直ぐにはコロナ感染症が収束に向かうことは難しいかもしれませんが、春先から県民へのワクチン接種が開始されましたら、徐々に収束に向かっていくのではないかと期待しております。

2020 年度は、本当にコロナ感染症の話題しかありませんでしたが、2021 年度は、コロナ禍が終息することを願っております。病院とその職員にとって 2021 年度も大変な年度開始となってしまいましたが、事務部門としては、様々な困難を例年通り「笑顔で親切」のスローガンの下、職員一丸となって乗り切っていく所存です。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	高良 誠	構成人数	21 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事 2) 医療事故の原因調査に関する事 3) 医療事故発生に伴う対応策に関する事 4) 医療事故防止のために行う提言に関する事 5) 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関する事 6) リスクマネージャーの養成に関する事 7) その他医療事故の防止に関する事		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会	開催日	年 1 回 (不定期)
委員長名	島袋 泰	構成人数	25 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	e ラーニング ①アウトレットの取り扱いと点検、②酸素ボンベの取り扱いと点検 作成		

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	適宜
委員長名	久場良也	構成人数	11 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため。		
今年度の 主な活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関する事 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関する事 3) 医療事故発生に伴う対応策に関する事 4) 訴訟等の対応策に関する事		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	22 人
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の 主な活動内容	・4 月の新入オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。 ・感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真にて記録し、関係部署へ注意喚起を行う。 ・電子マニフェスト化の運用開始。		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第3月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	14名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 院内感染対策委員会の開催 月1回定例開催で年度12回の開催 2) 委員会における調査・報告内容 ICT報告 ①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザウイルス / CD / 針刺し・切創の発生報告） ②手指衛生状況（アルコール製剤使用量、手指衛生遵守率） ③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA） ④JANISサーベイランス事業（全入院部門） ⑤COVID-19関連（院内対応と状況、職員濃厚接触者状況など） AST報告 ①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出） ②AUD（抗菌薬使用密度） ③血液培養分離 ④菌血症・届出抗菌薬モニタリングの介入・フィードバック報告 ⑤血液培養の複数セット採取率と汚染率 ⑥JANISサーベイランス事業（検査部門）		
備考			

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	14名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲里隆史、国吉葉子
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職場の安全確保・環境改善を図る 職員のメンタル不調の予防		
今年度の主な活動内容	2020年4月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 5月～） 2020年4月 職場巡視（1～3部署 / 月）通年 2020年6月 飛沫感染防止対策実施 2020年10月 職員B型肝炎予防接種実施（1回目） 2020年11月 職員B型肝炎予防接種実施（2回目） 2020年10月 秋季職員健診実施 2020年11月 職員インフルエンザワクチン予防接種実施 2020年11月 ストレスチェック実施（フォローアップ 1月～） 2021年3月 職員満足度調査（ワークライフバランス委員会と共同実施） 2021年3月 職員対象、新型コロナウイルスワクチン接種（第1弾）		
備考			

NST 委員会

委員会名	NST 委員会	開催日	毎月第2月曜
委員長名	宮平 工	構成人数	43名
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	當眞結子
活動目的	1、低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い、適切なアドバイスを行う 2、リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図る 3、NST活動活発化にむけてNST専門療法士の取得を目指す		
今年度の主な活動内容	1、毎週月曜日：各病棟を多職種で回診する。 NST（外科医、消化器内科医、NST専任管理栄養士、NST専門療法士、看護師、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師）が各病棟を回診し、低栄養状態にある患者に対して栄養状態改善の提案を行った。 2、リンクナースによる症例検討会を開始し2症例実施できた。コロナ禍でスタッフ間、及びMRによる勉強会はできなかった。 3、コロナ禍の影響で回診の中止もあり、目標加算720件 / 年に対し409件 / 年の取得に留まった。また、実習病院の中止がありNST専門療法士の取得もできなかった。		
備考			

エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	奇数月の第 2 金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、光熱費の削減に努める。		
今年度の 主な活動内容	1. 東館を除く全ての照明を LED 器具へ変更し、光熱費の削減を行った。 2. 常用発電機の老朽化が著しいため撤去し、総受電することで光熱費の削減を行った。 3. 全館空調機の老朽化のため、取替見積もりと予算化を行う。		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第 3 火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
活動目的	・栄養管理の充実・向上とその適正な運営（栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策）		
今年度の 主な活動内容	・嗜好調査（年 4 回）の報告 ・食事変更、欠食等時間外オーダー件数報告 ・下膳の際、食器以外のものが下膳される（感染廃棄物、優肌絆、血液の付いた脱脂綿、医療器具等）ため各病棟への注意喚起		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第 3 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	10 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	兼濱 亜紀
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん医療の提供の推進を図る。		
今年度の 主な活動内容	1. セカンドオピニオンの受け入れ、および他院への依頼 2. 緩和ケア病院への紹介 3. がん患者さんへの在宅退院支援 4. 沖縄県緩和ケア研修会の運営開催 2021 年 2 月 13 日（参加者 12 名：院内 10 名、院外 2 名） 5. がん対策推進企業アクションからの情報紙（ニュースター 2020vol.1～5）を正面玄関、各部署へ配布 6. 患者さん向けがんの小冊子（14 部位）を正面玄関に配布 7. 2018 年症例の沖縄県院内がん登録集計報告書 10 冊を関係部署、および患者用として関連診療科外来へ配布 8. 2019 年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出（593 件） 9. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加 10. 国立がん研究センター主催の院内がん登録 QI 研究 2018 年症例への参加 11. がん対策推進企業アクションセミナー・アンケート調査への参加 12. 協議会、研修会、セミナーへの参加（Web 開催） ・沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加 2020 年 5 月、8 月、11 月、2021 年 2 月の計 4 回（徳盛・知花・伊集・宮平） ・緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキンググループ参加 2020 年 5 月、9 月、2021 年 2 月（西原）		
備考			

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第1木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の主な活動内容	・プロトコールシステムの整備・改定 新規レジメン登録件数 26 件 ・マニュアルの整備・改定 ・院内勉強会の開催（年 1 回：免疫チェックポイント阻害薬について） ・閉鎖式デバイスの導入・運用 無菌調製処理量の算定（2,132 件 / 年） ・化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み 外来化学療法加算（1,142 件 / 年） ・免疫チェックポイント阻害薬に関する連携強化		
備考			

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	36名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	兼城 雅
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション。 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援。 3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討。 4) 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の定期的な開催。 5) 毎月第2水曜日にミーティングを行い意見交換やケアに関する情報収集を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2020年度は年間 176 名に対してラウンド実施】 ①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入 ②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション 2) 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与 3) 呼吸器ケアに関する勉強会の開催 2020 年度実績 「2020 年 11 月 11 日 フィジカルアセスメントについて」 「2021 年 3 月 10 日 血液ガスについて」		
備考			

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	仲地智俊（個人情報保護管理責任者）	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲地智俊
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の主な活動内容	1. 2021 年 4 月 新職員オリエンテーション 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明		
備考			

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年 2 回 (6 月・3 月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	48 名
事務局・担当部署	臨床研修センター	担当者名	新屋瑞希
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関して必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の主な活動内容	1. 2020 年度採用初期研修医第 17 期生 (3 名) の紹介 2. 2020 年度スケジュールの確認 3. 2019 年度採用初期研修医第 16 期生 (7 名) の修了判定 (院内委員:現地開催、院外委員:書面会議) 4. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

大規模修繕委員会

委員会名	大規模修繕委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・病院機能維持のため、大規模改修工事の中長期計画を策定し、計画的に修繕計画を実施する。 ・2020 年度の予算:7,390 万円を理事会承認を得る。		
今年度の主な活動内容	1. 常用発電機 (4 基) が老朽化の為、撤去工事を行う。 2. 災害時の飲料水 3 日分の確保の為、貯水槽 (252t) の増設工事を行う。 ※補助金事業活用。 3. 栄養科側非常用エレベーター (No. 5) のリニューアル工事を行う。 4. 西館屋上防水工事を行う。		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年 1 回 (8 月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	20 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城司・新垣りか
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	コロナウィルス感染状況を鑑みて開催していません。		
備考	年度に 1 回以上委員会を開催する。		

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	11名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	治験を行う為に必要な第3者機関（院長の諮問機関）として、「GCP、臨床研究法」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数:3件		
備考			

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	奇数月の第3金曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	委員会の役割 ・新規採用医薬品の採用 ・後発医薬品の採用方法 ・既採用医薬品の再評価の必要性 ・陳旧化した医薬品の取り扱い ・同種・同効薬の再評価 ・院内製剤の採否の決定 ・医薬品の適正な使用方法の協議 ・医薬品の副作用及び感染症の協議 ・在庫医薬品の適切な管理と運用 ・病院医薬品集・医薬品情報等について ・臨床試用医薬品の採否の決定 その他の審議事項 ・院外薬局からの問い合わせ内容を整理し、薬局・病院間の取り決め事項を決め、医師への確認件数の削減を図った。 ・構成委員の改訂 ・COVID19 対応薬剤の採用 ・COVID19 対応ワクチンの採用 ・供給不安定薬剤の供給体制の検討・対応 2020年度 審議実績 ・新規採用 40件 ・採用切替・追加 28件 ・後発への切り替え 24件 ・採用条件変更・削除 10件 ・その他 10件		
備考			

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第 1 金曜日
委員長名	阿嘉 裕之	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の主な活動内容	・血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行いました。 ・廃棄血の発生状況を検討し対策をおこないました。 ・輸血同意書、自己血同意書の改訂、及び、説明付加文書を附属して発行する手順に変更しました。 ・血液製剤の保管、運搬についてのマニュアルを新たに作成し周知を行いました。 ・輸血管理料－Ⅱ（110 点）の申請を行いました。※血液製剤（アルブミン製剤を含む）の使用患者に月 1 回を限度として算定される。 ・輸血適正加算－Ⅱ（60 点）は、FFP、アルブミン製剤の使用量が基準値に満たず、申請できませんでした。 ・ガイドランイ変更に伴い、輸血後感染症検査の積極的な実施を取り止めました。 ・廃棄血増加に伴い、廃棄血、発生状況の検討を行いました。 ※廃棄血液金額：2019 年度（566,986 円）⇒2020 年度（772,962 円）で増加している。 ・沖縄県輸血療法委員会と連携し、患者携帯用の“輸血関連情報カード”の発行を開始しました。 ・2021 年度：輸血管理料－Ⅱ加算は申請可能です。輸血適正加算－Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ませんでした。 ・廃棄血金額を 50 万円以下に抑えることを年度目標としています。		
備考			

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	不定期（2～3回／年）
委員長名	宮城 敬	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤辰好
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので、疾病の診断・治療・予後を判断するための重要な情報を提供するものである。 質の高いデータを迅速に提供できるよう努力する事が大切である。 上記をサポートする事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会は基本年 3 回開催し、必要に応じ臨時に開催する 1) 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2) 検査精度管理、機器選定ならびに導入計画 3) 検査項目や、正常値の検討 4) 新規検査の導入や検査中止の検討 5) その他		
備考			

倫理委員会

委員会名	倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	10 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：22 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週第 2 月曜日
委員長名	花城直次	構成人数	29 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	本田由佳理、高宮 里沙
活動目的	がん患者及び家族の治療と生活に関する苦痛に対して、医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、MSW、臨床心理士協働してチームを作り、精神的・身体的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提供し療養生活と退院後の生活を見据えて支援していく。		
今年度の主な活動内容	1. 緩和ケア診療加算算定のための仕組み作りと実施。 2. 「痛みの評価シート」の再評価。→バージョン2を作成 3. 多職種の視点で症例検討を実施し、他の職種、他病棟におけるケアや知識を共有する 4. がん性疼痛緩和指導管理料加算 (200 点) 目標件数 / 年 100 件 / 年→202 件 5. がん患者指導管理料Ⅰ (500 点) 目標件数 / 年 20 件 / 年→17 件 6. がん患者指導管理料Ⅱ (200 点) 目標件数 / 年 40 件 / 年→51 件		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	伊集 準
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	宮城克己
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム (機器) の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
今年度の主な活動内容	① 医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの導入・運用方法の検討と管理 ② グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 ③ 上記①②に係るネットワークの検討 ④ IT 導入に伴うセキュリティ管理 ⑤ IT 機器購入の検討 ⑥ 各部門システムの導入、運用検討、保守等の管理 ⑦ 職員の IT 知識の向上		
備考			

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第 2 月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	36 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	高橋慎二
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の 主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	銘苅 正	構成人数	21 名
事務局・担当部署	ER-Aide	担当者名	森元 一晟
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。 問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
今年度の 主な活動内容	・救急搬送患者、時間外救急患者の受入れに關しての流れや問題点、救急総合診療部に關わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。 ・救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に關しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は、翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上（第1金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第2金曜日）1回開催とする。		

投書対策委員会・患者満足度向上委員会

委員会名	投書対策委員会・患者満足度向上委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6 名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた。 患者さん等からのご意見に対応。 患者満足度調査実施。 快適な療養環境に努めた。		
備考			

健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会	開催日	毎月第 4 木曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	9 名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部・看護部	担当者名	金城信矢（事務部）
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
今年度の 主な活動内容	1. 健康増進企画会議（毎月 1 回） 2. 健康増進委員会全体会議（偶数月に 1 回） 3. 毎月朝礼時のワンポイント体操・ラジオ体操指導 4. あすなろ誌面へストレッチ情報掲載（年 4 回） 5. 新入職員歓迎本島縦断駅伝大会（5/19） 6. 部署対抗卓球大会（7/16～7/18） 7. 部署交流ソフトバレーボール大会（10/26）		
備考			

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会	開催日	不定期
委員長名	末吉 健次	構成人数	7 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図る		
今年度の主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守管理 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集 医療機器を安全に使用できるような運用を検討する		
備考			

医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会	開催日	不定期
委員長名	仲松 晋也	構成人数	9 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的な方策などについて指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録の整理 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3 ヶ月毎、第 2 月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は 3 ヶ月毎に 1 度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5 月、8 月、11 月、2 月の第 2 木曜日
委員長名	久場良也	構成人数	7 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の主な活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	毎月第 3 木曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	15 名
事務局・担当部署	経営企画室広報係	担当者名	仲田尚正
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の 主な活動内容	1. 2019年度かりゆし会年報の企画およびデータ収集、編集、製本(全312ページ)。 2. 2019年度各科実績報告会の運営 2020年11月5日(木)と6日(金)の2回開催した。 3. 2020年度年報の企画		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	2 ヶ月に 1 回 木曜日開催
委員長名	島袋泰	構成人数	33 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。 手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、器機の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
今年度の 主な活動内容	【2020 年 6 月 18 日】 1. 前年度手術件数と今年度手術件数目標について 2. 針刺し件数 0 件強化月間 3. 手術枠の説明と麻酔科枠の有効活用について 【2020 年 7 月 29 日】 1. 手術を受ける患者の事前抗原検査について 2. 予定手術患者の発熱時対応について 3. 夜間緊急手術を受ける患者の抗原検査『陽性』時の対応について 【2020 年 8 月 25 日】 1. コロナ疑い患者の手術同意書取扱いについて 2. コロナ疑い患者の胸部 CT、抗原検査について 【2020 年 8 月 27 日】 1. 術前肺機能検査について 2. 麻酔科医師 1 名欠員(病休)のため、麻酔科枠 1 件縮小 【2020 年 11 月 19 日】 1. 緊急手術における院内 PCR について 【2020 年 12 月 30 日】 臨時 1.12/21(木)～1/4(月)における緊急手術の PCR について		
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時(原則 13 時開催)
委員長名	久場良也	構成人数	16 名(医局・看護部・医療技術部・事務部)
事務局・担当部署	事務部 総務課	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	1. コンディション発令(台風対策)の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。		
今年度の 主な活動内容	2020 年 8 月 31 日～9 月 1 日 台風 9 号対策対応 2020 年 9 月 5 日～6 日 台風 10 号対策対応		
備考			

ICU・HCU 合同運営委員会

委員会名	ICU・HCU 合同運営委員会	開催日	不定期
委員長名	久場良也	構成人数	21 名
事務局・担当部署	経営企画室	担当者名	安里 竜
活動目的	診療科間、多職種の連携を密にし、より効率的な ICU 運営、HCU 運営を目指す。重症患者（救急・術後・外傷）診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る。		
今年度の主な活動内容	SOFA スコア（ICU）入力の運用について 院内 BLS・ICLS 講習会の運営（教育班） HCU の陰圧・個室化工事期間中のベッドコントロールについて		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	秋元 芳典	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	・各部署購入図書検討 ・年間雑誌購入検討 ・文献データベース利用検討 ・廃棄資料検討 ・文献複写依頼 ・蔵書点検 ・所蔵目録作成		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第 2 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉康文
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動・その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。 5. 業務委託の検討		
今年度の主な活動内容	2020（令和 2）年度の人事検討委員会開催数 15 回。承認された事案は理事会調整会議及び理事会で審議され決定されます。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④給与表・資格手当の見直しなどがあります。 2020 年度はかりゆし会全体で 173 名を採用しました。（ハートライフ病院 148 名、ハートライフクリニック 6 名、地域包括ケアセンター 13 名、保育事業 3 名、附随附帯業務 3 名）		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いします。委員会は毎月第 2 月曜日に行われますので、稟議書等資料は、前週水曜日までに紙ベースにて人事課へ提出をお願いします。		

教育・研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会	開催日	不定期 + 3月
委員長名	久場良也	構成人数	12 名
事務局・担当部署	看護部 / 事務部	担当者名	仲地ますみ / 比嘉康文
活動目的	医療・看護・医療技術・組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する。 全職員対象及び委員会・部門別の教育・研修を一元管理し、年間計画を作成し職員へ通知する。		
今年度の 主な活動内容	1.全職員対象の講演会、研修会の実施状況確認、実績まとめ。 2.各部門の学生実習の受入状況の確認と実績取りまとめ。 3.委員会のあり方の検討、運営の見直しを行った。		
備考	2020 年度院内研修・講演会実績		
	内 容	実施件数	参加者（人）
	医療安全	27	994
	院内感染対策	19	1,651
	教育（WEB 開催含まず）	10	409
	発表・報告（WEB 開催含まず）	2	151
	教養・その他（WEB 開催含まず）	1	22
	計	59	3,227
	2020 年度実習・研修受け入れ実績		
	部門	研修内容	人数
医師卒後臨床研修	初期研修	23	42
	後期研修	19	
看護学生臨床実習	沖縄看護専門学校	71	263
	ぐしかわ看護専門学校	121	
	名桜大学	31	
	北部看護学校	6	
	那覇看護専門学校	0	
	浦添看護学校	0	
	看護大学・別科助産	2	
	穴吹医療大学校（通信課程）	0	
	福岡看護専門学校（通信課程）	32	
医療技術関連実習	医学生	40	49
	リハビリ	5	
	臨床検査	1	
	薬局	0	
	事務系	3	
救急救命士臨床実習	中部地区MC	1	10
	他消防	5	
	学生	4	

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会	開催日	不定期
委員長名	久場良也	構成人数	18 名
事務局・担当部署	管財課用度係	担当者名	諸見里和也
活動目的	①診療材料及び、医療消耗品に係る方針に関する事。 ②診療材料の高額案件や、纏め買い等で高額となる申請に関する事 ③購買管理・在庫管理・使用管理に関する事 ④発注事務等の改善に関する事 ⑤診療材料に関する職員教育及び啓蒙に関する事 ⑥全各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項		
今年度の主な活動内容	審議採用案件 ①デュラジェン（人工硬膜）採用 ②PTCD キット（内瘻用カテーテル）採用 ③滅菌水溶性潤滑剤採用 ④排煙装置消耗品の説明 ⑤新型コロナウイルス関連、使用材料の報告 ⑥チューブエクステンジャー採用 ⑦超音波凝固切開装置消耗品纏め買い ⑧洗浄評価インジケータの採用 ⑨滅菌プラスチック手袋メーカー変更		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第4木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7名
事務局・担当部署	事務局・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
今年度の主な活動内容	医師および医療従事者の負担軽減推進 医師当直明け午後勤務休日の推進 タイムレコーダ打刻徹底周知（実労働時間の把握） 職員満足度調査（2021年3月実施）安全衛生委員会、人事課との共同 36協定の遵守、特別条項の遵守 年次有給休暇の管理（法定 年5日取得） 働き方改革関連への対応		
備考			

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	桑江 高
活動目的	1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する		
今年度の主な活動内容	- 患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談件数は減少 - 不当な対応を訴える患者の対応について、医師・各部長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行う - 毎週木曜日の委員会にて報告書及び投書にて上がった事案について検討・対策を行った 2020年度は計46回の委員会を実施 - 患者サポート案件67件について委員会にて協議し対応・改善を図った - 医師への不審電話への対策及び職員への周知徹底を行った - コロナ対策として検温・面会ブースの設置 - サーモブースでの検温対策		
備考			

QI委員会

委員会名	QI委員会	開催日	毎月第4金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	当院は2012年度より引き続き日本病院会主催の「QIプロジェクト2020」に参加しております。QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しています。		
今年度の主な活動内容	- QIプロジェクト2020年度 41項目の臨床指標データの収集。 - 本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧いただけます。		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	13名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	- 委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 - 年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
今年度の主な活動内容	2020年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は44件で、総額約39,508万円の医療機器などを購入した。 - 今年度から大規模改修工事については、大規模修繕委員会を発足して予算化を行った。		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第 3 月曜日
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。火災発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施（2 回 / 年度）		
今年度の主な活動内容	2020 年 4 月 消火訓練（消火器の取扱い・消火用散水栓の取扱い） 2020 年 4 月 C19 災害対策本部会議と情報共有・連携 2020 年 5 月 新型コロナウイルス感染症医療機関等情報システム（G-MIS）の運用（入力等）		
備考			

無料健康講座委員会

委員会名	無料健康講座委員会	開催日	毎月第 3 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	4 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	地域に向けて医療に関する教育・啓蒙活動を行う。		
今年度の主な活動内容	10 団体から予約がありましたがコロナウィルス感染状況を鑑みてすべてキャンセルにしました。		
備考			

施設基準検討委員会

委員会名	施設基準検討委員会	開催日	毎月第 2 木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11 名
事務局・担当部署	総務課 施設基準係	担当者名	佐和田 安彦
活動目的	1. 医療法で定める医療機関の職員配置、健康保険法等での規定に基づく基本診療料・特掲診療料等に対し、施設基準の提案・検討・申請を積極的に行う。 2. 多職種間の連携を図り、情報の共有・施設基準申請の促しを図っていき、医療機関の機能・設備・診療体制を定め、安全やサービス等の価値を高める。		
今年度の主な活動内容	1. 入院基本料、特掲診療料等の施設基準状況の把握及び管理 2. 新規施設基準項目の届出検討 3. 算定率向上ワーキンググループ報告内容の共有 4. 令和 2 年度診療報酬改定新設施設基準届出 5. 夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算届出（2020 年 6 月運用開始） 6. 経皮的冠動脈形成術「特殊カテーテルによるもの」届出（2020 年 10 月運用開始） 7. BRC A 1/2 遺伝子検査届出（2021 年 2 月運用開始） 8. 厚労省病床機能報告の対応		
備考			

広報誌 LIFE 制作委員会

委員会名	広報誌 LIFE 制作委員会	開催日	不定期
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	10 名
事務局・担当部署	人事課	担当者名	仲里 孝史
活動目的	研修医および医師の採用、連携診療所等の連携強化を目的とした広報誌「LIFE」を発行する。		
今年度の主な活動内容	1. 創刊に向けた広報誌の方向性の検討 2. 冊子名の検討 3. 発行に伴う予算確保 4. 創刊号発行に向けたコンテンツの検討 5. LIFE1 号（創刊号）の発行 / 外科後期研修医を特集・12 ページ・700 部発行 6. LIFE2 号の検討		
備考			

摂食嚥下委員会

委員会名	摂食嚥下委員会	開催日	毎月第2水曜日 毎週水曜日ラウンド
委員長名	赤澤 幸則	構成人数	31名
事務局・担当部署	リハビリテーション科	担当者名	大城 盛彦
活動目的	・摂食機能療法加算取得 ・リンクナースを通して病棟での摂食嚥下に関する周知		
今年度の 主な活動内容	・毎週水曜日ラウンド実施 ・ラウンドでは耳鼻科医師、言語聴覚士、看護師、栄養士、歯科衛生士、薬剤師、多職種でラウンドを行い摂食嚥下障害のある患者の問題を明らかにし、誤嚥性肺炎、窒息などのリスクを各分野からのアドバイスを基に病棟のケアに活かせる様に努めています。 ・ミーティングでは摂食機能療法加算の状況の報告や、病棟看護師の食事介助、口腔ケアなどの日々のケアなどの問題点を確認し、そこをラウンドに反映させるような関わりをし看護師の質向上にも努めています。		
備考			

褥瘡対策委員会

委員会名	褥瘡対策委員会	開催日	毎月第3水曜日
委員長名	東盛貴光	構成人数	43名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	宮平 良太
活動目的	1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生（入院時に有する）患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. スタッフへ褥瘡に関連した教育の実施		
今年度の 主な活動内容	毎週水曜日：褥瘡回診 形成外科医師、薬剤師、理学療法士、褥瘡専任看護師、病棟専任看護師にて回診を実施。 回診時、医師から看護師または患者自身へ処置の指導、理学療法士によるポジショニングなどの指導を実施しチームで褥瘡予防に努めています。また、低栄養状態にある患者を対象に、管理栄養士やNSTチームと連携を行い、栄養管理方法について検討するなどチームでの活動にも力を入れています。		
備考			

ポリファーマシー対策委員会

委員会名	ポリファーマシー対策委員会	開催日	2ヶ月に1回 第1金曜日
委員長名	佐藤 直行	構成人数	6名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	仲宗根 豊
活動目的	多種類の服薬を行っている患者の処方薬剤を総合的に評価・調整する。		
今年度の 主な活動内容	入院時の持参薬より、対象者を抽出。多職種によるカンファレンスを実施し、処方内容の変更や中止を行った。 薬剤総合評価調整加算（100点）+ 薬剤調整加算（150点）→ 55件 薬剤総合評価調整加算（100点）のみ→ 18件 薬剤総合評価調整管理料（250点）→ 3件		
備考			

病床利用率向上対策委員会

委員会名	病床利用率向上対策委員会	開催日	毎週火曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	52 名
事務局・担当部署	医事課・入退院調整	担当者名	宮城淳・外間真紀子
活動目的	病床間及び関連部門との連絡調整を行い、病床の効率的運用について情報を共有する ・新規入院患者数 病床利用率の向上 ・DPC II 期間での退院調整 ・診療報酬加算取得可能分野の算定率向上		
今年度の 主な活動内容	1 委員会における報告内容 ①病院全体の病床利用の推移 ②週次の診療科別実績（新規入院 病床利用） ③各病棟の DPC 入院期間 III 患者の割合 ④重症度、医療・看護必要度の推移 2 活動内容 ①各部署の師長・各診療科部長・主治医間で情報共有し円滑な退院支援を行う ②紹介患者は断らない（病院全体での地域医療連携の推進及び充実） ③柔軟な病床管理（病院各部署のチームでベットコントロールを担う）		
備考			

新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議

委員会名	新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議	開催日	毎週金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	24 名
事務局・担当部署	経営企画室	担当者名	安里 竜
活動目的	当法人の新型コロナウイルス感染症への運営方針に関する意見調整、意思決定、予算管理に関すること		
今年度の 主な活動内容	1. 法人・病院全体の運営に関わる事項 2. 下部会議から上がってきた事項の審議 3. 予算管理		
備考			

新型コロナウイルス感染症連絡会議

委員会名	新型コロナウイルス感染症連絡会議	開催日	毎週月曜・水曜・金曜
委員長名	三戸 正人	構成人数	32 名
事務局・担当部署	感染対策室	担当者名	城間 克也
活動目的	当法人の新型コロナウイルス感染症への診療方針に関する情報共有、意見調整、意思決定に関すること		
今年度の 主な活動内容	1. C19 診療に関する事項の共有 2. 班間の課題のすり合わせ		
備考			

ハートライフクリニック 2020 年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2020

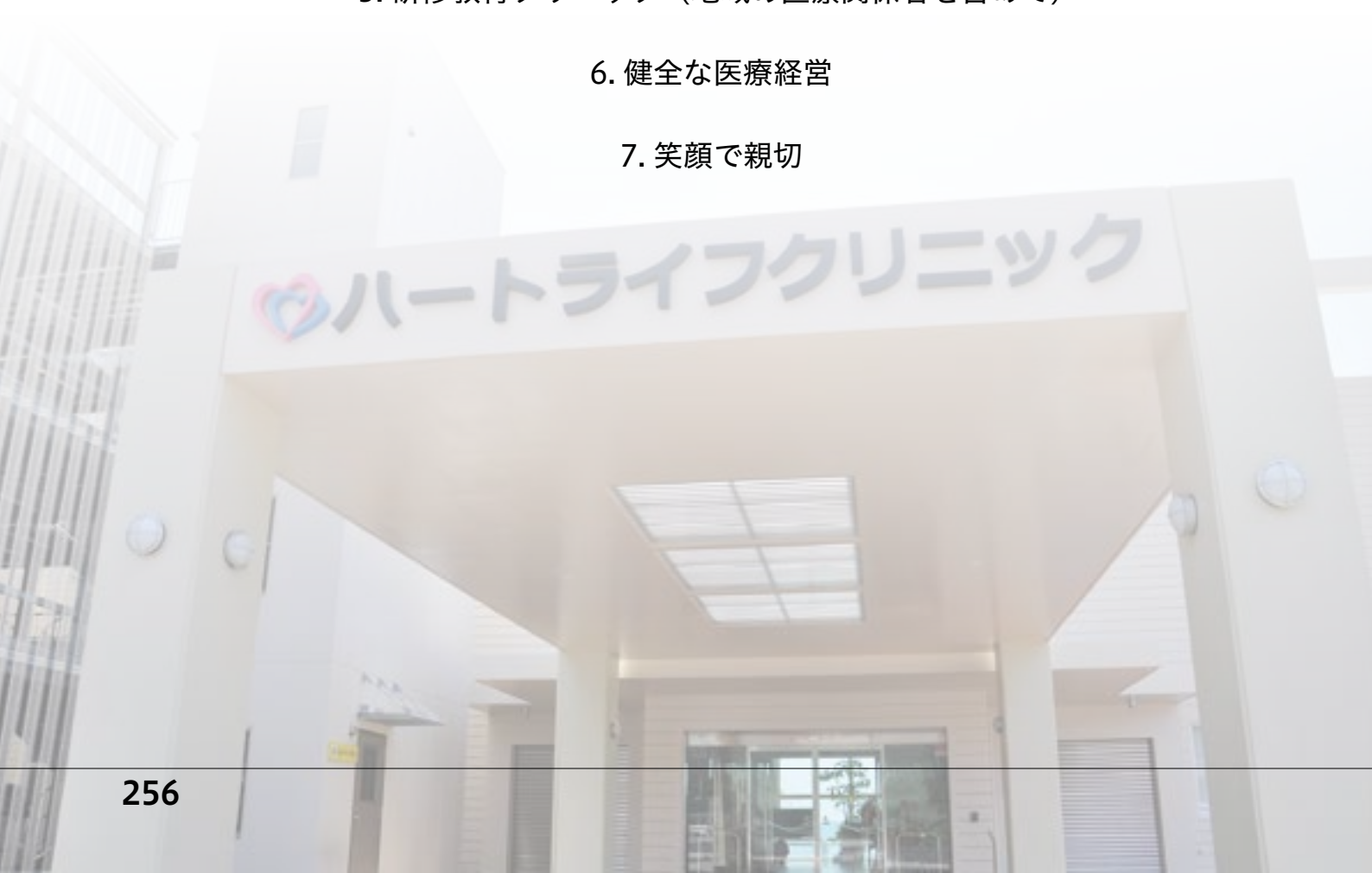


理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

年報発刊によせての挨拶



2020年度の年報を発刊するにあたりハートライフクリニックの現状を報告いたします。

年度初頭からの世界的な COVID-19 感染が日本にも波及し、ハートライフクリニック通院中の患者さまにも大きな影響がありました。年度前期は内科、糖尿病内科、小児科の3科ともに受診患者数が減少しました。当クリニックを含め、医療機関側の感染対策に不足する部分があったことや、マスコミ報道による影響もあり、多くの患者さまが感染に対する不安から受診を控えられたと思われます。対策として当クリニックではハートライフ病院感染対策委員会の指導を受け、クリニック各部署の COVID-19 の感染対策とスタッフの知識向上を行いました。患者さまにもソーシャルディスタンスやスタッフとの面談時間の短縮、通院間隔の延長などご協力を頂きました。以上の対策によって糖尿病内科と内科は夏には前年度並みに受診者は回復しました。しかし、小児科では11月・12月・3月以外の月で前年度に比べて受診者数が激減したままでした。全国的に小児科の受診者数は減っているようで、受診控え以外に保護者の感染対策意識が向上し小児の感染症自体が減ったようです。

糖尿病内科の患者さまにコロナ感染についてのアンケートを11月に実施しました。多くの患者さまはコロナに対する不安から自宅にいる時間が増えて、他者との交流が減っていました。しかし、通院しないと病状が悪くなると通院の必要性は認識されていたこと、普段の健康にはいっそう気を付けておられたことがわかりました。患者さまには安心して通院していただけるクリニックを目指して最新の COVID-19 の情報をもとに日々対策しています。

2020年度は暗い話題が多かったのですが、ハートライフクリニックでは大変嬉しい出来事もありました。4月から糖尿病内科に小原正也先生が入職されました。小原先生は大阪ご出身で糖尿病専門医や内分泌代謝専門医、総合内科専門医の資格を取得しておられ、さらに骨粗鬆症や透析も含めた腎症治療も得意にされています。COVID-19 対応で一般診療が大変な状況のなか、クリニックだけでなくハートライフ病院も含めて糖尿病、内分泌、透析などの治療に貢献して下さいました。

年報では2020年度のハートライフクリニックを総括することで次年度の改善点が明らかになると思います。患者さまと歩むハートライフクリニックとして皆様のお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
院長 山本 壽一

クリニック概要

(2020 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院長 山 本 壽 一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡
規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数

総数 56 名

職種別

(2020 年 4 月 1 日現在 / データ作成 人事課 喜舎場)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	4	クラーク	4	臨床心理士	1	その他	6
非常勤医師	17	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	10	臨床検査技師	1	理学療法士	1		
准看護師	2	放射線技師	1	一般事務	6		

指導医・専門医・認定医

名称	人数
日本医師会認定産業医	2
日本呼吸器学会専門医	1
日本骨粗鬆症学会認定医	1
日本循環器学会専門医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1
日本糖尿病学会専門医	6
日本透析医学会専門医	1

(2021年3月31日時点 データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会認定内科医	9
日本内分泌学会指導医	1
日本内分泌学会専門医	2
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 特定疾患治療研究事業医療機関
5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

- ## ● 禁煙外来

受付時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 7: 45～ 11: 30
午後 13: 00～ 16: 30
土曜日(内科 /2020年 4月まで診療)
午前 7: 45～ 11: 30

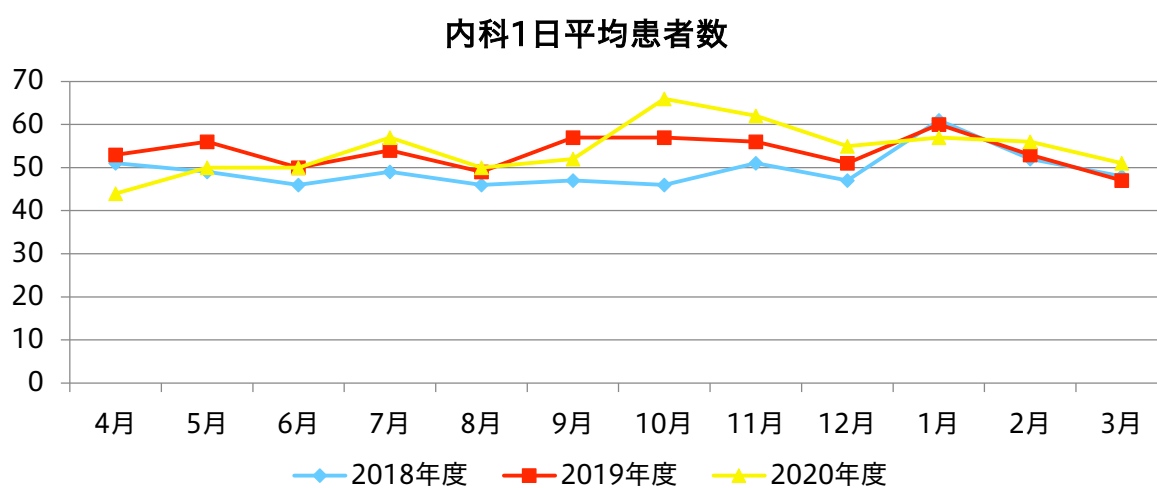
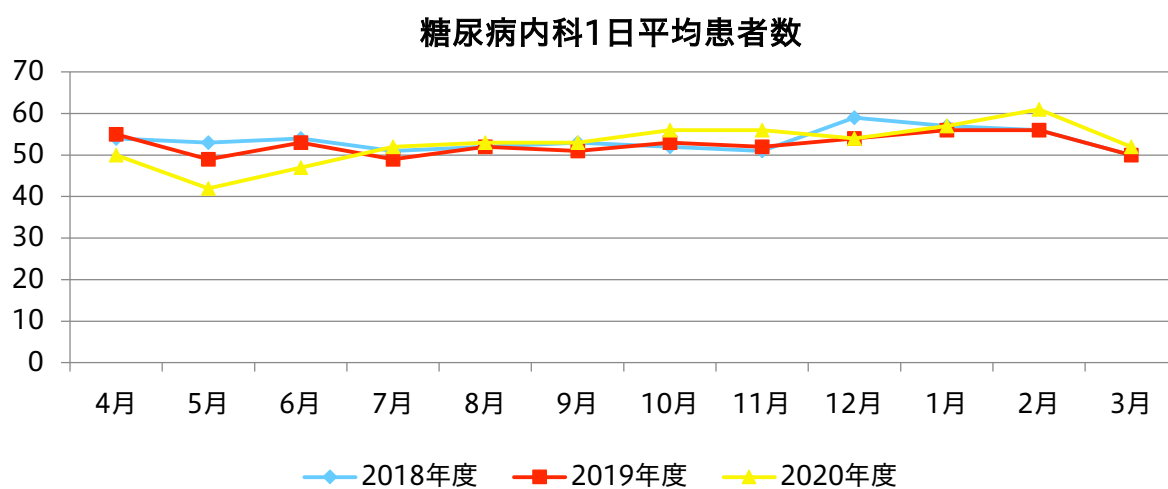
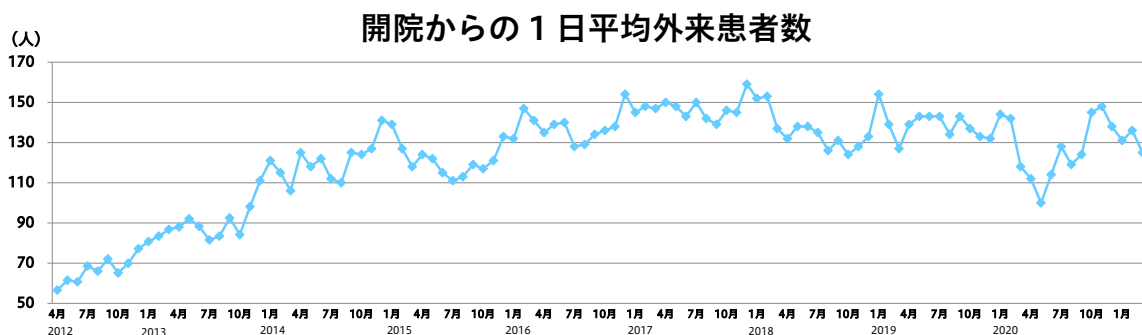
診療時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 9：00～12：00
午後 14：00～17：30
土曜日（内科 / 2020 年 4 月まで診療）
午前 9：00～12：00

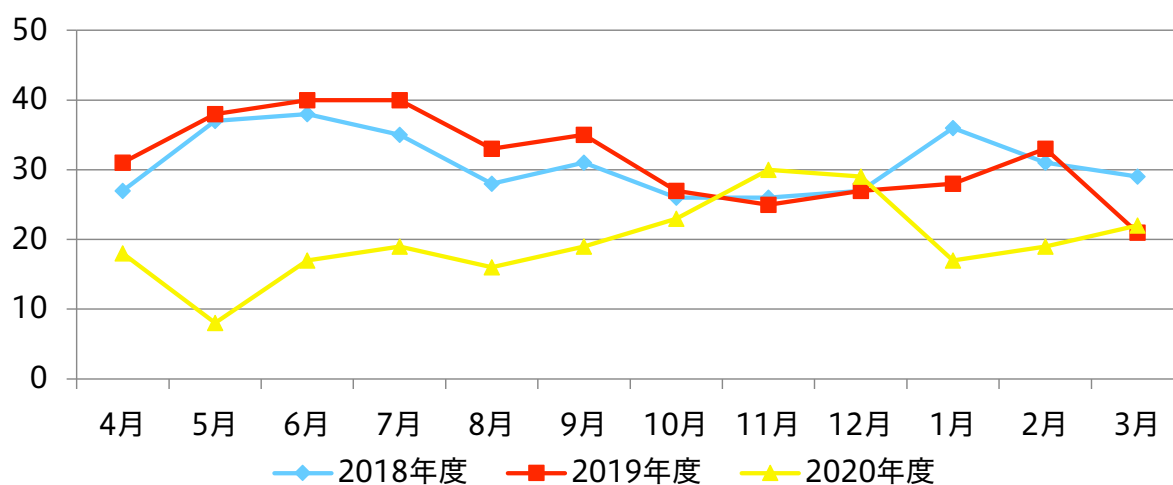
休診日

糖尿病内科/ 水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日
内科 / 土曜日午後・日曜日・祝祭日
小児科 / 月曜日午後・水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日

患者統計

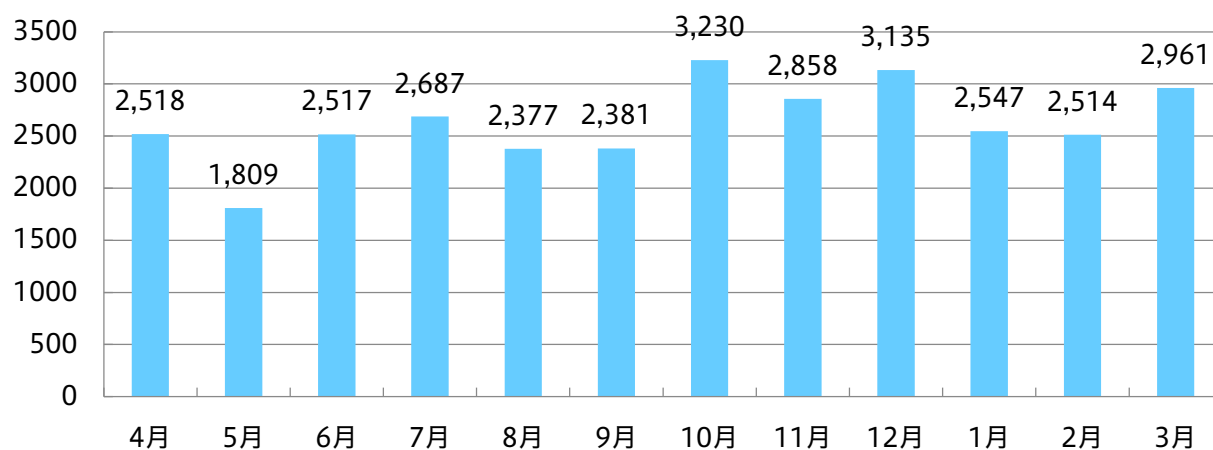


小児科1日平均患者数



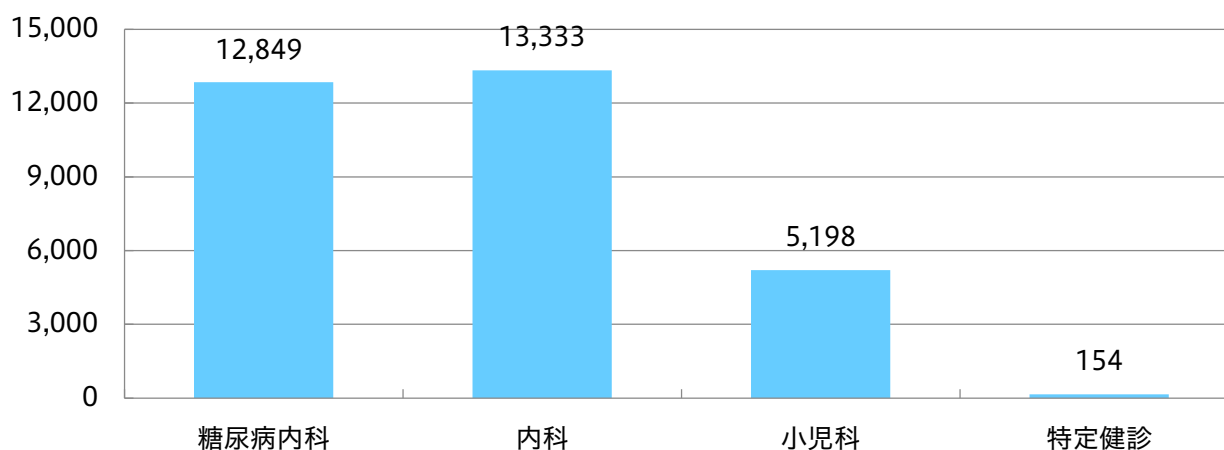
(人)

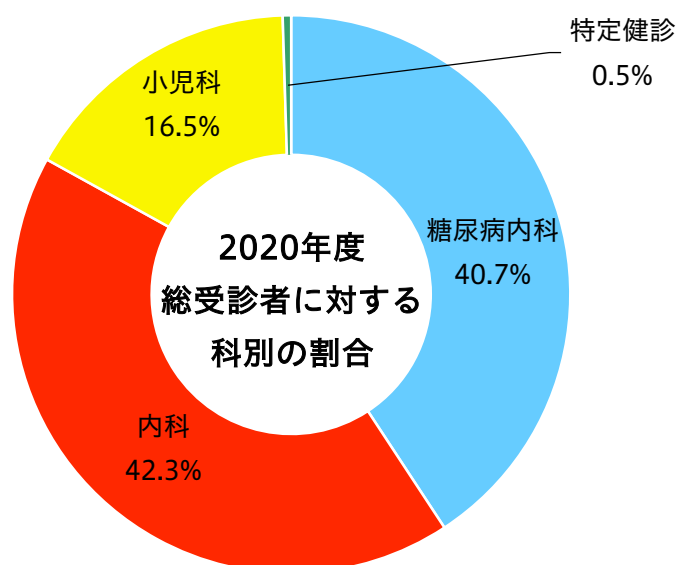
2020年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数



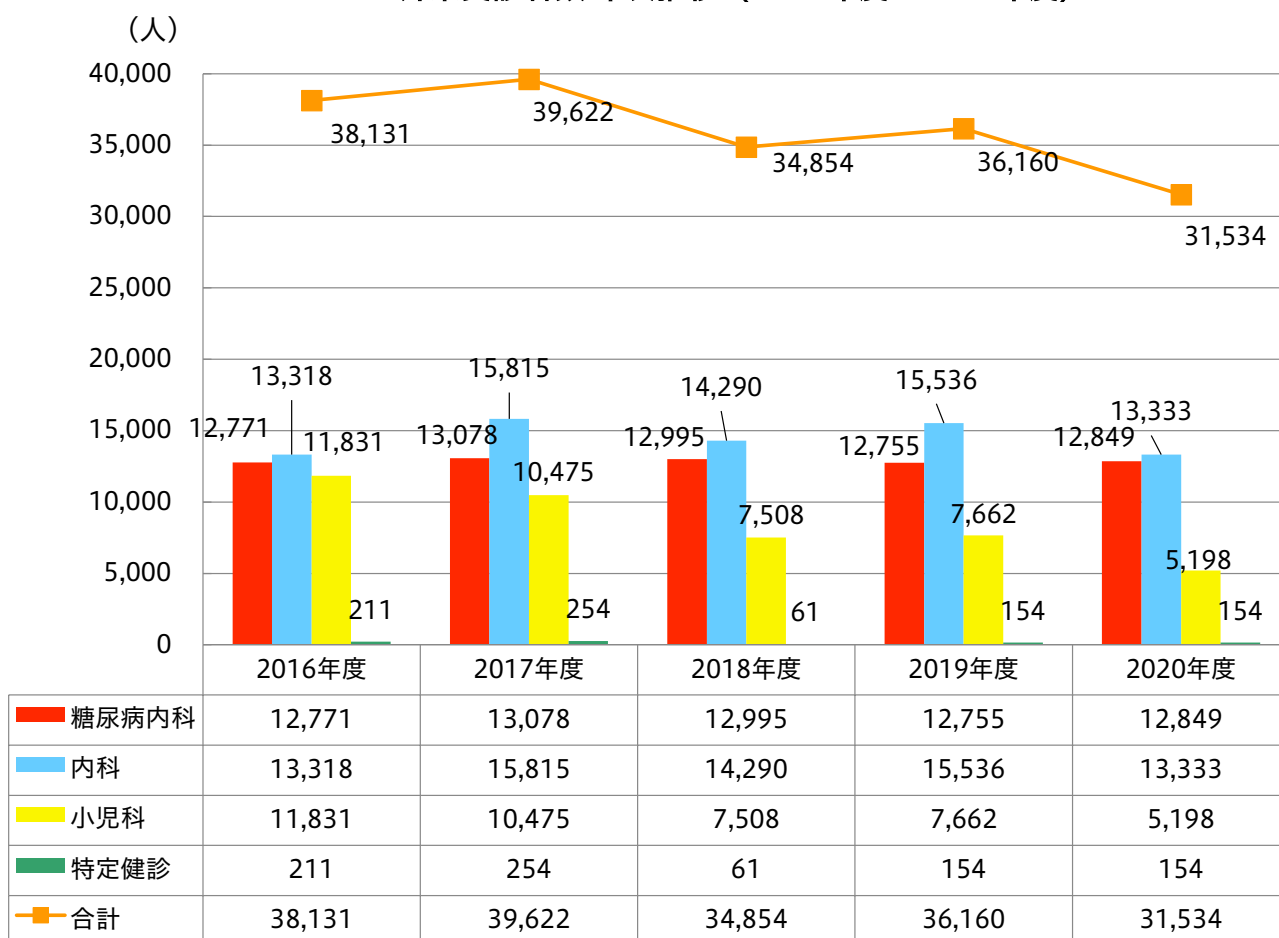
(人)

2020年度 科別受診者数

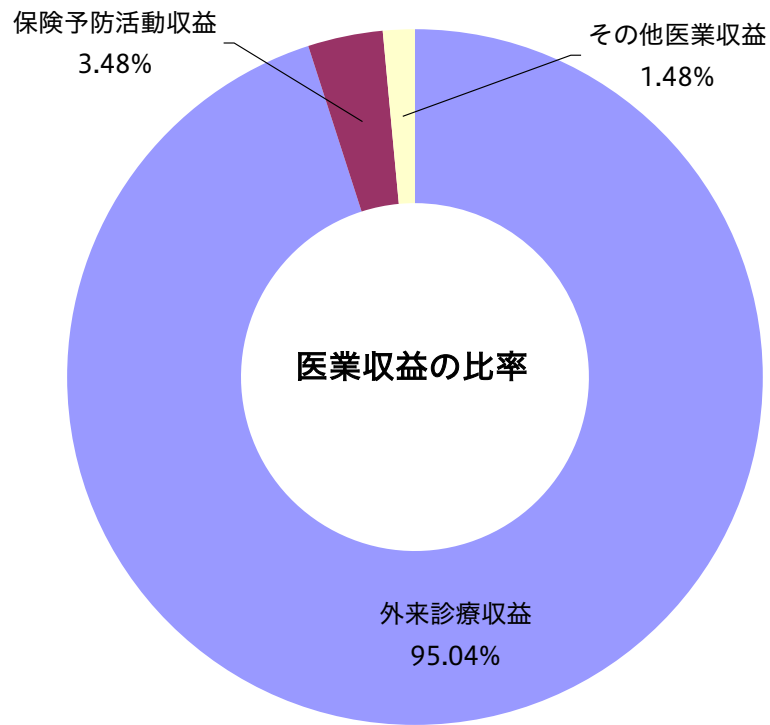




外来受診者数 年次推移（2016年度～2020年度）



ハートライフクリニック財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科の役割は、患者様の生活習慣や価値観を尊重しながら、患者様が糖尿病と共により良い人生目標を目指して、治療が続けられるようにサポートすることです。

糖尿病内科では、1 型糖尿病患者様へのインスリンポンプ療法やリアルタイム血糖皮下モニター rtCGM の導入。またその両方が bluetooth でつながり、自動的に低血糖を回避する SAP 療法を導入しております。さらにパッチ式インスリンポンプのメディセーフウィズというインスリンポンプが仲間に加わりました。2 型糖尿病患者様には、新たに 1 週間に 1 回の内服または注射の GLP1 受容体作動薬の新薬が増えたこと、そして持効型インスリンと GLP1 受容体作動薬の配合剤の出現により、従来の強化インスリン療法だけでなく治療の幅が広がりました。血糖測定では持続血糖モニタリングシステムのリブレがスマートフォンのアプリで測定可能になった事と更にクラウド下でそのデータが主治医と連携して供覧可能になりました。当院には非常に治療の難しい不安定型の糖尿病患者様や重度合併症を持つ患者様が多く通われております。

糖尿病内科スタッフの看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、臨床心理士が糖尿病患者様の療養指導を行っております。日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフは 6 名おり、下肢切断予防のためのフットケア、透析予防のためのチーム医療を行い、加算がとれる施設として厚生労働省から認定されております。特に透析に逼迫する患者様の筋力低下に対しては、体組成計を用いて透析予防運動療法としてチームで介入が可能となりました。糖尿病内科休診日である土曜日には外来教育コースや糖尿病患者会「ハッピーハート会」、1 型糖尿病患者会の交流会「ポパイの会」を定期的に開催しております。毎年 11 月 14 日の世界糖尿病デイに合わせてクイズなどの院内掲示により啓発活動にも協力しております。現在はコロナの状況下で思い通りに会の運営が出来ない中、何か力になれることはないかと思案し、定期的に「ありんくりん本」という、糖尿病患者様にお役立て頂けるよう糖尿病関連の時事トピックスを各スタッフから持ち寄りで発刊しております。

職員数

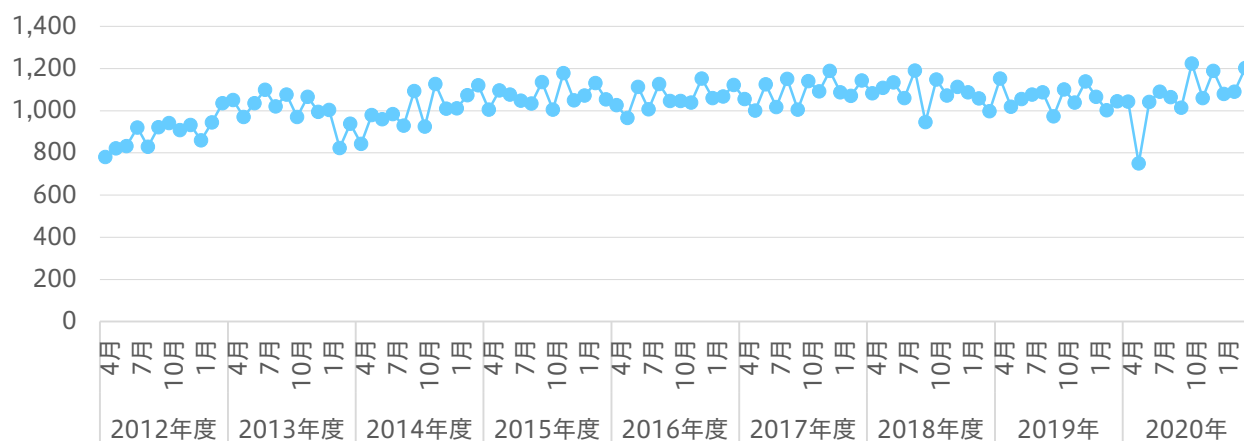
総数 22 名

医師	7 名（常勤 2 名、非常勤 5 名）	臨床心理士	1 名
看護師	6 名	メディカルクラーク	6 名
管理栄養士	2 名	クラーク	2 名
検査技師	1 名		

認定・資格

名称	人数	名称	人数
日本糖尿病療養指導士	6	沖縄県地域糖尿病療養指導士	3

開院からの受診者数推移



研究業績

学会発表

学会名	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会	糖尿病患者の生きがい感と糖尿病感情負担に関する研究—生きがいと糖尿病を克服するか—	WEB 開催	2020 年 10 月 5 日 (月) ~ 16 日 (金)	山本壽一・島袋夕子・伊保希望・玉那覇美幸・久高恵・西珠美
第 7 回日本糖尿病医療学会	座長	WEB 開催	2020 年 10 月 11 日 (日)	山本壽一・東海林渉
第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会	糖尿病患者の生きがい感と糖尿病感情負担に関する研究—臨床心理的支援の可能性に着目して—	WEB 開催	2020 年 10 月 5 日 (月) ~ 16 日 (金)	西珠美・島袋夕子・伊保希望・玉那覇美幸・久高恵・山本壽一
第 7 回日本糖尿病医療学会	座長	WEB 開催	2020 年 10 月 11 日 (日)	小松知己・西珠美

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
栄養士活動前線 「持続グルコースモニタリング」を活用した栄養指導の実践 (解説)	日本栄養士会雑誌 (2187-4476)	63 巻 4 号 P184-185 (2020,4)	新垣優子
いきいき糖尿病クリニック通信 Vol41	糖尿病ケア (1348-9968)	2020 年 6 月号 17 (7) P82-83 (2020,7)	西珠美

活動実績

講演会

講演会	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
with コロナ時代の糖尿病療養指導を考える	コロナにおける糖尿病患者さんの変化	WEB 開催	2021 年 2 月 8 日	新垣優子
沖縄のライフスタイルと糖尿病 EBM を活用した生活習慣病の予防と臨床	沖縄の糖尿病臨床～最新の治療と健康長寿への取り組み～	WEB 開催	2021 年 2 月 10 日	山本壽一

その他

大学・学部	期間	教科	講師
琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科	2020 年 6-7 月	臨床栄養学実習 I	新垣優子

患者教育活動

ハッピーハート会

ハッピーハート会は患者さんとスタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、例年行っているイベントは控え、各種専門職（運動療法士・管理栄養士・臨床心理士）協力の下、家庭内でのセルフケアとストレス軽減を目的とした「セルフケアキット」を配布しました。

沢山の方にハッピーハート会を知っていただくためにロゴを作成し、『ハッピーハート会ブース』の設置もしました。



配布したセルフケアキット



ハッピーハート会ブース



ハッピーハート会ロゴマーク

糖尿病月間

ハートライフクリニックではインスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された11月14日の「世界糖尿病デー」と関連させて11月1日～30日を「糖尿病月間」とし来院者や地域の方々に向けて糖尿病に関する啓蒙活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、密集防止のため展示や体験イベントを控え、資料と各職種の一言アドバイスが入った連携手帳カバーを作成し配布しました。



糖尿病月間準備風景



オリジナル連携手帳カバー



ブルーライトアップ

糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦勞話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。2020年度は新型コロナのウイルス感染症の影響で糖尿病教室開催ができずありんくりん本を作成発行となりました。

発行日	テーマ	担当者
2020年4月1日	新型コロナウイルスに負けない(非常時に気を付けたいこと)	担当：医師(山本院長/小原先生)、看護師/玉那覇、管理栄養士/只野、理学療法士/長嶺、薬剤師/仲村渠、臨床心理士/西、歯科衛生士/幸喜、
2020年6月1日	今年の夏を乗り切ろう	医師(山本院長/小原先生) 看護師(松堂/殿内) 管理栄養士/只野、理学療法士/長嶺、薬剤師/津波古、臨床心理士/西、歯科衛生士/幸喜
2020年9月1日	これからのあなたの物語	担当：医師(山本院長/小原先生) 看護師/久高、管理栄養士/只野、理学療法士/長嶺、薬剤師/仲村渠、臨床心理士/西、歯科衛生士/幸喜
2021年2月1日	ズバリ解決知りたい聞きたいコロナの疑問	担当：医師(山本院長/小原先生) 看護師/松堂・屋我・久高・玉那覇、管理栄養士/只野、沖縄県療養指導士/高原、薬剤師/津波古、臨床心理士/西、歯科衛生士/幸喜



心理相談室

ハートライフクリニック 2F の糖尿病内科には「心理相談室」があります。全国でもめずらしい糖尿病内科内の相談室です。常勤の臨床心理士 1 名が在籍しており、来院される方の「こころ」と「からだ」、「毎日の暮らし」をトータルでサポート出来るようにと開室しています。

◎支援内容◎

≪患者様向け≫

カウンセリング

糖尿病などの内科的疾患の話だけに限らず、心にひっかかっていることや日々の困りごとを、感染対策を十分に施しながら一定程度の時間を取ってお伺いしています。患者様ご本人のみならず、ご家族へのアドバイスや心理的サポートも行っています。(2020 年度実績 115 件、うち糖尿病内科：92 件、内科 21 件、小児科 2 件)

心理アセスメント

性格傾向や抑うつ感などを評価することで、具体的に療養計画につなげていくことができます。

認知機能アセスメント

認知機能の傾向を知ることで、患者様ご自身の得意・不得意を知って、より主体的に生活を送ること、家族が日常生活で支援できるポイントを知ること、医療スタッフの治療方針の検討を手助けします。主に MMSE、長谷川式簡易知能評価スケール、MoCA-J を用いていますが、患者様の主訴に応じて適切なアセスメントツールを選択するよう心がけています。(2020 年度実績 20 件)

外来教室

COVID-19 感染症拡大のため、例年通り実施できず。その代わりとして、クリニックに来院された方のセルフケア支援と正しい知識の普及を目的として、「ありんくりん本」が作成されており、その記事を執筆しました(4 月、6 月、9 月、2 月に発刊)。

糖尿病患者会(ハッピーハート会)

COVID-19 感染症拡大のため、例年通り実施できず。その代わりとして、患者会に所属する方々の家庭内でのセルフケアと感染症拡大によるストレス軽減を目的として、6 月にヘルシーカフェ Ohana、運動施設 Ryu-za と協同して「セルフケアキット」を配布しました。心理士は COVID-19 感染症が与える心理的影響とストレスコーピングに関する冊子を作成しました。

≪スタッフ向け≫

シェアリング

よりきめ細やかなケアのために、医療スタッフ間で患者様の情報を共有する会をコーディネートしています(週 1 回)。

カンファレンス

症例を通して、「からだ」と「こころ」両面からのケアを考えるためのカンファレンスをコーディネートしています(月 1 回)。

職員面談

かりゆし会で働く職員サポートを目的として、職員向けにメンタルヘルス相談を行っています。職員本人だけでなく、場合によっては所属部署の上司とも面談し、より多くの職員にとって働きやすい職場環境を整えられるようコンサルテーション業務も必要に応じて行っています(2020 年度実績 9 件、うちコンサルテーション 3 件)。

栄養の日

日本栄養士会が主催する「栄養の日」のバーチャルイベントに参加し、免疫力を落とさず感染症予防に役立つ「予防めし」レシピの投稿をしました。



キウイシャーベット



ヨーグルトディップと
スティック野菜



野菜ジュースと
鶏肉の炊き込みご飯



野菜ジュースで
作るトマト素麺

内科

内科 上地 華代子

部門紹介

内科では、高血圧や脂質異常症などの生活習慣病の治療、喘息、COPD 等の呼吸器疾患、特定健診、予防接種業務他、健診からの紹介患者の 2 次精査および様々な症状の初診患者を多く受け入れ、診療しております。

循環器内科医は、平日の午前常勤、呼吸器内科医は平日午前午後とも常勤しており咳や胸痛、呼吸苦等対応可能です。消化器症状には腹部エコー - 他、本院と連携し内視鏡検査も積極的に行っております。午後を中心に禁煙外来も行い、効果をあげていますので今後も禁煙の啓蒙に努めていきたいと思っております。

職員数

総数 11 名

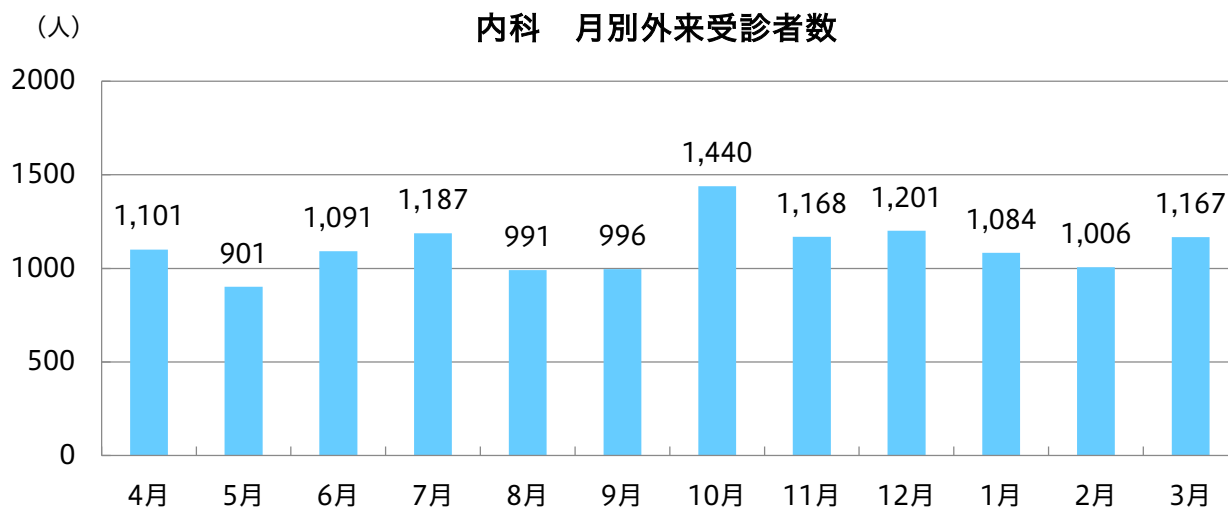
医師 6 名（常勤 1 名 非常勤 5 名）

メディカルクラーク 1 名

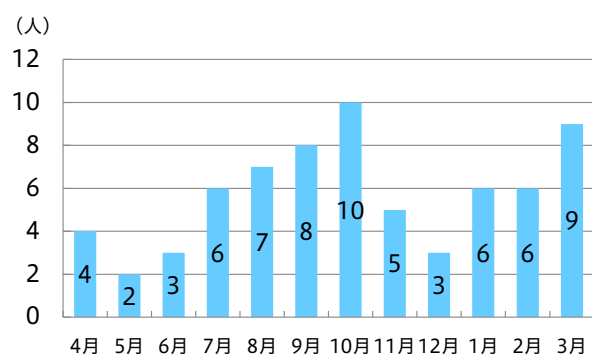
看護師 4 名

クラーク 2 名

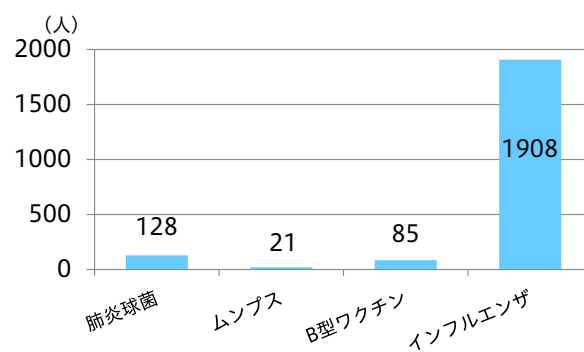
業務実績



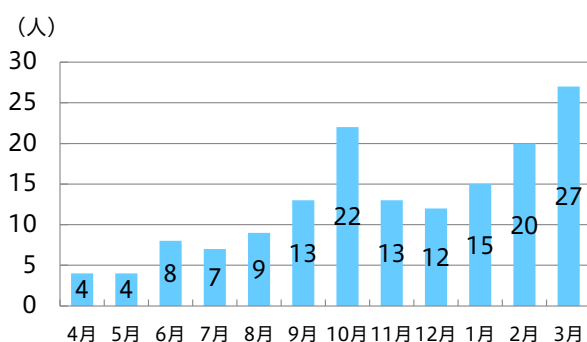
禁煙外来受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



特定健診受診者数



禁煙外来実績

本管理料を算定した患者数 (期間: 2020 年 4 月～2021 年 3 月)	① 20 名
①のうち、当該期間後の 6 月末日までに 12 週間にわたる計 5 回の禁煙治療を終了した者	② 13 名
②のうち、禁煙に成功した者	③ 10 名
5 回の指導を最後まで行わずに治療を中止した者 (①－②) のうち、中止時に禁煙していた者	④ 1 名
ニコチン依存症管理料の初回の治療の年間の算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの1年間)	⑤ 20 名
ニコチン依存症管理料の年間の延べ算定回数 (前年 4 月 1 日から当年 3 月末日までの1年間における初回から 5 回目までの治療を含む)	⑥ 84 回
喫煙を止めたものの割合 = (③ + ④) / ①	55%
治療の平均継続回数 = ⑥ / ⑤	4.2 回

小児科

ハートライフクリニック小児科 川満 豊

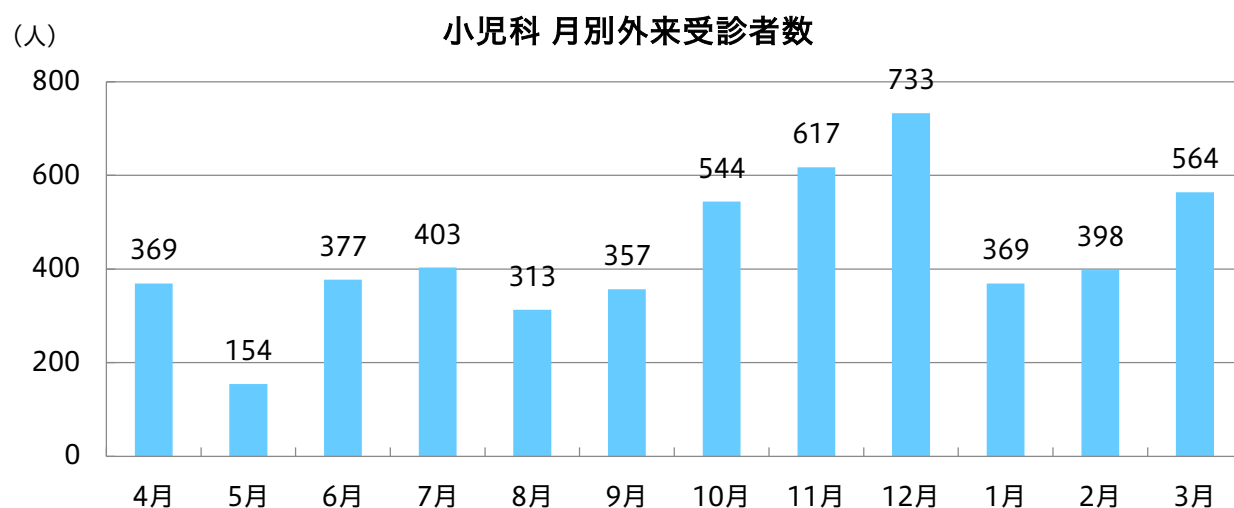
部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。月、水曜日の午後、予防接種も行っております。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設 リューザ 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

職員数

総数 4名（外部指導者含む）

理学療法士 2名

健康運動指導士 2名

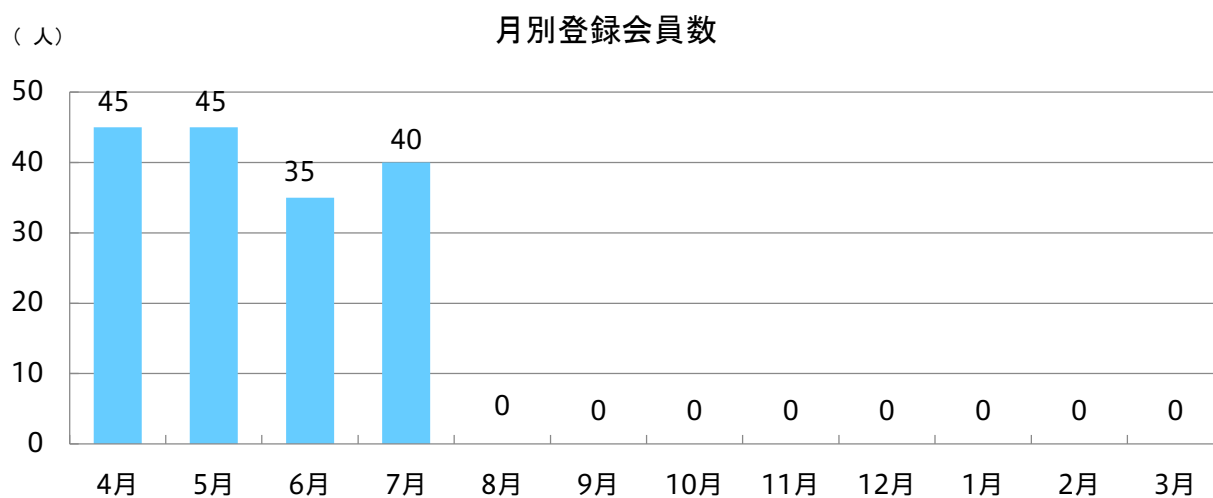
資格・認定

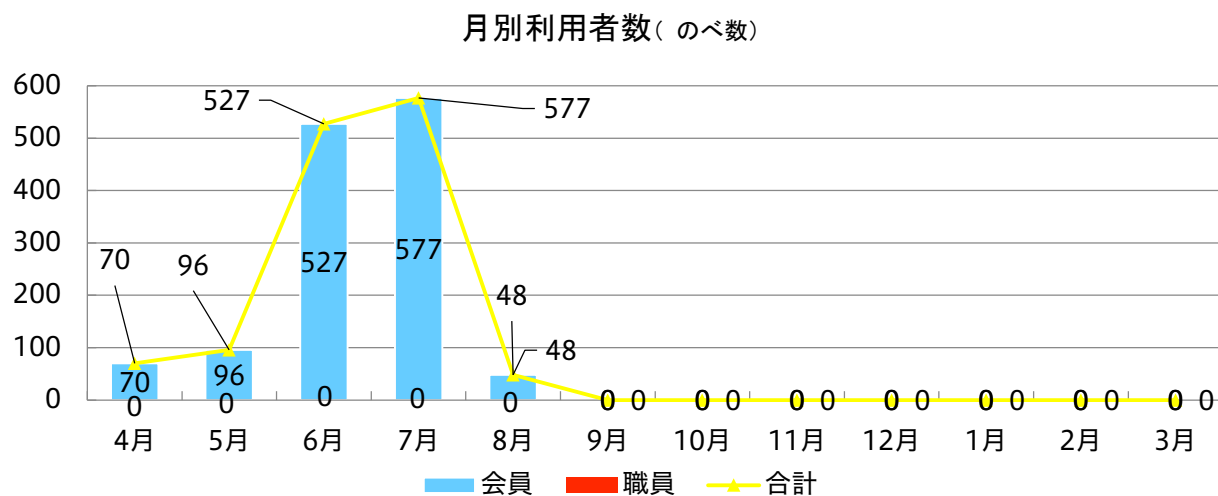
日本糖尿病療養指導士

沖縄県地域糖尿病療養指導士

健康運動実践指導者

業務実績





新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月3日～5月25日、8月5日～3月31日まで休館し、さらに職員の利用を自粛しているため、月別登録者・月別利用者数ともに大幅に減少する結果となりました。

活動実績

講演会発表

名称	開催地	年月日	講師
糖尿病の運動療法	医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院	2020年11月27日、11月30日	長嶺 敦司

講座

名称	年月日	場所	担当
ヘアゴムエクササイズで快適ウォーキング(北中城村役場 健康保険課 健康対策係)	2020年10月30日	北中城村立村民体育館	長嶺 敦司

広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
～人生100年時代!健康第一～人生100年時代!健康第一～ これからは体を動かさないとイケれからは体を動かさないとイケない時代!?	No.101 春号	長嶺 敦司
「頭も体もリフレッシュ!体操!その1」～さあ立ち上がって!その場で全身ほぐし～	No.102 夏号	長嶺 敦司
やってみよう!ウォーキング・セラピー～歩くだけで幸せな気持ちになれるハッピーウォーキング～	No.103 秋号	長嶺 敦司
健康に対する目標設定の仕方～これから始めようとしている方へ～	No.104 新年号	長嶺 敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 管理栄養士 新垣 優子

部門紹介

クリニック内に健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェオハナが併設されています。利用者層は主に外来受診患者とその家族、職員になっています。ヘルシーランチや日替わりバランス弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェから揚げ物や脂質、塩分を抑えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

2020年度はコロナの影響でテイクアウトのみの営業を行っており、新たにたんぱく質、食物繊維がしっかり摂取できるランチ弁当、サンドやお握りなど手軽に食べられる商品を販売しています。また、ハートライフ病院・産婦人科で出産された方へ、テイクアウトコースの提供を開始しました。

職員数

総数 4名

調理師 1名

調理補助 3名



ランチ弁当

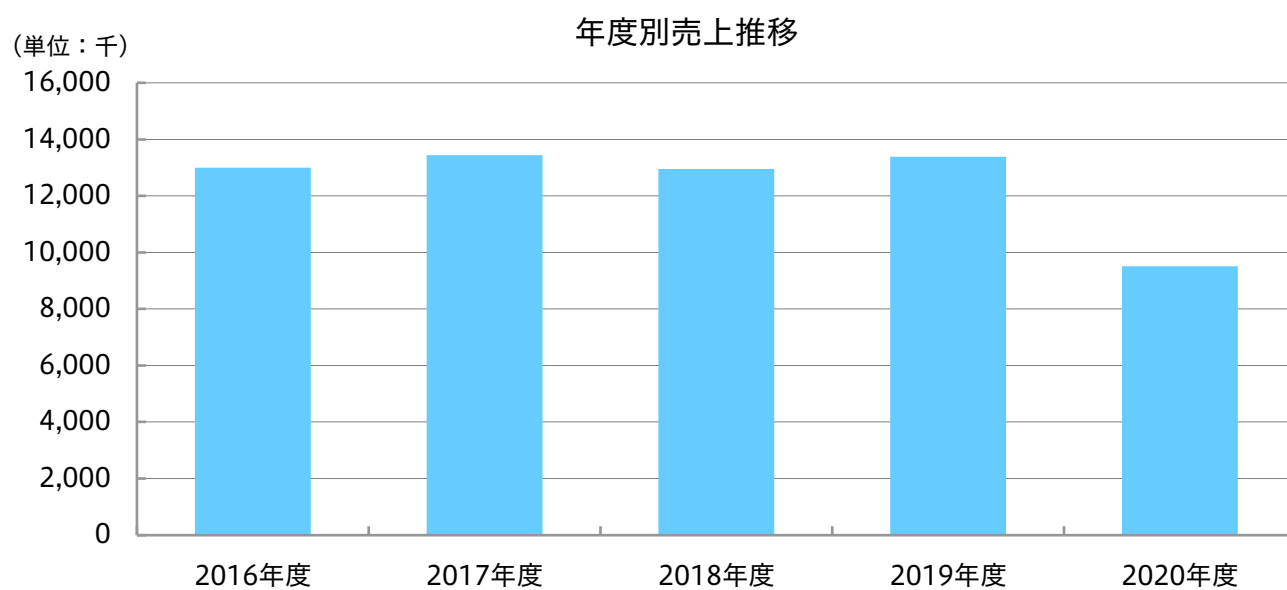


日替わりおにぎり、サンド



テイクアウトコース

業務実績



ハートライフ地域包括ケアセンター 2020 年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2020



理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される、医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。

年報発刊によせての挨拶



1. はじめに

当ケアセンターは、2015年7月の開所から6年目を迎えております。展開している各種サービスの利用者数は伸びてきており、2020年度は各事業所が目標を達成しています。

2020年はコロナに始まり、終息を迎えるには未だ時間を要します。一年間、「入居者・職員をコロナから守る」という緊張の日々を過ごしてきました。面会禁止せざるを得ない状況をご家族様にご理解頂いた上で、窓際面会でできる限りの対応を実施しました。

また、職員には「自身が感染しない、且つ職場に持ち込まない、家族を巻き込んだ感染対策」を指導すると共に、現状の情報共有をしてきました。今後もあらゆる「感染症を蔓延させない、クラスター防止対策」を講じていきたいと思っております。

2020年度は、これまで達成できなかった入居者95名以上を継続可能となりました。各種サービスもほぼ目標を達成しています。要因として入院数がかかなり減少した事が考えられます。2018年訪問看護体制を変更後から、年間の入院数は当時より18%減少しています。

安定経営の為に「高齢者の日々の健康管理と異常の早期発見」が重要であり必須といえます。

また、開設当初からの課題である介護職の人材確保は未だ厳しい状況が続いていますが、目標の20%以下となっており、今後も対策を講じつつ努力する所存です。

介護職の処遇改善に理解を示し、ご協力下さった理事長はじめ理事の先生方、人事課の皆様、法人職員の皆様、そして当センターの職員の皆様に感謝申し上げます。

2. 2020年度の目標と振り返り

A. 療養環境

①安全・安心な生活空間の提供

感染対策の徹底と移乗用リフト使用により移乗時に起こりやすい皮膚剥離等のトラブルが軽減した。入居者からも「安心」との声も届いています。

②サービスの質向上

環境整備担当介護助手の採用により、居室や洗濯物の整理整頓が可能となりました。

B. 職員が働きやすい職場環境

①離職率 20%以下の継続

18%となりました。

②移乗用リフトの使用

80%の職員が習得。負担軽減及び腰痛対策に絶大な効果を発揮しました。

③ IT 等の推進による、業務効率化と負担軽減

補助金にて IPAD の購入ができ今後活用予定です。

④残業時間低減

人員不足にて今後も継続課題であるが、部署会議やイベント準備を時間内に行うよう努力しています。

C. 利用者増

①ケアセンター全体（有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護）の介護職員の確保

未だ目標には至っていません。

②住宅型有料老人ホーム

月平均入居者数 95 名以上の維持を目標に、今年度実績は 95.2 名となりました。

③デイサービス

1 日平均利用者数 57 名以上の達成を目標に今年度実績は実績 58.3 名となりました。

④訪問看護

1 か月の延べ件数 500 件以上の達成を目標に今年度実績は実績 609 件)

⑤訪問介護

1 か月の延べ件数 450 件の達成を目標に今年度実績は実績 491 件となりました。

⑥ケアプランセンター

ケアマネージャー 1 人あたり 30 人の達成（管理者は 15 名）を目標に、実績として人員不足により 30 名以上を担当となりました。

3. 2021 年度への展望

2020 年度はコロナ対策として「持ち込まない」に全力を注いだ 1 年でした。その様な中で各事業所は目標達成しましたが、その裏側で改めて当センターの運営システムについて振り返る機会となりました。

今後更なる事業展開が必要と考えられ、その為には人材確保は必須です。

これまで以上に働きやすい職場環境の整備を進めていきたいと思えます。介護業界は職員の高齢化が進んでおり、若年層の介護離れが大きな問題です。その様な社会情勢の中でいかに「少数精鋭」を目指し、常に安全且つ丁寧なサービス提供ができるかが課題と考えています。

今後も安定経営の為に「職員が明るい快活な施設」を目標とし、入居者様及びご家族の皆様が満足して頂けるよう尽力致します。

本院、クリニックの皆様にはこれまで同様、医療連携、施設設備面の管理、スタッフの人事労務管理など、ご支援くださいますようよろしくお願いいたします

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. ヘルパーステーションはーとらいふ
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ
5. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
セ ン タ ー 長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊
副センター長	比嘉 藤子

職員数

総数

73 名

内訳

センター長	1 名
事務長（法人事務局部長）	1 名
副センター長	
（訪問看護管理者兼務）	1 名
事務係長	1 名

●有料老人ホーム

看護師	12 名（訪問看護兼務）
介護職員	26 名（訪問介護兼務）
相談員	1 名

●デイサービス

看護師	1 名
介護職員	20 名
柔道整復師	3 名
相談員	1 名

●訪問看護

看護師	12 名
-----	------

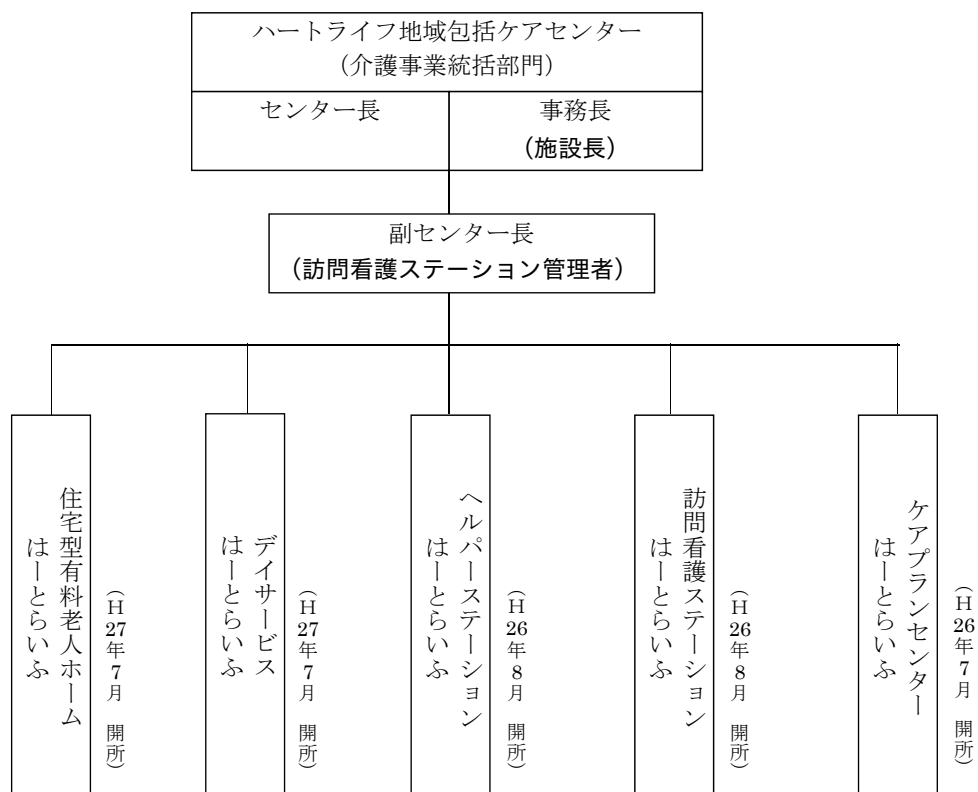
●訪問介護

介護職員	3 名
------	-----

●ケアプランセンター

ケアマネージャー	4 名
----------	-----

組織図



2020 年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	3	1	4	5	1	3	5	3	3	1	1	5	35	2.9
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	96	95	93	97	92	93	97	96	98	97	93	95	1142	95.2
退去者数	1	2	6	2	5	2	1	4	1	2	4	3	33	2.8
内：死亡者数	1 (1)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (4)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (1)	0 (0)	21(7)	1.8 (0.6)
看取者数	0	1	4	0	0	1	0	3	0	1	3	0	13	1.1
入院者数	128	120	62	117	85	83	71	99	155	243	139	225	1527	127.3
訪問診療利用者数	23	24	24	21	21	23	23	22	20	22	21	18	262	21.8
平均介護度	3.1	3.1	3.2	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2	3.2	3.0	3.1	3.1	3.1

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	1	3	4	0	2	5	3	3	2	1	2	28	2.3
利用実人数	90	92	91	91	89	86	88	90	91	93	91	91	1083	90.3
利用延べ人数	1,508	1,519	1,468	1,534	1,509	1,493	1,593	1,494	1,603	1,412	1,423	1,566	18,122	1510.2
稼働日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	27日	24日	24日	27日	-	26日
一日平均数	58.0	58.4	56.5	56.8	58.0	57.4	59.0	59.8	59.4	58.8	59.3	58.0	58.3	58.3
平均介護度	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1

ヘルパーステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	7	0	4	4	3	5	6	5	3	4	1	4	46	3.8
利用実人数	42	40	39	40	42	39	42	44	39	45	39	38	489	40.8
延べ人数	408	444	460	485	543	514	545	520	516	507	462	493	5,897	491.4
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	-	30日
一日平均数	13.6	14.3	15.3	15.6	17.5	17.1	17.6	17.3	16.6	16.4	16.5	15.9	16.1	16.1
平均介護度	3.1	3.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	5	3	4	3	0	6	5	4	4	3	1	6	44	3.7
利用実人数	91	94	97	93	92	93	97	97	96	97	93	94	1134	94.5
延べ人数	609	641	610	595	659	619	654	615	643	557	519	592	7,313	609.4
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	-	30日
一日平均数	20.3	20.7	20.3	19.2	21.3	20.6	21.1	20.5	20.7	18	18.5	19.1	20.0	20.0
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	0	1	0	2	2	4	1	2	2	4	1	21	1.8
利用実人数	105	105	106	101	103	103	110	108	108	113	111	107	1280	106.7

はーとらいふ保育園 2020年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2020



理念

私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子



年報発刊によせての挨拶



2020 年度、社会医療法人かりゆし会は一とらいふ保育園は、設立 4 年目となります。はーとらいふ保育園をご利用して下さいます方々、当園に携わる各部署の方々のお力添えがあり今日に至ります。皆様のご協力とご理解に心より厚く感謝申し上げます。

今年度はこれまでに無かった新型コロナウイルス感染情報に耳を傾け、『幼い子どもを感染から守る』をテーマに、新型コロナウイルス感染予防対策の強化に尽力致しました。かりゆし会法人感染予防対策規定に基づき、保護者の方と体調面や近隣情報共有を行い、保育園内では大人のマスク着用のご協力を頂きました。園児が安心して遊べるように、消毒チェックリストを取り入れて、遊具消毒・触れる全ての物の消毒の徹底に努めました。また、保育室の換気を意識し、空気清浄機を追加で設置し、園児へも小まめな手洗い促しました。今年度、保育園内で大きな集団感染症が起きたのは、新型コロナウイルス感染予防対策の強化がきっかけとなり、感染予防対策に対する危機管理の学びは大きかったと考えております。感染症対策・予防に関する意識は引き続き今後の安心・安全な保育に更に繋げていきます。

新型コロナウイルス感染予防対策に伴いまして、かりゆし会全職員のお子様（0 歳児～4 歳児）を対象に「一時預かり保育」を行いました。在籍している他園での受け入れが困難とされた場合や緊急事態時などに備えております。かりゆし会職員（医療従事者）の万が一の状況を想定し、お子様の受け入れ体制を検討致します。

毎年行われてきました、唯一の行事『親子運動会』の開催が新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止となりました。大きな行事開催は難しいのですが、感染予防に気を配りながら、「季節に因んだ行事を大事に」「日頃の保育の充実」を職員一丸となって取り組みました。園庭整備を全職員で取り組み、さまざまなお花・野菜菜園を手掛け、子どもたちにとっていい環境づくりに力を入れると共に、職員間の信頼と連携に繋がりました。

三密を回避しながらも子ども達が楽しめることは何だろうかと考え、職員からの企画で初めて「お買い物ごっこ」に取り組みました。手作り鞆を手にし、子どもたちと制作した食べ物作品を並べ、売り手と買い手役にわかれいつもと違う特別な遊びが繰り広げられました。

今年度は例年に比べまして、全園児数 21 名と少なくありました。次年度は今年度以上の新しい出会いが多く訪れるよう『子どもと一緒に楽しむ保育』をスローガンに、はーとらいふ保育園職員一同、感謝の気持ちを忘れず尽力致します。

設立から 4 年間（年度 3 月時点）で卒園児は、95 名となりました。途中退園の園児を含めると、既に 110 名以上の出会いがございました。はーとらいふ保育園を巣立った子どもたちへも変わらず皆様の成長と健康を願っております。

社会医療法人かりゆし会は一とらいふ保育園 園長 宮城 和香子

施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中のかりゆし会職員が「仕事と育児の両立と充実」を提供できるように平成 29 年 4 月より設立しました。

組織概要

施設名

はーとらいふ保育園

所在地

〒901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

園 長 宮 城 和香子

職員数

総数

職種別

園長 1 名

保育補助 2 名

保育士 9 名

事務主任（連携推進担当） 1 名

運営方針（平成 29 年 4 月 1 日）

理念：私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針：保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な心身共にすこやかな成長を保育方針とします

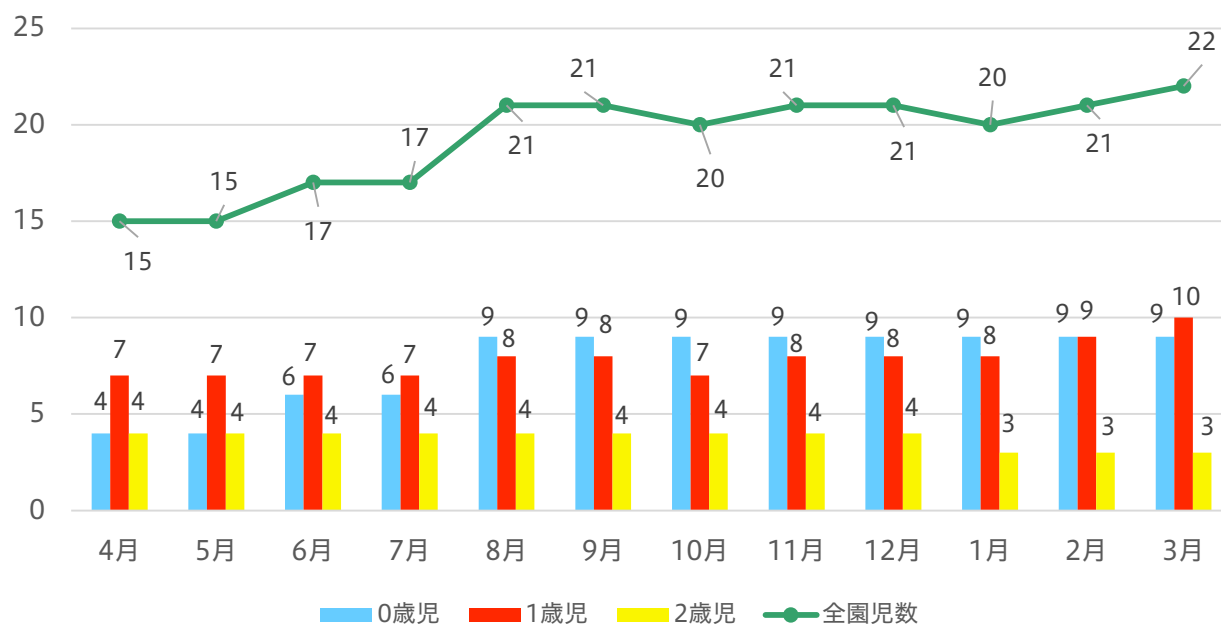
保育目標 ・よくあそぶ子 ・好奇心豊かな子 ・表現豊かな子

保育士配置基準	定員
0 歳児	9 名
1 歳児	12 名
2 歳児	9 名

保育料金	
0 歳児	25,100 円
1・2 歳児	25,000 円
※兄弟割引：二人目（双子以上を含む）	

延長保育
時間：18 時 15 分～19 時 14 分
※1 回あたり 200 円頂戴します

園児在籍数（各月 1 日付）



園行事・活動

4 月	新年度
5 月	内科健診
6 月	尿検査 / 歯科健診
7 月	七夕 / 水あそび
8 月	水あそび / プール
9 月	運動あそび
10 月	ハロウィン / 尿検査
11 月	内科健診 / 歯科健診
12 月	クリスマス会 / 総合避難訓練
1 月	正月あそび
2 月	節分豆まき
3 月	ひな祭り / 年度保育終了

毎月行事 誕生会・避難訓練・個人面談

研修・勉強会実施報告

名称	日時	参加者
AED 使用方法・実践研修 救命処置・心肺蘇生指導者：社会医療法人かりゆし会作業療法士 大見謝勝人	2020 年 7 月 2・3 日	全職員参加
かりゆし会連携巡回 指導講師：社会医療法人かりゆし会作業療法士 大見謝勝人	2020 年 7 月 30 日	池原梨美、宮城和香子

名称	日時	参加者
第一回 与那原町子育て支援課巡回指導 巡回相談員：山城	2020 年 8 月 28 日	宮城和香子
第二回 与那原町子育て支援課巡回指導～保護者対象 巡回相談員：山城	2020 年 9 月 18 日	池原梨美、宮城和香子
令和 2 年度 認可外保育施設職員研修 虐待（オンライン）	2020 年 10 月 25 日	徳川利沙
令和 2 年度 企業主導型保育事業施設長研修	2020 年 11 月 30 日～ 2021 年 3 月 20 日	宮城和香子
令和 2 年度 企業主導型保育事業保育士研修 キャリアアップ研修	2020 年 12 月 15 日～2021 年 2 月 15 日	徳川利沙
令和 2 年度 企業主導型保育事業保育士研修	2020 年 12 月 15 日～2021 年 3 月 20 日	喜納友里恵
防火管理者講習	2021 年 1 月 19・20 日	金城久乃
保育所等における保育園	2021 年 1 月 22・29 日	前田美恵
保育所等における保育園	2021 年 2 月 5 日	前田美恵
令和 2 年度 企業主導型保育事業保育士研修 キャリアアップ研修 大阪研修	2021 年 3 月 15 日	徳川利沙

次年度の計画・方針

1. 感染対策の強化徹底
2. 遊びの環境工夫、保育室収納、安全環境整備
3. 園児絵本の充実
4. 職員の連携
5. 働きやすい環境整備
6. 楽しく五感を使った体験を通しての保育（畑・食育）

かりゆし会の 1 年

写真で振り返る ゆし会の1年

2020年4月1日～2021年3月31日

2020年4月1日	入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)
2020年4月1日	春季 職員健診(35歳未満:4月1日～10日、35歳以上:4月1日～30日)
2020年4月17日	第1回 C19災害対策本部会議(1回/週 開催)
2020年7月6日	院内献血
2020年8月22日	ハートライフ病院 開院32周年
2020年9月1日	新職員駐車場(病院道向かい)の運用開始
2020年10月5日	患者満足度調査 (外来部門、透析室、予防医学センター、内視鏡センター:10月5日～6日入院部門:10月5日～10月10日)
2020年11月5日	科別実績報告会(1日目)
2020年11月6日	科別実績報告会(2日目)
2021年1月18日	院内献血
2021年2月1日	感染対策WEB講習会(2月1日～3月31日)
2021年2月13日	第5回 沖縄県緩和ケア研修会2020
2021年3月8日	職員満足度調査(3月8日～26日)
2021年3月17日	第1弾 職員対象 新型コロナワクチン接種(3月17日～19日)
2021年3月24日	2020年度卒後臨床研修医第16期生修了式



入職式・新入職員オリエンテーション



科別実績報告会

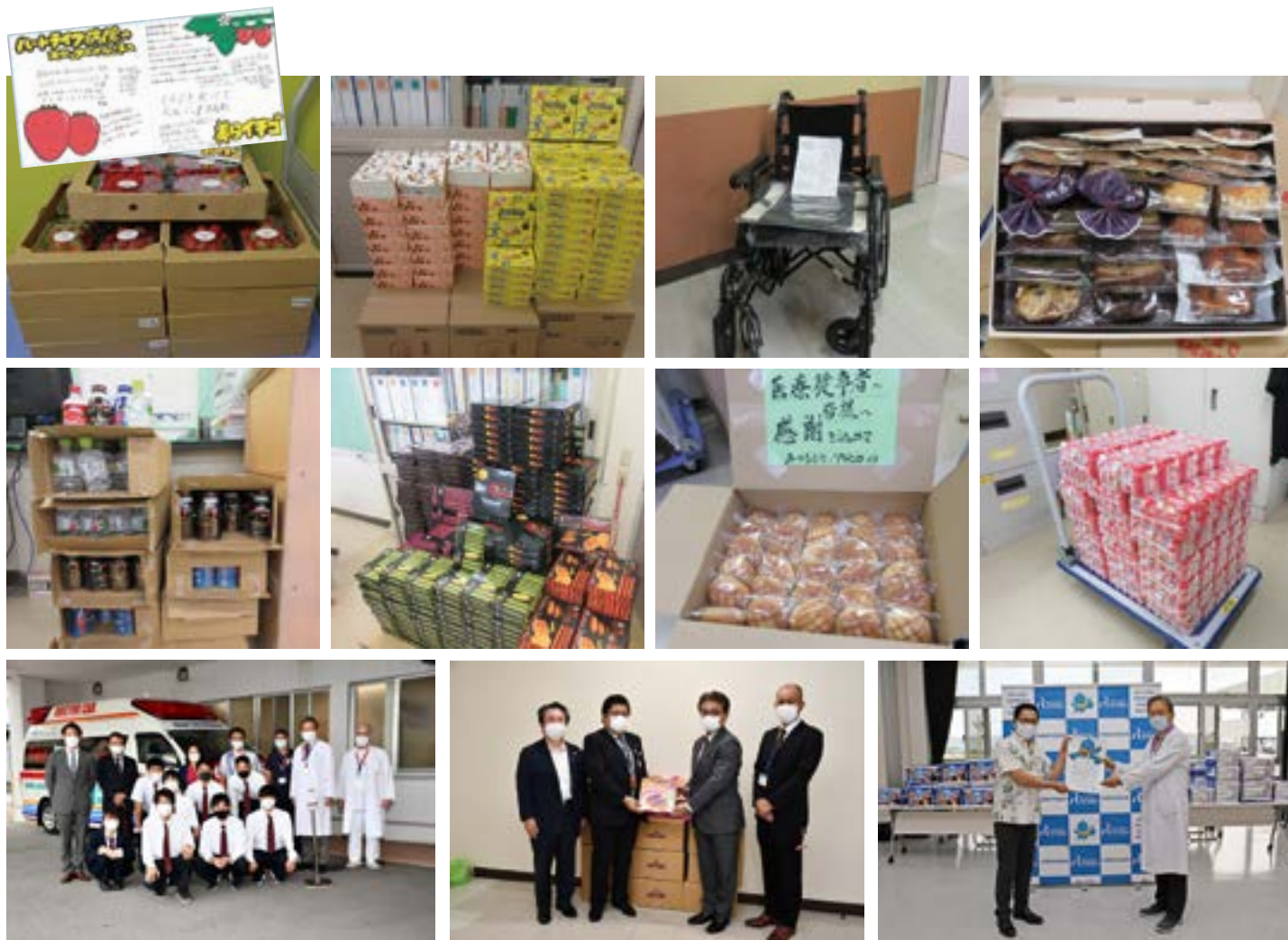


第1弾 職員対象 新型コロナワクチン接種



2020年度卒後臨床研修医第16期生修了式

かりゆし会へのご支援に 感謝を申し上げます。



新型コロナウイルスの影響が色濃く、依然として緊張状態が続く中、多数の企業・団体、個人の方より医療物資や食品などのご寄付を頂いております。

皆が苦しい状況の中、当法人へご配慮を頂いた事にこの場を借りて心より感謝申し上げます。ご寄付いただきましたものにつきましては有効活用させていただきます。現場で働く医療従事者にとって、皆さまからの温かいご支援やご声援が大きな励みになっています。これからも全職員が一丸となり安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

かりゆし会職員一同

法人・団体からのご寄付

株式会社美イチゴ / 中城村役場健康保険課 / 高江洲康雄税理士事務所 / 日本光電工業株式会社沖縄支店 / 株式会社沖縄海邦銀行西原支店 / 沖縄綿久寝具株式会社 / 白石グループ株式会社 カヌチャベイリゾート / スペアミント株式会社 / 中城村役場こども課 / 厚生労働省 / ダイニングバー SEAGARDEN / 沖縄ヤクルト株式会社 / 株式会社ナンバー / カルビー株式会社 / 中城村役場健康支援課 / 株式会社HC研究所 / 沖縄県看護連盟 / ロート製薬株式会社 / 一般社団法人沖縄県医師会 / 有限会社メガネの平増 / 沖縄県保健医療部衛生薬務課 / 沖縄メディックス株式会社 / 沖縄県 / 焼きたてパンとケーキの店 みなもとや / パティスリーアカヒロ / 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 / 有楽製菓株式会社 / クランド駐車場コインパーキング / 株式会社 NTT ドコモ / 公益社団法人全日本病院協会 / 公益財団法人沖縄県看護協会 / 南西医療器株式会社 / フマキラー株式会社 / 株式会社資生堂九州商品センター / 株式会社ファーストリテイリング / 株式会社ビレイ / 日本カルミック株式会社 / 株式会社日立製作所 / 日本マクドナルド株式会社 / 農業生産法人 有限会社 稲穂 / 公益社団法人 日本青年会議所 / 銀座に志かわ / 沖縄県立美里工業高校機械科 / 公益社団法人全日本病院協会 / 沖縄県労働金庫 / 株式会社すき家（順不同）

その他にも 8 名の個人の方からご寄付を頂いております。

（2021 年 3 月 31 日時点）

2020 年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者

勤続 30 年（1990 年 1 月 1 日～12 月 31 日入職者）

1. 久手堅 緑 病院 OR/CS 准看護師
2. 松堂 かおり クリニック 外来 看護師
3. 宮城 幸江 病院 入退院支援室 看護師
4. 吉川 忍 病院 総務課 庶務係 事務

勤続 20 年（2000 年 1 月 1 日～12 月 31 日入職者）

1. 安里 直美 病院 外来 看護師
2. 石川 由希 病院 東館 HCU 看護師
3. 糸刈 澄枝 病院 7 階病棟 看護師
4. 小嶺 幸江 病院 内視鏡センター 看護助手
5. 米須 智子 病院 4 階病棟 看護師
6. 末吉 恵子 病院 栄養科 洗い場
7. 花城 清次 病院 栄養科 調理師
8. 比嘉 正英 かりゆし会 カフェ ohana 調理師
9. 古井 咲織 病院 財務経理課 事務
10. 松元 直子 クリニック 外来 看護師
11. 吉元 美子 病院 4 階病棟 准看護師

編集後記

「新型コロナウイルス感染症、濃厚接触、飛沫感染、緊急事態宣言、医療崩壊、休業要請、外出自粛、不要不急、マスク着用」等々。これは2020年幾度となく目にしたり耳にしたりしたキーワードです。2019年12月に中国の武漢で発生した新型肺炎。瞬く間に世界中に広がり未曾有のパンデミックとなりました。わが国では、2020年2月、香港から沖縄を経由して横浜に帰港したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号に端を発し、その後各地で感染者が続出しました。本来であれば、2020年東京で華々しくオリンピックが開催予定でしたが、1年の延期を余儀なくされ、甲子園やインターハイなど様々なイベントが中止され、飲食店を中心に廃業が増加するなど国民の生活に暗い影を落としました。

沖縄県でも次々と感染の波が押し寄せ人口10万人当たりの患者数では、全国ワーストを記録することもありました。そういう厳しい社会情勢の中、日夜頑張って頂いた社会医療法人かりゆし会のスタッフの皆様ならびに陰で支えて頂いたエッセンシャルワーカーの皆様に感謝申し上げます。2020年度有難うございました。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	嘉川 春生（泌尿器科部長）
委員	安谷屋 佳子（看護部副部長）
	安里 竜（事務部副部長）
	斎藤 辰好（臨床検査科技師長）
	栄野比 智也（リハビリテーション科副療法士長）
	石新 紘也（ハートライフ地域包括ケアセンター係長）
	知念 政治（経営企画室広報係係長）
	新垣 優子（ヘルシーカフェ ohana 主任）
	仲松 泉（メディカルクラーク主任）
	大城 真澄（メディカルクラーク副主任）
	我如古 理咲子（診療情報管理室副主任）
	内間 善一（総務課）
	宮城 映子（総務課図書係）
企画調整・編集	仲田 尚正（経営企画室広報係副主任）

社会医療法人かりゆし会 年報
第 27 巻 2020 年度年報 2021 年 8 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>